

書」と一緒に Y へのインタビューを行い、あらすじを作った。リサはこの HL を通じて、「日本人のマジョリティ性」というより、マジョリティ性そのものや特権ということばについて考えなおすようになった。例えば、リサが B 国人として、日本で B 国の言語を教えることになったらそれは特技であると言う。しかし、その特技を利用し、自分が優位性を持って他者を傷つけた時、特権になると捉える。また、リサは「本」へのインタビューにおいて個人的なエピソードを語る中で、自身のマジョリティ性に対する考えを示した。そのエピソードとは、B 国で所属していた大学に日本人の日本語教師がいたが、その教師が自分が教員寮の水道とガスの契約をその B 国の言語を使ってしなければならなくなり、リサに手助けを依頼したというものだった。日本語を学ぶリサにとって、日本語教師は教室の中では権力を持つ強い存在であるが、ある場面では自分が指導する学生のリサに頼らなければならず、教師と学生の立場が逆転する。リサの気づきは、マジョリティ性にはマイノリティを抑圧する特権とマイノリティを支援する特技という二つの異なる性質があるということである。リサはこうしたことも踏まえたうえで、マイノリティと直接対峙してその声を聞く必要があることを実感したこと、また、マイノリティとマジョリティの交流の場が必要であることを語った。

5. 浮かび上がる実践の意義

4.で示したように「日本人のマジョリティ性」というテーマで実践した HL は、日本人のマジョリティ性や自分のマジョリティ性への気づきだけではなく、改めてマイノリティに目を向けさせたことがわかる。駿介の場合、自分とは異なる世界を生きる人々を知り、ゆうは定時制高校に在籍していた日本語非母語話者の存在を思い起こした。一方、日本人ではない「司書」のリサは、今回の HL のテーマである「日本人のマジョリティ性」は持っていない。しかし、母国の B 国にいた時のマジョリティ性を思い起こし、特技と特権について自分なりの解釈をしたり、マイノリティの声に耳を傾ける、マジョリティとマイノリティの交流の場の必要性に気づいた。リサはこうした交流が、マジョリティ性を完全に否定するのではなく、優位性を持って相手を傷つけることへの回避につながると考えたのではなかろうか。

注目すべき点はマイノリティの声に耳を傾けた従来の HL と、今回のような自分のマジョリティ性に注目した HL の違いである。人はマジョリティ性とマイノリテ

ィ性の二面性を持つため、どちらに焦点を当てたとしても、HLはマイノリティへの差別、偏見のないインクルーシブな社会へと前進させる役割を担うのかもしれない。しかし、ゆうが語ったように、マジョリティ性に関する対話は、自分のマジョリティ性を掘り起こし、マジョリティに問いかける強いメッセージ性があるのではないかと考える。

マジョリティ性の問題はマジョリティ側の人々が自らのその特権に気づきにくい。しかし、マジョリティの問題はマジョリティで解決すべきであり、この特権に気づきにくい社会構造は是正していくべきである（グッドマン,2017 など）。出口（2021,p.171）はその方法の一つとして「アライ」を増やしていくことを提案する。アライとは、「優位集団の一員でありながら、劣位集団の人たちへの差別や不正に対して異議を唱え、行動を起こす人々」を指す。駿介が語った自分の知らない世界を知ることやゆうが持った定時制高校支援者として参画する意欲、あるいはリサが語ったマジョリティとマイノリティの交流の場はアライにつながる一步と言える。

冒頭に述べたように、筆者らは、言語教育は、学習者の外側に現れることばの形式を洗練することを言語教育の主眼に置かず、学習者の内面を掘り起こし、対話をし、インクルーシブな社会を形成する担い手を育むことだという立場に立つ。今回のHLにおいて、参加者が「日本人とマジョリティ性」という一つのテーマを自分自身に落とし込み、「ハーフ」や「マジョリティ」、「マイノリティ」、「特権」、「特技」、「優位性」など、その周辺にあることばを丁寧に用いながら、自己形成の言語化を試みていたことがわかる。このような自己形成の言語化はセンシティブなテーマを扱うHLだからこそ実現可能なことばの活動だと考える。筆者らは今後も、HLの実践も含め、インクルーシブな社会を実現するためのことばの活動の役割とその意味について考えていきたい。

参考文献

- グッドマン・ダイアン, J. (2017). 『真のダイバーシティをめざしてー特権に無自覚なマジョリティのための社会公正教育』(出口真紀子監訳、田辺希久子訳) 上智大学出版(原典 2011).
- 駒澤大学社会科学部坪井ゼミ (編) (2012). 『ココロのバリアを溶かすーヒューマンライブラリー 一事始め』 人間の科学新社.
- 近藤めぐみ (2020). 「日本語会話授業での「ヒューマンライブラリー」の取り組み」『日本研

究教育年報』24, pp.109-122.

坪井健（2020）.『ヒューマンライブラリーへの招待—生きた「本」の語りがココロのバリアを溶かす』明石書店.

出口真紀子（2021）.「みえない「特権」を可視化するダイバーシティ教育とは?」. 岩渕攻一（編）『多様性対話—ダイバシティ推進が見えなくするもの』（pp.165-174）青弓社.

宮崎聖乃（2018）.「市民活動、そして日本語教育の現場から—ヒューマンライブラリー Nagasaki 実践報告」. 坪井健、横田雅弘、工藤和宏（編）『ヒューマンライブラリー—多様性を育む「人を貸し出す図書館」の実践と研究』（pp.135-149）明石書店.

福村真紀子・中川正臣・本間祥子・吉田孝子・松本美香子・李思雨（2022）.「マジョリティの特権に目を向けた教育実践—新たなヒューマンライブラリーへの展望—」『言語文化教育研究学会 第8回年次大会予稿集』 pp.112-113.

日本語教育におけるダイバシティ・マネジメント

母語話者教師と非母語話者教師の割合が教育に与える影響

力丸美和（九州大学）

1. はじめに

本研究は、日本語教育を対象として、日本語母語話者教師（以下、NT: Native Teacher）と非母語話者教師（以下、NNT: Non Native Teacher）の割合が教育効果に及ぼす影響を及ぼすのかを明らかにし、ダイバシティ・マネジメントに関する指針を得ることを目的とする。近年、各国の教育機関では構成員の多様化が進み、ダイバシティ・マネジメントが課題となっている。一方、企業における構成員の多様性と組織的なパフォーマンスの関係については多くの先行研究がみられるものの、教育を対象とした同様の研究はほとんど行われてこなかったため、そもそも教育では、どのような多様性が、どの程度存在することが教育効果にポジティブな影響を及ぼすのか未だ明らかにされていない。教師の適切な人材配置を行うための指針等を導出し、日本語教育における効果的なダイバシティ・マネジメントに寄与しようとするものである。

2. 先行研究

岡崎（2001）は、日本人教師と中国人教師では、日本語・外国語の学習・教育に関して、また教育の対象となる中国人学習者について、考え方や認識のあり方で大きく異なる部分があることを指摘している。Phillipson(1992)は、第二言語としての学習という過程を乗り越えた経験を有し、担当する学習者の言語的および文化的なニーズを理解している非母語話者の方が、母語話者より教師としてふさわしいと述べている。力丸(2016)は、日本人教師と中国人教師の日本語教育における特性を比較し、それぞれが日本語学習者の日本語力向上に与える影響を明らかにするために、中国人日本語学習者 56 名を対象に質問票調査を行った。その結果、中国人日本語学習者が日本人教師と中国人教師は、自身の日本語能力の向上に異なる影響を及ぼすと捉

えていることが明らかとなった。しかしながら、教師の文化的多様性の程度が、実際に学習者側の語学能力の向上に及ぼす影響については明らかにされていない。

海外ではジェンダー・ダイバシティのみならず多国籍ダイバシティや文化的多様性に着目した研究は少なからず行われている。それらの研究では、しばしばダイバシティと組織業績の間に逆 U 字型の非線型関係が見出されている。

例えば、Richard et al. (2004)は、高水準のリスクテイクを特徴とする企業では、経営グループの異質性と生産性の間に逆 U 字の関係が見られることを明らかにした。Kang et al. (2021)は、発明者の国籍の多様性が、発明の品質指標に対して逆 U 字型の効果をもたらすことを示した。Ashraf et al. (2013)は、遺伝的多様性に着目し、それが一人当たりの所得と逆 U 字型の関係を示すことを指摘した。Mir-Babayev et al. (2017) は、文化的多様性とイノベーションが逆 U 字型の関係にあることを示した。

本稿では、日本語教育機関における文化的多様性と教育のパフォーマンスの関係にいかなるパターンが見出されるのかを、一つの焦点とした分析を行う。

3. 本研究の課題と方法

前節で述べた学術的な背景から、本研究におけるリサーチ・クエスチョンを以下の通り設定する。

RQ：日本語教育における教師数、NT 数、NNT 数は、学習者の日本語力向上に、どのような影響を及ぼすか

先述のように、企業を対象とした先行研究では、組織の文化的多様性と業績の間に、しばしば非線型（逆 U 字）の関係が見出されてきたが、日本語教育において、いかなるパターンが見出されるのかを明らかにする。さらに、これらの学術的な「問い」に関する検討結果を踏まえて、NT と NNT の適切な人材配置を行うための実務的な指針を導出する。

本研究では、日本語教育機関における教師、NT、NNT の割合が、学習者の日本語力向上にどのような影響を及ぼすかを明らかにするために、国際交流基金が公開しているデータを用いて、各国の教師数、NT 数、NNT 数と各国の日本語能力試験受験数の関連性を分析する。日本語能力試験（JLPT）は、2020 年以降は、パンデミック

により実施国が減ったものの、2019 年は 87 の国・地域で実施されており、受験者は 1,168,535 人で、日本語能力を測る試験としては最大規模である。日本語能力試験は国ごとの得点や合格率の公表を行なっていないため、本稿では日本語能力試験の受験者数を教育効果として分析を行うこととした。

日本語能力試験は、前述のとおり日本語能力を測る試験としては最大規模であり、本調査は、日本語能力試験および国際交流基金が実施している海外日本語教育調査のデータをもとに調査分析を行った。

仮説：各国における教師数、NT 数、NNT 数が、各国の日本語学習者の日本語能力の向上に影響を与える

上記の仮説を検証するため、国際交流基金が公開している 76 か国の日本語能力試験の受験者数をパフォーマンス（日本語能力の向上）として、線型回帰分析を行った。2018 年と 2015 年の 10 万人あたりの教師数(NT,NNT)、NT 数、NNT 数を独立変数とし、2018 年、2019 年、2020 年の 10 万人あたりの受験者数と 2015 年、2016 年、2017 年の 10 万人あたりの受験者数を従属変数とした。尚、JLPT が実施されなかった年がある国・地域の存在を考慮し、受験者数は 3 年分の受験者数の平均値をデータとして採用した。結果の詳細は次節において述べる。

4. 分析結果

表 1 は、10 万人あたりの教師数を独立変数、10 万人あたりの受験者数を従属変数として、回帰分析を行なった結果である。

＜表 1＞ 日本語教師数が日本語能力試験の受験者数に与える影響

	2018 年 教師数/10 万人				2015 年 教師数/10 万人			
	B	標準 誤差	t 値	有意 確率	B	標準 誤差	t 値	有意 確率
N1 受験者	0.526	0.033	15.716	<.001	0.611	0.037	16.357	<.001
N2 受験者	0.594	0.036	16.524	<.001	0.518	0.041	12.606	<.001
N3 受験者	0.573	0.049	11.618	<.001	0.464	0.049	9.462	<.001

N4 受験者	0.357	0.076	4.673	<.001	0.231	0.055	4.229	<.001
N5 受験者	0.313	0.091	3.441	<.001	0.33	0.12	2.756	0.007
全レベル	2.363	0.222	10.643	<.001	2.154	0.218	9.862	<.001

注:独立変数 教師数/10 万人、従属変数 受験者数/10 万人

2018 年の 10 万人あたりの教師数を独立変数、2018 年、2019 年、2020 年の 10 万人あたりの受験者数を従属変数とした結果を見ると、N1,N2,N3,N4,N5,全レベル (N1,N2,N3,N4,N5 の合計) 全てが 1%未満水準で有意であり、教師数が受験者数を有意に予測している。2015 年の 10 万人あたりの教師数を独立変数、2015 年、2016 年、2017 年の 10 万人あたりの受験者数を従属変数とした結果を見ると、N1,N2,N3,N4,全レベル (N1,N2,N3,N4,N5 の合計) 全てが 1%未満水準で有意であり、教師数が受験者数を有意に予測している。

表 2 は、10 万人あたりの NT 数を独立変数、10 万人あたりの受験者数を従属変数として、回帰分析を行なった結果である。2018 年の 10 万人あたりの NT 数を独立変数、2018 年、2019 年、2020 年の 10 万人あたりの受験者数を従属変数とした結果を見ると、N5 が 1%未満水準で有意であり、教師数が受験者数を有意に予測している。2015 年の 10 万人あたりの NT 数を独立変数、2015 年、2016 年、2017 年の 10 万人あたりの受験者数を従属変数とした結果を見ると、N5 と全レベル (N1,N2,N3,N4,N5 の合計) が 1%未満水準で有意であり、NT 数が受験者数を有意に予測している。

<表 2> 母語話者教師数が日本語能力試験の受験者数に与える影響

	2018 年 NT 数/10 万人				2015 年 NT 数/10 万人			
	B	標準 誤差	t 値	有意 確率	B	標準 誤差	t 値	有意 確率
N1 受験者	-.168	.106	-1.583	.118	-.041	.114	-.357	0.722
N2 受験者	.111	.133	.834	.407	.139	.146	.957	0.342
N3 受験者	.067	.19	.352	.726	.269	.181	1.488	0.141
N4 受験者	.688	.306	2.247	.028	.398	.202	1.967	0.053
N5 受験者	1.753	.324	5.408	<.001	3.232	.272	11.883	<.001
全レベル	2.451	.897	2.732	.008	3.997	.781	5.117	<.001

注:独立変数 NT 数/10 万人、従属変数 受験者数/10 万人

表3は、10万人あたりのNNT数を独立変数、10万人あたりの受験者数を従属変数として、回帰分析を行なった結果である。2018年の10万人あたりのNNT数を独立変数、2018年、2019年、2020年の10万人あたりの受験者数を従属変数とした結果を見ると、N1,N2,N3,全レベル（N1,N2,N3,N4,N5の合計）が1%未満水準で有意、N4が5%未満水準で有意であり、NNT数が受験者数を有意に予測している。2015年の10万人あたりのNT数を独立変数、2015年、2016年、2017年の10万人あたりの受験者数を従属変数とした結果を見ると、N1,N2,N3,全レベル（N1,N2,N3,N4,N5の合計）が1%未満水準で有意、N4が5%未満水準で有意であり、NNT数が受験者数を有意に予測している。

<図3 非母語話者教師数が日本語能力試験の受験者数に与える影響>

	2018年 NNT数/10万人				2015年 NNT数/10万人			
	B	標準 誤差	t 値	有意 確率	B	標準 誤差	t 値	有意 確率
N1 受験者	0.634	0.031	20.505	<.001	0.728	0.037	19.866	<.001
N2 受験者	0.669	0.039	17.257	<.001	0.585	0.047	12.526	<.001
N3 受験者	0.652	0.055	11.788	<.001	0.499	0.058	8.598	<.001
N4 受験者	0.305	0.089	3.417	0.001	0.201	0.065	3.102	0.003
N5 受験者	0.088	0.095	0.928	0.357	-0.189	0.087	-2.164	0.034
全レベル	2.349	0.262	8.976	<.001	1.824	0.25	7.284	<.001

注:独立変数 NNT数/10万人、従属変数 受験者数/10万人

5. 結果の考察

調査によりNNT数がJLPT N1,N2,N3,N4の受験者数に影響を与えていることが明らかとなった。その理由として、NNTが学習者により高いレベルの受験を推奨していることが推察される。また、日本語能力という技能を生かして業務に従事しているNNTがJLPT合格者であるため、学習者達はNNTの姿をとおしてJLPTの必要性を認識しているためであると考えられる。一方、NT数が最もレベルが低いN5受験者数に影響を与えている原因として、NTと接することで初級学習者が日本や日本語に関心を持ち、N5を受験する動機になっていると考えられる。

また、NNT数が多い国は、日本語教育が成熟している国であり、そのためより高

レベルの日本語能力試験を受験する。一方、NT 数が多い国は日本語教育が発展途上であるため、N5 レベルの受験者数が多いと考えられる。

近年、オンラインにおける動画教材などが教師に変わるものと考えられる風潮もあるが、本調査の結果から、NNT や NT が JLPT 受験の後押しとなっていることを鑑みると、引き続き教師の役割は非常に重要であることがわかる。海外への日本語専門家の派遣や、NNT を対象に研修を行っている国際交流基金は、派遣や研修という事業への投資に対して、JLPT 受験者の増加というリターンを得ているといえよう。

6. おわりに

NT と NNT の割合が学習者の日本語能力にどのような影響を与えるかを明らかにするために調査分析を行なった。その結果、NT の数が N5 受験者数に影響を与え、NNT の数が N1、N2、N3、N4 の受験者数に影響を与えることがわかった。しかしながら、これはあくまで大規模調査のデータを用いた、一方面的な分析に過ぎない。今後は、各国の個別のケースを深掘りし、教師数以外にも日本語力の向上に与える要因の分析を行うための枠組みを作成したい。

また、本稿では、教育効果を受験者数で測定したが、教師数、NT 数、NNT 数が教育効果に及ぼす影響を測定するためには、大規模試験の結果のデータを用いることが望ましいため、試験の結果のデータの取得も今後の課題である。

引用文献

- 岡崎智己 (2001) 「母語話者教師と非母語話者教師の BELIEFS 比較・日本と中国の日本語教師の場合」『日本語教育』 (110), 110-119.
- 力丸美和 (2016) 「日本語教育における日本人教師と中国人教師の特性比較・中国人日本語学習者への質問票調査結果より・」日本語教育学会国際研究大会、*Bali International Convention Centre*.
- Ashraf, Q., & Galor, O. (2013). Genetic Diversity and the Origins of Cultural Fragmentation. *American Economic Review*, 103(3), 528-533
- Kang, B., & Nabeshima, K. (2021). National Origin Diversity and Innovation Performance: The Case of Japan. *Scientometrics*, 126(6), 5333-5351.

- Mir-Babayev, R., Gulaliyev, M., Shikhaliyeva, S., Azizova, R., & Ok, N. (2017). The Impact of Cultural Diversity on Innovation Performance: Evidence from Construction Industry of Azerbaijan. *Economics & Sociology*, 10(1), 78.
- Phillipson, R. (1992). *Linguistic Imperialism*. Oxford University Press.
- Richard, O. C., Barnett, T., Dwyer, S., & Chadwick, K. (2004). Cultural Diversity in Management, Firm Performance, and the Moderating role of Entrepreneurial Orientation Dimensions. *Academy of Management Journal*, 47(2), 255-266.

日本語教師に求められる資質・能力と

ネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働

中川 良雄（京都外国語大学）

はじめに

近年日本国内外において、日本語学習者数が急激に増加し、日本語教育に変革がもたらされようとしている。同時に学習機関数や教師数も、増加の一途を辿っていることは周知のごとくである。

一方で海外の日本語教師のうち、20%強（国際交流基金調べ）はネイティブ（日本人）教師であり、そのネイティブ教師は、現地のノンネイティブ（非日本人）教師といかに連携し、協働しながら、授業を進めていくかが課題となる。海外では、日本語教師の数的不足に加えて、ネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働により、現地の日本語教育を担っていける人材が求められている。さらには、海外へ派遣される日本語教師の資質や能力について探求し、教員養成の現場に活かして、教師の質的向上を目指す必要もある。

本発表では、海外（中国・韓国・タイ・ベトナム）でのネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力について問い、両者の連携・協働のあり方を探る。ここでの知見は、進展の著しい海外の日本語教育における教師のあり様を示すものとして重要になる。

1. 本研究の位置づけ

本研究は、「優れた外国語授業」創出のためのネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力を問い、両者の連携・協働のあり方を模索することを目的とするが、学習者の国籍、目標言語、価値観・人生観、背景文化やニーズを抜きにした議論は考えがたい。

そのため本研究では、教師の役割分担やネイティブ／ノンネイティブ教師、そして学習者が期待するもの、教師自身の資質や能力について問うアンケートを基礎資料とする。

学習者の国籍や目標言語、背景文化等によりアンケート結果が異なるであろうことが予想される。そこに研究意義が見出されるが、個別性と共通性（一般性）を探ることにより、「優れた外国語（日本語）授業」の概念化が図れるものと考ええる。「期待される教師像」が明らかになれば、教師養成も容易になり、教師の資質・能力の改善・向上にも役立つ。

2. 海外の日本語学習者を対象とした調査

海外（中国・韓国・タイ・ベトナム）の日本語学習者を対象に、ネイティブ／ノンネイティブ教員に求める資質・能力について問うアンケートを実施した。

2.1 アンケート項目の策定

質問紙の作成に当たっては、縫部他（2006）が作成した 41 項目を参考に、本論の趣旨である、「ネイティブ／ノンネイティブ教員の連携・協働、や「役割分担」に鑑み、質問項目を若干追加・削除して 40 項目とした。またネイティブ／ノンネイティブ教師ともに同一項目で問うたが、ネイティブ教員に関する項目では、試験・留学経験にかかる酷目（38～40）を削除し、37 項目とした。

非日本人（ノンネイティブ）教員及びネイティブ教員に求められる資質や能力について、それぞれ 40 項目（37 項目）を 4 件尺度法（4：強く求める、3：求める、2：あまり求めない、1：全く求めない）で問うた。

それぞれの項目の平均値を出していく。

2.2 調査協力者（調査対象者）

調査の対象となったのは、次の通りである。

中 国	韓 国	タ イ	ベトナム
227 名	400 名	381 名	400 名

3. 調査結果の概要

アンケート調査から得られた、中国・韓国・タイ・ベトナムで求められる日本語教師の資質・能力について、舌に示しておく。

3.1 中国の日本語学習者がネイティブ／ノンネイティブ教員に求める資質・能力

＜表 1＞ 中国のネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力
(上位)

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
学習者に日本語で話すことを促す	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる
正しい発音やアクセントで流暢に話せる	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
授業を楽しくする	日本人の考え方や思考方法を理解している
すべての学習者に公平である	学習者に日本語で話すことを促す
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある	授業を楽しくする
習得が困難なことと容易なことをよく知っている	日本文化を授業の中で体験させてくれる
日本人の考え方や思考方法を理解している	すべての学習者に公平である
日本語の教授経験が長い	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする

3.2 韓国の日本語学習者がネイティブ／ノンネイティブ教員に求める資質・能力

＜表 2＞ 韓国のネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力
(上位)

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
すべての学習者に公平である	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
教師として威厳のある態度で学習者に接する	すべての学習者に公平である
正しい発音やアクセントで流暢に話せる	授業を楽しくする

る	
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する
授業を楽しくする	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
学習者の発音上の間違いを適切に直せる	日本人の考え方や思考方法を理解している
進学や就職などの知識が豊富である	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
習得が困難なものと容易なことをよく知っている	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる
日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする
学習者だった時の経験を活かして教える	話すこと・聞くことを中心に教える

3.3 タイの日本語学習者がネイティブ／ノンネイティブ教員に求める資質・能力

＜表 3＞ タイのネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力
(上位)

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
授業を楽しくする	すべての学習者に公平である
教室内において学習者に規律を守らせる	授業を楽しくする
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する
コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
外国語としての日本語教授法に精通している	日本人の考え方や思考方法を理解している
コンピュータ教材を用いて授業を進める	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
学習者の発音上の間違いを適切に直せる	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする

3.4 ベトナムの日本語学習者がネイティブ／ノンネイティブ教員に求める 資質・能力

＜表 4＞ ベトナムのネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・
能力(上位)

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	教室外や課外でも学習者と交わることが多い
学習者に日本語で話すことを促す	学習者に日本語で話すことを促す
授業を楽しくする	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする
教室内において学習者に規律を守らせる	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
修士またはそれ以上の学位を持っている	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	授業を楽しくする
正しい発音やアクセントで流暢に話せる	日本文化を授業の中で体験させてくれる
教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる	外国語としての日本語教授法に精通している
外国語としての日本語教授法に精通している	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
すべての学習者に公平である	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる

上表 1～4 より、日本語教師に求められる資質・能力、あるいはネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働に必要な概念は、次のように創出される。

ロールモデル、カルチャーモデル、ランゲージモデル、日本語運用能力、専門性、人間性、ネイティブ性、コーディネイター、ファシリテーター

4. 調査のまとめ

本研究を貫く立ち位置は、超言語的な観点から、外国語教育一般に共通する概念を抽出することであった。中国語や英語、フランス語といった個別言語を問わず、また様々な地域で学ばれる言語を問わず、外国語教師として求められる資質や能力には

共通性があることを仮説として論を進めてきた。

ノンネイティブ教師には、自らが学習者であったことから、学習者と価値観や文化を共有し、習得が困難なものと容易なことを熟知している。つまり学習者にとっては、ロールモデルとして、教員からの授業やアドバイスを享受する。

一方でネイティブ教師には、目標言語でのコミュニケーションを可能にしてくれる役割が求められる。母語話者であるがゆえ、カルチャーモデルとして、目標文化の伝授者・紹介者となる。

このような資質や能力を備えたネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働により、「優れた外国語授業」が創出されるものと考えられる。

今回抽出した、「人間性」「専門性」「ファシリテーター」等は、ネイティブ／ノンネイティブを問わず、また目標言語が何であれ、外国語教師に共通して求められる資質や能力であろう。

海外の日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教師の資質・能力は、決してネイティブ／ノンネイティブ各々に特化したものではなく、両者に共通の資質・能力、はたまた外国語教育に一般化された理念として捉えられる。

またネイティブ／ノンネイティブ教師のいずれかにより強く求められた「日本語運用能力」「コーディネイター」「カルチャーモデル」「ネイティブ性」とて、排他的関係にあるのではなく、程度の差こそあれ、他方にも求められるものである。

今回調査した4か国の中では、ベトナムの日本語教育がネイティブ／ノンネイティブの垣根を越えて、両者の連携・協働のもとに成り立っているのではないかと推測も成り立つ。

つまり両社は相補完的な関係で、いわば車の両輪としてベトナムの日本語教育を担っていることも分かった。

参考文献

中川良雄（2010）「中国の日本語学習者が考える『いい授業』」『研究論叢』第75号、京都外国語大学、pp.143-157.

———（2011 a）「中国・台湾・香港の日本語学習者が考える『いい授業』」『研究論叢』第76号、京都外国語大学、pp.271-290.

———（2011 b）、「教室文化の多様化に対応した『いい授業』—中国と韓国の学習者が考

- える『いい授業』『無差』第18号、京都外国語大学日本語学科、pp.3-10.
- (2012 a) 「日本語学習者の教室文化と『いい授業』観—中国・台湾・香港・韓国の日本語学習者が考える『いい授業』—『教室文化の多様化に適応した日本語教員の養成をめぐる学際的研究』(平成21年度～平成23年度京都外国語大学学内共同研究研究成果報告書、研究代表者： 中川良雄)、京都外国語大学、pp.1-10.
- (2014) 「教室文化と『いい授業』『いい先生』—中国大陸・アイ湾地区・香港地区の学習者が考える『いい授業』—『中国日語教学文集之10 中日跨文化交際研究 異文化理解につながる日本語教育・日本学研究』大連理工大学出版社、pp.488-496.
- (2018) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員の役割分担と連携・協働の可能性を問う」『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』ハノイ大学、pp.252-263.
- (2019 a) 「韓国の日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力と役割」『研究論叢』第92号、京都外国語大学、pp.87-97.
- (2019 b) 「タイの日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力と連携・協働あり方」『無差』第26号、京都外国語大学日本語学科、pp.7-20.
- (2019 c) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員に求められる資質・能力と連携・協働の可能中国と韓国を例として」『日本語・日本文化研究』第27号、京都外国語大学留学生別科、pp.11-22.
- 中川良雄・長濱拓磨・石井香織 (2011) 「教室文化の多様化と『いい授業』観——韓国の日本語学習者が考える『いい授業』」『日本語教育』第55巻、韓国日本語教育学会、pp.13-23.
- 中川良雄・王尤 (2018) 「中国人日本語学習者が求める母語話者／非母語話者教師の資質・能力」『日本語文化研究』第五輯 (下)、延边大学出版社、pp.59-66.
- 号、京都外国語大学、pp.49-60.
- 縫部議憲・渡邊倫子 (2006) 「学習者が求める日本語教師の行動特性の構成概念」『日本語教員養成における実戦能力の育成と教育実習の理念に関する調査研究』(平成16年度～平成17年度科学研究費補助金基盤研究(B) 研究成果報告書、研究代表者：中川良雄)、pp.94-105.

韓国人・中国人日本語学習者における日本語の

「乗り物＋で/に乗って」の選択

杉村泰（名古屋大学）

1. はじめに

本発表は例(1)や例(2)のような日本語の「乗り物＋で」と「乗り物＋に乗って」の選択について、日本語母語話者（日本人）、韓国人日本語学習者（韓国人）、中国人日本語学習者（中国人）を比較したものである。

- (1) 私は毎日自転車 {で/に乗って} 学校に行きます。
- (2) 駅まで自転車 {で/に乗って} 15分ぐらいです。

2. 先行研究

杉村（2021, 2022a, 2022b）では、中国語の“{坐/骑/乘/开}＋乗り物”は日本語で「乗り物で」に訳される場合と「乗り物に乗って」に訳される場合とがあることを指摘し、日常の通勤や通学の場合は「で」が使われやすく、特殊な移動の場合には「に乗って」が使われやすいことなどを指摘した。次に、杉村（2023）では日本人と中国人日本語学習者（初級、上級）を比較して、上級になれば大方日本人の選択率に近づくが、「家出した」のような非日常的なことを表す場合や、「宇宙人が円盤（ ）人間をさらっていった」のように乗り物を移動手段以外の道具として使う場合は、上級になっても日本人の選択率に近づかないことを指摘した。これらの研究に引き続き、本稿では日本人、韓国人、中国人の違いについて論じる。

3. 調査の概要

杉村（2022a）で行った「で」と「に乗って」の選択テストの形式を利用する。問

題は後の図 1～22 に示す 22 問である。

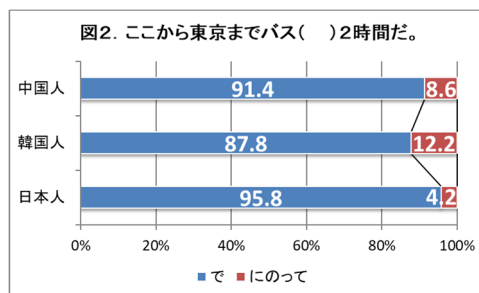
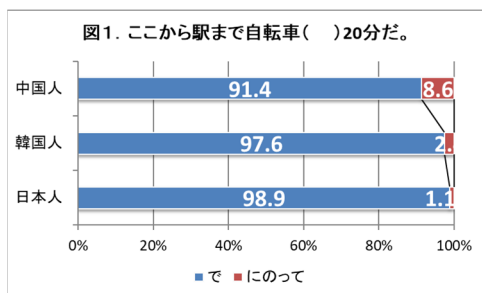
〔被験者と調査時期〕

- ・日本語母語話者（日本人）：名古屋大学の学生95人
(2021年10月5日調査)
- ・韓国語を母語とする日本語学習者（韓国人）：慶尚大学校の学生41人
(1～4年生：N1合格7人、N2合格12人、N3合格6人、無級16人)
(2022年11月9～16日調査)
- ・中国語を母語とする日本語学習者（中国人）：N1合格者35人
(2022年3月14～19日調査)

4. 調査結果

4.1 所要時間を表す場合

図 1、図 2 のように、日本人はほぼ全員が「で」を選択している。韓国人と中国人も約 9 割が「で」を選択している。

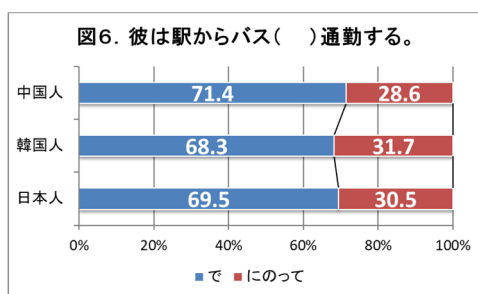
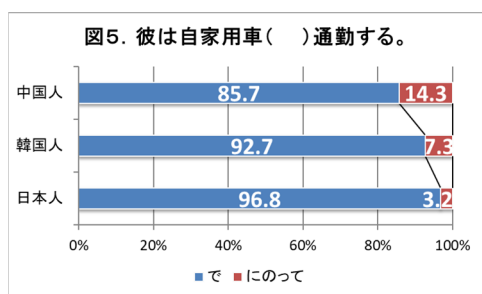
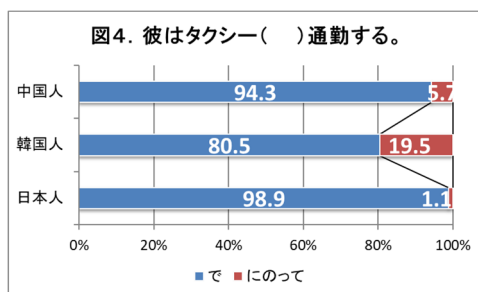
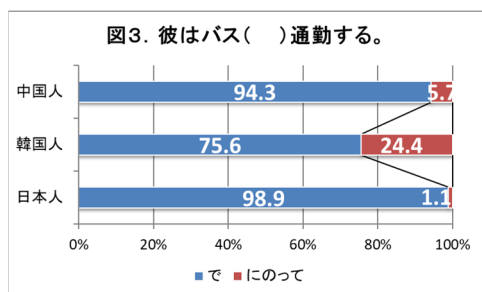


4.2 通勤・通学の場合

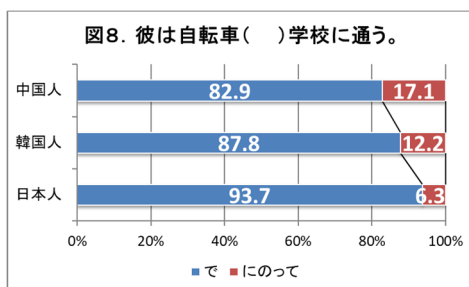
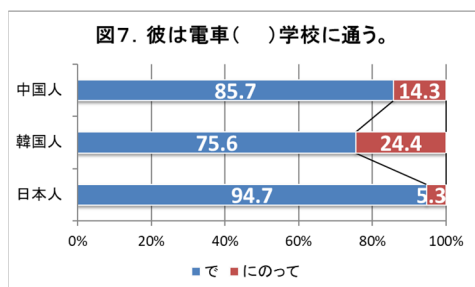
図 3～図 5 は通勤の場合である。この場合、日本人はほぼ全員「で」を選択している。これに対し、韓国人はバスやタクシーのように客として乗る場合は約 2 割が「に乗って」を選択しており、自家用車のように自分で運転する場合よりも「に乗って」の選択率が高くなっている。しかし、中国人は韓国人ほどその差は大きくない。

一方、図 6 のように家から駅までと駅から職場までを別の交通手段で移動する

場合は、日本人、韓国人、中国人とも「に乗って」の選択率が約 3 割に上がっている。これは別の交通手段に乗り換えるというイメージが強くなるためであると考えられる。



次の図 7、図 8 は通学の場合である。この場合も日本人のほぼ全員が「で」を選択している。また、韓国人は電車のように客として乗る場合は約 2 割が「に乗って」を選択しており、自転車のように自分で運転する場合よりも「に乗って」の選択率が高くなっている。しかし、中国人は韓国人ほどその差は大きくない。



4.3 特殊な乗り物の場合

図 9、図 10 は上の図 7、図 8 と同じ通学の場合である。しかし、電車や自転車の

ような通常の交通手段ではなく、馬や象といった日本人にとっては特殊な交通手段の場合である。この場合、日本人の「で」の選択率は約3～4割と低くなり、「に乗って」の選択率が約6～7割と高くなっている。特殊な乗り物の場合、わざわざそれに乗り込むというイメージが強くなるため、「に乗って」の選択率が高くなると思われる。この場合、韓国人や中国人も日本人と似た選択になる。

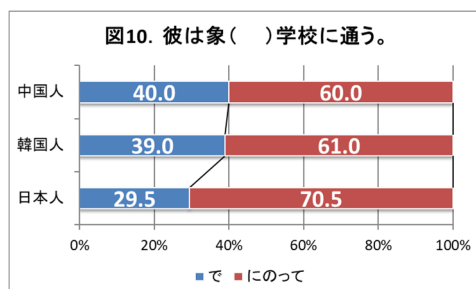
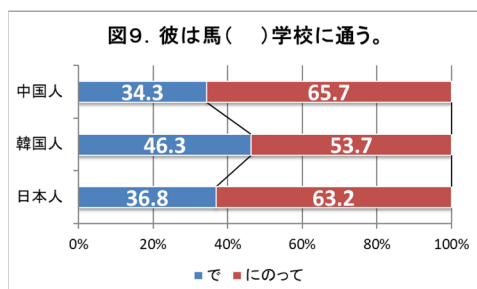
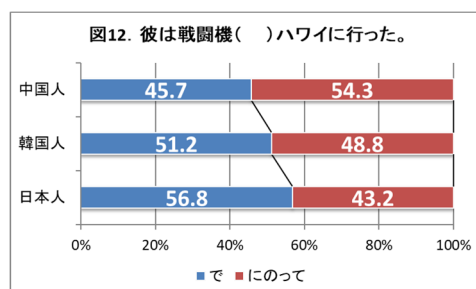
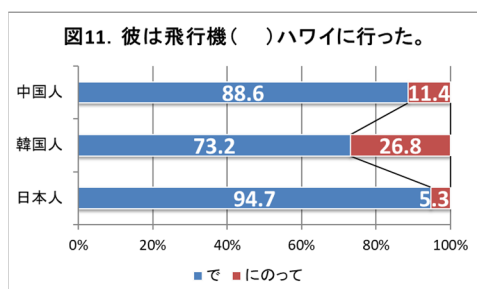


図11は一般的な飛行機であるのに対し、図12は戦闘機であるという違いがある。この場合、日本人も中国人も韓国人も、特殊な乗り物である戦闘機の場合の方が「に乗って」の選択率が高くなる。ただし、韓国人は飛行機の場合でも日本人や中国人に比べて「に乗って」の選択率が高くなっている。これは飛行機の場合も、バスや電車と同様に客として乗ることが関係していると考えられる。



4.4 特殊な移動の場合

図13～図16のように、日本人も中国人も韓国人も通学のような日常的な移動よりも臨時的な移動の場合の方が「に乗って」の選択率が高くなる。この場合も韓国人が、日本人や中国人に比べて「に乗って」を選択しやすい傾向がある(図16は例外)。

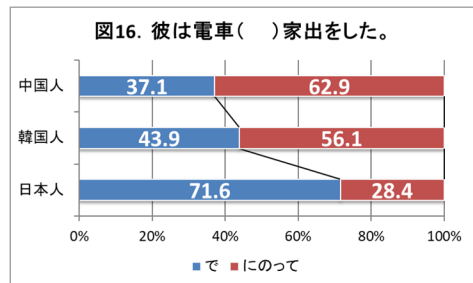
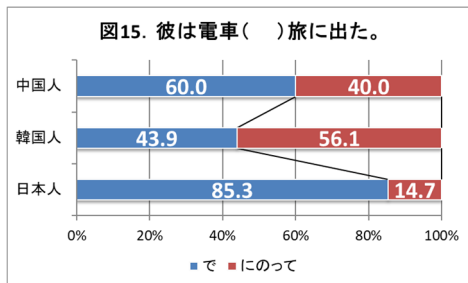
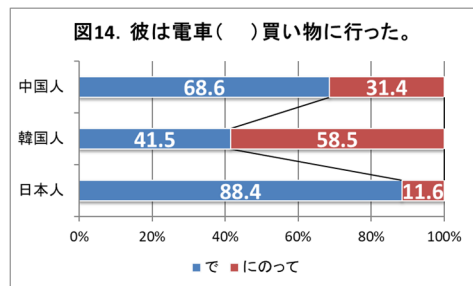
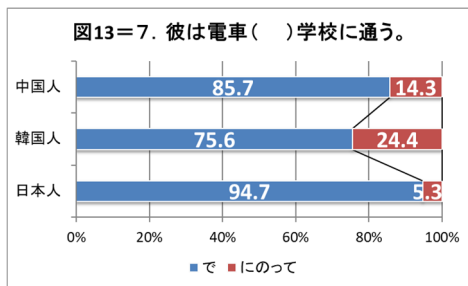
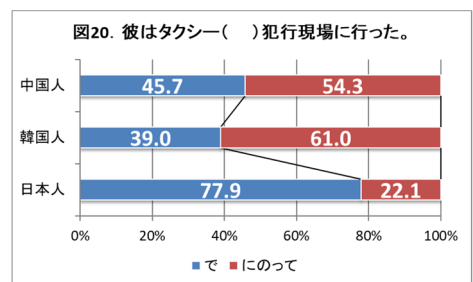
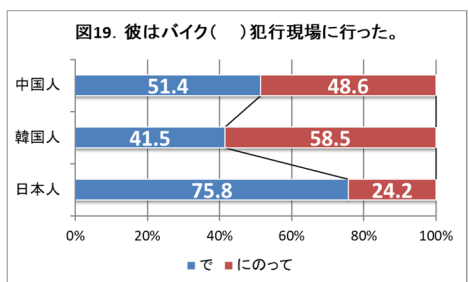
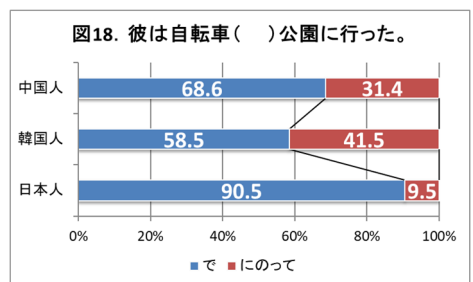
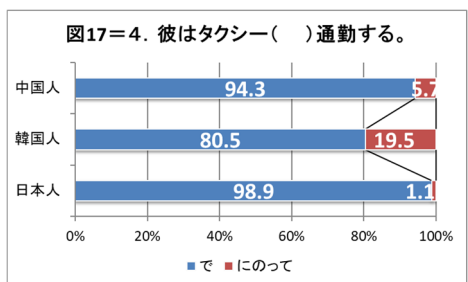


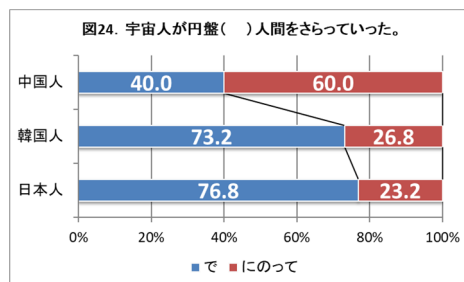
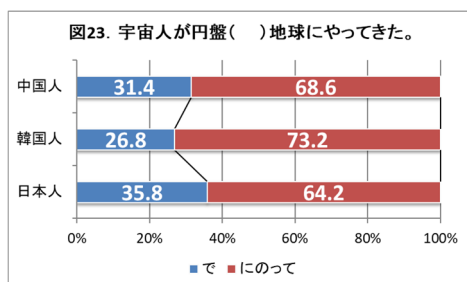
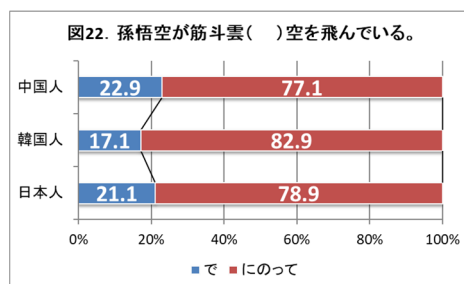
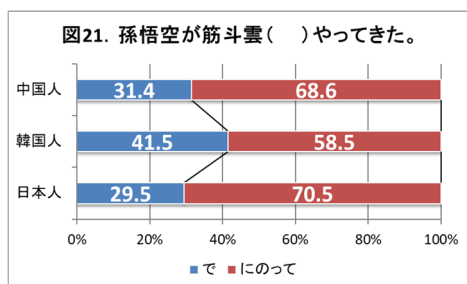
図17～図20も移動目的の違いを比べたものである。この場合も日本人、韓国人、中国人のいずれもは通勤、公園への移動、犯行現場への移動というように日常性が薄れるほど「に乗って」の選択率が高くなっている。ただし、中国人と韓国人は日本人に比べて「に乗って」の過剰使用が目立つ。



4.5 道具のイメージの場合

最後に、乗り物に道具のイメージがある場合について見る。乗り物も道具といえは道具であるが、ここでいう道具というのは移動手段以外の用途として使う場合を指す。図 21～図 24 はいずれも筋斗雲や円盤といった特殊な乗り物の場合である。そのため、図 21～図 23 において日本人は「で」より「に乗って」の選択率の方が高くなっている。しかし、同じ特殊な乗り物の場合でも、図 24 の場合は日本人の「で」の選択率が 76.8%と他の 3 つに比べて高くなっている。これは文末の述語が図 21～図 23 では「やってくる」、「空を飛ぶ」のように移動を表す表現であるのに対し、図 24 では「人間をさらう」のように取得を表すことに焦点を当てた表現であるためであると考えられる。この場合、円盤は単なる移動手段ではなく、誘拐の道具として使われているため、具格の「で」が選択されやすくなると考えられる。

この場合、韓国人の選択率は図 21～図 24 とともに日本人に近いものとなっている。しかし、中国人の選択率は図 21～図 23 は日本人に近いものの、図 24 では「に乗って」の選択率が 60.0%とかなり高くなっている。このことから、中国人は乗り物と一般の道具の違いをあまり意識していないことが窺われる。



5. おわりに

本発表では、日本語の「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」の選択について、日本人、韓国韓国人、中国人の違いについて見た。その結果、韓国人はバスや電車のように客として乗る乗り物の場合に「に乗って」の選択率が日本人や中国人より高くなることなどを指摘した。

引用文献

- 杉村泰（2021）「「坐、騎、乗、開」の日本語訳について」『中文日訳の基礎的研究』三，日中言語文化出版社，pp.40-48
- 杉村泰（2022a）「日本語の「[乗り物] で」と「[乗り物] に乗って」の選択について」『東アジア日本学研究』第7号，東アジア日本学研究学会，pp.43-50
- 杉村泰（2022b）「關於漢語“坐+車”，“開+車”的日譯」『第二屆名古屋大學／屏東大學文學交流暨論文發表會論文集』，名古屋大學人文學研究科・國立屏東大學中國語文學系，pp.3-10
- 杉村泰（2023）「中国人日本語学習者における日本語の「乗り物+で」と「乗り物+に乗って」の選択」『名古屋大学人文学研究論集』第6号，名古屋大学人文学研究科，pp.23-39

日韓両言語に対する英語からの影響の測定比較

今村圭介（東京海洋大学）

李賢貞・孫美貞・李承民・李舜炯（慶北大学校）

1. はじめに

英語は現在、多くの地域でリンガフランカになっているだけでなく、世界の言語の語彙供給言語となっている。英語からの借用の増加がグローバルな現象となっており、諸言語における英語による言語変化を解明するための研究が行われている。日本語においては特に、外来語研究として従来から高い関心を集め、多くの研究が行われてきた。一方で、それらの外来語研究は、個別言語のみに着目した研究がほとんどであり、グローバルレベルの英語の影響として分析されることがほとんどなかった。

その様な中で、多言語比較研究を促進するために、英語借用のデータベース作成を行うプロジェクト Global Anglicism Database (以下、GLAD)が始まった。国際的に統一された基準の下でデータベースが作成され、多言語比較研究がさらに展開されることが期待される。筆者は、GLAD データベースの日本語および韓国語のデータ作成を担当し、多言語比較のための基礎を作ってきた。本研究は GLAD データベースを用いて、日韓両言語に対する英語からの影響の測定比較を行う。

2. 理論背景

2.1 GLAD データベース

GLAD データベースは英語からの借用語 (Anglicism) の多言語比較を行うために始まったプロジェクトである。その詳細は今村 (2023 予定) に示すため、ここでは本研究に関連のある部分を述べる。日本語と韓国語のデータベースは主に既存の辞書資料を元に、専門用語、固有名詞を除く、英語からの借用語を収録している。作成に使用した資料は下のリストの通りである。リストからわかるように、日本語においては、借用語辞書を多く利用している。そのため、使用頻度が低い単語が韓国語に比べて多く収録される結果になっている。

日本語：『外来語辞典』（1968）東京堂出版、『カタカナ語の辞典』（1990）小学館、『コンサイスカ タカナ語辞典』（1998）三省堂、『カタカナ新語辞典』（2016）学研プラス、『カタカナ外来語略語辞典』（2013）自由国民社、『日本国語大辞典』（2003）小学館
 韓国語：『표준국어대사전』（1999 年） 및 온라인 사전、『고려대한국어대사전』（2009 年） 및 온라인 사전、우리말샘：온라인 사전(2016 年~)、『외래어와 외국어 표현 3300』（2012 年）

また、GLAD データベースの品詞分類は、名詞(noun)、動詞(verb)、形容詞(adjective)、副詞(adverb)、感嘆詞(interjection)、その他(other)の 6 つに設定されている。動詞、形容詞、副詞は日本語においては、英語借用語で「する」「な」「に」が付く可能性があるものを収録している。作成者の感覚で判断するのではなく、実際の用例が確かめられるものを収録するため、名詞として収録された語の全てに「する」「な」「に」をつけて Google 検索をし、複数の用例が確かめられたものを全て収録した。そのため、使用があまり一般的でない語も多く含まれている（例：「メロディアスな」、「ランディングする」。一方で、韓国語においての動詞、形容詞、副詞の収録は、辞書に掲載されている語を主に対象にし、一部。日常でその使用が確認できるのも追加している（例：「다운받다(daun-batta)」 「리셋하다(riset-hada)」など）。動詞は接辞「-하다:-hada」「-치다:-chida」「-받다:-batta」などと結合した語が含まれている。形容詞も「-하다:-hada」と結合したものが大多数である。

2.2 借用の多言語比較

借用の多言語比較には Haspelmath & Tadmor (2009) や Rosenhouse & Kowner (2008)、今村他(2023)などが挙げられる。Haspelmath & Tadmor (2009) は 41 の言語における 1000~2000 語の基礎語彙における借用を比較し、各言語における借用の起こりやすさや、借用されやすい品詞、借用されやすい意味分野などを比較分析している。Rosenhouse & Kowner (2008) は 12 の言語における英語からの借用の特徴をまとめ、その違いの形成背景を考察している。また、今村他 (2023) はミクロネシアの 8 言語における日本語からの借用語の数を比較し、その違いを生む背景を考察している。また、さまざまな言語における、借用を含む言語接触による言語変化を比較し、その違いを論じる研究も行われている (Thomason & Kaufman 1988, Thomason 2001 など)。

2.3 影響の大きさの測定

本研究では、これまでの上記のようなこれまでの研究の知見を元に、韓国語と日本語における英語からの影響の大きさを測定・比較することを試みる。影響の大きさの測定は多くの試みが行われていないため、本研究の理論的な背景について述べておきたい。本研究で比較するのは、品詞別の借用語数、接辞の借用数、基礎語彙における借用数、音韻の影響である。

まず、影響の大きさは当然借用語の数に影響する。借用の起こりやすさには、品詞別に階層が存在するため、品詞別の数を比較することは影響の大きさを計る。Matras (2007) による階層は、例えばある言語で形容詞の借用が起これば、動詞の借用も起こるといった含意尺度ではなく、あくまでも「カテゴリー別の借用の起こりやすさ」を示している。一方で、借用の起こりにくいカテゴリーで借用の数が多ければ、それだけ借用が進んでいるということは、確実に言えるだろう。その意味で Matras の階層に基づき、品詞等別の借用数を整理していくことは、英語の影響の大きさを測る上で大きな指標となる。

表 1 Matras (2007)による借用のされやすさの階層

nouns, conjunctions(名詞、接続詞) > verbs(動詞) > discourse markers(ディスコースマーカー) > adjectives(形容詞) > interjections(感嘆詞) > adverbs(副詞) > other particles, adpositions(接頭辞、接置詞) > numerals(数詞) > pronouns(代名詞) > derivational affixes(派生接辞) > inflectional affixes(活用接辞)

また、日本語、韓国語の両言語には、英語から多くの接辞が借用されている。借用されている接辞は全て、Matras(2007)の階層では derivational Affixes (派生接辞) に該当し、最も借用されにくいカテゴリーであるとされる。同様に Thomason & Kaufman (1988)、Thomason (2001)は借用の尺度 (Borrowing Scales) として、言語接触の異なる段階で、どのような借用が起こるか、段階を提示しており、4 段階のうち 3 段階目 (More Intense Contact) で派生接辞の借用が起こるとしている。つまり、このような派生接辞の借用がどの程度起こっているかを比較することが、各言語における英語借用がどの段階にあるかを明らかにする上で有益であろう。

さらに、基礎語彙の借用の比較には、Swadesh List (スワデシュ・リスト) を用いる。Swadesh list は、文化差に依存せず言語に共通して存在する基礎語彙のリストである。100 語のリストと 207 語のリストが存在するが、本研究では 207 語のリス

トを使用する。このリストは作成者(Swadesh)自身の経験や直感によって作成されたものであるが、Haspelmath & Tadmor (2009)によって、リストのほとんどの語が借用されにくい概念であるということが確かめられている。

加えて、言語接触における音韻的影響はThomason & Kaufman (1988)、Thomason (2001)によって言語接触の大きさの一つの指標として指摘されている。元々存在しなかった音素の実現は言語接触の第2段階 (Slightly More Intense Contact) で起こるとされている。

以上の比較を行う4つの指標は、言語接触における影響の強さを測る上での絶対的な尺度ではなく、あくまでも一つの指標にすぎない。一方で、複数の指標を組み合わせることによって、より客観的に英語の影響の大きさを測ることができると考えられる。

3. 日韓両言語における英語からの影響

日韓両言語の比較を行うに当たって、それぞれの言語が英語から受けた影響の歴史を簡単に比較していきたい。

3.1 日本語における英語からの影響

日本語の英語からの影響は1868年の明治維新による開国とともに始まったと考えられる。その後の文明開化とともに、アメリカ・イギリスの文化的な影響が強まるとともに、英語の影響が大きくなった。大正時代から昭和初期にかけての外来語の著しい増加とともに、外来語辞典が多く刊行された(石綿 2001)。石綿(2001)の記述にも見られるように、この時期からすでに、外来語は特に英語からの語が多かった。戦中に英語借用語の使用が禁じられることなどがあったが、終戦とGHQによる占領により再び影響が強まった。橋本(2015)の新聞の調査から、戦後から20世紀後半にかけて急速に英語からの借用語の使用が増加したことがわかっている。また、橋本(2015)は、1970年代から急速に抽象語が定着し始めたことを指摘している。Schering(2012)の辞書の収録語数の比較を見ると、外来語の数自体の増加は戦前にすでに起こっており、この時期に英語借用語の使用の土台が作られていたと考えられる。

3.2 韓国語における英語からの影響

韓国語の英語からの影響は一般的に甲午更張(1894)という開化期であると言われている。鎖国から開国が始まる甲午更張の時期から日本を経由した西洋文物や外来語の借用が本格的になり英語からの影響が目立つようになったと言えよう。その後、1910年から日本の統治時期の元では、日本語はもちろん、西洋の外来語を日本語式の発音で受容されることが増加することになった。

その後、1950年韓国戦争を経てから、本格的に英語が韓国語に受容された1960年代半ばごろから「英語公用化」の論争が起きている現代に至るまで、語彙、形態、統語、意味、談話、音声・音韻などで幅広い影響が指摘されている(정연창 외(2005))。コーパス調査のテキストの中での英語使用の割合は、英語語節数は1970年代1.532%、1980年代1.703%、1990年代1.923%と漸進的に増加しつつあり、このような傾向は時代による英語に対する韓国語と韓国文化の開放度を反映した自然な結果であると指摘されている(정연창 외 2005)。

3.3 両言語の共通点および相違点

英語からの借用語の受容の歴史は、韓国語より日本語の方が長く、英語から大きな影響を受けた時期は韓国語の方が遅かったと言える。一方で、英語公用化論争に見られるように、英語が受容される程度については、日本より韓国において高い可能性も指摘できる。

4. 借用のされやすさの階層に基づく比較

4.1 GLAD データベースにみる比較

表2は、GLAD データベースの日韓両言語の、英語からの借用語を品詞別に示したものである。前述のように GLAD データベースは、それぞれの言語のデータ作成に用いたリソースの違いにより、これらの違いが形成された可能性が高い。外来語辞典は、見慣れない、意味の分かりにくい外来語の理解を助けるという目的から、一般的な辞書に収録される語彙よりも遥に多くの外来語が収録されるためである。また、日本語は、動詞と形容詞、副詞も名詞に「する」「な」「に」が付いた用例が見つかったものを全て収録しており、その結果として大きな語彙数の違いが出ている。そのため、参考のために、母語話者(今村)の感覚で、一般的に使用されると考えられる語

を選定して、その数を括弧で示してある。結果を比較すると、日本語における借用数を一般的なものに絞った場合でも、その数は韓国語よりも遥に多いことがわかる。

表 2 GLAD データベースに見る日本語、韓国語における英語からの借用語数

日本語	韓国語
名詞 15018 形容詞 499(132) 動詞 546(191) 副詞 54(10) 感嘆詞 14	名詞 4136 形容詞 66 動詞 99 副詞 1 感嘆詞 16

4.2 接辞の借用

何を接辞とするかは意見が分かれると考えられるため、ここでは Oxford English Dictionary (OED) の記述において”affix”とされているものを取り上げている。英語から借用された接辞のリストは表 3 のとおりである。各言語のみでしか借用されていないものに下線を引いている。多くの接辞が両言語で借用されており、各言語のみでしか借用されていないものは非常に少ない。また、借用されている接辞の数は日本語が 21、韓国語が 20 で、こちらもほぼ変わらないことがわかる。つまり、接辞の借用からではほぼ日本語と韓国語で英語からの影響に差が見られないと言える。なお、紙幅の関係上、これらの接辞を含む複合語の例の比較は発表時の資料で提示する。

表 3 日本語、韓国語における英語からの接辞の借用数

日本語	韓国語
-er, -ic, <u>-y</u> , -ist, -ism, <u>-less</u> , non-, anti-, ultra-, semi-, pre-, post-, super-, hyper-, mega-, micro-, multi-, mini-, self-, <u>-like</u> , <u>-free</u> ,	-er, -ic, -ist, -ism, non-, anti-, ultra-, semi-, pre-, post-, super-, hyper-, mega-, micro-, multi-, mini-, self-, -like, <u>over</u> , <u>ex</u> -, <u>-ness</u>

5. Swadesh list を利用した比較

表 4 は Swadesh List に含まれる語について、日韓両言語で英語からの借用が見られるものをリストにしたものである。なお、リストの作成は、既存の資料をもとに作成した GLAD データベースでは漏れている場合もあるため、発表者の内省も含めて、作成した。太字は単独でも使われる語で、非太字は複合語のみで使われる語である。各言語のみでしか借用されていないものに下線を引いている。単独で使用される語は、日本語が 19 語、韓国語が 15 語で、複合語で使用される語は、日本語が 94 語

で、韓国語は 86 語である。大きな違いは見られないものの日本語の方に借用の数が若干多い結果となっている。

表 4 日本語、韓国語における Swadesh List の語に関連する英語からの借用数

日本語	韓国語
all, one, two, three, big, long, wide, heavy , small, short, <u>narrow</u> , woman, man(male), man (human), wife, husband, mother, <u>animal</u> , fish, <u>bird</u> , <u>dog</u> , <u>snake</u> , tree, stick, fruit , flower, rope, skin, meat, bone, <u>fat</u> , egg, hair, head, ear, eye, nose, <u>tongue</u> , leg, foot, knee, hand, neck, back, <u>heart</u> , <u>lever</u> , <u>fight</u> , hunt, cut, <u>turn</u> , <u>give</u> , hold , push, count, play, sun, <u>moon</u> , water, <u>rain</u> , river, sea, salt, <u>stone</u> , sand, dust, fog, sky, wind, snow, ice, smoke, road, mountain, red, green, yellow, white, black, night, day, <u>year</u> , warm, full, new old, good, dirty, straight, round, sharp, smooth, <u>wet</u> , dry, name	<u>me</u> , <u>you</u> , <u>not</u> , all, one, two, three, big, long, wide, heavy , small, short, <u>thin</u> , woman, man(male), man (human), wife, husband, mother, fish, tree, stick, fruit, seed, flower, rope, skin, meat, bone, egg, hair, head, ear, eye, nose, foot, knee, hand, neck, back, die , <u>kill</u> , hunt, hit, cut, scratch , turn, push, count, play, sun, water, sea, salt, sand, dust, fog, sky, wind, snow, ice, smoke, <u>ash</u> , road, mountain, red, green, yellow, white, black, night, day, warm, full, new old, good, dirty, straight, round, sharp, smooth dry, with, name

6. 音韻的な影響の比較

次に音韻的な影響も比較を行う。日本語に関しては、新たに導入された音素はなく、新たな音素配列規則の作成が主な点である。/v/は表記としては/b/と分けられることがあるが(「ヴ」と「ブ」)、実際の発音は[b]となる。新たな音素配列規則の実現としては、「フィルム」(film)や「デュース」(duce)に見るように/f/, /t/, /d/の後に/i/, /u/が来る例、また/sh/, /ch/の後に/e/が来る例が見られる。一方で、韓国語では元々韓国語に存在しなかった/v/, /f/の使用が見られる。例えば、커피(coffee)、폰트(font)、포맷(format)、비디오(video)などである。また、新たな音素配列規則の実現として、韓国語は頭音に音素‘ㄹ’を許容しない(頭音法則)が、英語からの借用語はこれが影響しない。たとえば, 로타리(rotary)、로테오(roulette)、레귤러-커피(regular coffee)、루비(ruby)などである。さらに、これらの/r/は英語の発音に近接した音[ɹ]で発音される。

表 5 日本語、韓国語における英語からの新たな音韻規則の受容

日本語	韓国語
・新たな音素の使用：なし ・新たな音素配列規則の実現：/fi/, /fe/, /fo/ /ti/, /di/, /tu/, /du/, /she/, /che/	・韓国語の音素体系に存在しない/f/または/v/の使用。 ・/r/の語頭での使用。また、英語の/r/に近接した音で発音。

7. 総合的考察

以上の考察は次のようにまとめられる。a)借用語数では日本語が韓国語を大きく上回る。b)音韻的な影響では韓国語の方が英語から強く影響を受けている。c)接辞や基礎語彙の借用には大きな違いが見られない。つまり、日韓両言語に対する英語からの影響の強さは、同程度か日本語の方に若干強いことが指摘できるが、明確な違いは示されなかった。借用語数の違いは、英語からの影響を受けた期間の違いの影響が指摘でき、音韻的な影響の違いは、それぞれの言語話者の間での英語の受容の違いが現れていると考えられた。

また、両言語の英語からの影響の受け方は特徴的であり、これまで議論されてきた言語接触による言語変化の理論とは合致しない様子も見られた。接辞の借用は非常に起こりにくいとされてきた一方で、日本語と韓国語には多くの借用が認められる。英語話者との直接的な接触よりも、何らかの媒体を通した間接的な接触が多いという、特異な言語接触の結果を表しているかもしれない。今後、比較対象を増やすことでさらなる考察をするべき課題である。

引用文献

- Haspelmath, M., & Tadmor, U. (eds.) (2009). *Loanwords in the Worlds Languages: A comparative handbook*. Berlin: Walter de Gruyter.
- Gottlieb, H., Andersen, G., Busse, U., Manczak-Wohlfeld, E., Peterson, E., & Pulcini, V. (2018). Introducing and developing GLAD - The Global Anglicism Database Network. The ESSE Messenger, 27(2), 4-19. <https://essenglish.org/messenger/wp-content/uploads/sites/2/2018/12/27-2-W2018.pdf>.
- Matras, Y. (2007). The borrowability of grammatical categories. In Matras, Y. & Sakel, J.

- (eds.). *Grammatical borrowing in cross-linguistics perspective*. pp.31-74 Berlin: Mouton De Gruyter.
- Rosenhouse, J., & Kowner, R. (Eds.) (2008). *Globally speaking: motives for adopting English vocabulary in other languages*. Clevedon: Multilingual matters.
- Schering, J, (2012) *Japanizing English : Anglicisms and their impact on Japanese*. Tübingen: Narr
- Thomason, S. G. (2001).. *Language Contact*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Thomason, S. G., & Kaufman. T. (1988). *Language contact, creolization and genetic linguistics*. Berkeley: University of California Press.
- 李舜炯・高木丈也 (2021) 「韓国語・朝鮮語における日本語借用語」 今村圭介・ダニエル、ロング編『アジア・太平洋における日本語の過去と現在』ひつじ書房
- 石綿敏雄 (2001) 『外来語の総合的研究』東京堂出版
- 今村圭介 (2023 予定) 「GLAD データベースと外来語研究—英語借用語のオープンデータ作成と多言語比較研究への活用の可能性」『計量国語学』
- 今村 圭介・岩村 きらら・若森 大悟・宮崎 捷世・濱野 良安・範 静・沈 璐 (2023) 「ミクロネシア地域における日本語起源借用語の社会言語学的比較研究」『社会言語科学』25(2):40-55
- 橋本和佳 (2015) 『現代日本語における外来語の量的推移』ひつじ書房
- 정연창・이상도・김인택・김은일・조국형・김재윤・김수정(2005) 「영어가 한국어에 미친 언어문화적 영향에 대한 통시적 연구(A Diachronic Study of Linguistic-cultural Influence of English on Korean)」『새한영어영문학』47-1, pp.185-225, 새한영어영문학회

付記

本研究は JSPS 科研費 基盤研究(c) 20K00625 の助成を受けて行われたものである。

子どもを読み手に想定した言語景観に関する萌芽的研究

斎藤敬太（跡見学園女子大学）

1. はじめに

本研究では、日本国内にある子どもを読み手に想定した言語景観に見られる特徴について記したものである。これまで多くの言語景観研究が行われてきたが、そもそも言語景観の受け手（読み手）と送り手（書き手）に注目した研究は庄司(2009)、バックハウス(2011)の後は斎藤(2021)があるくらいであり見られない。しかしこれらの研究は日本人か外国人かという視点が中心である（斎藤 2021 では一部言及しているものの研究の中心ではない）。その他の言語景観研究についても読み手に注目した場合、日本人か外国人か、あるいは地元住民か観光客か、といった観点からのものがほとんどで、読み手に子どもを想定した言語景観の研究については管見の限り見られない。しかしながら、文字を学習した年齢の子どもたちにとって言語景観が重要な情報源であることは大人の日本人や外国人と同じである。そこで、本研究では子ども向けの言語景観を観察することで、子どもが読むことができるように書き手はどのような工夫を行っているのかを整理する。本研究で扱う言語景観は、主に子ども及びその家族が利用する施設である旭川市科学館サイパル（以下「サイパル」）と旭川市旭山動物園（以下「旭山動物園」）で撮影したものである。

2. 表記

まず、子ども向け言語景観に多く確認されたのは、表記の工夫である。表記の工夫には「漢字の不使用」「ふりがなの付加」「分かち書き」が見られた。

2.1 漢字の不使用

小さな子どもの場合、漢字が読めない可能性がある。そのため、極力漢字を使用しない言語景観が今回の調査では確認できた。図 1 はサイパルの壁に設置されたもので、とあるコーナーを利用する際に並ぶ場所を指し示したものである。「こちらにな

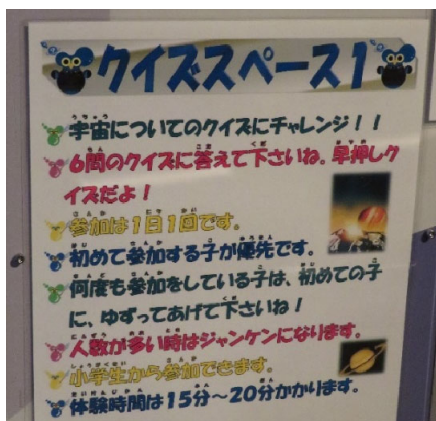
らんでください」と書かれてあり、漢字が一つも使用されていないことが分かる。



＜図 1＞ 漢字の不使用（サイパル）

2.2 ふりがなの付加

「漢字の不使用」とともに多く見られたのがふりがなを付加した言語景観である。全ての漢字を使用しない場合、通常の漢字仮名交じり文と比べて長くなってしまったり、語の切れ目が分かりにくくなったりする問題が起こる。そのためか、通常の漢字仮名交じり文にふりがなを振ったものも多く見られた。図 2 はサイパルのクイズコーナーに設置されたもので、通常の漢字仮名交じり文で書かれているが、漢字部分全てにふりがなが振られている。クイズコーナーは知識を問う場であるため、少なくともある程度漢字に触れ始める年齢以上の子どもが想定されるためにこの表記を選択できたとも考えられる。



＜図2＞ ふりがなの付加（サイパル）

2.3 分かち書き

これまでの 2 つと比べると圧倒的に少ないが、分かち書きをしたものもあった。分かち書きをすることで「漢字の不使用」の際に語の切れ目が分かりにくいという問題の解決が図れる。図 3 は旭山動物園のホッキョクグマの柵の前の手すりに貼られていたもので、「たべもの や ものを なげいれないでね！」と全てひらがなの文が分かち書きされている。



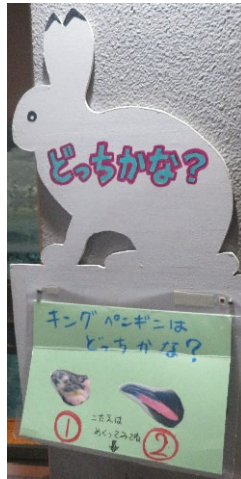
<図 3> ふりがなの付加 (旭山動物園)

3. 文体・文型

また、子どもが親しみを持つように文体や文型にも工夫が見られた。

3.1 普通体の使用

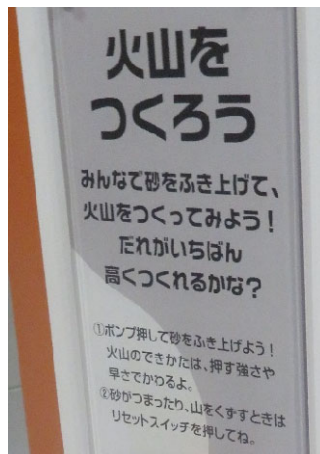
子どもに対して話しかける際、丁寧体ではなく普通体で話すという場面を見ることがある。言語景観においても、子どもに向けた場合に普通体で書かれたものが目立つ。図 4 は旭山動物園のペンギン館にあったもので、「どっちかな?」「キングペンギンはどっちかな?」「こたえはめくってみてね」と簡単なクイズを出している。丁寧な言い方よりもこちらの方が子どもには親しみやすく、いわゆるスピーチ・アコモデーションの下向きコンバージェンスを行っている。



<図 4> ふりがなの付加（旭山動物園）

3.2 「～（よ）う」「～てみる」の使用

体験コーナーでは特に勧誘「～（よ）う」や、「～てみる」あるいは両方を組み合わせた「～てみよう」などが多く見られた。図 5 はサイパルにある火山のでき方を体験するコーナーにある言語景観で、「火山をつくろう」「みんなで砂をふき上げて、火山をつくってみよう！」「ポンプ押して砂をふき上げよう！」と書かれており、「～（よ）う」や「～てみる」が使用されていることが分かる。



<図 5> 「～（よ）う」「～てみる」の使用（サイパル）

4. 表現・内容

用いられる表現や内容にも子どもが読みやすくなるような工夫が確認できた。

4.1 口語的表現の使用

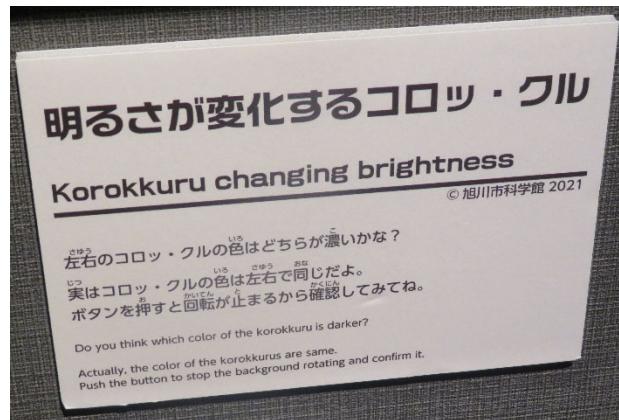
言語景観は文字で書かれたものであるが、子どもを読み手に想定したものは話しことばに近いものになることがある。3.1の「普通体の使用」もそうであるが、より口語的な表現を用いたものも見られる。図6は旭山動物園で飼育されているホッキョクグマの解説が書かれたものであるが、「ホッキョクグマが出産するのは冬。だからたんじょう日がみんな近いでしょ？」と書かれており、「だから」「みんな」「でしょ」のようにより口語的な表現が用いられている。



＜図6＞ 口語的表現の使用（旭山動物園）

4.2 終助詞「～よ」「～ね」の使用

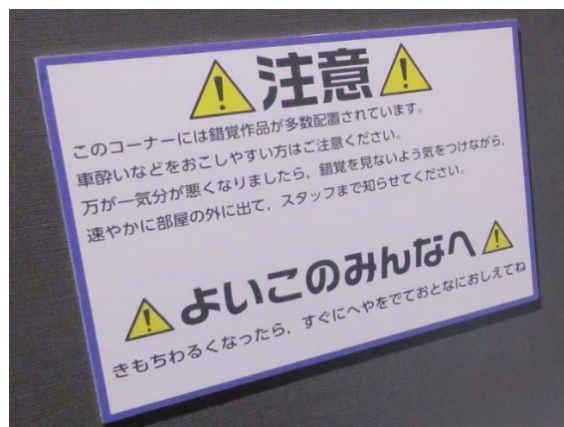
終助詞「～よ」「～ね」が多く用いられているのも子ども向け言語景観の特徴の一つといえる。図7はサイパルにある錯覚の作品の展示コーナーにある解説だが、「実はコロッ・クルの色は左右で同じだよ」「ボタンを押すと回転が止まるから確認してみてね」と「～よ」「～ね」が用いられている。なお、コロッ・クルはサイパルのキャラクターで、この作品に描かれている。このような「～よ」「～ね」を用いたものは他の子ども向け言語景観にも多く見られた。



＜図 7＞ 終助詞「～よ」「～ね」の使用（サイパル）

4.3 内容の単純化

大人には複雑な内容を伝えた場合でも、その内容を子どもには単純化して伝えることがあるが、子ども向け言語景観にも同じ現象が見られた。図 8 はサイパルにある錯覚の作品の展示コーナーにある注意書きであるが、上に大人に向けた内容、下に子どもに向けた内容が書かれている。上での複雑な内容に比べ、下では「よいこのみんなへ」「きもちわるくなったら、すぐにへやをでておとなにおしえてね」とかなり単純化していることが分かる。体調に関わることであるため緊急度が高く、そのため一番重要な内容だけに絞った上で子ども向けに文体や表現を書き換えたと考えられる。



＜図 8＞ 内容の単純化（サイパル）

5. おわりに

以上から、子供を読み手に想定した言語景観には次の特徴が明らかとなった。

- I. 表記・・・・・・・・Ia. 漢字の不使用 Ib. ふりがなの付加 Ic. 分かち書き
- II. 文体・文型・・・・IIa. 普通体の使用 IIb. 「～（よ）う」「～てみる」の使用
- III. 内容・表現・・・・IIIa. 口語的表現の使用 IIIb. 終助詞「～よ」「～ね」の使用 IIIc. 内容の単純化

本研究で扱った言語景観は限られた場所・枚数であったため、今後更なるデータ収集と分析を行う必要がある。

引用文献

- 斎藤敬太(2021)「言語景観の受け手と送り手―在日外国人に注目して―」『韓国日本語學會第43・44回國際學術發表大會』、漢陽サイバー大学、韓国ソウル特別市（オンライン）
- 庄司博史(2009)「多言語化と言語景観―言語景観からなにがみえるか―」庄司博史、P・バックハウス、F・クルマス編『日本の言語景観』三元社
- バックハウス、ペート(2011)「言語景観から読み解く日本の多言語化―東京を事例に―」内山純蔵監修、中井精一、ダニエル・ロング編『世界の言語景観 日本の言語景観―景色のなかのことば―』、桂書房

大規模実時間データ分析から見てくること

言語変化のより複雑なプロセス解明に向けて

久屋愛実（立命館大学）

1. はじめに

本研究¹の目的は、言語変化のより複雑なプロセス解明に向けて、日本語の大規模実時間調査の結果を変異研究の視点から再検討することである。変異研究においては、見かけ時間（*apparent time*）と実時間（*real time*）の2つのアプローチが存在する。見かけ時間は言語変化の予測に役立つものであるが、限界点も有するため、実時間的アプローチによって補完されることが望ましい。日本語の代表的な大規模実時間調査としては、国立国語研究所の鶴岡調査・岡崎調査や、文化庁の「国語に関する世論調査」など、ランダムサンプリングに基づくものがいくつか存在する。これらの調査の結果は、単純に見かけ時間のみから変化を予測する従来の変異研究の段階を脱し、変化のより複雑なプロセスの解明を実時間データに基づいて行うべき段階に来ていることを示唆する。

本稿では、上記大規模実時間データを分析した先行研究を概観することにより、見かけ時間だけでは変化の速度や方向を正確に予測することができない事例もあることを示し、予測精度向上のためには実時間データに基づき個人の生涯変化の有無を検証する必要があることを述べる。さらに、発展的課題として、実時間データの分析において留意すべき点についても考察する。

2. 変異研究からみた大規模実時間データの有用性

見かけ時間によるアプローチは、ある一時点で言語変異形の分布に「世代差」が観察された場合、それを「見かけ時間上の変化」とみなして共同体全体の言語変化の有

¹ 謝辞：本研究は、2022年度・2023年度国立国語研究所「共同利用型」研究プロジェクト「見かけ時間と実時間を統合的に活用する言語変異・変化の研究」（プロジェクトリーダー・久屋愛実）の研究成果である。

無・方向・速度などを予測する手法である。ここでの「世代」は言語形成期をどの時代に過ごしたかを示す。個人の言語体系が言語形成期以降変化しないという前提に基づいているため、共同体の言語変化は構成員の世代交代によりもたらされる (generational change) と想定される (Labov 1994)。このようにして、直接的には観察不可能であるとされてきた通時的変化を、共時的変異から予測することが可能となる。

しかしながら、個人の言語体系が言語形成期以降変化しないという大前提を覆す事例が指摘されている。例えば、個人が共同体で進行中の変化を言語形成期以降に取り入れる late adoption (Boberg 2004) が起こることがある。このような変化の類型は lifespan change (Sankoff 2005) と呼ばれ、個人の生涯変化を想定しない generational change とは区別される。進行中の変化に個人の生涯変化が加わることで、共同体全体の変化が加速されるので、実際の変化は見かけ時間による予測よりも早く進行する。つまり、精度の高い言語変化予測を行うためには、見かけ時間上の差 (世代差) だけではなく、個人の生涯変化の有無を考慮に入れる必要がある。日本語研究においては、後述するいくつかの大規模実時間調査を通して、個人の生涯変化の有無について検証が可能となってきた。

3. 個人の生涯変化に関する先行研究

3.1 音韻・アクセント項目 (鶴岡調査)

山形県鶴岡市で 4 回にわたり実施された共通語化に関する実時間調査 (1950・1971・1991・2011 年) は、音韻・アクセントの共通語化の過程で起こる個人の生涯変化を捉えた。

江川 (1973) は、第 1～2 次調査のランダムサンプルを分析し、第 1 次調査 (1950 年) のとき 34 歳以下であった世代において言語形成期を過ぎてからの共通語音の習得があったと指摘した (国立国語研究所 2007: 22–23 も参照)。このことから、江川は音韻項目について「形成期の上限の延長」を検討する余地があると述べている。なお第 1 次調査で共通語化の頂点にいたのは 25～34 歳の層であるが、第 2 次調査 (1971 年) の時にはそれが最若年層 (15～19 歳) へと変化した。第 1 次調査で変化をリードしたのが最若年層ではなく 25～34 歳であったのは、共通語を必要とする社会的活動への参加度がこの年齢層において比較的高かったためと考えられている。

また、第 2 次調査で共通語化のトップが最若年層へと変化したのは、当時新たなメディアであるテレビが普及し、様々な年齢層で社会的活動以外の場でも言語刺激に接する機会が増大したためと江川は説明する。

横山・真田（2010）は、第 1～3 次調査のランダムサンプルを分析し、アクセントをはじめとする半数以上の項目において、個人が言語形成期以降に進行中の変化と同じ方向に変化（共通語化）した結果、実際の共通語化率が見かけ時間による予測を上回る「跳ね上がり」現象が起きていることを統計的に確かめた。その一方で、個人が進行中の変化とは「逆の」方向に変化（方言化）した結果、実際の共通語化率が見かけ時間による予測を下回る「引き戻し」の事例も音韻項目の一部（「エントツ」のエの狭母音化等）で確認された。これは前節で定義した *lifespan change* とは異なる変化の類型であるが、横山・真田はいずれの変化の類型についても、言語形成期以降の言語運用能力の変化が加齢効果と時代効果からなる「調査年効果」により説明されると述べた（「言語の生涯習得モデル」）。

横山ほか（2014）は、第 1～3 次調査のパネルサンプルのうち 3 回連続で調査に参加した鶴岡ネイティブ話者 38 名（男性 22 名・女性 16 名）を対象に生涯変化の有無を追跡した。その結果、音韻では生涯変化がみられないが、アクセントは同一話者の生涯にわたって共通語化の方向に進むことを示した。また、ここに非ネイティブ話者を含めると（53 名：男性 29 名・女性 24 名）音韻は方言化の方向に、アクセントは共通語化の方向に生涯変化が進むことが示唆された。

3.2 敬語関連項目（岡崎調査）

愛知県岡崎市で 3 回にわたり実施された敬語に関する実時間調査（1953・1972・2008 年）では、敬語関連項目においても生涯変化が起きていることが観察された。

横山・朝日・真田（2008）は、身内敬語について第 1・2 次調査のランダムサンプルを比較し、進行中の変化（身内敬語使用意識の低下）と同じ方向に個人の生涯変化が進行していることを示した。横山らは生涯変化の理由を、馴染みのない刺激に繰り返し接触することによりその刺激に対する選択率が高まる「単純接触効果」（*mere exposure effect*）の観点から説明を試みている。

井上・金・松田（2012）は、第 1～3 次調査のランダムサンプルから、共同体で進行中である受惠表現「ていただく」の増加の過程に、言語形成期以降に変化を採用する成人後採用（*late adoption*）が含まれていることを示した。なお、第 2・3 次調査

の結果から、社会的活躍層である 30～40 代（壮年層）が変化をリードしていることも明らかになり、日本語における敬語関連項目の習得が音韻項目等に比べ比較的遅いことが示唆された。この成人後採用のメカニズムについて、井上らは、「ていただく」が対人関係にかかわる現象であるため、社会的活躍層が「社会的な活動で耳にして気づいて意識的に（あるいは無意識にアコモデーション accommodation として）採用」した結果であると説明する。さらにパネルサンプル調査の結果からも、同一人物が加齢に伴い「ていただく」を多く使うようになったとの指摘がある（井上 2017）。

3.3 語彙項目（国語に関する世論調査など）

語彙項目については、久屋（2016）や Kuya（2019）が日本語語彙の外来語化（カタカナ語化・英語化）の観点から個人の生涯変化の解明を試みている。ただし、外来語に関する同一調査主体による体系的・長期的な大規模実時間調査は行われておらず、文化庁の「国語に関する世論調査」に代表されるランダムサンプリングに基づく個別の全国調査の結果を寄せ集めて考察するにとどまっている。

久屋（2016）は、「国語に関する世論調査」の結果から、外来語「ニーズ」の使用率が共同体全体で上昇したこと、さらに一部の世代（若年層）において言語形成期以降に当該語の採用が進んだことを示した。なお、この変化をリードするのは 30～40 代の社会的活躍層で、前述の共通語化の事例と同様に、当該語の使用を必要とする社会的活動への参加度の高さと関連が推察される。

Kuya（2019）は、文化庁・NHK・国立国語研究所がそれぞれに実施した外来語に関する複数の全国調査と『現代日本語書き言葉均衡コーパス』²を利用して、特定の外来語や外来語全般に対する意識とその使用実態の両方に変化が起きていることを示し、さらにその過程に個人の生涯変化が含まれることを統計的に確かめた。生涯変化の方向はさまざまであり、(1)個人が共同体で進行中の変化と同じ方向に変化する跳ね上がりの事例と、(2)個人が共同体の向かう変化とは逆方向に変化する引き戻しの事例があった。さらに、(3)見かけ時間に基づく予測とは逆方向に共同体の変化が進む事例も確認された。このことから、Kuya は上記(1)～(3)をそれぞれ *accelerated change* 型、*decelerated change* 型、*reversed change* 型と呼び、個人の生涯変化を伴う言語変化の類型を細分化することを提案した。

² 書き言葉データの抽出に際してランダムサンプリングが用いられている。

3.4 大規模実時間データにみる言語変化の類型（まとめ）

上述の先行研究は、個人の生涯変化を想定しない、構成員の世代交代のみに基づくやや単純な言語変化モデル（generational change）が音韻・敬語・語彙いずれの項目においても不十分であることを示す。先行研究で指摘された個人の生涯変化のパターンを Kuya（2019）の示した 3 類型に沿って整理すると、(1)個人が共同体で進行中の変化と同じ方向に変化するいわゆる「跳ね上がり」は、音韻（江川 1973）・アクセント（横山・真田 2010；横山ほか 2014）・敬語（文法「ていただく」）（井上・金・松田 2012；井上 2017）・身内敬語意識（横山・朝日・真田 2008）・語彙（久屋 2016；Kuya 2019）で確認された。次に、(2)個人が共同体の向かう変化とは逆方向に変化するいわゆる「引き戻し」は、音韻（横山・真田 2010；横山ほか 2014）・語彙（Kuya 2019）で確認された。(3)見かけ時間に基づく予測とは逆方向に共同体の変化が進むケースは語彙レベル（Kuya 2019）で確認された。

上記から、比較的安定的と言われる音韻・アクセント項目で跳ね上がりや引き戻しなど複数の生涯変化のパターンが見られたことに加え、比較的変動が起こりやすいとされる語彙項目では見かけ時間による予測と反対の方向に実際の変化が進行するなど言語変化の類型がさらに多様であることが見て取れる。ただし語彙については、実際の使用実態を捉えたコーパス調査に比べ、使用の有無を尋ねた意識調査で生涯変化が現れやすかった点に注意が必要である（Kuya 2019）。また、外来語に関しては実時間比較できる大規模データがかなり限られていることや、語彙項目の普及のメカニズムは個別性が高いことから、まずは定期的かつ継続的なデータの蓄積が望まれる（久屋 2021）。

生涯変化の生じやすさやそのパターンに言語項目別（音韻・アクセント・語彙・文法・敬語意識等）の違いが認められるかどうかは、今後さらに検討されるべきである。また、なぜ同じ言語項目（音韻・語彙）内で跳ね上がり・引き戻しが混在するのかについての解明も必要である。そのためには、「加齢効果」だけでなく、前述したテレビの普及率など「時代効果」（横山・真田 2010）にも着目する必要があるだろう。

4. 実時間データ分析における留意点

4.1 データの比較可能性の問題

前述のとおり実時間データから得られる示唆は多いが、検討すべき課題も存在す

る³。例えば、先行研究で指摘されているように、調査間でデータ収集法および解釈にゆれがある場合、データの比較可能性の問題が出てくる。

Kuya (2019) は外来語化の実時間調査のために調査主体の異なる複数の全国規模のランダムサンプリング調査を組み合わせ使用したが、サンプリングの定義や設問の文言・選択肢の設定が全く同一でないなど、データ収集法にゆれがある場合に厳密な比較が難しいことを指摘し、そうした要因を攪乱要因として分析に組み入れることで問題の解決を試みている。

尾崎 (2019) は、鶴岡第 3 次調査以降に追加された「鏡」における非語頭のガ行鼻音衰退の分析において、第 3・4 次調査の聞き取り担当者が異なることからデータ解釈にゆれが生じる可能性を指摘し、自ら聞き取りを行いデータの再検討を行なった。その結果、一部の生年代グループを除きランダムサンプルにおいてもパネルサンプルにおいても生涯変化はほとんどないと結論づけた。

4.2 「個人の生涯変化」の意味合い：ランダムサンプルかパネルサンプルか

先行研究では、ランダムサンプルとパネルサンプルの両方で、言語変化に個人の生涯変化が伴うことが観察された。ただし、「個人の生涯変化」の意味するところは抛り所となるデータの種類によって異なる。参考までに本稿で取りあげた先行研究を、データの種類別に分類して<表 1>に示す。

ランダムサンプルは母集団を代表するため共同体全体の言語状況の変化を表す。すなわちランダムサンプルで確認された生涯変化は、必ずしも同一個人の変化を意味せず、共同体の人口構成の変化（構成員の入れ替え）によって生じた可能性がある。<表 1>中の多くはランダムサンプルを検討したものであり、構成員の入れ替えを含めた共同体の言語状況を「広く浅く」（松田 2018）捉えたい場合に有用である。

一方、パネルサンプルの実時間比較は、同一話者の言語状況の追跡であるため、厳密な意味での「個人の生涯変化」の有無を知ることができる。これを実践したのが、前述した横山ほか (2014)・尾崎 (2019) などである。しかしパネルサンプルは代表性を有するものではないため、結果を共同体全体のものとして一般化することはできない（尾崎 2019）。

³ ランダムサンプルによる経年調査の諸問題については松田 (2018) 等を参照。

＜表 1＞データの種類別にみた個人の生涯変化の先行研究

	ランダムサンプル	パネルサンプル
鶴岡・音韻とアクセント	江川（1973）、尾崎（2019） 横山・真田（2010）	尾崎（2019） 横山ほか（2014）
岡崎・身内敬語 岡崎・「ていただく」	横山・朝日・真田（2008） 井上・金・松田（2012）	井上（2017）
全国・外来語（語彙）	久屋（2016）、Kuya（2019）	

4.3 個人内変異の問題：変化予測に影響を与えうる諸要因の探索的調査

変異研究の分野では、聞き返しに対する反応（言い直し）が発話への注意度を高め話者内変異を生じさせるとの指摘がある（Labov 1966）。尾崎（2019）は、鶴岡調査で話者（被調査者）が再度回答を求められたときに当初の発音から変化が生じた事例を紹介し、話者の発音にゆれ（話者内変異）があるとみられる場合も最終的に得られた回答がその話者の唯一の回答であるかのように扱われていると指摘する。言い直しは話者の回答を左右しうするため変化予測にも影響すると見られるが、インタビューの現場におけるこの辺りの事情は一般公開されているデータベース（国立国語研究所 2020）からは見えてこないという問題がある。そこで、筆者は、探索的調査として鶴岡調査のインタビュー音声に「言い直し」がどの程度含まれるのかを確認した。

音声データの全てを検討することは時間の制約上不可能であるため、言い直しの影響を最も受けやすいと考えられる音韻・アクセント項目のうち、4回の調査で共通して調査対象となったいわゆる 200 番台（201–231 番、うち 5 つは発音とアクセントを同時に調査）の 31 項目に着目した。4 回全ての調査に参加した話者（パネルサンプル）4 名の第 3・4 次の音声データ（第 1・2 次の音源は存在しない）を観察した結果、全ての話者が言い直しを行っており、その回数は自発的な言い直しを含め第 3 次調査で 31 項目中 2～4 回（話者当たり平均 2.5 回）、第 4 次調査で 31 項目中 2～12 回（話者当たり平均 8 回）であった。言い直しが求められるケースは、声のボリュームや発音の明瞭さなどに問題がある場合も多いため、言い直しの前後で発音が変化したかどうかの判断を全ての音声について行うことは難しい。ただ、筆者の判定によれば、比較的言い直しの多かった第 4 次調査のデータのいくつかにおいて、方言形と思しきものが言い直し後に明瞭な共通語の音韻・アクセントに変化した。言い直しの際に、明瞭に発音しようという意識が働くため、通常よりも発話スタイルが

改まった結果と考えられる。この中にはそれより前の第1～3次調査で方言形を使用したことが記録されているケースもあり、これが共通語化方向への生涯変化の結果なのか、言い直しの影響によるスタイルシフトの結果なのか、慎重に判断する必要がある。

また、付加的な要素として、インタビュー中の雑談やあいづち表現に現れる敬語の有無にも目を向けてみる。変異研究では調査者の属性が話者の言語行動に影響を及ぼす (Rickford & McNair-Knox 1994) との指摘があるが、上記話者4名全てがいずれの調査回でも調査者(話者よりも若いか同年代⁴)に対して敬語を使用していた。つまり、ここでの敬語の使用は、話者が調査者を「よそ者」(疎の関係)と捉えて心理的距離を置いていることを明示的に表すものであり、共通語音の使用を促進する方向に働いている可能性がある。ただし、ほぼ標準的な敬体のみを使う話者もいれば、しばしば常体が混ざる話者もいた。さらに、一貫して方言形敬語「(ん)でがんす」「で(ございま)す」を使う話者もいた。このような敬語形式のゆれをスタイルの観点からどう解釈すべきかについても併せて考える必要がある。

こうした要因は、細かく見ればいずれも共通語音の出現率に影響を与えると思われるが、それを大規模実時間データの解釈にどうつなげるかの議論はほとんどされてこなかった。前述の通り、鶴岡調査では同じ音韻項目でも個人の生涯変化の方向として共通語化・方言化が混在することが報告された(横山ほか2014)。また今回は詳しく触れなかったが、同調査の文法・語彙項目(パネルサンプル)でも第1～2次調査の間の生涯変化の方向として共通語化・方言化が混在する(国立国語研究所1974:252)。このように同じ言語項目内で生涯変化の傾向が「不安定」なデータ群については、今回観察した個人内変異(発話スタイル)に関わる諸要因の影響を検討することも有用と見られる⁵。これらの要因を具体的な分析にどう組み込んでいくかは大きな課題ではあるが、それが可能になれば言語変化予測の精度はいっそう向上すると期待される。

⁴ データベースで第1～4次調査の調査担当者の世代と性別が確認できる。

⁵ 調査票には話者(被調査者)が共通語を話す度合い(第1～4次)、話者の調査に対する態度(積極性)(第2～4次)、調査場所、同席者の有無、話者の質問への反応時間・問い返しの多さ(第3～4次)などが調査員の判定のもと記録されている。これらの情報も、個人内変異に係る諸要因として活用しうる。

5. まとめと今後の課題

本研究では、過去の大規模実時間データ分析から見える成果と展望について論じた。まず、先行研究の結果から、個人の生涯変化のパターンがいくつか存在し、言語変化の類型について再考する必要があることを述べた。さらに、実時間調査の抱える比較可能性の問題、これまで報告された「個人の生涯変化」の意味合い、変化予測に影響を与える諸要因について考察を行なった。最後の点はまだ探索的な域を超えていないが、共同利用可能な貴重な大規模実時間データを様々な角度から観察することは、より総合的な視座から言語変化のプロセスを解明していくことにつながるだろう。

引用文献

- 井上史雄（2017）「「ていただく」の進出と敬語の変質」井上史雄編『敬語は変わる：大規模調査からわかる百年の動き』大修館書店 89-94.
- 井上史雄・金順任・松田謙次郎（2012）「岡崎 100 年間の「ていただく」増加傾向：受惠表現にみる敬語の民主化」『国立国語研究所論集』4: 1-25.
- 江川清（1973）「最近 20 年間の言語生活の変容：鶴岡市における共通語化について」『言語生活』257: 56-63.
- 尾崎喜光（2019）「言語変化を把握するための継続調査と同一個人追跡調査の関係に関する研究：国立国語研究所実施の鶴岡市調査に見るガ行鼻音衰退の事例」『計量国語学』32(2): 82-95.
- 久屋愛実（2016）「見かけ上の時間を利用した外来語使用意識の通時変化予測」『日本語の研究』12(4): 69-85.
- 久屋愛実（2021）「「国語に関する世論調査」に見る外来語の動態」『日本語学』40(2): 84-94.
- 国立国語研究所（1974）『地域社会の言語生活：鶴岡における 20 年前との比較』（国立国語研究所報告 52）国立国語研究所.
- 国立国語研究所（2007）『地域社会の言語生活：鶴岡における 20 年間隔 3 回の継続調査』国立国語研究所.
- 国立国語研究所（2020）『鶴岡調査データベース ver.4.0』<https://www2.ninjal.ac.jp/longitudinal/>（2023 年 5 月 31 日アクセス）

- 松田謙次郎 (2018) 「多人数質問調査法の現在(3): ランダムサンプリングの現在の問題点」『計量国語学』 31(5): 373–90.
- 横山詔一・真田治子 (2010) 「言語の生涯習得モデルによる共通語化予測」『日本語の研究』 6(2): 31–45.
- 横山詔一・朝日祥之・真田治子 (2008) 「記憶モデルによる敬語意識の変化予測」『社会言語科学』 11(1): 64–75.
- 横山詔一・中村隆・阿部貴人・前田忠彦・米田正人 (2014) 「成人の同一話者を 41 年間追跡した共通語化研究」『計量国語学』 29(7): 241–50.
- Boberg, C. (2004). Real and apparent time in language change: Late adoption of changes in Montreal French. *American Speech*, 79: 250–69.
- Kuya, A. (2019). *The Diffusion of Western Loanwords in Contemporary Japanese: A Variationist Approach*. Tokyo: Hituzi Syobo.
- Labov, W. (1966). *The Social Stratification of English in New York City* (2nd ed.). Cambridge: Cambridge Univ. Press.
- Labov, W. (1994). *Principles of Linguistic Change Vol.1: Internal Factors*. Oxford: Blackwell.
- Rickford, J., & McNair-Knox, F. (1994). Addressee- and topic-influenced style shift: A quantitative sociolinguistic study, in Biber, D., & Finegan, E. (eds.), *Perspectives on Register: Situating Register Variation within Sociolinguistics*. Oxford: Oxford Univ. Press, 235–76.
- Sankoff, G. (2005). Cross-sectional and longitudinal studies, in Ammon, U., Dittmar, N., Mattheier, K. J., & Trudgill, P. (eds.), *Sociolinguistics: An International Handbook of the Science of Language and Society Vol.2* (2nd ed.). Berlin: De Gruyter, 1003–13.

地方大学での留学と日本語地域方言

元留学生の語りから見る地域方言への視座とその特色

市島佑起子（鹿児島大学）

1. 目的と背景

1.1 はじめに

本研究¹では、日本の地方大学に留学経験のある外国人元留学生（以下、元留学生、留学生）の語りから、留学を通じた日本語地域方言（以下、方言）の経験や見解をデータ化して整理し、その特色について分析する。さらに、分析結果をもとに、地方大学での留学生の生活と方言の関わりを、背景事情と合わせて考察する。本研究成果は、留学生教育や日本語教育における方言の取り扱いについての検討推進に資するものである。

1.2 地方大学と方言主流社会

1.2.1 地方大学の留学生数

<表 1> 令和4年度 地方別留学生数、大学数、全学生数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
留学生数（高等教育機関在籍者） 計 181,741 人								
人数(人)	3,660	5,379	84,069	17,094	39,934	8,836	1,699	21,080
比率(%)	2.0	3.0	46.3	9.4	22.0	4.9	0.9	11.6
大学数 計 807 校 / 全学生数 計 2,930,780 人								
大学数	37	51	264	144	159	54	18	80
人数(人)	90,766	125,787	127,6008	378,116	626,298	140,885	52,123	240,797
比率(%)	3.1	4.3	43.5	12.9	21.4	4.8	1.8	8.2

独立行政法人日本学生支援機構(2023)、文部科学省(2023)より筆者作成

独立行政法人日本学生支援機構（2023）によると、2022年5月1日時点の留学生数は約23.1万人、内、高等教育機関在籍者は約18.1万人（78%）である。コロナ禍

¹ 本研究はJSPS 科研費 22K18472 の助成を受けたものです。

²前の 2019 年から割合に大きな変化はなく、留学生の 7 割以上は大学等の高等教育機関に在籍していることがわかる。地方別に見ると（表 1）、関東が 46.3%と最も多く、この集中は大学数や全学生数も同じ状況にあり、今後も同傾向が続くと予想される。一方、逆に考えると、半数以上の留学生は関東圏外の地方大学に在籍している。

「地方大学」について、本研究では内閣官房まち・ひと・しごと創生本部（2021）の「東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）以外に所在」という検討会議での定義を用い、人口 50 万人台の都道府県庁所在地にある A 大学を事例として取り上げる。

1.2.2 方言主流社会と地方大学の留学生

全国的な共通語化進行は既に一般化した言説であるが、佐藤（1996）では共通語と役割を分担しつつも方言の果たす役割が大きく、方言での言語生活が日常である社会を方言主流社会とした。ここでの共通語化は方言体系の中に共通語を取り込む現象であり、「細分化したことばの使い分け、もしくは、相手との心理的距離に応じたことばの使い分けは、地域社会での人間関係や言語生活を円滑にするための最良のコミュニケーション手段の 1 つともなる」と、その方言使用の実態を分析している。

方言主流社会に位置する地方大学では、まさに当該社会の一部として、様々な場面で方言が使用されていることが予想される。A 大学は国内学生の同都道府県内進学者が約 6 割、周辺地方を合わせると約 8 割と近隣出身者が多い。さらに地域貢献型³の総合大学として地域での活動を重視するなど、方言主流社会との関わりにおいて、地方大学の典型例とも言える環境にある。留学生はその一員として大学生活を送るのみならず、地域社会でも広く活動する。岸田・大澤他（2020）では、活動日誌と GPS を用いて、ある地方大学留学生の学外生活行動の把握を試みた結果、全体で平日の 2 割、休日の 5 割近くをアルバイト等の学外活動で過ごしていたことを明らかにしている。尚、A 大学の留学生数は 2023 年 5 月時点で 350 名強（全体の約 3.5%）、大学院正規生が 46%、学部正規生が 28%と多く、アジア圏出身者が 8 割以上を占める。

² 2020 年前半～2023 年前半、新型コロナウイルス感染症の世界的流行拡大の影響で、外国人留学生の受入れ・送出しに大きな制限がかかった。この期間を一般的にコロナ禍と呼ぶ。

³ 文部科学省は、平成 28 年度概算要求で運営費交付金を重点支援する枠組みとして、国立大学の機能強化の方向性を 3 種類に分けて提示した。その内の 1 つ「重点支援①：地域のニーズに応える人材育成・研究を推進」にあたる大学は、一般的に地域貢献型とされる。

1.3 留学生と方言に関する研究、実践

留学生が方言を学ぶ実践や、方言に対する意識、理解程度等を明らかにしようとする研究が多数報告されている。八木・小松（2021）では、留学生のニーズに応え、聞く・話すことを含む方言の基礎的運用能力の習得を目指した授業の実践と、学生の自己評価を元にした成果評価が試みられている。高木・後藤他（1998）のように、留学生や日本人への調査を通して、地域のことばを日本語学習者向けに教材化した研究報告もある。この他にも、日本語教育における方言教育についての考察や問題点の指摘、方言話者から見た外国人の方言使用に対する評価など、多様な研究や議論が積み重ねられてきた。概ね、留学生のニーズや実態を把握しようとする調査はアンケートによる量的な物が多く、居住地域の方言のみを対象とする傾向がみられる。留学生が留学生活を通して日本の多様な方言をどのように経験し、認識しているのかについて、質的かつ俯瞰的な研究はほとんど行われてこなかった。

2. 方法

2.1 調査準備と予備調査

留学生と方言に関する先行研究から、疑問点や聞き取り内容を絞り込んだ。生越（1991）の「方言を教える際、いったい何を教えるか」や、真田（1992）の「教師側の持つべき姿勢」等、学びを構想する教師側の課題が山積みだと感じる一方、当事者である留学生の生活と方言との関わり、実態が十分調査検討されておらず、彼らに対して方言を提示するとしても、その意義付けが不十分ではないかと思いついた。その後、この問いに沿って調査項目を選定し、2022 年 11 月に行った元留学生への予備調査を通して、聞き取り内容の全体的な調整を行った。

2.2 調査協力者の募集と選定

2022 年 10 月以降、筆者と面識のある A 大学の元留学生⁴に広くメール等で周知して調査協力者を募った。あらかじめ調査の目的、内容、個人情報取扱い等の概要を添付し、依頼に応じた元留学生は、改めて説明を受け同意した上で調査へ進んだ。方言と共通語・標準語の違いに自力で気づきうることを重要な協力者選定の基準とした

⁴ A 大学を修了しているものの、依頼時点で日本へ再留学中である場合は対象外とした。

ため、留学中にテスト等で日本語レベル上級～超級と判定された経験のある者を対象とした。今回、元留学生のみを取り上げたのは、現役留学生⁵に比べて次のような点に優位性があると考えたためである。まず、自身の留学生活全体を総括し、過去の経験として組織化し意味づけてメタ的に語ること、次に、調査者との教師－学生という関係が一旦終了しており、利害関係や統制力を背景に抱えていないことである。

2.3 調査方法と内容

2022 年 11 月以降、本調査として調査協力者 1 人あたり 2 つの調査を行った。1 つ目はアンケート調査で、Google 社の Google sheets を利用し、事前に設定された質問にオンライン入力で回答してもらう形を取った。2 つ目は対面（遠方の場合 Zoom MT）の半構造化インタビュー調査で、アンケート調査の結果を参照しながら対話形式で聞き取りを行った。いずれの調査でも、調査協力者の基本情報（日本語学習歴等）、日本での留学生活、交流、日本語・母語の方言等について質問した。インタビュー調査では、項目に直接関係がない事も含め、対話を通して彼らの経験を広範囲に聞くよう努め、全て録音した。

本研究では A 大学留学時の属性が異なる 2 名の調査結果に焦点を当てる。

＜表 2＞ 調査協力者の主な属性

	基本情報			留学時の情報			
	性別	出身	調査時居住地	日本語力	在籍区分 (期間)	日本他都市 居住歴	留学 修了
Z	男性	東アジア	海外	超級	学部生（4 年） 大学院生 （2 年）	あり ※日本語学校	2018
Y	女性	東アジア	日本	超級	交換留学生 （1 年） ※特別聴講学生	なし	2017

3. 結果と分析

2 人の元留学生調査から得られたデータを NVivo という質的データ分析支援ソフ

⁵ 筆者は本研究課題の中で、現役の留学生にも調査を実施している。

トを用いて文字データ化し、オープンコーディングする方法で結果の整理と分析を行った。本節では特徴的な結果を4つ紹介する。【 】はデータ整理によりカテゴリー化したコード、「」はZ、Yの発言の引用、〔 〕は内容理解のための補足説明、○○は特定回避のための伏字、……は中略を表す。A大学所在地域はA'と示す。

3.1 【学外年長者に方言困難】

学外活動、特にアルバイト先の同僚年長者が話す方言が聞き取れない、理解できないという経験をしている。ただし、A大学所在地の方言に限らない。

「バイト先は一人の○○〔東北〕出身の方がいて、この人外国人じゃないかぐらい、あの、アクセントも …… アクセントすーごい変でした」Z

「〔バイト同僚の〕おばちゃん …… 〔A'の〕訛が強くて、ぜんぜん理解できてなかった …… 他の日本人も聞き取りづらいよねって言ってます」Y

「けっこう市役所の人って訛ってません？ …… 私、市役所に行ったときが一番困った …… この人一体何て言ってるんだろうって思っていました」Y

3.2 【大学内で方言困難少ない】

一方、学内の日本人学生、教職員との関わりの中では、所在地や他地域方言が特徴的に使用（多用）された経験、それによる困難等の経験は明示されなかった。

「気づいたのは、○○〔A'〕出身の大学生でさえ、○○弁喋れない …… ○○弁喋ってる〔と判断できる〕人は一人もいなかった」Z

「○○さん〔大学事務員名〕 …… ぜんぜん、普通に標準語だったので。特に問題なかったですね。 …… 教員まで広げても、ことばでこの人何言ってるかわかんない先生は、いなかったと思いますね。」Z

「〔A'の〕大学生は、訛ってなかった気がします …… みんな、わざと、訛って話そうとしてなかった？」Y

「大学生が、○○〔A'〕って訛あるの？って聞いたら、ないよって言ってた人も」Y

3.3 【方言使い分けの適切さと低評価】

相手や状況によって方言・共通語を適切に使い分けられないことへの低評価。

「大学時代の同級生がいて、〇〇〔九州〕税務署〔で今働いている〕。……〔卒業後に関東で〕食事したら、ずっとなんか、〇〇〔九州〕弁かな？で、話してて。…… なになににケンとか …… 今聞くとダサイなあって。…… 場所〔に〕よらず」

Z

「先輩で〇〇〔中部〕に留学した人がめっちゃ訛って〔帰って〕きて。でも、その前にはちゃんと標準語の日本語喋ってたんですよ。で、たった1年ですよ。…… 私、日本で勉強してきたよ～みたいな感じで偉そうに〇〇〔近畿〕弁をしゃべってたから、そこが、ちょっと嫌でした」Y

3.4 【他者からの方言イメージの維持】

実際の留學生活と直接関係の薄い、メディアや母国の知り合いから得た方言イメージが、留學後も維持され続けている。

「〇〇〔近畿〕⁶の先生に日本語を学ばない方がいいっていうのは、〔渡日前に〕いろんな所で聞いて、わかった。…… 方言が強いから。…… 同級生とか…ネット情報もそうだし、あと、当時勉強する日本語の先生もそうだったし」Z

「女の子なら〇〇〔九州〕弁がかわいいですね。…… 周りがそう言ってるから」

Z

「〇〇〔九州〕弁かわいい。…… かわいいって、〔渡日前に〕メディアで聞きました。〇〇〔九州〕弁をしゃべる女の子はもてるっていうのをめっちゃ見たので。」

Y

4. 考察

3.1、3.2 で示されたように、学内より学外の年長者との交流において留學生が方言を経験する傾向は、以前の研究でも指摘されてきた。好例として、工作上指示を受

⁶ しかしZはその後、近畿地方の日本語学校に入学し、A大学へ進学した

け雑談をするアルバイト先の年長者は、留学生が日本語の多様な位相差を経験する相手になっている事が珍しくない。一方、3.2 の結果からは、大学や学内コミュニティは方言主流社会に存在するものの、留学生が地域特有のことばを強く経験しにくい環境であることが示唆されている。また、3.3 のように方言と共通語の適切な使い分けが重要視される理由として、方言と共通語を対立的に捉え、留学生自身は共通語を使用する（される）存在とであるとの自己認識が影響している可能性が考えられる。さらに、今後留學生活と方言の関わりを捉えようとする際には、留學中の経験や学びから得た知識だけでなく、3.4 のように留學前に母国で得た知識が影響を与え続けることにも留意が必要であることが確かめられた。

5. おわりに：本研究の限界と今後の展望

本研究では、元留學生のデータから地方大学留學生の方言経験と見解に焦点を当て、留學生活と方言の関わりを概括した。研究で得られた知見は、留學生教育や日本語教育における方言の扱いについての議論を広げる意味を持つ一方、少数事例からの結論を安易に一般化できない点に留意する必要がある。今後は現役留學生や他大学留學経験者にも調査を進め、より多角的な分析と考察を行いたい。

引用文献

- 生越直樹（1991）「日本語教育と方言」徳川宗賢・真田信治編『新・方言学を学ぶ人のために』世界思想社
- 岸田由美・大澤脩司・カンピラパーブ スネート・藤生慎・宮崎悦子・田中京子（2020）「学外における留學生の生活行動把握の試み—活動日誌及び GPS を用いた調査結果から—」国立大学留學生指導研究協議会『留學生交流・指導研究』23 号
- 佐藤和之（1996）「第 1 章 現代方言の位置」小林隆・篠崎晃一・大西拓一郎編『方言の現在』明治書院
- 真田信治（1992）「方言の情況と日本語教育」『日本語教育』76 号
- 高木裕子・後藤典子・山上龍子・渡辺文生・佐々木範子・趙恩嬉・林美和（1998）「山形市在住留學生に対する地域語教材」『山形大学日本語教育論集』1 号
- 独立行政法人日本學生支援機構（2023）『2022（令和 4）年度外国人留學生在籍状況調査結果』

https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2023/03/date2022z.pdf

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部（2021）「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議（第8回）」資料1

https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/chihoudaigaku_miryokujitsugen/pdf/r3-03-02-shiryo1.pdf

文部科学省（2015）「高等教育局主要事項 ー平成28年度概算要求ー」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/015/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2015/09/14/1361948_08.pdf

文部科学省（2023）「表番号7 都道府県別 学校数及び学生数」『学校基本調査 ー令和4年度結果の概要ー』

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/kekka/k_detail/1419591_00007.htm

八木和枝・小松知子（2021）「龍谷大学における交換留学生を対象とした「関西方言」授業の実践」『龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報』30号

朝鮮総督府編『普通学校国語読本』が描く朝鮮・日本

－第3期国語読本を中心に－

宮脇弘幸

1. はじめに

朝鮮総督府が朝鮮人小学生児童用に編纂した第3期『普通学校国語読本』(1930-35年発行、学年により1940年まで使用。以後『国語読本』と略称)は、朝鮮及び日本に関する、どのような教材を掲載し、朝鮮及び日本をどのように描写するものであったのか、その特質について検証する。この読本が編纂され使用された時期は、1931年に「満州事変」が、1937年に「日中戦争」が勃発し、いわゆる「15年戦争期」という、政治・軍事的な緊張感が東北アジアを支配する時代であった。そのような戦時の緊張状況が、『国語読本』の編纂に影響を及ぼしたのかどうか、その点も視野に入れて検討してみたい。

主題の第3期『国語読本』の検討に入る前に、それ以前の第1期・第2期『国語読本』の編纂方針・教材内容については、2019年12月21日に韓国外国語大学で開催された韓国日語日文学会冬季国際学術大会で発表しているが、後続の『国語読本』との連続・非連続性を見るために、再度その特徴を確認しておきたい。

2. 第1・2期の『国語読本』の特徴

1910年に日本帝国が韓国を併合すると、翌年朝鮮総督府は文教の指針を定めた「朝鮮教育令」を交付した。その第2条に「教育ハ教育ニ関スル勅語ノ旨趣ニ基キ忠良ナル国民ヲ育成スル」と規定した。新版図に日本と同様に教育勅語教育を適用する、つまり朝鮮の児童・生徒を忠良な日本帝国臣民に育成すると規定した。

第1期『国語読本』(1912-15年編纂)はこの教育令の趣旨にそって編纂された。そのような「臣民化」教材は、巻2に「テンノウヘイカ」、巻3に「めいじてんのう」、巻4に「神武天皇」、巻5に「応神天皇」、巻6に「明治天皇」など、「建国天皇」から歴代の天皇、皇室関係の逸話、神話を挿絵付きで載せ、それが2割強も占めてい

る。このことから、総督府は朝鮮人児童にどのような国家像・国民意識をもたせようとしていたかがうかがえる。

朝鮮をベースにした教材は、巻 2 に「福童ノウチ」、巻 4 に「朝鮮」、巻 5 に「朝鮮の地勢」・「京城」、巻 6 に「朝鮮総督府」、巻 7 に「我が国ノ産物」などがあるが、巻 2～巻 8 のうち 6%に留まっている。

この時期の朝鮮統治は、初代総督寺内正毅（1910-1916）、第 2 代総督長谷川好道（1916-1919）のもとで、行政の末端まで軍・憲兵警察が中心となり、威圧的、武断的に行っていたといわれる。そのため、朝鮮人側の強烈な反発を招き、1919 年の「3・1 独立運動」を惹起し、民族自決の全国的運動へと拡大していった。1919 年 8 月に第 3 代総督に着任した斎藤實の任務の一つが、この反日的気運を鎮静化することであり、それが「文化統治」といわれる施政であった。

1922 年に第 2 次朝鮮教育令が公布され、その第 4 条に「普通学校ハ児童ノ身体ノ発達ニ留意シテ之ニ德育ヲ実施シ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ国民タルノ性格ヲ涵養シ国語ヲ修得セシムルコトヲ目的トス」と規定した。第 1 次朝鮮教育令に規定された「教育ニ関スル勅語」は明示されていない。「皇民化教育」の神髄である「教育ニ関スル勅語」という語句が引っ込められたのは、「3・1 独立運動」などで朝鮮側が強く主張した、朝鮮民族のアイデンティティ確保・言語文化の教育要求などに対処した側面もあるが、新教育令の成立に関わる諸機関の意見交換と検討の結果、「教育勅語」の意思は、条文の「德育」に含まれるとの判断もあり、第 2 次教育令では表示されないこととなった¹⁾。

また、この期に学校系統が朝鮮在住日本人用の学校と朝鮮人用の学校の二系統に区分され、特別に地域的事項がある場合を除き、修業年限及び入学資格年齢は形式上同一にした。こうして「一視同仁」「内鮮共学」のような、形式的「差別解消」・「軟化」方針が打ち出された。『国語読本』の第 2 期編纂（1923-1924 年）及び第 3 期編纂（1930-1935 年）は、この第 1 次朝鮮教育令の下で編纂された。

第 2 期編纂は、第 1 期の威圧的、武断的統治に対する朝鮮側の反発及び日本の皇国主義を賛美・強要するような教育への反発を斟酌し、「内鮮融和」「一視同仁」「内

¹ 総督府は第 2 次朝鮮教育令の作成に際し、当初第 1 次朝鮮教育令を全面改正する方向で検討していたが、改正に関して朝鮮側、在朝鮮日本人社会、総督府、日本政府などとの数次の意見調整の結果、第 2 次教育令は非常に短いものになった。この間の議論は、広川淑子「第二次朝鮮教育令の成立過程」『北海道大学教育学部紀要』30 号 1977、李昇燁「第二次朝鮮教育令成立過程の再検討」『人文学報』107 号 京都大学 2015 が詳述している。

鮮共学」を指向する教材となった。このような教材の中で、朝鮮をベースにした教材は、巻3の「ナカヨシノ玉順サン」、巻4の「でんしん工夫」、巻5の「三姓穴」、巻6の「昔脱解^{せきだっかい}」、巻7の「李坦之^{いたんし}」、巻8の「新浦の明太魚漁^{めんたいぎょ}」など80%近くが朝鮮をベースにした教材であり、第1期編纂から大きな転換であった。

一方、日本を背景とするものは、巻3の「五一じいさん」、巻4の「扇のまと」、巻5の「仁徳天皇」、巻6の「紀元節」、巻7の「安倍川の義夫」、巻8の「乃木大將」など巻2～巻8の13%のみである。第1期の読本に比べ、日本の国家主義、皇室、神話が極端に減っている。

このように、第2期の『国語読本』は、朝鮮を主題とする教材が中心となり、そこでは挿絵と共に朝鮮の風物、生活、人物が多く登場しているのが特徴である。この期の『国語読本』は「文化統治」といわれる朝鮮文化を前面に押し出した教材編纂である。

3. 第3期『国語読本』の特徴

第3期の『国語読本』は、1学年用の巻1・2が1930年に発行され、その後の上級学年用（各2冊）が児童の進級に合わせて1年遅れで発行された。6学年用の巻11・12は1935年の発行であった。

1938年には第3次教育令が定められ、従来朝鮮人学校のみが付された「普通学校」が外され、日本の学校と同一名称の「小学校」「中学校」「高等女学校」に統一された。この学校名称の変更及び朝鮮人学校と日本の学校の形式上の合一調整をとることが主で、教育趣旨、教育方針についての変更は特に触れていない。第3次教育令期には教科書も改訂され、第4期編纂『初等国語読本』（1939-1941年）が発行された。この時期は1937年7月に勃発した日中戦争期になり、日本国内だけでなく、植民地も戦時体制に巻き込まれ、その戦時体制が教材編纂に与えた影響が考えられるが、本発表では扱わない。

先ず、第3期編纂の『国語読本』の教材の特徴を述べてみる。第1学年用巻1は、6頁まで挿絵だけの題目なしで朝鮮の風景、児童の遊び、朝鮮社会の様子が描かれている。7頁から文字「ハナ」がカタカナで登場し、ストーリー性のない単語・短文である。巻2第15課の「トモダチ」は、「私ノウチノトナリハ金サンノウチデ、ソノトナリハ石田サンノウチデス」の文を載せている。朝鮮人家庭（私ノウチ・金サンノ

ウチ)と日本人家庭(石田サンノウチ)が隣同士であり、日常的な隣づきあいがあるだろうと想像される。また、挿絵は朝鮮の子供と日本の子供が「駒まわし」に興じている場面が描かれている。この様な、学校外で朝鮮人、日本人児童と一緒に活動し遊んでいる教材は、日本と朝鮮の「内鮮融和」を描写しているものと読める。

第2学年用の教科書にも、朝鮮人の子供の周辺生活を描写した題材が多い。巻3第6課の「ブランコ」は子供の遊び、第11課の「お手つだい」は下校後畑の石拾いの手伝いをしている生活場面である。巻4の第11課「リコウナ カササギ」、第25課「三つのつば」なども朝鮮を題材にしている。第22課「巴提便」は、「日本書紀」にも登場する^{カンワデノハスビ}膳巴提便という武人が朝鮮に派遣された時の話で、日本と朝鮮には古くから関係があったことを教えようとしたのであろう。

一方、日本の事物を扱った題材は、おとぎ話の「うらしまたろう」が巻3第14課に、日本の代表的な山である「富士山」が巻4の24課に登場するが、全体的には日本・日本人に関する題材は非常に少ない。

第3学年用巻5の第1課「私どもの面」は朝鮮の田舎の村の地勢を描写し、第26課の「三姓穴」は朝鮮・済州島に伝わる神話である。巻6の第8課に新羅4代国王とされる^{セキダツカイ}昔脱解の誕生と成長の説話である。第9課の「朝鮮米」、第20課「朝鮮」は朝鮮半島の基礎的な地理、産業などの知識を与えている。他方、日本関係の教材は、巻5第4課「大蛇たいじ」^{オロチ}は日本の神話伝説である。巻6には第17課「大阪」、第21課「紀元節」を載せている。

第4学年用巻7では、朝鮮に関する教材として、第15課「鴨緑江の鐵橋」、第19課「朝鮮の農業」、第25課「鴨緑江の筏流し」の教材がある。朝鮮半島に対する鴨緑江の役割について、また農業についても基礎的な情報を与えている。巻8では、第12課「面事務所」、第15課「李坦之」、第16課「新浦の明太魚漁」、第19課「平壤」、第24課「石窟庵」、第26課「朝鮮の農業」を題材とし、朝鮮の産業、歴史、地理、社会生活に関する教材を載せている。

同学年用日本関係の教材は、巻7の第3課「東京見物」、第7課「血染めの日章旗」、第13課「神風」、巻8の第6課「日の丸の旗」、第20課「扇の的」、第22課「日本海」が例示されが、朝鮮教材に比べて非常に少ない。また、日本(人)と朝鮮(人)にまたがる教材として、巻7の第2課「天日槍」、第6課「我が国」が朝鮮と日本に共通する歴史教材を載せている。

第5学年用巻9の朝鮮関係の教材は、第2課「鶏林」、第10課「大覚国師」、第14

課「朝鮮の貿易」、第 15 課「朱安の塩田」、第 21 課「朝鮮ノ鉱業」が挙げられ、朝鮮の産業に関する教材が多い。巻 10 でも、第 19 課「朝鮮ノ林業」、第 20 課「大邱の菓令市」が挙げられ、朝鮮の産業を扱っている。植民地下の社会生活を扱った教材として、巻 10 第 5 課「貯金」、第 6 課「農業実習生の手紙」、第 13 課「夜学会」が挙げられる。

同学年用日本関係の教材は巻 9 に第 1 課「大神宮参拝」、第 12 課「五代の苦心」、第 20 課「水平の母」、第 22 課「楠公父子」、第 24 課「爾霊山」が挙げられるが、この中で戦役に関わる教材（「水平の母」「楠公父子」「爾霊山」）が注目される。巻 10 では、第 8 課「陶工柿右衛門」、12 課「川中島の一騎打」、第 15 課「水師營の会見」が載っている。

第 6 学年用巻 11 の朝鮮関係の教材として、第 2 課「朝鮮の教育」は植民地下の教育制度、教育施策について述べている。また、22 課「北鮮の旅（二「緬羊をたづねて」：慶源）」があるが、朝鮮最北部の緬羊産業を扱った教材である。巻 12 では、第 1 課「朝鮮神宮」、第 5 課「金剛山」、第 21 課「朝鮮ノ工業」、第 25 課「扶餘」、26 課「朝鮮統治」など、朝鮮の植民地統治、象徴的な自然・歴史的事物（朝鮮神宮・金剛山・扶余）を載せている。

日本に関する教材として、巻 11 の第 9 課に日露戦争への出征に際し、家族との別れを描いた「征衣上途」、また第 10 課「此の一戦」は日露戦争時の日本海海戦で、東郷平八郎司令長官が旗艦三笠上で「皇国の興廃此の一戦に在り…」との大号令を発したが、その状況が教材化されている。第 23 課「野口英世」は細菌学者として中南米、アフリカに行き、黄熱病の病原菌発見に貢献した野口博士の話である。また、巻 12 の第 1 課「明治天皇御製」、第 2 課「日章旗」、第 28 課「新日本」など、国家主義・皇室主義の色彩がにじむ教材が載り、そして日本人選手の活躍を称える第 9 課「オリンピック大会」、また第 27 課の「東郷元帥」は軍指導者の死を悼む国葬の模様を教材化したものである。

4. おわりに

第 2 次朝鮮教育令期に編纂された第 3 期『国語読本』は、その前の第 2 期『国語読本』の特徴を継承しているようである。つまり、朝鮮を主題とする教材が多く、挿絵も朝鮮の風物、生活、人物が多く登場し、朝鮮と日本の間の古い歴史的関係及び朝鮮

人と日本人の交流を描写したものが多い。この傾向は、併合初期の「武断統治」を修正した、「文化統治」の方針「内鮮融和」「一視同仁」「内鮮共学」を反映しているようである。

学年期別に特徴を挙げれば、低学年用教科書（1・2 学年：巻 1～4）の教材は、朝鮮社会を背景にして、学童の学校・家庭・周辺社会の生活・活動を中心に描いた題材が主であり、日本関係のものは各巻に 1 課程度である。

中学年用教科書（3・4 学年：巻 5～8）には、朝鮮の基礎地理、産業、歴史、社会生活に関する教材が多く登場する。他方、日本関係の教材は、神話伝説、東京・大阪などの大都市紹介の教材を載せているが、相対的に少ない。

高学年用教科書（5.6 学年：巻 9～12）の朝鮮関係の教材は、朝鮮の自然・歴史的物事に加えて、社会の仕組み、政治、経済、法律など社会活動に関する教材が顕著である。日本関係の教材には、国家・皇室関係の教材、戦役物語教材も少なからず登場してくる。高学年には、日本帝国の基本と時局情勢を理解させておきたいとの編纂意図がうかがえる。

参考文献

- 井上薫著「日本統治下末期の朝鮮における日本語普及・強制政策：徴兵制度導入に至るまでの日本語常用・全解運動への動員」『北海道大学教育学部紀要』73 号 1997 年
- 鄭在哲著・佐野通夫（訳）『日帝時代の韓国教育史 日帝の対韓国植民地教育政策史』皓星社 2014 年
- 鳥井克之・熊谷明泰共著「日本統治期の台湾・朝鮮における「国語」教育(下)」『関西大学人権問題研究室紀要』52 号 2006 年
- 永沢雅春著「朝鮮総督府発行教科書・教授書・編纂趣意書に見られる「同化思想」の形成について」2019 年度研究成果報告書 2020 年
- 旗田巍編『日本は朝鮮で何を教えたか』あゆみ出版 1987 年
- 広川淑子著「第二次朝鮮教育令の成立過程」『北海道大学教育学部紀要』30 号 1977 年
- 宮田節子著『朝鮮民衆と「皇民化」政策』未来社 1985 年
- 李淑子著『教科書に描かれた朝鮮と日本：朝鮮における初等教科書の推移 1895-1979』ほるぷ現代ブックス 1985 年
- 李昇燁著「第二次朝鮮教育令成立過程の再検討」『人文学報』107 号 2015 年

植民地台湾における女性と青年学校、実業補習学校

宮崎聖子（福岡女子大学）

1. はじめに

本報告は 1930 年代半ば以降の植民地期台湾における女子青年学校と女子向け実業補習学校の関連について検討することを目的としている。筆者はかつて台湾における青年団との関係で台湾人男子における青年学校と実業補習学校の三者の関係について検討した¹。しかし女子に着目した青年学校や実業補習学校の研究は管見の限りほとんどないと思われる。

内地では、青年学校発足以前には、勤労青年を対象とした教育機関として実業補習学校制度と青年訓練所制度とが並立し、大衆青年の教育機会となっていた²。日本の植民地となった地域の大衆青年に対する青年学校、実業補習学校については、後述するように先行研究はいくつかあるもののたいへん限られている。特に女子についてはなおさらで、両者の関連を分析することで、植民地の特殊性や、女性固有の文脈が明らかになるとと思われる。

日本内地(歴史的用語として用いる)では 1935 年勅令 41 号により、進学せずに働く職業青年向けの実業補習学校と青年訓練所を統合する形で青年学校を設置することとなった。その後 1939 年に男子についてのみ青年学校の義務制を実施した。台湾においては、青年訓練所が 1930 年から内地人(歴史的用語として用いる)向けに都市部や内地人移民村に設置されていたが、1935 年当時、台湾人に青年学校は時期尚早と考えた台湾総督府は台湾に青年学校は設置せず、内地人向け青年訓練所はそのまま据え置かれた。その後内地で青年学校が義務制となり、台湾でも「大衆青年」を兵士として養成する必要が出てきたことから、1939 年府令 60 号により「台湾青年学校規則」を公布し、初等教育を終え進学しないで働く台湾人に対し青年学校制度を実施した。その後台湾でも徴兵制の実施を見据えて 1943 年に男子に対して青年学校義

¹ 宮崎聖子 2008 『植民地台湾における青年団と地域の変容』 V、VI 章 御茶の水書房。

² 福田修 1986 「戦前に頁本における青年期教育の普及—青年訓練所充当実業補習学校の役割」 『教育学研究』 53・2 pp.171-179。

務化が決定されると、青年学校は急激に台湾全島に普及し始め、最終的には青年団とともに 1944 年に実施された徴兵制を支える装置となった³。台湾における青年学校の創設については、張伶華の研究が参考になる⁴。

植民地台湾における実業補習学校教育については、初期のものとして王栄のものがあげられる⁵。王は、台湾において上級学校入学準備を目的として実業補習学校に入ってくる者が多かったこと、初等教育終了後の若者に初級レベルの技能労働者に養成する役割を果たしたと指摘している。許佩賢はより包括的な 1945 年までの実業補習学校について研究を行っている⁶。また李正連は 1908 年～39 年を中心に植民地朝鮮における実業補習学校を実業教育の視点から分析した。李によれば、中等教育の機会拡大を求める朝鮮民衆と「従順な被植民者」の養成をめざした総督府の思惑との折衷的なところで存続し増加していった。李はさらに、1930 年代に始まった朝鮮の農村振興運動の一環として、内地とは異なり、実業補習学校の入学資格を修業年限 4 年または 5 年の普通学校卒業者に引き下げ、かつ修業年限 1 年を以内に短縮できたと指摘している⁷。

本報告ではこれら先行研究もふまえつつ、台湾における女子ための青年期教育の中に青年学校を位置づけ、実業補習学校のありようとも関連付けて検討する。なお、内地の女子青年学校についても研究の蓄積は少ない⁸。

2. 女子青年学校について

1939 年に始まった台湾における青年学校制度の社会に対する影響力は、男子と女子では異なっていた。1939 年総督府令第 60 号によって定められた台湾青年学校規則によれば、青年学校は市街庄に設置されることとなっており、普通科(2 年間)、本

³ 宮崎 2008。

⁴ 張伶華 2020 「日本植民地支配下台湾における青年学校の創設状況—創設状況一覧表とその注釈」『教育史フォーラム』15 号 pp.71-91。

⁵ 王栄 2001 「日本統治時代台湾の実業補習学校について」『東洋史訪』7 pp.23-35。

⁶ 許佩賢 2013 「日治時期台湾の実業補習学校」『師大台湾史学報』第 6 期 pp.101-148。国立台湾師範大学史所。

⁷ 李正連 2011 「植民地朝鮮における実業補習教育に関する一考察—実業補習学校の設置及び運営を中心に」『生涯学習・キャリア教育研究』7 号 pp.11-24。

⁸ 女子については例えば以下。長島利明 1990 「青年学校女子部の歴史と家庭科」『日本教科教育学会誌』14 巻 2 号 pp.49-54。

科(男子 5 年間、女子 3 年間)、研究科(1 年以上)について、授業・訓練時数は民族別、性別に定められた。台湾では 1939 年から内地人と台湾人男子に対し青年学校が開設され、その後青年学校は徴兵制への基盤となっていた。

一方、台湾人女子について女子青年学校が開設されたのは 1942 年であった。台湾における女子青年学校の設置はほぼ内地人移民村に限定され、台湾人向けの女子青年学校は、台北州の新店街立女子青年学校 1 校のみであることが分かった⁹。またこの学校では、4 名(男 3、女 1)の指導員のうち、男性 3 名が台湾人向け国民学校の教員であることから、夜間に開講されたものと考えられる。

内地では女子に対して青年学校は義務化されなかったものの、1939 年の時点で男子の生徒数の 4 割程度の女子が在籍しており、女子にも青年学校はかなり定着している様子がうかがえる。また台湾においては、内地人に対しても台湾人に対しても普通科のみの学校は設置されず、本科のみ、または本科と研究科を併設したものが多かった。

3. 女子向け実業補習学校について

次に内地では青年学校と同様に、大衆青年を対象とする実業補習学校について、許佩賢によりながらみてみよう¹⁰。台湾の実業教育には、実業学校と実業補習学校の二つの系統があった。実業学校は州・庁によって設置され 5 年制のものが多かった。一方実業補習学校は 1922 年の第二次台湾教育令が出された後に定められたもので、その前身は 1919 年に簡易実業学校として公学校などに附設された 2 年制の実業科であり、6 年間の公学校を修了した者を収容し、市街庄立のものが多かった¹¹。そのため資料が少なく、許は新聞記事、台湾総督府档案、学校所蔵の資料等を使用して分析を行っている。

内地における実業補習学校は 1893 年に出された「実業補習学校規程」によって設置され、労働青年に対する実業教育を行っていた。しかし 1935 年に青年学校令が出されると、実業補習学校は青年訓練所と統合され、青年学校へと再編されていく¹²。

⁹ 張も台湾人向け女子青年学校は新店女子青年学校ではないかと推測している。張伶華 2020。

¹⁰ 許佩賢 2013。

¹¹ 許佩賢 2013 p.105。

¹² 許佩賢 2013 pp.105。

1922 年 3 月 31 日台湾公立学校官制(勅令 158 号)に基づいて発布された、同年 4 月 1 日台湾公立実業補習学校規則(府令 79 号)では、「小学校又は公学校の教科を卒へたる者に対し職業に関する知識技能を授ると共に国民生活に須用なる教育を為すを以て本旨とす」とされ、就業年限は 2 年、または 3 年以内である。実業補習学校の学科目は「修身、国語、数学、職業に関する科目とす。但し理科、歴史、地理、体操、簿記、外国語、台湾語其他の学科目を加設することを得。女子に付ては修身、国語、数学、家事、裁縫及び職業に関する科目とす。但し理科、歴史、地理、体操、簿記、台湾語など其他の学科目を加設することを得」とされた。

台湾では公学校の就学率も低かったため、1930 年代前半まで実業補習学校はほとんど発達しておらず、1934 年の時点では 35 校に 2472 人、うち台湾人は 112 人のみであった。当時の実業補習学校は、被植民者の教育機会が抑えられていたことから、内地では「傍系」の教育機関と位置付けられてはいても、台湾人男子の「進学先」とみなされていた。校種としては農業補習学校が最も多く 26 校、商業 4 校、商工 1 校、水産 2 校、その他 2 校である¹³。1935 年、台湾総督府は実業補習学校を青年学校に統合せず存続することを決めた。

それ以降、台湾では実業補習学校が急速に増設されるようになった。台湾人の進学意欲が高まり、進学機会の少ない台湾人にとってはこれが貴重な「進学先」となり、生徒数も大幅に伸びた(表 7)。1935 年から 1940 年にかけて台湾の中学校や高等女学校の生徒数は 2 倍となったが、実業補習学校は 4 倍以上に伸びた。また 1944 年になると実業補習学校の生徒数は他の進学先の総和を上回った¹⁴。

次に女子を対象とする実業補習学校に着目してみよう。女子生徒の数が台湾総督府文教局の出版する『台湾総督府学事年報』に見られるようになるのは、1929 年度分からであり、その年の実業補習学校に在籍する女子の数は内地人 9 人、台湾人 26 人であった。

¹³ 許佩賢 2013 pp.106。

¹⁴ 許佩賢 2013 p.128。

＜表 7＞台湾における公立実業補習学校の生徒数

年 度	1929	1930	1931	1932	1933	1934	1935	1936	1940	1941	1942	1943	1944
内地 男	80	98	118	174	152	183	184	237	566	1850	1964	2187	2234
内地 女	9	17	60	84	97	159	252	415	1632				
台湾 男	1099	1234	1339	1510	1578	1515	1603	1849	5155	9141	11682	13662	15828
台湾 女	26	36	58	78	57	93	123	176	2289				

- ・1929-1936 年度：台湾総督府文教局 1933『台湾総督府学事第 30 年報』p.319、台湾総督府文教局 1938『台湾総督府学事第 35 年報』p.222-223、1940『台湾総督府学事第 36 年報』p.222-22 より。一部の学校に設置されている専修科は本表に含めていない。また「蕃」と記載されている台湾原住民も含めていない。
- ・1940 年度：台湾総督府内務局 1940『台湾学事一覧 昭和十五年度版』[データは 1940 年 4 月末現在]
- ・1941-1944 年度：台湾省行政長官公署 1946『台湾省五十一年来統計提要』(<https://twstudy.iis.sinica.edu.tw/TwStatistic50/Edu.htm>、2022.10.1 閲覧)より。宮崎作成

＜表 8＞台湾 女子の在学する実業補習学校 州別・1937 年度

転入学は含まず

	種別 学校数	定員	A 第一学年 入学志願者数 人	B 第一学年入学 者数人	入学者割合 /A %
台北	家政 1	100	内地人	220	95
			本島人※	63	14
新竹	農業 ?※	100	内地人	0	0
			本島人	71	71
台中	家政 2	163	内地人	170	99
			本島人	143	57
台中	農 業 家 政 1	35	内地人	3	2
			本島人	39	33
台南	家政 2	100	内地人	111	86
			本島人	57	14
高雄	家政 1	50	内地人	79	46
			本島人	23	4
			内地人計	538	内地人計
			本島人計	396	本島人計

※新竹州に 10 校の農業の実業補習学校が存在したが、何校が女子を受け入れたのかは不明。※表中の「本島人」とは「台湾人」をさす。台湾総督府文教局 1940『台湾総督府学事第 36 年報』p.222-223 より宮崎作成。

表 8 は 1937 年度における女子の在学する実業補習学校の状況である。その頃の女子向け実業補習学校は、その名称を家政女学校等としているところが多い。表 7、8 によれば 1931 年から 1937 年までは、これらの学校の女子生徒数では内地人が多かった。また志願者数に対する入学者数の割合も内地人が高い。学校の多くは日本人の多く住む市部・街部に設置されていたため内地人に有利だったと思われる。しかし農業系の学校に内地人で志願する人はほとんどおらず、そのためか在籍しているのは台湾人女子である。

女子向けの実業補習学校はもともと家政中心であり校数も少なかったが、それでも 1935 年以降増設され、収容人数も大幅に伸びた。増設が盛んだったのは 1938 年から 42 年にかけてであり(表 9)、1940 年には生徒数で内地人女子と台湾人女子の数が逆転している(表 7)。

公学校しか卒業していない女性と比べ、実業補習学校卒業生は俸給生活者となる機会が増大した。当初は「花嫁学校」とみなされていた実業補習学校であるが、中等教育の代替と見なされるようになり、特に進学機会の少ない台湾人女子にとっては重要なものとなっていく¹⁵。

＜表 9＞女子向け実業補習学校の設置数 年別

	1932	1934	1935	1936	1937	1938	1939	1940	1941	1942	1943	1944
設立 校数	1	1	2	2	2	4	5	6	3	3	2	1

許 2013 p.123 の表 6「家政女学校成立年代一覧」に農業家政学校(草屯農業家政専修学校)を加えて宮崎作成。その他に新竹州の農業補習学校では、1929 年からすでに女子を収容していたことが分かっているが、それがどの学校かは不明なので本表に加えていない。

しかしその後戦争が激化し、労働力が不足すると農業生産や農業知識が重視され、1944 年には多くの家政女学校が農業実践女学校へと改編されていった¹⁶。

¹⁵ 許佩賢 2013 p.130。

¹⁶ 許佩賢 2013 p.133。

4. まとめ

植民地台湾における女子青年学校と女子向け実業補習学校の両者の多くは市街庄立であった。しかしその展開は内地とは全く異なる。植民地では青年学校に統合されずに存置された実業補習学校は、公・国民学校を終えた台湾人の重要な進学先とみなされ、1938-42年には校数や収容人数も増やしていった。一方、女子青年学校は内地人移民村と台湾人向けとしては新店街に1校のみ設置され、これらは夜間に開講されていたと思われる。

台湾人向け女子青年学校が1校のみだった理由の一つは、義務制ではなく、市街庄としては経費の負担を嫌ったためだろう。また昼間に授業を行う実業補習学校のほうが、次のステップにつながるものとして台湾の人々に歓迎されたことも挙げられる。また戦争のため女子労働力が必要とされたことから、総督府としても女子青年学校設置を奨励することはせず、実業補習学校の新設は容認したと考えられる。

今後の課題としては、1930年代後半以降の、女子青年団などの社会教育とこれらの学校がどのような関係にあったのかを検討したい。

元学習者が自己の歴史を経て語る「満洲国」教育観

—斉紅深氏が取り組むオーラルヒストリー研究の今日的意義—

伊月知子（愛媛大学）

1. はじめに—斉紅深氏の研究活動とその波及—

今年 78 歳になられる斉紅深先生は、中国における植民地教育史研究の第一人者であり、1984 年から始められた旧「満洲」地域の植民地教育体験者のオーラルヒストリー収集は、2016 年には 2000 人余りに上る¹。膨大な数の貴重な証言を整理し、また個人から譲り受ける等の当時の写真や教科書、ノート、文集、通知表といった数千点に上る一次資料も参考にして、これまで多くの証言集を編集・出版している²。2017 年 11 月に天津社会科学院出版社・天津人民出版社より刊行された『日本侵華植民教育口述歴史』全 10 冊には、770 名の証言が収録され、32 年にわたる最長且つ最大規模のオーラルヒストリー研究の集大成となった。その「前言」において、斉氏は自身の研究活動について振り返っている。斉氏が初期に出版した書籍は日中両国の研究者から大きな反響と共感を呼び、斉氏を中心にして広範な研究者ネットワークが構築されて加速度的に研究が進められた。そんな中で、2000 年に日本側と共同開催したシンポジウムにおいて趣旨に反対する者らに擾乱され、資金援助が得られなくなり頓挫した日本での出版計画についても語っている。これまでに様々な困難に遭いながらも、それを克服する中で、活動の原動力を「相手を説得する」ことから「大衆の記憶を構築する」ことへと方向転換し、研究活動を続けたとある。また、斉氏はオーラルヒストリー収集の困難さについても述べ、収集を進める中で「傑出した歴史研究者にはなれないかもしれないが、忠実な歴史の記録者にはなれるだろう」と何度も

¹ 斉氏は 1945 年河北省平郷県生まれ。南開大学卒業。遼寧省教育庁をはじめ諸機関で役職を歴任、現在は中国国家図書館記憶プロジェクトセンター顧問、大連理工大学客員教授。1987 年以来、中国における日本植民地教育の研究に焦点を当て、全国哲学社会科学及び教育科学計画の 6 件の重点プロジェクトを完成に導いた。著作は『東北地方教育史』『満族教育史』『日本侵華教育史』他多数。

² 主なものとして『抹殺不了的罪証—日本侵華教育口述史』（人民教育出版社，2005 年）『黒暗下の星火—偽満洲国文学青年及日本當事人口述』（大象出版社，2011 年）『流亡—抗戦期間東北流亡学生口述』（大象出版社，2015 年）等がある。

自分に言い聞かせたという。このような斉氏のオーラルヒストリー研究に対する姿勢は、次の言葉に表れている。

歴史は複雑で、立体的で、豊富且つ多彩であり、私たち自身は歴史に対する理解がまだたいへん浅薄である。だから私たちは誠実に体験者本人の歴史の記憶をありのままに記録して、読者に提示し、また現実と未来に提示しなければならない。（前言p2）

斉氏の研究活動に呼応して、日本人研究者では1994年に大森直樹氏らが行った植民地教育体験者への聞き取りが発表された他、2000年以降には竹中憲一氏をはじめ、斉氏の書籍に収められた証言を日本語に翻訳し、出版・発表することが続いている³。その中で、黒川直美氏は斉氏のフィールドワークとその研究姿勢について「斉紅深の植民地教育史オーラルヒストリー研究方法とホームページの閉鎖—解説と抄訳—」⁴で詳細な報告を行い、その後斉氏編著『抹殺不了的罪証—日本侵華教育口述史』の一部を翻訳した『「満洲国」の青春—中国人学生が見た中国近現代史』（Kindle版電子書籍、2020年公開）『「満洲国」の勤労奉仕 「満洲国」の青春 2』（Kindle版電子書籍、2020年公開）を発表している。中国人研究者にも、発表者が注目している近年の研究として、徐雄彬氏や朴仁哲氏の在「満洲」朝鮮人を対象としたオーラルヒストリー研究が挙げられる⁵。以上のような日中両国における研究の展開は斉氏との学術交流の成果と言えよう。

本発表では戦争体験に関するオーラルヒストリー研究の意義について考え、それを踏まえ、『日本侵華植民教育口述歴史』の中から日本が行った植民地教育に対して元学習者が長い年月を経て当時を振り返っている証言について考察する。

³ 大森直樹・金美花・張亜東（1994）「中国人が語る『満洲国』教育の実態—元吉林師道大学学生・王野平氏へのインタビュー記録—」『東京学芸大学紀要 1 部門』45号、pp.47-61。翻訳については、竹中憲一氏（引用文献を参照）の他、平井潤一氏（2004, 2005, 2006, 2008）、伊藤敬一氏（2006）、黒川直美氏（本文参照）等が行っている。

⁴ 黒川直美（2020）「VI. 資料紹介」『植民地教育史研究年報』22号、pp.220-222。

⁵ 研究成果を、徐雄彬（2023）「偽満洲国と植民地朝鮮の小学校日本語教育体制の特質—「在満朝鮮人」学校に見られる両植民地の教育体制の縮図を手がかりとして—」『新世紀人文学論究』第7号、pp.65-82、朴仁哲（2023）「朝鮮人『満洲』移民の戦争体験に関する—考察—移民体験者の戦争の記憶を中心として—」同誌、pp.49-64、等に発表。

2. 戦争経験に関するオーラルヒストリー研究の意義

早期のオーラルヒストリー研究には、渡部宗助氏による科学研究費助成事業・基盤研究(B)「日本占領・植民地化の中国教育史に関する日中共同研究」(1999-2000年)や竹中憲一氏による科学研究費助成事業・基盤研究(C)「旧『満州』における植民地教育体験者の調査」(2002-2003年)がある。証言を記録したものには、前出の大森直樹氏らの他に、竹中氏の『大連 アカシアの学窓―証言 植民地教育に抗して―』(明石書店, 2003年)があり、同書に収録されたオーラルヒストリーの手法については「オーラルヒストリー覚書」(『植民地教育史研究年報』7号, pp.147-151, 2004年)に詳細が述べられている。

オーラルヒストリー研究に関して、朴沙羅氏は研究ノート「研究動向 オーラルヒストリー研究の歩みと現在」(『京都社会学年報』22号, pp.89-115, 2014年)の中で、日本では1989年以降に言及する論文が現れ、2000年代から本格的になったと述べている。戦争経験の継承という意味では、蘭信三氏が2017年度日本オーラルヒストリー学会第15回大会シンポジウムについて、同学会誌の「特集1 戦争経験の継承とオーラルヒストリー」での「はじめに」(『日本オーラルヒストリー研究』14号, pp.5-7, 2018年)の中で、オーラルヒストリーの役割や意義について深く議論できたと報告している。しかし、発表者から見ると、軍属経験者、原爆被害者、アウシュビッツ収容所生存者を扱うにとどまり、被植民地体験者への言及がないことを遺憾に感じた。戦争の回想録という視点からは、「満洲」から引揚げた日本人を対象にしたものとして、佐藤量氏らによる『戦後日本の満洲記憶』(東方書店, 2020年)や佐藤仁史氏らによる『崩壊と復興の時代 戦後満洲日本人日記集』(東方書店, 2022年)等が最近出版されている⁶。その他、日本統治期に台湾や朝鮮から日本に来た「留学生」の研究を20年にわたり続けている佐藤由美氏による留学経験者へのインタビューがある⁷。

⁶ 書籍以外にも、甲賀真広(2018)「日中戦争期の学校教育を通じた意識構築―旧満洲国引揚者への聞き取り調査から―」『新世紀人文学論究』2号, pp.157-173、菅野智博(2020)「満洲瓦斯株式会社人事課長の満洲追憶：奥村松平『洪熙の残照』解説」『満洲の記憶』7号, pp.2-11、等がある。

⁷ 李省展・佐藤由美(2008)「在日コリアン一世の学校経験―李仁夏氏の場合―」『植民地教育史研究年報』10号, pp.58-73、(2009)「在日コリアン一世の学校体験―呉炳学氏の場合―」同誌11号, pp.128-143、李省展・佐藤由美・芳賀普子(2011)「在日コリアン一世の学校体験―李殷直氏の場合―」同誌14号, pp.180-198。

こうしたオーラルヒストリー研究の中で、石田隆至氏と張宏波氏による戦後中国で戦犯として収容され、その後戦犯裁判を経て釈放されて帰国した日本人への聞き取りの成果をまとめた『新中国の戦犯裁判と帰国後の平和実践』（社会評論社、2022年）は、個々人の戦後の人生をも含めた緻密な考察を行っており、時間の流れの中での記憶と感情の変化を可能な限り追究したものとなっている。当時の経験が戦後の人生においてどのように「継続」され、またどのような「結果」を導いたのかについて検討する研究姿勢は、オーラルヒストリー研究に携わる研究者にとって、今後向き合わなければならない視座であろう。

当時を体験した者は長い年月の中で自己の歴史を紡ぎながら現在に至っており、その現在から過去を振り返って証言することには自己の歴史を軸とした判断が働いていると言える。過去に実体験したことを、現在の不安定な情勢の時代において評価することは、その現在を生きる私たちにとって非常に示唆に富むものになるはずである。

3. 元学習者らが自己の歴史を経て語る「満洲国」の教育に対する評価

先行研究を踏まえ、本発表では、当時の体験を長い年月を経て振り返っている点に注視して考察を進める。「満洲国」の教育観について検討するため、「満洲国」において小学校の生徒として経験し、その後教員養成課程を経て教職を経験した者に注目し、『日本侵華植民教育口述歴史』第1冊に収録された「高等・中等学校教員」と「小学校教員」の中から4名の証言を取り上げる。同書では本名で証言しているが、本発表では便宜上、A、B、C、Dとする。とくに注釈がないものは発表者による日本語訳である。なお、当時の教育状況として、1936年の「満洲国」内の小学校数は13,107校、生徒数は960,609人であった⁸。

A氏は1928年生まれで、1935年には小学校1年生（校名不明）で、1944年に北鎮国民高等学校を卒業し、翌45年に北鎮常興小学校の教師になった。以下は2001年の73歳での証言である。

⁸ 学校数の内訳は、初級小学校（4年制）11,594校、高級小学校（2年制）139校、両級小学校1,374校、生徒数の内訳は、初級小学校608,552人、高級小学校12,276人、両級小学校339,781人。文教部学務司総務科「慶徳三年度 満洲国事要覧」1936年12月（『「満洲・満洲国」教育資料集成 第5巻 教育要覧Ⅱ』、エムティ出版、1993年）。

入学したばかりの最初の授業で、当時私は8歳だった。李子元先生は質問を投げかけると、まず年長者を探して当て、次に年少者を当てた。生徒は殴られたり叱られたりした。先生は1人目の年長の生徒に「あなたは何人か」と聞き、邱××が「私は民国人です」と答えると、拳で殴られた。先生が2人目に聞くと、答えは中華人・・・それでまた殴られて・・・私の番が来た時、私はなんと答えるのがいいのかわからず、分かりませんと言うしかなかった。それで私は殴られなかった。(p673)

B氏は1926年生まれで、1934-44年に庄河县小営子（初級）小学校、青堆子高級小学校、庄河国民高等学校、安東師道学校に通い、1945年に庄河县大鄭村国民優級学校の教師になった。小営子小学校時代に父親がその学校の教師であった。以下は2000年の74歳での証言である。

自習時間には、父はよく抗金の名将・岳飛や、楊家（抗遼の将、楊再興；発表者注）、また文天祥（抗元の将；発表者注）等の物語を私たちに聞かせた。私たちはみな夢中で聞いていた。私たちは大きくなってからようやく父が細心の注意を払いながら私たちに、我々は炎黄子孫であり、中国人であり、「満洲人」などではない、私たちは古代の民族的英雄を見習わないといけないと、暗に教えることが目的だったと知った。(p614)

以上には、日本が行った植民地教育により、当時の生徒たちがアイデンティティー喪失の危機にさらされていたことが分かる。これについて、A氏は太平洋戦争開始後に一層強化された日本の軍隊式教育のやり方によって、生徒は「ロボット」のようになったと延べ、「国あれど愛知らず、言葉あれど話さず、思想は閉じ込められた」と当時の教育を評価している。

「満洲国」教育を受けていた者にとって、1941年の太平洋戦争の開始は学校生活の変化の節目となった。この他、1931年の九一八事変（満洲事変）と1938年の新学制の実施もそれぞれ学習環境や学習内容が変わる節目だったという多数の証言がある。日本語教育に関しては、新学制以降、日本語授業がより重視され、学校生活における日本語使用の徹底が図られた。

C氏は1925年生まれで、1933年以降に城子坦会第一普通学堂、貔子窩公学堂、旅順高等公学堂師範部に通い、1943年から金州城南公学堂の教師になった。1999年

の 74 歳の時に次のように証言している。1937 年に 13 歳で貔子窩公学堂（高級小学校）に合格し、1 年生の時に盧溝橋事件が起こった。北平（北京）、徐州、南京の 3 都市の陥落を祝う行事を学校が開催し、生徒は日本の国旗を手に「日本帝国万歳」「天皇陛下万歳」と叫びながら町を行進させられた。その際、日本の軍歌を歌ったことについて「みな日本語の歌で、私はその時すっかり有頂天で、これを恥ずかしいとも思わなかったが、実際は訳も分からず感覚が麻痺していた」と述べている。学校では「教師は私たちに作文を書かせる時、将来は天皇陛下のために忠義を尽くして『国』に身を捧げると書かせ、従順に奴隷化教育を受け入れさせていった」と振り返っている。

D 氏は 1928 年生まれで、1941 年に吉林省永吉県大綏河国民優級学校（新学制以前の高級小学校に相当）を卒業し、吉林師道学校特修科に進み、1944 年に永吉県蒐登河小学校の教師になった。2000 年の 72 歳での証言である。

私は今でも（「回鑾訓民詔書」；発表者注）第一条が「国民はすべからず建国の淵源が惟神の道にあることに思いを致し、天照大神を崇敬し、天皇陛下に忠誠を尽くす」といった内容だったことを覚えている。この条文から、日本帝国主義者はすでに傀儡「満洲国」を自分の領土と見なしていたことがわかる。これは中国人を奴隷化し、中国人の民族意識を消失させる教育を目的としたものである。しかし児童の心には、はっきりとした反抗心ではないにしても、もやもやした反抗心が生まれつつあった。（原文 p 643、竹中氏訳 p 265）

以上では、子どもらしい素直さで日本の行う教育を無自覚に学んでいたことが年月を経て明確に認識され、それが当時の教育への評価に繋がっている。また、無自覚でいながらも、正体の分からない違和感や反抗心を抱かずにはいらなかったことは、次の行動にも見られる。D 氏は当時流行った言葉として「日本語は習う必要がない、あと三年もすれば、使い道がなくなる」というものがあり、子どもたちはこれを信じて日本語を真剣に学ぼうとはしなくなったと述べている。

ここに挙げた元学習者らに関して、教師としての自身の行為についての証言はあまり得られていない。それは植民地教育体験者として証言していることに起因しているかもしれないが、学ぶ側での違和感が、教える側ではどのように継続、または変化したのか、そこに見える心情の機微をさらに考察する必要がある。

4. おわりに

本発表では、長い年月を経て当時の教育に対する評価に注目して検討したが、その過程で、評価には自己の人生に対する満足度や長年の自問自答、また証言時の心境も影響すると考えられ、それらをどう分析するのかという問題に直面した。また、戦後の経歴（A 氏、C 氏、D 氏は教職を続けている）や社会的イベントとの関連について十分検討できていない。今後の研究の方向性を見定めることはできたが、これを緒として、また討論者の率直な批判と助言を賜り、今後の糧としたい。

引用文献

齊紅深（2017）「前言」他『日本侵華殖民教育口述歴史 第一冊』天津社会科学院出版社

齊紅深編著・竹中憲一訳（2004）『「満州」オーラルヒストリー 〈奴隷化教育〉に抗して』皓星社

附記

本発表は、日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C））課題番号 20K11727 課題名「『満洲国』の日本語教育が戦後中国の日本語教育に与えた影響に関する研究」令和 2 年度～令和 5 年度（研究代表者 伊月知子）の助成を受けたものである。

日本の前代教育における子ども観の多様性

—柳田國男の視点を手がかりに—

渡部恭子（聖徳大学幼児教育専門学校）

1. はじめに

本研究の目的は、明治期に近代教育制度が導入される前、日本ではいかなる教育的営みが行われていたのかを明らかにすることである。まだ近代学校や義務教育が日本に存在しなかった頃、庶民は各共同体において伝統行事や口承文芸といった習俗の中で「教育」を営み、血の繋がりを超えて互いの子どもを「一人前」に育て上げていた。こうした近世以前の教育は「前代教育」¹と呼ばれ、その特色にいち早く注目したのが日本民俗学の創始者・柳田國男（1875-1962）である²。

近代学校の導入と普及を目の当たりにした柳田は、それまで営まれてきた前代教育の長短が十分に研究されないまま近代教育に代わられることを憂い、双方の相違に着目しながら前代教育の利点も提唱し続けた。柳田が目指したのは前代教育への復古ではなく、まずは前代教育の利点および欠点を吟味し、その利点を引継ぎつつ、欠点は克服しながら更なる発展を見据えて近代教育を取り入れるべきであると主張したのである。過去から学び、過去を活かそうとする姿勢は、柳田自身の学問のみならず教育でも一貫して示されていた。本発表では、そうした柳田の前代教育論を手がかりに、日本の習俗における教育的営みと近現代教育との相違点の更なる明瞭化を試みたい。

¹ 柳田は、近世以前の習俗にみられる教育的営みを「前代教育」と呼び、自身の学問において研究対象の中心に据えていた。本稿では、柳田による前代教育の研究や思想に基づき考察を進めていることを踏まえ、近世以前を「前代」と称している。

² 教育学における先行研究としては、庄司和晃（1978）『柳田國男と教育—民間教育学序説』評論社、関口敏美（1995）『柳田國男における「学問」の展開と教育観の形成』風間書房、谷川彰英（1996）『柳田國男 教育論の発生と継承—近代の学校教育批判と「世間教育」』三一書房、他。

2. 前代教育にみられる子ども観

2.1 子供組における自治

柳田が研究対象とし調査した前代教育の営みは多岐にわたるが、例えばその一例として「子供組」が挙げられる。子供組は村落共同体ごとに存在した年齢集団のひとつであり、主に祭祀行事の執行を担い活動した。その際、子供組に属する子どもたちは自らの役目を果たすため、大人に頼ることなく自治を行い、大人もあえて口を出さず手出しもせず見守るに徹することが慣例であった³。こうして当時の祭祀において、子どもは特権を与えられ、さらには平常では許されない悪戯さえも大目に見られ許される傾向にあった。

このような「子どもによる自治」が認められた背景には、子どもを神に近い存在として捉える前代の子ども観があったと考えるのが先行研究では通説とされている。子供組の特性を総括的に明示した竹内利美は、「子供たちにとっては、大人の世界から隔絶された独自の集団的生活をもつことが魅力であり、しかもそこでは神に奉仕するものとしていわば公認の自由を獲得することができた」とし、祭りによっては「平常は許されないかなり奇矯放逸な言動」も「神の名において、一種の特権として容認されてきた」という⁴。つまり、子どもの自由が公認されたのは、子どもが大人よりも神に近い存在として特権を与えられていることに起因すると述べられており、この点は柳田がかねてより主張してきた指摘とも一致している⁵。宮本常一もまた、祭祀行事と子どもとの関連を説く際、民間で行われていた祭りには「子供の参加することが少なくない」と指摘し、「これはもともと、子供が神聖視されていたためでもあると思う。そして子供が参加しないと、神のまつりのおこなえないという事態もあった」と述べている⁶。こうした子ども観は前代における特色のひとつとして捉えら

³ 詳細は、拙稿（2018）「近代以前の教育における子供組の自治—柳田國男の前代教育論を手がかりに—」アジア教育学会『アジア教育』第12巻にまとめた。

⁴ 竹内利美（1957）「子供組について」『民族学研究』21(4)、日本民族学会、p.65

⁵ 例えば柳田は、著書（1942）『こども風土記』（朝日新聞社、『定本柳田國男集』筑摩書房、第21巻所収）において「公認の悪戯」「左義長と正月小屋」と題し、子どもによる十五夜の団子盗みや道祖神祭での悪口が大人に許されていた事例を挙げている。「そんなことまでして叱らなかったのは、正月ばかりは子供らが神主さんだから、というような考えがまだ幽かに伝はっている土地が多いためであった」という（同上、p.36）。

なお、本稿では、柳田の著作より引用する際には旧字体は適宜新字体に改め、仮名遣いも現代表記に直した。

⁶ 宮本常一（1957）『日本の子供たち』（『宮本常一著作集』未来社、第8巻所収）p.88

れ、前代教育を特徴づける主たる要因として説明されてきた。

2.2 昔話と子どもの関係

しかしながら、上記に述べた前代の子ども観、すなわち子どもを神に近い存在とする子ども観だけでは、すべての前代教育の特性や慣例を説明するには不十分である。柳田が見据えた前代教育と近代教育の違いに、時代に伴う子ども観の変化が関係していることは明らかなが、子供組以外の教育的営みについてもその子ども観のみで説明できるとは限らない。子どもの神聖視以外については明瞭に語られることが比較的少なく、未だ検討の余地があると思われる。

そこで本発表にて取り上げたいのが、昔話である。昔話は、口頭による伝承で語り継がれる「文芸」として柳田が早期から注目し、その教育的意義をも唱えたことで知られている。教育学の先行研究においては庄司和晃の論述が代表的であり、柳田が日本の習俗に教育的意義を見出し、それらを近代以降にも積極的に活かそうとした功績を庄司は高く評価している。その中で庄司は昔話における教育的意義についても、以下のように述べている。

(柳田の研究成果によれば：引用者註) 神話のひこばえ⁷的存在、それが昔話というわけである。これは、最初から子供のために用意されたものではなく、本来は、大人を対象として語られた尊ぶべき民間の説話であり、……昔話と児童との関係および昔話が元来大人用であったという研究の結論から、柳田は必然的に一般大衆の教育法の特質を浮きぼりにした。前代には、いわゆる子供を子供として教育するという今日のごとき気風はなく、大人と共に大人の中に育つものという受けとめであった。……特別に「子供の為の話」や「子供に向く文芸」があるわけではなく、大人のありかたを見、大人達の話を目にするというように、大人のかたわらにあって「各自の年齢に応じて学び得るものだけ」を摂取していたのである⁸。

つまり、前代における昔話と子どもとの関係についても、子ども向けに内容や魅せ

⁷ 庄司曰く、ここでいう「ひこばえ」とは切り株や木の根元から出る若芽に喩えて、昔話が単純なる娯楽用の話ではなかったことを表わしている。

⁸ 前掲、庄司和晃（1978）『柳田國男と教育—民間教育学序説』、pp.214・216

方が用意された近現代の昔話とは異なり、前代では子どもが大人と同等の話を聞き、その中から学び取るのに昔話が一役買っていたというのである。近代では「民話」も登場するが、柳田は前代の姿を残す「昔話」と、近代以降に創られた「民話」とは明確に区別しており、自身が探究の対象とするのはあくまでも「昔話」として明言している。こうした前代教育にみられる大人の教育姿勢は、先述した子供組にみられる子どもを神聖視するような子ども観では説明がつかず、前代における子ども観や大人の関わり方をより多様な視線で検討する必要がある。本発表では、柳田が昔話を通していかなる前代教育の特徴を見出していたかを明らかにするとともに、これまで先行研究において定着していた子どもの神聖視に留まらない考察を試み、柳田の見解を主として前代における昔話の教育的役割や、その背景にある子ども観、近代以降の民話との相違点などを明らかにしていく。

3. おわりに

前代教育の特性や前代にみられる子ども観は、これまでも先行研究によって子どもの神聖視を中心に説明されてきたが、前代教育に相当する当時の営みは実に多様であり、主流とされる見解のみですべての前代教育を解明するのは些か早計のように思われる。実際に柳田も、当時のあらゆる教育的営みをそれぞれの営みに合わせた視点や言葉で解説しており、子どもの神聖視とはまた違った子ども観は未だ明確に把握されていないと考えられる。前代の子ども観を、これまで以上に多様に捉えることで、前代教育の特徴もさらに鮮やかに豊かに見出されるよう努めていきたい。

主な参考文献

柳田國男（1933）『桃太郎の誕生』三省堂

柳田國男（1936）「昔話を愛する人に」民間伝承の会『昔話採集手帖』序文

柳田國男（1938）『昔話と文学』創元社

柳田國男（1947）『口承文芸史考』中央公論社

関敬吾（1955）『民話』岩波書店

庄司和晃（1978）『柳田國男と教育—民間教育学序説』評論社

戦争と平和

日・中小学校『国語』・『語文』教科書を中心に

李 慶国（追手門学院大学）

1. はじめに

「戦争と平和」は人類社会における深刻で重大なテーマである。同時に、教育領域においては、戦争と平和の正しい観念を育むのが重要な課題でもある。

「戦争と平和」は小学校の国語教科書の重要な内容であり、国語教科書の編纂にとっては最も難しい課題である。「戦争と平和」に関連する内容の学習を通して小学生に平和を愛する心、戦争に反対する心、命を尊重する心、人間性を大切にする心など、また正しい戦争観と歴史認識を養うことは、小学生の成長過程においては非常に重要な教育内容といえる。戦争の話を適切に扱わなければ、小学生の正常な精神発達や情操の涵養に影響を与え、正しい価値観や善良な人格の形成にも影響を与えかねない。

本稿での「戦争」は主に日中戦争¹を指している。筆者は日本と中国の小学校『国語』、『語文』の教科書の「戦争」に関するテキストを比較し、各自の特徴や問題点の分析を試みた。また、『国語』、『語文』教科書の「戦争」に言及のあるテキストを通して「戦争と平和」を教えるべきことを検討してみたい。

2. 「戦争」について、日・中小学校『国語』『語文』の内容と特色

日本の小学校で使用される『国語』の教科書は、主に光村図書、東京書籍、学校図書、教育出版の4社から出版されている。4社とも採用している本文は、今西祐行の「一つの花」（4年上）がある。この他、光村図書には「ちいちゃんのかげおくり」

¹ 本稿で「戦争」という用語は1931年9月18日「9・18事件」から1945年8月15日の日本の無条件降伏発表までの日本が中国や東南アジアへの侵略戦争を指している。日本は「日中戦争」「十五年戦争」、「アジア・太平洋戦争」と呼んだ。中国では「抗日戦争」「八年抗日戦争」と呼び、2017年以後、中国教育部の統一編集した教科書は「抗日14年戦争」と言い方を使うようになった。

(3 年下)、「平和のとりでを築く」(6 年)、東京図書には「ヒロシマのうた」(6 年)、「いわたくんちのおばあちゃん」(6 年)、学校図書には「勇気の花がひらくときーやなせたかしとアンパンマンの物語」(5 年下)、「フリードルとテレジンの小さな画家たち」(6 年上) などがある。また教育出版には「川とノリオ」(6 年上) はある。採用の最も多いのは学校図書であり、全部で 4 編ある。このうち「フリードルとテレジンの小さな画家たち」は、ナチスの強制収容所に収容された子どもたちを描いたドキュメンタリーで、残りはすべて日本国内の戦時中のお話である。「フリードルとテレジンの小さな画家たち」「ヒロシマのうた」「いわたくんちのおばあちゃん」以外は、戦争の現場を直接描いたものではなく、戦時中の生活体験を子どもの視点から描いたものであり、戦争が一般の日本人にもたらした災害や心の傷を間接的に反映している。

中国での小学校の『語文』教科書²には、抗日戦争をテーマにした 7 つのテキストがある。即ち「王二小」(2 年上)、「手術台が戦場だよ」(3 年上)、「ひげを蓄える梅蘭芳」(4 年上)、「忘れられない授業」(4 年上)、「小英雄の雨来」(4 年下)、「冀中の地下道戦」(5 年上)、「狼牙山の五勇士」(6 年上) などである。この内、「王二小」と「忘れられない授業」は本文ではなく、補助教材(閲覧用)である。「小英雄の雨来」、「狼牙山の五勇士」、「冀中の地下道戦」は、1949 年以後、各『語文』出版社がみな採用しているテキストである。

中国小学校『語文』教科書の「戦争」を扱った本文は、日本の小学校『国語』教科書より明らかに多い。また、戦争の場面や戦場の様子を直接に描写したものもある。但しその戦争が一般民衆にもたらした苦難の状況や個人の心情、心の傷などを子どもの視点から描いた作品は、日本に比べて少ない。子どもを主人公にした文章は、日本ではごく普通な子どもである一方、中国では抗日の小さな英雄として書かれている。

日本の「戦争」についての教材は、まず、戦時中の生活と記憶を子供の視点から描いている。例えば、「一つの花」(4 年上)、「ちいちゃんのかげおくり」(3 年下)、「山へ行く牛」(6 年下)。どれも戦争がもたらした苦しみや個人的な感情を子どもの視点から描いている。「一つの花」は戦時中の物資の不足と飢餓感を描いたもので、ゆみ

² 2017 年に中国の義務教育の教科書は教育部による編集・審査されるものしか使用できない。小学校から高校までの学校教科書は出版社が自由に編集・出版が出来ず、すべて中国政府が教育部を通して発行している。

子はいつも食べるものが足りないと感じ、母親におかわりをねだった。「山へ行く牛」には、島子は山の人たちが去年みたいに卵かけご飯の大きなどんぶりをくれるんじゃないかとささやかな期待を抱いていたが、今年はわずかなご飯と漬けものだけで、がっかりした。「ちいちゃんのかげおくり」は、空襲で母と兄と離れ離れになったちいちゃんが、家が焼け野原になっていて家族を失い、最後には原爆で死んでしまう。

これらの文章の作者たちは、そのほとんどが戦時中に幼少期から 10 代を過ごし、物資の不足、飢餓、空襲から身を隠すことの恐怖、家族との別離など、自らの体験を作品に盛り込み、戦争が一般の日本人にもたらしていた災厄や被害を真に再現している。

次に、戦争に対する人々の疑問や平和への願望を直接的、間接的に表現している。「ちいちゃんのかげおくり」では、父親を戦争に送り出す際に、母親が小さな声で「体の弱いお父さんまで、いくさに行かなければならないなんで。」といった。「山へ行った牛」では、島子の父親が母親と祖父に「好きで行くのやない。」と告げた。戦争に行くことへの不満と無力感を端的に表している。「一つの花」、虚弱な父の遠征の日がついに来た、ゆみ子は父を「まるで、戦争になんか行く人ではないかのように」と感じていた。「出征」した父親との別れを惜しみ、軽く嘆く子どもの姿や、「出征」や「正義の戦い」への反省と疑問の描写など、そのすべてが戦争への嫌悪と平和への切望を表している。

その他には、空襲や原爆投下後の悲惨な光景を描いたテキストもある。例えば、「ちいちゃんのかげおくり」では、焼夷弾の炎の中、逃げ惑う人々があちこちに見られ、住んでいた家も爆撃で壊れ、塀や廃墟と化していた。「ヒロシマのうた」には、原爆投下後の救援活動に参加した著者の体験に基づく、原爆投下後の光景の描写がある。

「いわたくんちのおばあちゃん」では、いわたおばあちゃんが 6 人家族の唯一の生存者である。彼女の目にした光景は「だれなのかわからないくらい、ひどいやけどをした人。爆風で吹き飛ばされたり、ガラスが全身につきささったりして大けがをした人。大変なすがたのたくさんの人たち。」日本は世界で唯一の被爆国であり、原爆投下後の悲劇の描写は衝撃的なものである。

中国の場合、まず、抗日戦争の戦役や戦場、敵との直接対決が直接描かれている。例えば、「狼牙山の五勇士」（6 年上）「手術台は戦場だよ」（3 年上）。

次に、抗日戦争の英雄を主人公としてその勇敢な戦いぶりを描写し、賞賛する作品が多い。例えば、『小英雄の雨来』（4 年下）や『王二小』（2 年上）である。いずれも

子どもたちが主人公で、敵と直接に闘う物語である。この二つの抗日戦争の小勇士の物語は、愛国主義教育のための「紅色の経典」として広く知られている。小説、漫画、絵本だけでなく、テレビドラマやアニメ映画にもなっていた。「小英雄の雨来」と「王二小」は小学生たちの心の中で尊敬する小英雄となり、彼らの共通の「戦争の記憶」ともなった。子供を主人公にした抗日英雄を含む、抗日戦争中の激戦シーンの直接的な記録や描写、あるいは英雄的な人物や行為を賞賛するものがほとんどである。

中国と日本の小学校国語教科書の「戦争」に関する内容、教育目標、モジュールのテーマ・プロンプトと問題の設定などを比較すると、両者には多くの違いがあることに気づく。

第一、教育目標とモジュールのテーマ・プロンプトの重点に違いがある。

「戦争」を扱った日本小学校『国語』教科書は、「戦争と平和」をテーマとしている。教育目標を見ると、戦争に反対し、平和を愛するという基本的な価値観を教育・育成しようという意図がよくわかる。一方で中国教育部編の小学校の『語文』の「戦争」に関する教材は、小学生に革命の伝統と愛国心を教育することに重点を置いている。

第二、「戦争」をめぐる教材の物語の視点が異なる。

日本の小学校『国語』から各出版社が選んだテキストを見ると、子どもが主人公の作品や子どもの視点で語られた作品が多く、小学生にとって共感しやすく、読むのに適している。一方、中国教育部編の小学校『語文』では、子どもが主人公の文章は少なく、「小英雄の雨来」と「王二小」だけで、抗日英雄を賛美したり、描写したりするもので、語り手の視点も大人が子どもに語りかけるようなもので、子どもの視点とはいえない。

第三、「被害者」と「戦勝者」の問題

中国教育部編の小学校『語文』では、「戦争」に関する文章は、戦争における「被害者」と「戦勝者」としての中国の視点（観点）と立場を反映している。抗日戦争に中華民族の忍耐と勇気を反映し、その英雄的行為を賛美するのは当然であるが、それとは対照的に一般庶民の戦時中の苦しみや個人的な体験、戦争によってもたらされた心の傷を描いたり語ったりする作品は非常に少なく、子どもを主人公にした作品でさえ、抗日英雄モデルから脱却することは難しい。要するに、「勝者」の視点は「被害者」の視点よりもはるかに強い、あるいは大きいとなっている。

3. おわりに

本稿は筆者が日本と中国の小学校『国語』、『語文』の教科書の「戦争」に関するテキストを比較し、各自の特徴や問題点の分析を試みた。また、『国語』、『語文』教科書の「戦争」に言及のあるテキストを通して「戦争と平和」を教えるべきことを検討した。最後に中国教育部編の小学校の『語文』教科書の「戦争」という話題のテキストをどう選択したらよいか、「戦争と平和」をどう教えるべきか、提案したいと思う。

一、「戦争」に関する内容のテキストを学ぶとき、「戦争」だけではなく、「平和」のことを考えなければならない。つまり小学生に「戦争と平和」をセットとしたテーマにして考えることは重要である。

「戦争と平和」関連内容の学習を通して、小学生の平和を愛し、大切に作る心、戦争に反対する心、生命を尊重する心、人間性を思いやる心を育てることを主な教育目標とし、小学生の正しい戦争概念の確立と歴史認識の力を学習の成果として試す指標としなければならない。中国教育部編の小学校『語文』のアンソロジーから判断して、モジュールのテーマ・プロンプトも放課後の演習も、「戦争と平和」を学び考えることをテーマ・ポイントにしていないのは残念である。残念なのは、教育部が「革命的伝統」と「愛国心」の教育に重点を置いていることだ。また、ここでいう「革命的伝統」とは、共産党指導下の革命的伝統を指すのは間違いない。しかし、抗日戦争は、共産党が中心に指導した戦いではない。共産党系の八路軍と新四軍は実に国民革命軍に属し、国民革命軍の一部である。国民革命軍が対日戦の正面戦場で果たした重要な役割や、抗日戦争の歴史的事実を無視すれば、国のために血を流して戦い、命を犠牲にした抗日烈士にすまないと思うだけでなく、抗日戦争の歴史を深刻に傷つけ、ぼやけさせ、さらには子供たちの歴史認識を歪めることになるだろう。

小学生に対する愛国教育はどうあるべきか、まず世代から世代へと憎しみの種を受け継ぐべきではない。筆者の意見では、「戦争」に関するテキストの学習は「戦争と平和」をセットとしたテーマとし、学習と思考の焦点とすべきである。そうでなければ、「愛国心教育」は偏狭な「ナショナリズム」や「ヘイト教育」の土壌になってしまうだろう。

二、「戦争」に関するテキストの選定は、抗日戦争の英雄を賛美するというテーマに限定されるべきではない。

中国教育部編の『語文』教科書では、抗日戦争の英雄的行為を記述・賛美するもの

がかなりの割合を占め、子どもが主人公の作品も抗日英雄を賛美している。長い間、教科書の編纂はこの「英雄コンプレックス」から逃れられなかった。筆者は、そのような身近な英雄物語よりも、普通の人々、特に普通の子どもの戦時体験にもっと注意を払うべきであり、小学生が読むのに適しているだけでなく、子どもたちにも受け入れられやすい、子どもの視点から戦争を語り、描くべきだと考えている。もう一つの理由は、子どもは成長するにつれて観察力や模倣力が強くなり、戦争時代の英雄、特に少年の小英雄を崇拜する心理が芽生えやすいからである。教科書のなかの英雄像の影響を受けて、1950年代から60年代にかけての若者たちは、自分が戦争の時代に生まれず、戦争に参加できなかったことを悔しく思う。小雨来や王二小のような小さな英雄になりたいと、戦いに参加することを切望していた。その後、文化大革命の「武装闘争」は、その世代の若者たちに「闘う」舞台を提供し、「英雄」になるという夢を実現する機会を与えた。その結果、無邪気で純粋、盲目で狂信的な若者たちが文化大革命の概念や権力闘争に巻き込まれ、全面的な闘いを繰り広げ、何十万人もの若者たちが命を落とし、あの時代の歴史の犠牲者となった。

三、「戦争の記憶」のために選ばれたテキストの中には、殺戮、死、暴力、流血の場面が描かれているものがあり、子どもたちの恐怖の連想や心理的な暗示を呼び起こしやすく、小学生の心身の成長にはふさわしくない。テキストを差し替えるか、指導のレベルを上げることが提案される。例えば、2年生の補助教材「王二小」は非常に短い、脚注には方氷の「牛飼いの二小を歌う」が元になっていると書かれている。したがって、この文章に接するとき、教師は当然方氷の歌「王二小」を紹介したり、王二小の物語を詳しく話したりして、小学生が文章の内容をよりよく理解できるようにしなければならない。方氷の歌詞には「敵は銃の先で王二小を刺し、石に投げずてて殺害した」、「幹部や村人は無事だったが、彼は寒い山の中で眠っていた」といった一節がある。「銃の先で王二小を刺し」「投げ捨ててて殺害した」という言葉は残酷さと暴力を感じさせるが、「山で眠った」という「冷たい」死は、小学2年生にとって、あまりにも恐ろしく悲惨で、幼い心にマイナスな影響をもたらすかもしれない。小学校低学年向けの教材としては明らかに不適切であり、削除を推奨する。このような教材には日本の侵略者を憎む効果は確かにあるだろう。しかし、小学生がまだ戦争に対する正しい概念や歴史認識を形成しておらず、戦時中の軍国主義的な日本と戦後80年以上にわたる平和的な日本の発展の区別がつかず、幼い心に憎しみの種をまいてしまったとしたら、その種が大人になってから発芽・成長しないと誰が保証できるだ

ろうか。そこで筆者は、小学生、特に低学年の純粋で傷つきやすい心を守るために、子どもたちができるだけ早い時期に戦争の残酷さや流血表現にさらされないようにすること、特に戦争時代における若いヒーロー像の選定を減らすことを提案したい。

附録：

日本小学校『国語』教科書の例：

＊「ちいちゃんのかげおくり」（３年下）「ふりかえろう」

1. 場面のうつりかわりをとらえるために何に注意して読みましたか。
2. どんなことに気をつけながら感想文を書きましたか。

戦争について書かれた本を読みましょう。

＊「一つの花」「振り返ろう」（４年上）

1. 場面の様子や出来事と、登場人物の気持ちをどのように結び付けて考えましたか。
2. 「一つの花」の何を取り上げ、どのようにしようかいましたか。

＊「勇気の花がひらくときーやなせたかしとアンパンマンの物語」

＊＊「川とノリオ」（６年上）「ふりかえろう」

1. 物語の全体をとらえ、場面とともに移り変わるノリオの心情を読むことができましたか。
2. すぐれた表現を見つけ、その中から心に残った表現を取り上げて感想を話し合うことができましたか。

＊「ヒロシマのうた」

戦争や平和について書かれた作品を読もう。

戦争のような状況や、その中で生きる人々の姿をえがいた作品は数多くあります。「ヒロシマのうた」とあわせて、戦争や平和について書かれた作品を読みましょう。

「ふりかえる」：「ヒロシマのうた」と、ほかの作品を関連付けて読み、どのようなことを思ったり考えたりしましたか。

中国教育部編の小学校『語文』の例（省略

日本における中国人モニュメントの機能の変遷

—周恩来総理記念詩碑を中心に—

張柳柳（南京工業大学浦江学院）

1. はじめに

戦争が相次いだことにより、記念碑や慰霊碑の建立は激増した。モニュメントは常に記憶の場や慰霊空間の面として論じられることが多いが、戦後に観光客を引きつける場所になったことを指摘している研究もなされている¹。福間の定義によれば、モニュメントは不特定多数の来訪者に向けて、過去の記憶や体験を象徴的に物語るものであり、しばしば見る者から複数の仕方で解釈されるという²。それゆえに、様々な可能性がモニュメントに付されるであろう。

日本側によって作られてきた中国人のモニュメントは大別して二種類に分けられる。一つは強制連行中国人殉難労働者のために建てられたモニュメントである。もう一つは日中友好に貢献した中国人の建造物である。本稿は、周恩来総理記念詩碑を中心に、日本人が建立した中国人モニュメントを取り上げ、それが発揮した機能の変遷を分析することで、人々が戦後日中関係のありようをいかにして捉えてきたかの一端を明らかにするものである。

2. 周恩来総理記念詩碑の建立過程とその背景

江蘇省淮安に生まれた周恩来は 1917 年 6 月に南開中学校を卒業した。そのころ、日中両国のあいだには、日本政府が学校を指定し、中国の留学生を受け入れるという協定が結ばれていた³。高遠な抱負をもつ周恩来は 1917 年 9 月から 1919 年 4 月にかけて日本に留学した。東京高等師範学校と第一高等学校の受験に落ちた周は帰国

¹ ケネス・E・フット著；和田光弘[ほか]訳『記念碑の語るアメリカ：暴力と追悼の風景』名古屋大学出版会、2002 年。

² 福間良明『「戦跡」の戦後史：せめぎあう遺構とモニュメント』岩波書店、2015 年、246 頁。

³ 金沖及主編；狭間直樹監訳『周恩来伝：1898-1949（上）』阿吽社、1992 年、34 頁。

する決心をし、1919年3月に東京を離れ、京都に立ち寄った⁴。京都滞在中に、「雨中嵐山——日本京都」という詩を読んだ。4月末神戸から海路で日本を離れ、中国に帰った⁵。

1972年、周恩来をはじめ日中両国各界の人々の努力のもとで、日本と中国はようやく国交回復を実現した。外交の場で活躍し日中友好に大きく貢献した周は1976年になくなった。1978年8月、日中平和友好条約が調印された。『胡耀邦中国共産党中央委員会総書記訪日（公賓）』によると、この条約調印を永遠に記念し、子々孫々にわたる友好を願う心を表したいという声が巻き起こった、ということが分かった⁶。そこで京都にゆかりが深く、日中両国間の友好のために尽力した周恩来の詩碑を建立しようという運びになった⁷。

碑の正面には廖承志の揮毫が書き写され、副碑には「一九七八年十月 日中平和友好条約締結を記念し京都人の子々孫々までの友好の心を現す為〔ママ〕ゆかりの深い此の地に偉大なる実力者周恩来総理の詩碑を建立する」と彫られている。その裏面には周恩来総理記念詩碑建立委員会のメンバーの名前が刻まれている。1979年4月16日、周恩来元首相の詩碑除幕式を行った。

3. 中国政府要人による詩碑の参観とその変遷

筆者は2019年1月29日に日本国際貿易促進協会京都総局専務理事・中重節子に聞き取り調査を行った。中重によると、中国政府要人による詩碑の参観は事前に当協会に申し込みをし、当協会の担当者が詩碑の案内をするという形で行われているということである。当協会の記録によると、今まで計80人もの中国政府要人が碑を訪ねた⁸。詩碑の参観は、赤ペンキ事件が発生した1987年まで頻繁に行われていた。しかし、80年代末から激減し、日中関係が最悪ともいえるほど悪化した1998年から2006年までの9年間は断絶した。2007年、7年ぶりの中国首相による訪日を機に、

⁴ 金沖及主編；狭間直樹監訳『周恩来伝：1898-1949（上）』阿吽社、1992年、46-47頁。

⁵ 同上、1992年、56頁。

⁶ 同上。

⁷ 同上。

⁸ 日本国際貿易促進協会京都総局「周恩来記念詩碑を参観した中国国家要人」
http://www.japitkyoto.jp/mwbhwp/wp-content/uploads/shihi_sankan_20160122.pdf、2023年6月20日閲覧。

中国政府要人による詩碑の参観も再開した。現在、中国の国家要人が訪日する際に詩碑に献花することはあるものの、80年代に比べかなり少ないと言えよう。

胡耀邦による詩碑の参観の事例から見れば、中国の国家要人が訪日した際、中国側は日中関係のゆかりの地への訪問をのぞみ、その場で日中友好を語り、周恩来詩碑の訪問も中国側の希望で実施されたということが分かった。中国政府要人にとって、周恩来の石碑は周元首相をしのぶ場であると同時に、日中友好の一層の発展を語る場でもある。

4. 2000年代以降の周恩来総理記念詩碑の機能の変遷

本章は、日本が観光立国を掲げ、訪日中国人観光客も増加するなかで、もともと日中友好を記念するために建立された周恩来詩碑がどのように観光化してきたのかを追究し、また、2019年において詩碑をめぐるどのようなイベントが催されたのかを明らかにすることによって、周恩来総理記念詩碑の機能の変遷を分析する。

4.1 周恩来総理記念詩碑の観光化

1930年代から観光事業に取り組み始めた京都市は、90年代末期から経済発展による中国人の観光の需要の増加に注目し、観光事業を重要な政策と位置付け、日本政府が掲げている観光立国事業を牽引してきた。観光資源の発見などを含む京都市観光推進政策の進展につれて、周恩来詩碑は2004年頃洛西にある観光史跡の一つとして観光ブックに収録された⁹。その後、飛躍的な経済成果を遂げた隣国から訪日観光客を誘致するため、日本政府は中国人観光客へのビザの発給条件を次第に緩和し、同時に京都市は、中国のメディアを通じて京都の観光情報を発信し続けてきた。無論、周恩来詩碑も宣伝対象の一つとなった。2007年の温家宝首相による詩碑の参観は中国人観光客に対して京都市が詩碑のアピールを積極的に行なうきっかけとなった。こうして、中国人からの人気が高い周恩来の詩碑は、京都市側の主導のもとで観光スポットの一つとして観光マップに定着してきた。

⁹ 京都史跡見学会編『京都洛西 洛北散歩 22 コース』、2004年、7-9頁。

4.2 周恩来総理記念詩碑をめぐるイベント（2019年）

「雨中嵐山」創詩 100 周年にあたる 2019 年において周恩来詩碑をめぐる様々なイベントが開催された。恒例の日本国際貿易促進協会京都総局による「2019 年日中新年賀詞交歓会」のほか、4 月 5 日に詩碑建立 40 周年と「雨中嵐山」創詩 100 周年を記念するため、一般社団法人日中国際文化交流協会の理事らは「周恩来元首相記念事業『雨中嵐山』創詩 100 周年」の記念活動の始まり―詩碑への献花―を行った¹⁰。実は、同協会は嵐山地域に周恩来銅像の建立計画を立てている。そのため、日中国際文化交流協会を中心に経済関係者や研究者らでつくる実行委員会が 5 月 20 日に「周恩来元首相記念事業 創詩 100 周年・記念詩碑建立 40 周年 献花式・記念講演・記念祝賀会」を主催した¹¹。

そして、5 月 16 日、中国河北省青龍滿族自治県とビジネス関係を持っているある日本会社の担当者が同県の訪日団を詩碑に案内した。また、江蘇芸術基金 2016 年度海外推广資助プロジェクトとしての「運河驕子周恩来—中国名家詩歌朗誦会」¹²は、7 月 8 日に京都市右京ふれあい文化会館で「周恩来元総理「雨中嵐山」創詩 100 周年記念 中国名家詩歌朗誦会クラシックセレブ」を行った。

2019 年において、周恩来詩碑をめぐるイベントは主に日本側の主導で開催されるものであり、参加者はほとんど日中経済関係者である、ということが明らかになった。それに、観光誘致ではなく、日中両国の経済・文化の場で周恩来詩碑が語られるようになってきた。

5. おわりに

本稿では、1970 年代に建てられたモニュメントの一例として、1979 年に京都市の嵐山公園に建てられた周恩来総理記念詩碑を取り上げた。周恩来総理記念詩碑とは日本における中国人のモニュメントの中で特に強い政治性を帯び、現在まで日中関係に一定の役割を果たしてきた。上述した内容から、以下のことを解明した。

まず、周恩来総理記念詩碑が発揮した機能が時代ごとに変化したことである。1979

¹⁰ 「周恩来『雨中嵐山』誕生百年記念活動啓動」『中文導報』、2019 年 04 月 17 日。

¹¹ 「周恩来詩碑、日中の 150 人献花 嵐山公園、建立 40 周年／京都府」『朝日新聞』、2019 年 5 月 24 日、朝刊。

¹² 「掌声在欧州响起！经典名篇名家诵读，『運河驕子』再現周總理風采」新華報業網、2018 年 5 月 2 日。

年、日中平和友好条約の締結を機に作られた周恩来総理記念詩碑は、日中友好のゆかりの地として多くの中国要人に訪問されるなど、1990年代末まで主に政治・外交の場で役割を果たしていた。

2000年代からは、訪日中国人観光客の増加に伴い、京都市は周恩来詩碑を中国人観光客向けに宣伝していた。とりわけ、2007年の温家宝による詩碑訪問を契機として、彼らの宣伝活動は顕著となった。こうして、一般の中国人観光客が周恩来詩碑を頻繁に訪れるようになった。また、近年では、日中両国の経済・文化交流が活発になるとともに、日中経済・文化交流の促進にも役立ってきた。

他方、日中友好のシンボルである周恩来詩碑は、1980年代末までは中国政府要人に、1990年代末からは一般の中国人観光客による訪問地となった。しかし、日本国際文化交流協会の松田会長が指摘したように、周恩来の詩碑は中国人に人気があるが、日本人にはあまり知られていないというのが現状である。

参考文献

〈一次資料〉

京都市産業観光局観光部観光振興課「未来・京都観光振興計画 2010+5」「京都市 MICE 戦略」

京都市印刷物第 213196 号、2010 年

強制連行中国人殉難労働者慰霊碑資料編集委員会編『強制連行中国人殉難労働者慰霊碑：資料集：戦後 70 年記念』日本僑報社、2016 年

国立歴史民俗博物館編集『近現代の戦争に関する記念碑：『非文献資料の基礎的研究』報告書』国立歴史民俗博物館、2003 年

『胡耀邦中国共産党中央委員会総書記訪日（公賓）』、2014-1594、外交史料館所蔵

「胡・中国国家副主席、嵐山や裏千家訪問／京都」『朝日新聞』1998 年 4 月 26 日。

「京の文化と桜、伝えたい 日中の TV 局、番組を合同制作／京都」『朝日新聞』2005 年 4 月 10 日、朝刊

「中国の温首相、京都で友好 茶会や周恩来詩碑に献花／京都府」『朝日新聞』京都版、2007 年 4 月 14 日、朝刊

「中国メディアが伝えるニッポン 9 泊 10 日怒濤のプレスツアールポ」『朝日新聞』2008 年 08 月 18 日、週刊

「周恩来詩碑、日中の 150 人献花 嵐山公園、建立 40 周年／京都府」『朝日新聞』2019 年 5

月 24 日、朝刊

「掌声在欧州響起！經典名篇名家誦詠、『運河驕子』再現周總理風采」新華報業網、2018 年 5 月 2 日

「周恩来『雨中嵐山』誕生百年記念活動啓動」『中文導報』、2019 年 04 月 17 日

インターネット

京都観光 Navi <https://ja.kyoto.travel/useful/guide/#a>、2019 年 11 月 13 日閲覧

京都市観光協会「京都市外国人観光客動向・意識調査報告書」2008 年 2 月。

[https://www.kyokanko.or.jp/wp/wp-](https://www.kyokanko.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/05/kyoto_tourism_survey_2008_1.pdf)

[content/uploads/2019/05/kyoto_tourism_survey_2008_1.pdf](https://www.kyokanko.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/05/kyoto_tourism_survey_2008_1.pdf)、2023 年 7 月 2 日閲覧

京都市情報館 <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000013361.html>、2023 年 7 月 13 日閲覧

京都府 <http://www.pref.kyoto.jp/koen-annai/ara.html>、2023 年 7 月 13 日閲覧

日本国際貿易促進協会京都総局 <http://www.japitkyoto.jp/about/>、2023 年 7 月 26 日閲覧

〈二次資料〉

日本語参考文献

大原康男（1984）『忠魂碑の研究』暁書房

京都史跡見学会編（2004）『京都洛西・洛北散歩 22 コース』山川出版社

金沖及主編・狭間直樹監訳『（1992）周恩来伝：1898-1949（上）』阿吡社

崔淑芬（2017）「日本における周恩来の遺跡の一考察」筑紫女学園大学研究紀要（28）

財団法人嵯峨教育振興会（1998）『嵯峨誌 平成版』日本写真印刷株式会社

高橋文紀（2017）「国交回復前の日中貿易—戦後日中貿易の歩み（1）—」『商学研究論集』（47）

ケネス・E・フット著・和田光弘[ほか]訳（2002）『記念碑の語るアメリカ：暴力と追悼の風景』名古屋大学出版会

西山良平（2008）「＜モニュメント＞の可能性（特集モニュメント）」『史林』91 卷 1 号

羽賀祥二（1998）『史蹟論—19 世紀日本の地域社会と歴史認識』名古屋大学出版会

福岡良明（2015）『「戦跡」の戦後史—せめぎあう遺構とモニュメント』岩波書店

本康宏史（2002）『軍都の慰霊空間—国民統合と戦死者たち』吉川弘文館

山上徹（2000）『京都観光学』法律文化社

吉村孫三郎著・渡会恵介編（1972）『期頤望億』吉村孫三郎米寿記念会

和田章男（2010）『フランス表象文化史：美のモニュメント』大阪大学出版会

中国語参考文献

周恩来『周総理詩十七首』四川人民出版社、1977 年

周恩来『周恩来青年時代詩選』人民文学出版社、1978 年

ドラマ『深夜食堂』に見る日韓中の架橋

日韓「バターライス」を中心に

仲矢信介（東京国際大学）

1. はじめに

『深夜食堂』は、安部夜郎による同名漫画（2006～現在）を原作とし、まず日本で2009年からテレビドラマ化された。原作漫画は日韓台で同時発売されるようになり、現在ではフランス語版、スペイン語版も継続して刊行されている。テレビドラマは韓国で2015年に、中国で2017年にリメイクされ、放映・ディスク化された。日本版は現在Netflixによって製作・放映がおこなわれ、世界中に配信されている¹。本発表では、テレビドラマ版の、日本版と韓国版で同一の食材をテーマにした回を中心に取り上げ、現地化の様相を記述し、リメイク版の新たな創造、オリジナル版とリメイク版の根底に共通して流れている感覚について指摘する。

2. 日韓中に共通すること

三作品に共通して表現されること＝変更の不要だったことに注目すると、本作品群の核をなすメッセージのヒントを読み取ることができる。以下のようなことである。

2.1 設定：舞台

- ・店は繁華街の外れ、路地裏にある（隠れ家的）
- ・小さなカウンターだけ、テーブル席はない（一部、中国版で一人用の席が映されることもある）

（図1として原作コミックスに掲げられるカウンター、図2に日本版、図3に韓

¹ 安部野郎公式サイト <http://abeyaro.com/index.html>（2023年8月18日参照）

国版、図 4 に中国版のカウンターを示す)

- ・深夜の営業 (12 時から早朝まで)
- ・メニューは少なく定食だけが注文があればできるものは作る方針
- ・酒は三杯まで

2.2 設定：人物

- ・頬に傷があり、日常や氏名も不明の、しかし優しい店主が一人で経営
- ・個性的な常連客たち。職業や年齢はさまざま
- ・常連や飛び込みの客によって、さまざまなエピソードが展開する
- ・客たちはここにいる限り対等で、地位や職業などからは解放されている

3. プロット

三作品は多くのエピソードから成っており、プロットはさまざまであるが、このエピソードを代表としてあえて抽象化するなら、以下のように表現できる。

深夜だけ営業している、ある小さな食堂は、常連たちのひそかな隠れ家で、だれもが対等な親しみを感じている。常連たちにとっては、そこに平穏と救いがある。

しかし、その平穏を破る人物が登場し事件が発生し、その人物と常連たちの間に緊張が走る。平穏を破った人物が平穏を支えてきた人物の一人の過去と現在をつなぐ。その人物は去るが、時の空白を埋めて幸福になる。平穏を破った人物も平穏を支える側に移動しコミュニティに平穏が回復される。



<図 1>



<図 2>



<図 3>



<図 4>

4. 日韓「バターライス」の比較

日本版と韓国版とで共通の食材を掲げた回は「バターライス」のみである。両者を比較する。

3.1.1 日本版 第5話「バターライス」あらすじ

客たちが食事をしながらいつものように他愛のない話に興じていると、常連の一人、小道に連れられて料理評論家の戸山が入ってくる。戸山はフランス留学経験のある気取り屋で、話題も場の雰囲気をも損なう内容だ。マイ箸で厚揚げを食べ、自慢や嘲りを含んだ哄笑で店のムードを壊す。

そこに流しのゴローが訪れ、マスターはいつも通り小豚汁とバターライスを出し、ゴローは食し、持ち歌を歌って去る。戸山はそれからたびたび訪れる。ある日、ゴローが指の怪我を理由に流しを引退することを告げに訪れると、戸山の問いかけで、戸山の姉とゴローの古い関係が明らかになる。戸山の少年時代、戸山の姉がゴローと恋人関係にあったこと、戸山はその頃ゴローからギターを習ったこと、三人でよくバタ

ーライスを食べたことを思い出させ、ゴローの姉が親の決めた許嫁と結婚せずにゴローの許に戻ってきたこと、ゴローはその時すでに函館を去っていたこと、姉は現在も一人で、函館でカラオケスナックを営んでいることを打ち明ける。二人は並んで、店の割箸でバターライスを食べる。

戸山はそれからたびたび店を訪れバターライスを注文する。戸山の話で、ゴローが函館の戸山の姉の許にゆき、同居して姉の店を手伝っていると伝わってくる。戸山はバターライスをお代わりし、「この料理に星はつけられないよ」と言い、最後に常連たちと共感のこもった笑いを見せる。マスターの内心のつぶやき「こんな料理評論家ってありかねえ」で幕。

3.1.2 韓国版『深夜食堂 from ソウル』におけるリメイク

ストーリーの骨格はおおむね同じながら、細かな差異・付加があり、また、エンディングが異なる。特に際立つ差異を以下に示す。

- ・ 評論家「パリ留学中は貧乏でこういう安酒場によく行ってた」

（「安酒場」と遠慮のない表現）

- ・ 「ビールはチェコで飲むべきだ。ドイツのビールは大衆的過ぎる、世界最高のビールはチェコのピルスナーだ」

（極端で独善的な発言）

- ・ 常連の反応、発言

（激しい悪口）

「毒舌はテレビ用のキャラかと思ったが全然違ったな」

「この店であんなろくでなしは初めて見たわ」

「きのう女房を連れてきたかった。女房ならく黙って食え！>と言うだろう」

「一緒に本を作っているんですがほんとにそう言いたくなります。最高級とかなんとか言うんですよ。最高のものが何かも知らないくせに。だから連れてきたんです」

「そうと知ってたらとっちめてやった口だけは誰にも負けない。同じ人間なのに、偉そうにしがって」

- ・ 評論家の習慣「まずいものはひと口だけ」
- ・ 「身体にゴミを入れない、入れるのがこの仕事」
- ・ 「韓国はマスコミもブロガーも味がわからないから自分などが忙しい」

（驕慢）

- ・ 常連「評論家さん、ひとつ教えてくれ。旨いか？バターライスなら家でも食べるだろ？」
- ・ 評論家「妻がフランス出身なので主食はパンです」
- ・ 常連「それでフランスに詳しいのか。俺も女房が魚嫌いなので家では食えない。大きなコイを釣ってきてても無駄になるだけだ。俺と同じ境遇だな。俺の仲間だ」と笑うが相手にされない。

(コミュニティが差し伸べた手を無視)

- ・ 流しの鳳凰(ボンファン)の口上「世界的ギタリストになり損ねたノ・ボンファンです。母が俺を産むとき鳳凰の夢を見たので<ボンファン>。でも今ではウズラにも劣っている。ノー・ノー・ノーボンファン」

(自虐的ユーモア)

- ・ 評論家「流しの仕事で食べていけるのかな」
- ・ 常連「厳しいだろ。昼間は別の仕事をしてる」

(日本版の「どうかな」を明確な否定へ)

- ・ 老楽師(ボンシク、芸名ボンファン)の工場解雇への常連の怒り

(労働問題への強い意識)

- ・ 老楽師「天意なのだろう 別の人生を歩めと」(事故の解釈を示す)
- ・ ボンシクが帰郷してからの同居生活

食事の様子を克明に。 **(食事のシーンを加えより具体的に映像化)**

- ・ 店で常連「オ・ドックだって？何がレオナルド・オよ！」笑い
一口しか食べないと言ってましたよね」「うん」
- ・ 常連「旨そうに食べてるが、ここは評論家さんが選ぶ最高の店ってことか」
- ・ 評論家「そうじゃない。だが、このバターライスは認める」
- ・ 常連「それじゃあ、星は何個くらいだ」
- ・ 評論家「ない。星はつけられない。思い出の味だから」 **(理由の明確化)**
- ・ 常連「お代わりまでして。好きだな」 **(二人で共感のある笑い)**
- ・ オチ(マスター内心のつぶやきと映像)、

「しかし、こんな料理評論家って、ありかねえ」(日本版) 図5

「知ってるだろうか？空の食器が最高の食堂の証しだと」(韓国版) 図6

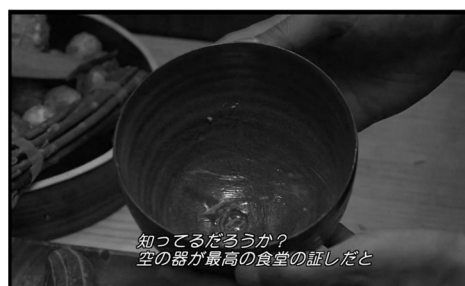
(判断の明示、あるいは新たな解釈。マスターの密かな、確かな自信、食通の好む手の込んだ料理と、それをもてはやす社会への皮肉)

日本版で多く示唆的・暗示的であったこと、わずかなことばや映像で語られたをより明示的・具体的・徹底的に示して見せるのが、韓国版の際だった特徴である。また、評論家レオナルド・オの性格を示す、最初の来店の際の嘲笑的で一方的だった哄笑が、最後に「お代わりまでして。好きだな」という常連の台詞とともに笑うシーンを示すことによって、いわばコミュニティの一員となったことが示される。

さらに、エンディングで評論家はバターライスをお代わりするが、その空の皿について日本版とは異なる、「知ってるだろうか？空の食器が最高の食堂の証しだ」と、マスターの表情に続いて空の丼をクローズアップし、踏み込んだ、新たな解釈を創造したことが特筆される。



<図 5>



<図 6>

4. おわりに一サードプレイスとしての深夜食堂

このように整理してくると、『深夜食堂』は、都市社会学で提唱された概念である「サードプレイス」を、フィクションの形で理想化して表現したドラマであることが理解される。サードプレイスとは、オルデンバーグによれば「インフォーマルな公共生活の中核的環境」であり、「仕事と家庭の領域を超えた個々人の定期的で自発的でインフォーマルなお楽しみの集いのために場を提供するさまざまな公共の場所の総称」(邦訳 2013、59 頁)であって、そこでの重要な機能として「^レ人^ヴを^エ平等^ラにする」が挙げられている。そこは敷居が低く正式な会員資格や入場拒否の基準がなく、その中では地位や身分に関わらず当人の人柄の魅力や雰囲気こそがものをいうこと、外では自分の職位を振りかざして服従と注目を要求する人々も、地位が殆ど意味をなさない場所を楽しんでいる、とオルデンバーグは言う。マイク・モラスキーはこの議論を踏まえつつ、日本の赤提灯のカウンターに代表される個人経営の居酒屋がまさ

にそれに当たることを主張している。「取り立てて行く必要はないが常連客にとって非常に居心地がよいゆえに行きたくなるような場所」（電子版 24 頁）だ。

「バターライス」は、深夜食堂と呼び習わされる、ささやかな、しかし常連客たちにとって重要な、居心地のよい空間＝サードプレイスを舞台とする。そこは普段の職業や身分を離れて、対等の立場で会話が交わされ、楽しめる場だ。そのことは小さなカウンター（全員が会話に参加でき、店主の眼も隅々まで行き届く）、誰もが知っている、ごく普通のメニューによって支えられ、常連たちは職場や家族とは別の人間関係を形成、維持している。われわれが家庭や職場以外に必要とする、また求める場がこのような空間である。

酒は三杯まで、飲み屋ではないという限定も、ここは酔客が主人公ではなく、客同士の会話、人間関係が重要であることを示唆する。そして 12 時からの深夜営業というやや特異な営業時間、顔に傷があるが優しげな眼をした店主という人物設定が、観る者にひそかな期待を抱かせる。料理評論家という異分子の侵入は、コミュニティに対する脅威だが、偶然が過去と現在を架橋し、バターライスという思い出の味を契機として、異分子がコミュニティの一員に溶け込む過程が描き出される。日本版は表現において示唆的・暗示的であろうとし、観る者の想像に頼る余白の面白さを提供したが、韓国版はいわばその余白を埋めて見せた。起こることを明示的・具体的に示し、より劇的な要素を付け加え、ささやかな日常への賛歌としての物語の輪郭を鮮明にして、興味深い再創造を示したのである。

引用文献

- 安部野郎（2008）「バターライス」『ビッグコミックオリジナル』7号、小学館、単行本『深夜食堂』第3巻（2009）、小学館
- マイク・モラスキー 『日本の居酒屋文化～赤提灯の魅力を探る』光文社、p.24、kindle 版
- レイ・オルデンバーグ（2013、忠平美幸訳、原著 Ray Oldenburg.（1989）*The Great Good Place: Cafes, Coffee Shops, Bookstores, Bars, Hair Salons, and Other Hangouts at the Heart of a Community.*Boston, Da Capo Press.

映像

- 登坂琢磨監督（2009）「バターライス」『深夜食堂』第1部第5話 初回放映 2009, TBS、現

Netflix、DVD、2010 年、アミューズソフトエンタテインメント
ファン・インレ演出 (2015)「バターライス」(『深夜食堂 from ソウル』5 話、放映 SBS、DVD
カルチュア・パブリッシャーズ 販売元：アミューズソフト
ツァイ・ユエシユン、フー・ハンチン (2017)『深夜食堂』(中国版)、放映 Beijing Hualu Baina
Film & TV、DVD マグザム、アミューズソフト

「周辺文化」の伝承装置のメンテナンスに関する試論

—三浦半島における地域文化の伝承実践の仕組みを事例に—

金 龍哲（東京福祉大学）

1. 問題の提起と研究目的

地理学者のハーヴェイは、「時間—空間の圧縮」(time-space compression)の概念を用いて「時間と空間の同時性」を現代社会の最も基本的な特徴の一つとし、資本主義の歴史は空間的障壁を克服し、資本の回転時間を短縮する「時間による空間の絶滅」の歴史であったとみる。急激な社会変化を背景に「時間—空間の圧縮」は世界のあらゆる領域に及び、本稿の主題である「周辺文化」の在り方とその行方にも深刻な影響を及ぼしているのである。

2001 年の第 31 回ユネスコ総会で採択された「文化的多様性に関する世界宣言 (Universal Declaration on Cultural Diversity)」において、文化の多様性は「世界の平和と安全を保証する最善策の一つ」として位置づけられ、生物における種の多様性が「自然にとって不可欠である」のと同様に、文化の多様性も「人類にとって不可欠なもの」としてその意義が強調された。グローバル化が進む中、「マイナーな文化」を如何に保護するかは大きな課題となっている。

文化の伝承は変容を伴い、またそれに適した装置を必要とする。「文化の変容」は、とりわけ周辺化を強いられてきた地域文化やマイノリティの文化にとっては、主流文化や外来文化の排除と包摂の圧力に耐えて生き残るための生存戦略であり、自らの伝承装置構築の過程でもあった。このことは、中国西南の少数民族の文化伝承の実践に関する調査でも観察されている。独自の生業様式、生活習慣、祭りや行事、とりわけ通過儀礼等が民族文化の伝承装置をして機能してきたのである。一方、学校教育に民族文化の伝承装置としての機能を求めたり、または学校形式による宗教的職能者養成の実践にみられるように、自ら学校を設立して文化伝承を図ったり、する事例も見られた。ナシ族のトンパ文字と絵画の教材化、トン族の「歌垣」の教室入りの実践、ハングイ（ブミ族の宗教的職能者）養成を目指す「村立」の「ハングイ文化学校」、ピモ（イ族の宗教的職能者）養成のために設立された「正規の学校」としての「イ文

双語職業学校」などがその例である。ジノー族のように、伝承装置をなくしたことで伝統文化が消失した事例も見られる。現地調査では成人式がジノー族の居住するすべての村から完全に姿を消していることが確認された。「ローコ」と「ミーコ」という成人式を担ってきた未婚青年の組織そのものが、建国以降、青年団、婦女連合会や民兵組織に取って代わった結果である。

文化の変容はあらゆる文化にみられる現象だが、巨大化した近代学校制度など強力な伝承装置を持つ主流文化に対して、「周辺文化」は自らの伝承装置を構築し、維持していくことがますます困難となり、政府や社会の支援が不可欠な場合が多い。母系社会を営むモソ人を含めて、中国西南のほとんどの弱小民族は、保存会、研究会、博物館など自らの文化保護団体を設立し、政府と社会の支援を受けながら文化の伝承を試みている。日本においても同様で、地域文化の保存をめぐって、文化遺産の保護や登録、文化財の指定・登録、芸術振興、伝統芸能の継承支援などを担当する文化庁、国立の博物館・文化財機構、地方文化財団・博物館、伝統芸能の団体・保存会、地域の伝統行事・祭りの実行委員会、文化保存会など、さまざまな組織や団体が文化の保存と伝承に取り組んでいる。

本研究が注目したのは、「古い郷土社会と運命をともにして滅び去った諸芸能の中で、ただ一つ最も古い伝統を保持して……時代の激流の中を危く生きのびてきた」三浦半島のチャッキラコという伝統行事である。近代化やグローバル化などを背景に益々強くなる「排除」と「包摂」の流れの中で、13歳未満の少女たちとその母親、女性の音頭取りたちが担う漁村の小さな行事が如何なる変容を伴い、また如何なる伝承装置を構築し維持しながら今に伝わったか、文化が消失した理由でなく、生き残った理由に焦点を当てることで「周辺文化」の伝承の在り方の一側面を明らかにしたい。これが本研究の目的である。

2. 概念の整理と研究方法

先ず、本研究で用いる幾つかの概念について整理しておこう。

「周辺文化」：ここでは経済学・経済地理学・社会学・国際政治学等において、先進国を「中心」とし、先進国以外の国を「周辺」としてその発展の不均等性、力関係の構造的不均衡等を扱った「中心と周辺」(center and periphery)理論の基本的な考え方を借用し、国または地域における中心の文化または主流文化に対して弱い立場

を」強いられてきた地域文化やマイノリティの文化を指す。土着信仰、方言、民族言語、口承文化、儀礼、地域の祭りや行事などが含まれるが、本稿が扱うのは、三浦半島に伝わるチャッキラコという伝統行事である。

「伝承装置」：文化をめぐる知識体系、価値観、信念、技術、芸術的な表現などを含め、特定の文化や伝統を次世代に伝えるための仕組みと方法を指す。教育制度、博物館、各種の保存会、言語、文書、口承、芸術、祭り、儀式など、文化伝承のために機能する有形・無形の様々な形態が考えられる。

本研究は、チャッキラコが「漁師町という無筆地帯に、口から口、手から手へ、あるがままの姿で女達の間を受け継がれてきたため、その実態について掘るべき記録は何一つ残っていない」（内海、1967）ことに鑑み、参与観察と聞き取り調査法を中心としたフィールドワークの研究手法を用いた。表 1 は調査の概要である。

表 1 調査の概要

	調査内容・対象（場所）	調査日時
第 1 回	予備調査：チャッキラコの歴史と現状、市の施策、保存会の現状、現地調査の打ち合わせ（三浦市文化課）	2018 年 12 月 6 日
第 2 回	参与観察：集合から解散までの全過程（仲崎会館、海南神社。昭和館、三崎会館、海業公社、三崎館本店…）	2019 年 1 月 15 日
第 3 回	聞き取り調査：音頭取り 4 名のチャッキラコに関わったきっかけ、音頭取りの役割の継承の仕組み（中崎会館）	2019 年 2 月 8 日
第 4 回	踊り手の意識調査：行事に参加した動機、参加して学んだこと、周りの反応、今後の予定など（三崎小学校）	2019 年 3 月 8 日
第 5 回	地域文化の伝承における学校の役割に関する調査：地域の行事に学校が協力する理由と課題（三崎小学校長）	2019 年 8 月 2 日
第 6 回	コロナ以降の現状調査：市長、保存会会長、三浦市文化担当者、女性生徒と保護者（三浦市）	2023 年 3 月 21 －22 日

3. 文化の変容と伝承装置の変遷

チャッキラコは、三浦半島三崎の仲崎・花暮地域で 250 年にわたって伝わり続けてきたお正月の伝統行事である。その起源については諸説あるが、江戸時代中ごろに漁の安全と大漁を祈願する踊り、つまり「漁村の乙女たちが神前に踊りを奉納し、漁船の安全を祈り、正月の到来を祝う祭礼」として定着し、現在に至ったとされる。

まず、注目したいのはチャッキラコには女性のみが参加できるという点だ。踊り手は園児から小学生段階の女兒（13 歳未満）に限定され、音頭取りと呼ばれる大人の

女性たちの唄にあわせて踊る。1975 年に国の重要無形民俗文化財の指定を受け、2009 年にはユネスコの無形文化遺産に登録されている。内海は「貴重な文化財とされる根拠」を「往古は全国各地にあったこの民俗行事がほとんど消滅した今も、なおこの地に名残を留めている点」に求め、チャッキラコが「昔のままに伝承されたこと」は、「郷土の民間芸能や行事の多くが廃絶またはその寸前にある中で極めて奇跡とすべきこと」とみる（内海、1967）。

ミシェルによると、「文化的アイデンティティの担い手たち」が完全な分離・独立を問題解決の決定的な争点とするケースを除くと、「もろもろの差異の共存を可能にするような定式を考え、これを機能させることが課題」となる。「文化的要求とは差異の再生産に他ならない」が、ここに必要なのは、「文化の変容および自己変容の力」に関心を示すことである（ミシェル、2009）。では、チャッキラコは今に至るまで如何なる変容を経験し、またその伝承の仕組みやメカニズムに如何なる変化が見られたか、その変容を促した要因とは何かについて、いくつかの事例を通して考えることとしよう。

3.1 「取締対象」から「無形文化財」へ

当初、貧しい漁村で細々と伝わるチャッキラコへの視線は厳しく、有力者の家を踊り回って祝儀をもらう「漁師の女の卑しい旧習」として非難されたり、「因習排除」という社会教育政策の「取締対象」とされたり、また警察から「禁止の弾圧」も受けたりしていたが、明治 44 年（1911）2 月 11 日に「突然異変」「画期的な革命」と称される出来事が起きた。三崎警察署新築落成祝の舞台で余興の踊りとして披露することになったのである。これをきっかけにチャッキラコは昭和 6 年（1931）の全国郷土舞踊民謡大会に出演し、昭和 27 年（1952）には文部省や県の文化財保護委員の推薦を得て国の無形文化財に選定される。このように「座敷芸から舞台芸への転換」は、実は近代日本における政治の地域文化への影響を示すものであり、また国家権力と社会一般の承認を得る起点としての意味を持つものであった。

3.2 メディアの役割と影響力

「微弱な一筋の伏流のごとく続いた」郷土文化保存の動きに大きな推進力として機能したのはマスメディアだった。三崎を見るメディアの眼は、この地域に特産の大鰯や三浦大根だけでなく、美しい自然とともにある地域の歴史や芸能など郷土固有

の文化に向けられるようになる。昭和 30 年（1955）12 月にはつい NHK テレビでの出演にたどり着く。放送局のステージに立ち、テレビに出演する機会が増えることによって、チャッキラコは社会的承認を獲得し、その知名度を上げただけでなく、音頭取りや踊りっ子たちが抱いていた劣等感の払拭と文化的価値への自覚を促す結果となった。

3.3 伝承装置の変容と再構築

文化の価値が往々にして内部からでなく外部から認められる場合が多い。チャッキラコも前述のメディアの影響を含めて、その文化的価値が認められたのは、先ず外部からだった。昭和 30 年（1955）市制を布いてからも引き続き奨励金の交付などあったが、「地許有志も非力で、町当事者の熱意も不足」し、「年々衰退するこの芸能保存」に有効な対応ができていないが実態であった。これに対して、マスメディアの取材が頻繁に行われ、京浜方面から集まる同好者の人数も年を追って増してきた。特に注目したいのは、チャッキラコ保存会も外部からの働きによって設立されたことだ。神奈川県社会教育課が文化財指定を受ける前提条件として市教育委員会による保存会の設立を呼び掛けたのである。こうして市民各層から委属された発起人たちによって準備が進められ、昭和 39 年（1964）に保存会が発足し、チャッキラコの保存に大きな一歩を踏み出すこととなった。

3.4 衣装、共食と宿の変容

チャッキラコは、明治 44 年の三崎警察署新築落成祝の舞台で「座敷芸から舞台芸への転換」を果たすが、その際、衣装も新たに考案された。「昔から正月の着物姿で踊った少女に、千早に朱系統の袴、金色の立烏帽子という新しい型の衣装」に一新したのである。「踊りの性格を見失われるような衣装」と呼ぶ人もいる。「漁師のアマッコ（女兒）の卑しい田舎踊り」が「神に仕える姿」に変身し、踊り子たちにも受け入れられて今に至った。新しい衣装は一般に好評だったし、衣装が用意できないことを理由に踊りに参加しないこともなくなったという。

民俗行事に固定の食物が用意され、皆で一緒に食べる現象は、民俗学、人類学の研究で多く観察されている。チャッキラコでは御本膳を本宮に供えが、踊の宿では近所の女性たちによって作られた神に捧げる食事と同様のものが提供され、音頭取りと踊り子たちが共食する。直会（なおらい）の意味のハレの食事とされる。御本膳につ

く者は予め米二合、15 銭、薪 6 本を宿に届けるが、宿の在り方も徐々に変化した。宿とは「チャッキラコの面倒を見る世話役の家のこと」だが、チャッキラコの伝承に大きな役割を果たしてきたとされる（田辺、2009）。従来、宿はくじ引きで踊り子が出る家から決めたが、徐々に順送りとなり、今は花暮や仲崎の会館など公の施設が使われるようになっている。

3.5 「消極的」メカニズムの論理

文化の保存と伝承には、規模の拡大、知名度の向上、観光化・商業化により実利の追求などもよく見られる方策であるが、チャッキラコの保存をめぐって当事者から違う方向性が示された。それは、できるだけコストをかけないこと、規模を拡大しないこと、過度に観光化や地域振興への期待をかけないこと、実利を追求しないことなど、一種の「消極的」とも受け止められるような方策であった。保存、保護、伝承のために過度にコストをかけたり、本来の文化から外れて実利を求めたりすると、保存しにくいという論理である。誰かのためでなく、また誰に見せるためでもなく、自らの古来の伝統文化を自分のために守るという視点の方が有効というのである。

4. おわりに

周辺化された文化の伝承の問題は、基本的に主流社会と文化による抑圧・疎外・排除・包摂のメカニズムを避けて語ることができない。チャッキラコは、「神への信仰」「年一度女性たちの世帯苦からの解放」などの意味も伴いながら、前述したように時代と社会の歩みに合わせて、または合わされながら変容を成し遂げ、自らに適した伝承装置の構築と再編を繰り返して今に至っている。国家権力による「取締対象」から世界無形文化遺産への変身、国と地方自治体による財政的支援、踊りっ子所属の学校による奨励と伝統行事の教育課程化、時代と社会の変化に応じた衣装と宿などの変容、保存会の設立に伴う伝承装置の再編などは、まさに主流文化の排除と包摂のメカニズムを背景に繰り返される周辺文化の抵抗と葛藤の歴史であり、また文化的価値承認を勝取り、自らに適した伝承装置の構を試みるプロセスともいえよう。

本研究は、科研（基盤研究 C 2021－2024 年）「少数民族文化の伝承実践における文化の変容とアイデンティティ再構築に関する研究」（研究代表者：金龍哲）の助成による。

参考文献

デヴィッド・ハーヴェイ著、吉原直樹監訳（1999）『ポストモダニティの条件』青木書店（David Harvey. (1990) *The Condition of Postmodernity: An Enquiry into the Origins of Cultural Change*, Cambridge MA & Oxford UK: Blackwell,）。

W・ベック、A・ギデنز、S・ラッシュ著、松尾精文、小幡正敏、叶堂隆三訳（1997）『再帰的近代化 近現代における政治、伝統、美的原理』而立書房。

GIDDES, Anthony, (1994) *Beyond Right and Left*, Stanford, Stanford University Press.
アンソニー・ギデنز著、松尾精文・小幡正敏訳(1993)『近代とはいかなる時代か?—モダニティの帰結』而立書房。

ミシェル・ヴィヴィオルカ著、宮島喬・森千香子訳（2009）『差異—アイデンティティと文化的政治学』法政大学出版局。

内海延吉著（1967）『ちゃつきらこ風土記』ちゃつきらこ風土記出版委員会。

田辺悟編著（2009）『三浦三崎のチャッキラコ』三浦市教育委員会。

地域社会における持続可能な多文化共生に関する研究

—Y 県を事例として—

崔 肅京(富士大学 経済学部)

1. はじめに

総務省は今年の 7 月 26 日、住民基本台帳に基づいた人口動態調査結果を発表した。それによると今年の 1 月 1 日現在日本の総人口は外国人を含め 1 億 2541 万 6877 人となり、前年より約 51 万 1000 人減少した。このうち日本人は約 80 万 1000 人減少し、減少幅は 1968 年の調査開始以来最大であった。47 都道府県すべてが減少したのは初めてである。こうした数字は日本の少子化問題が深刻であることを示している。

現在日本にいる外国人は 299 万 3839 人で、前年より約 28 万 9000 人増加した。これは新型コロナウイルス感染症の入国制限が緩和され、留学生や技能実習生等の外国人が日本に復帰した結果だといえる。

人口の増減を都道府県別に見ると外国人流入が多い東京だけが増加し、東北に位置する秋田県 1.65%、青森県 1.41%、岩手県 1.39%のように地域の人口減少幅は極めて大きい。地方における急激な人口減少は大きな課題となっている。そのため日本では地域社会を維持する対策として若者や女性の雇用確保などが急務とされており、不足する労働力を確保するための政策として外国人の雇用が増加し、数も増えている。

地域の外国人住民の更なる増加が予想される中、日本政府は地方創生と外国人住民との関係について、「日本においては、人口減少・高齢化の進行と、地方から東京圏への人口一極集中による地域経済の縮小が大きな課題となっており、持続可能な活力ある社会を維持するための地方創生の取組が求められている。このような状況の中、地域経済における貴重な労働力として、また地域社会の重要な構成員として、外国人住民の役割は増していくであろう。」という考えをしめした。同時に地域における外国人に関する施策として 2007 年 3 月、地方自治体における多文化共生への方向を示した「地域における多文化共生推進プラン」を策定した。多くの地方自治

体では、同プランを参考として多文化共生施策の推進に関する指針等が策定され、その取組が進められている。

2. 地域における多文化共生

2006年3月総務省は多文化共生について次のように定義している。多文化共生とは「国籍や民族等の異なる人々が互いに文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」ことである。日本国語大辞典には対等とは双方相等しいこと。互いに優劣、上下などの差がないこと。また、そのさま。同等と書いてある。対等な関係とは相対する双方の間に優劣・高下などの差のないこと。また、そのさま。同等と解釈した。

しかし、地域の多文化共生という考えは地方自治体が人口減少対策のひとつとして位置付け、あくまでも日本人の目線で進められていることも考えるべきである。というのは従来 Y 県のように外国人の在留が稀の地域では多文化共生という言葉を理解する人は3割程度であること、また「郷に入れば郷に従え」の文化がよしとする地域では外国人の諸権利を保障する、文化的多様性を理解する、外国人に社会の構成員としての責務を果たすよう求めるといった持続可能な多文化共生に関する研究は十分に行われていない。

3. 持続可能な多文化共生

持続可能な多文化共生とは、多様性を原動力として発展する包摂的社会を目指すことだと筆者は考えている。つまり、外国人を地域社会の一員として受け入れるスタンスを醸成し、特定技能資格の創設のように労働力不足に迫られ、受け入れ側の関心事である経済上のメリットばかり求める姿勢は地域の持続可能性を損なう方向に作用する可能性もあるように思われる。持続可能な多文化共生を実現するために外国人を地域社会が積極的に受け入れ、その運営に参画させ、また、行事やスポーツなどのような地域活動へ参加することを通じて地元に対する帰属意識や愛着がうまれるようにすることも必要である。多文化共生は一方だけの努力では実現できない。国や文化が異なる人々がお互いを認め合い理解することが大切であり、その積み重ねが持続可能な多文化共生へとつながるのだと考えている。

4. おわりにー研究方法

先行研究の多くは日本人の視点によって在日外国人との多文化共生について論じてきた。多文化共生は双方向性が必要である。多くの役所と役場では多言語サービスを提供し、外国人住民むけの無料の語学講習会を開催し、さまざまな3Fのような（Food,FestivaL,Fashion）イベントを組織している。これは良いことであるが、反面外国人は日本社会に適応すべき存在であって助けが必要だと見なす受身的雰囲気を醸成する可能性もある。多文化共生には消極的共生と積極的共生がある。

こうした現状と課題について本章では Y 県在住の外国人を対象としてアンケートとインタビュー調査を行い、外国人の視点を重視して持続可能な多文化共生について考える。

参考文献

- 「東北における外国人材の現状・課題等に関する調査報告書」独立行政法人 国際協力機構（JICA） アイ・シー・ネット株式会社，2021 年
- 「花巻市多文化共生推進プラン」花巻市国際交流室，2023 年 3 月

日本における外国人労働者の受け入れに関する政策の変化

—技能実習生を中心に

王維亭（千葉大学）

1. はじめに

日本は少子高齢化により労働力の供給が不足している中、1980年代以降アジアから就労を目的とする外国人の入国が増え、彼らは日本の労働力不足問題を解消するための不可欠の存在になっている。2022年3月末時点で、日本に在留する外国人は276万人（在日韓国・朝鮮人30万人を含む）であり人口の2%強が外国籍である（日本入国管理局のデータにより）。日本の外国人労働者受け入れの歴史をみると1980年代は円高によりバングラデシュ、パキスタン、ガーナなどからの外国人労働者がメインであったが、その後、中国の改革開放により1987年から88年には中国からの就学生が多数来日することになった。当時は日本に来る「就学生」たちのほとんどが生活費と学費を稼ぐため「外国人単純労働者」となっていた。日本はバブル経済の最盛期であり、農村からの季節性出稼ぎ労働者が減少しており、若者の非正規労働者雇用はまだ少なかったため、当時日本語ができず就労資格のない中国人でも仕事は容易に見つかった。「就学生」たちは出稼ぎ労働者であると思われたこともあり、1988年から89年の間に日本における外国人労働者に門戸を開放するかどうかをめぐる議論が活発に行われるようになり、1990年の入国管理法改正により、「高い技能と専門能力を持つ外国人」に就労への門戸を広げたが、「単純労働者」に対する労働開国はしなかった（永吉）。この時点では日本政府は外国人労働者、とくに「単純労働者」の受け入れについて非常に消極的な姿勢をとっていた。しかし、日本の少子高齢化と長時間労働への規制などにより労働力人口減少の状況に直面している中、外国人労働者の受け入れ拡大は余儀なくされることになってきた。

本研究は日本における外国人労働者の受け入れ政策の変化に着目し、とりわけ技能実習生を中心として分析する。外国人技能実習機構（2021）によると、2020年末の在留外国人の構成比では約288万人の在留外国人数のうち、永住者の次に技能実習生があがる。2020年3月時点における技能実習生の国籍別ではベトナムが最も多

く、およそ 22 万人で、全体の過半数を占めている。

図 1 は技能実習生の国籍と人数の変化である。2000 年から 2014 年まで中国人が技能研修・実習生の 50-75%を占めていたが、2014 年頃からベトナムへの切り替えが急速に進んでいた。

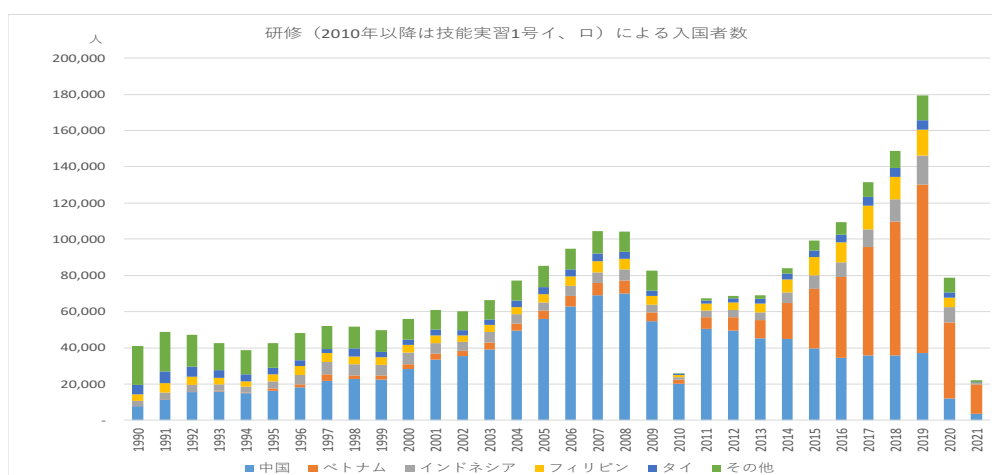


図 1 研修（2010 年以降は技能実習生 1 号）による入国者数

出典：日本入国管理国データにより作成

2014 年頃からベトナム実習生の数が急速に増えた背景には、ベトナムは 1980 年代以降労働者の海外送り出しを行うことによって、国内における雇用機会の不足を補い、貧困層を救済するという社会経済政策がある。

これまで日本では技能実習生に関する発生した問題を受け入れ国の問題としてメインに捉えているが、受け入れ側の問題を受け入れ側で解決しようとしても限界があり、送り先国の現状を確認及び整理する必要がある。本研究はこれまでの技能実習生に関する研究に不足している部分を実践的な視点から補完し、日本における技能実習生に関する制度の変化に注目しつつ現地調査を通じて技能実習生が直面している切実な問題とその改善方法を検討する。

2. 日本における技能実習生を受け入れ政策の変化

2.1 技能実習制度の変遷

1993 年から日本では「技能等の移転に図り、その国の経済発展を担う人材育成を目的」として技能実習制度が設けられた。当時は在留資格「研修」で一年間技術を習得し、その後一年間「特定活動」でその技術を向上させるという二段階であった。1997 年の法改正では研修と合わせ、最長滞在期間が 3 年間に延長された。3 年経つと必ず帰国することが定まっているため、日本で基幹的労働力にならずに母国に帰ることになる。

2010 年に入管法が改正され、在留資格「技能実習」が創設された。これによって技能実習生の立場が明確になり、最低賃金や社会保障が適用されるなど、労働関連法規の対象となった。2017 年 11 月「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が施行された。在留資格「技能実習 3 号」が整備され、優良な監理団体、実習実施期間は、最長で五年間の受け入れが可能となったとともに、受け入れ人数の枠の拡大などが認められた（国際人材協力機構ホームページにより）。

2018 年 12 月、「特定技能」という新たな在留資格が設けられた。介護業、建設業、外食業、宿泊業、農業や漁業など 14 業種となる。即戦力としての特定技能 1 号（相当程度の知識または経験を必要とする技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格）では、在留期間の上限が通算 5 年で、家族帯同は原則できない。つまり、技能生は技能実習が終わった後、特定技能 1 号となり本格的な労働者としてさらに 5 年間日本にいられることになる。熟練した技能や日本語能力が必要である（熟練した技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格）特定 2 号であれば、在留期限の上限はなく、要件を満たせば家族の帯同もできる（国際人材協力機構ホームページにより）。

2.2 技能実習生をめぐる現状と問題点

日本では技能実習生に関して数多くの先行研究があり、移民論の視点から友原（2020）は外国人の受け入れに関する経済学研究を概観しながら、日本経済や社会への影響を考察し、外国人労働者の受け入れにより影響は不明とはいえ、外国人労働者によって雇用環境が悪化する自国民層がいそうなことは確かであると指摘した。経済的デメリットについて国内労働者の就業機会減少の恐れ、労働市場の二重化構

造、労働条件の改善や労働生産性の向上を通じた産業構造の高度化への悪影響、新たな行政支出、社会保険給付金なども挙げられている。しかし、志甫（2007）は日本の高校新卒者の労働力としての価値に変化が生じていることを指摘した。高校新卒者は、離職率及び教育訓練費用が年々上昇している分野であり、比較的短期間で離職し、教育コストも高いとなってしまうと、外国人研修生・技能実習生との互換性が高まることになる。中小企業にとって、採用から3年で約半数が離職する新卒者より、3年間は確実に戦力となる研修生は魅力的であるという指摘もあった。また、橋本（2010）の研究では、約550社の個票データを使い、企業レベルの分析を実施していた。賃金競争力に劣る企業が外国人研修・技能実習制度を利用する傾向が強いことを明らかにし、一方で約30%の企業において、実習生らと日本人従業員が効率的に業務を分担し、高い生産性を達成している可能性を示した。

ベトナム人技能実習生急増の背景について、その原因の一つには日本政府が実習生としての外国人受け入れを積極的に促進してきた点にある。2014年3月に、実習生の滞在期間の上限を3年から5年に延長することや、受け入れ可能な職種の拡大などが提言され、これらの方針は2017年11月の技能実習法の施行につながった。もう一つの原因はベトナムでは国全体の失業率に比べ、若年層、大卒など高学歴者の失業率が相対的に高く2017年の統計によれば、国全体の失業率が2.2%であるのに対し、若年層（15・24歳）の失業率は7.3%である。また、若年層の親日、日本に対する興味をもっている学生が一定数存在している。さらにもう一つの原因は、中国の経済成長による国内賃金レベルの上昇等の要因による中国からの技能実習生の減少である。

ベトナム技能実習生が増えた一方、様々な問題も顕著化されている。法務省のデータによれば、2019年の一年間に6105人ものベトナム技能実習生が失踪し、失踪件数は技能実習生の失踪者全体の69.4%を占め、第2位の中国人（1330人）を大きく引き離している。これらの事態を招いたのが賃金の問題だけではなく、技能自習性の実際の労働と生活状態を総合的な視点から考察する必要がある。

第一に、安い労働力として利用されているという問題である。今現在でも日本は「移民労働者は受け入れない」という大原則を崩しておらず、発展途上国の人材育成に対する国際協力を名目とする「外国人技能実習制度」を流用することにより、実質的には労働力不足に陥っている産業での外国人労働者の受け入れを行ってきた。だが、制度の建前と運用の実態との乖離は当初から明らかであり、現行の制度のままで

は外国人労働者の受け入れが次第に困難になると予想される。研修生制度はもともと日本企業の海外生産のために研修生を日本に受け入れる枠組であった。低賃金、技能実習生に労働者性が認められていなかったため、転職の自由はなく、労働基本権がなかったという問題が多く指摘させていた。

第二に、技能実習生の帰国後のキャリア形成の問題である。帰国後のキャリア形成の視点からみると澤田（2020）は、100 人ぐらいの技能実習生にインタビューをして、その結果からみると、技能実習生した職種と帰国後の仕事との直接な関係があまりない。日本語教師や通訳などをしている技能生もいるが、それは技能生の日本語のレベルにもよるのであると指摘している。岩下（2022）も、帰国後ベトナム技能実習生の調査を通して、技能実習時の日本語習得を加え、労働に対する価値観や規範意識の醸成が労働現場で役に立っていることがあり、職業固有の技能が役に立った事例は少ないと指摘した。

第三に、コミュニケーション能力についての問題である。日本語の学習環境の確保、事業主、日本人スタッフとの信頼関係、また地域社会、職場の環境などによってベトナム技能実習生の日本語学習に影響を与えていることがわかった。実際日本へ行って受け入れ企業に配属されてからも、日本語を勉強する機会が少ない技能実習生たちは訪日前の日本語能力のままで仕事と生活を送っている。多くの場合は技能実習期間で日本語を勉強する時間はなく、日本語能力はだんだん下がっている。そのために技能も十分学ぶことができない、日本語をあまり話せないため、将来について不安を抱え、ベトナムに帰ってもベトナム社会にも貢献できない、結局日本からなにも勉強することができないという指摘があった。

今現在でも日本は「移民労働者は受け入れない」という大原則を崩しておらず、発展途上国の人材育成に対する国際協力を名目とする「外国人技能実習制度」を流用することにより、実質的には労働力不足に陥っている産業での外国人労働者の受け入れを行ってきた（宮島 2022）。だが、制度の建前と運用の実態との乖離は当初から明らかであり、現行の制度のままで外国人労働者の受け入れが次第に困難になると予想される。

これらの問題に対して、日本政府は 2022 年 11 月に開催された「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」では、技能実習制度の目的と実態をふまえた制度のあり方、外国人が成長しつつ、中長期的に活躍できる制度（キャリアパス）の構築、受け入れ見込み数の設定などのあり方、転籍のあり方、外国人の日本語

能力の向上に向けた取り組みなどである。日本の労働力不足が深刻化する中、外国人労働力の人材確保及び人材育成を目的とする制度の創設に力を入れている。このように、制度の改善や更新することにより、技能実習生（特定技能を含む）に関するトラブルなどは軽減できるであろう。

3. 考察

本研究はすでに訪日している技能実習生に対するインタビュー調査を行い、技能実習生の生活と仕事において様々な問題が存在している中、最も重要な問題はコミュニケーション能力であるという結論を出した。その上で、遡って訪日前の教育内容に問題あるかどうかを確認すべきであると認識しているため、ベトナムでの現地調査を実施した。技能実習生が起こした問題に関しての原因は単一ではなく、低賃金、正規労働者としての権利がない、技能実習期間中の退職、あるいは会社を変更することができない、会社や地域住民からの無理解や差別など複合的な原因が存在していることを明らかにした。法改正や充実な社会保障の視点からの研究も必要であるが、広義的なコミュニケーション能力が外国人労働者にとって最も大きく必要不可欠な能力である。ここでのコミュニケーション能力はただの言語力だけではなく、人との交流する力、異文化を理解する力等が含まれている。

技能実習生を受け入れる地方や業種によって大きな違いがあるため、一括で議論することが難しい。日本において介護は成長産業であるが、介護の仕事に対する需要がベトナム等で近い将来に大きく高まるとは考えにくい。もはや「技術移転」とは無関係に日本の人手不足の産業の担い手として技能実習生が使われている。今後介護において外国人が基幹労働力になっていく可能性は高い。基幹的産業の基幹的労働力として外国人を受け入れていく機は熟した。

今日の外国人労働者を受け入れ政策は将来の日本の経済、福祉社会をどう支えるかという課題と切り離せなくなっている。高齢化と生産年齢人口の減少が進む中、外国人労働者受け入れは重要な意味を持ち始めている。技能実習を経て特定技能などで残る人たちが結婚し、子供を産む可能性も高い。就学や留学などで来日し、専門職・ホワイトカラーとして日本に住み続けている人々も当然そうである。世代を重ね始めると、「外国人労働者」から「移民」になる。年金保険、健康保険、生活保護、義務教育など、市民としての権利と義務が伴う。地方参政権、日本で生まれた子供へ

の国籍付与など、日本では避けられてきた課題にも今後応えていかななくてはならないだろう。

参考文献

永吉希久子 2020.2『移民と日本社会』中央公論新社

澤田晃宏 2020.5『ルポ 技能実習生』ちくま新書

志甫 啓 2007.3「中小企業の人的資源管理における研修生の役割—団体監理型外国人研修生の受け入れに関する理論的・実証的分析」『産業論集』

友原章典 2020.1『移民の経済学』中公新書

宮島喬 2022.11『「移民国家」としての日本—共生への展望』株式会社岩波書店

石塚二葉 2013.10「ベトナムにおける国際労働移動—政策、制度と課題」『東アジアにおける人の移動の法制度』調査研究報告書、アジア経済研究所

橋本由紀 2010.2『外国人研修生・技能実習生を活用する企業の生産性に関する検証』独立行政法人経済産業研究所 Discussion Paper 10-J-018

外国人技能実習機構ホームページ：<https://www.otit.go.jp/>

公益財団法人国際人材協力機構ホームページ

<https://www.jitco.or.jp/en/regulation/index.html>

日本入国管理国ホームページ

https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html

日本法務省ホームページ

https://www.moj.go.jp/EN/hakusyotokei_index.html

「助言」研究の概観と今後の課題

辻本桜子（甲南大学）

1. はじめに

「助言」という発話行為は、相手の「利益」「恩恵」に配慮して行われる行為である（蒲谷他 1998: 132）。一方で、話し手が考える聞き手の行うべき行動を示すため、行う場面、内容、相手によっては、聞き手のフェイス¹を脅かす一種の Face Threatening Act（以下 FTA）にもなり得る行為である（Brown & Levinson 1987, 田中監訳 2011: 85）。そこで、母語話者間のもとより、異文化、異言語を背景に持つ二者間の接触場面において、慎重に遂行されるべき行為であると言える。しかし、清水（2009: 102-103）は、中間言語語用論の分野において、研究対象の発話行為は一部の限られたものに集中しているとし、依頼、謝罪、断り、ほめ / ほめに対する返答、感謝、不平の 6 点がその中心であると述べている。そこには「助言」は含まれていない。しかし、他の発話行為よりは少ないが、「助言」研究はなされてきた。本研究では、1990 年から 2023 年までに日本語で書かれたこれまでの「助言」研究の概観を行いたい。そして、従来の「助言」研究の不足点と今後の課題について考察を行う。

2. 「助言」研究の概観

管見の限り、日本語で書かれた最古の「助言」研究は、水谷・早田（1990）である。水谷・早田（1990）では、外国人学生の誤用例とシナリオに現れた「助言」を含む談話を対象に分析がなされていた。本研究では、この水谷・早田（1990）以降発表された「助言」研究について、調査の方法、調査の分析の枠組み、調査の対象者（対象言語）の 3 つの観点から概観する。

¹ 「フェイス」とは、「Goffman（1967）による概念と英語の一般用語とに由来し、恥をかかされる、自尊心を傷つけられる、「面子を失う」（losing face）といった事柄」と結びつけられるもの（Brown & Levinson 1987: 田中監訳 2011: 79）。

2.1 調査の方法別「助言」研究

先述の通り、水谷・早田（1990）が最古の「助言」研究であるが、その調査の方法は外国人の誤用例の観察とシナリオの談話の分析であった。しかし、水谷・早田（1990）では外国人の誤用例について対象者の国籍や何人分の誤用例を収集したのか等の詳細は書かれておらず、不明であった。シナリオを対象とした研究には、水谷・早田（1990）のほかに、映画・テレビドラマのシナリオ 23 本から調査がなされていた島（1993）がある。TV ドラマの会話を対象とした研究には、熊取谷・村上（1992）² ほか、テレビドラマから 176 例抽出し分析した鹿嶋（2000）等がある。テレビ番組の「人生相談」コーナーの談話を対象とした研究には、放送 3 日分、相談件数 15 件を対象とした能田（1996）をはじめ、星野（2003）等がある。映画を対象とした研究には、193 例を分析した鹿嶋（2000）があり、そして、ラジオの相談番組を対象とした研究には、30 例を対象とした阿部（2001）等がある。このように「助言」研究の調査方法は外国人の誤用例の観察から始まり、1990 年代の萌芽期から 2000 年代前半の対象は、映画やテレビのシナリオや、テレビドラマ、テレビやラジオの相談番組（あるいは相談コーナー）の録画を文字起こししたものの分析が主流であった。

外国人の誤用例からの収集方法は、研究者の主観が多分に含まれるため、限界があるだろう。映画やテレビドラマのシナリオは、作家の趣向を凝らした作為的な表現が含まれているかもしれない。テレビやラジオの相談番組（相談コーナー）の会話は、テレビ（ラジオ）ショー中に行われるものであるが、自然会話に近いだろうか。だが、これらの番組では相談者は日ごとに変わるが、司会者（相談者）は同一であり、複数回録画したところで、同一人物の「助言」を収集していることになる。そのため、結果を一般化できるか疑問が残る。

大まかに言って、2000 年代中期から「助言」研究の方法に変化が見られる。中崎（1998）は（この研究は 2000 年代開始直前であるが）、英語母語話者と英語学習者を対象に「助言」調査をした Hinkel（1994）を参考に調査紙を作成し、多肢選択式調査を行った。続く、中崎（2007）でも調査対象者を変え、多肢選択式調査が行われていた。Hinkel（1994）を参考にし、多肢選択式調査が行われた研究には、ほかに辻本（2008）等がある。また、談話完成テスト（Discourse Completion Test:）を用

² 熊取谷・村上（1992）の調査方法は、TV ドラマの会話分析、自然会話の観察、筆者らによる内省の 3 点が挙げられていたが、本研究では別々にカウントした。他の研究についても同様である。

いた研究には、森本（2005）等がある。談話完成テストとは、発話部分を記述できるよう空欄とした記述式調査のことである。そのほか、調査対象者に場面と役割の指示を与え、ロールプレイをさせた研究には、日本語母語話者同士を対象にした森本（2005）や、日本語母語話者と中国人日本語学習者のペアを対象にした許（2006）等がある。この中で、もっとも多い方法はロールプレイであった。発話行為の研究をしていると、調査方法で「自然談話の収集を行わないのか」問われることがある。これまでの「助言」研究において、自然談話の分析を行った研究は、熊取谷・村上（1992）、岡田・谷野（1998）等、ごくわずかである。このうち、熊取谷・村上（1992）においては、対象者の国籍、人数等書かれておらず、不明点が多いため、実質的に「助言」研究において自然談話を対象にした研究は、岡田・谷野（1998）が初と言えるだろう。岡田・谷野（1998）では、日本語母語話者の大学のバレーボール部の練習中の自然会話の録音がなされ、アドバイス発話が分析対象となっていた。そのほか、高橋（2016）では大学院の教員の研究室での修士論文の指導や、研究計画についての相談場面が録音、分析されていた。しかし、前者の岡田・谷野（1998）での場面は、運動部に所属する大学生のプレーに関する「助言」についてと限定される。そして、後者の高橋（2016）では、教授から学生への研究指導時の「助言」と限定される。そこには圧倒的な力関係が介在するのではないか。分かるのは目上から目下への「助言」のみである。対象者も2名と少なく、結果を一般化できるかどうか疑問が残る。自然談話の録音をされ、分析をされたことは意義深いのが、相談場面の深刻度が増すほど、録音の承諾を得られる協力者を見つけることが困難となることが予想できる。その辺りが「助言」の調査時に自然談話の収集をする課題になると考えられる。

2.2 分析の枠組み別「助言」研究

調査した「助言」の分析の枠組みに熊取谷・村上（1992）を用いた研究には、岡田・谷野（1998）、鹿嶋（2000）、阿部（2001）等がある。熊取谷・村上（1992）は自然会話、TVドラマの会話と筆者らによる内省から、日本語の「助言」表現は、行為X、及び状況S1、S2の3つを構成要素とする語用論的構造を持つと述べ、の形式のプロトタイプとして **Do X for S2 because S1 (is not desirable)** を挙げている。そして、伝達方略の種類として次の7種類を挙げている。①Xの提示、②S1の提示、③S2の提示、④X+S1の提示、⑤X+S2の提示、⑥S1+S2の提示、⑦X+S1+S2の提示。この熊取谷・村上（1992）の「助言」の種類は、古くは1990年代後半の岡

田・谷野（1998）から、最近では黄（2013）まで分析時に使用されている。次にポリリー・ザトウラスキー（1993）の「段話」の定義を分析の枠組みに用いた研究を紹介する。これには、談話レベルで相談場面を概観、相談開始部から終了部までの談話展開のメカニズムの解明を目指した能田（1996）が挙げられる。次に Brown & Levinson（1987）の「ポライトネス理論」を枠組みに分析した研究を紹介する。「ポライトネス理論」とは「ネガティブ・フェイス」と「ポジティブ・フェイス」という2つの「フェイス」の概念に基づくもので、この2つの「フェイス」を脅かす行為（FTA）を行う場合に使用される戦略には、5種類がある。この「ポライトネス理論」を枠組みに分析したもっとも古い「助言」研究は、映画、ドラマのシナリオの「助言」表現を分類した島（1993）である。その後、2000年代前半にも森本（2005）等でコンスタントに使用されている。これまでに分析時に使用された分類の枠組みは、この Brown & Levinson（1987）の「ポライトネス理論」が最多であった。様々な調査場で、様々な調査対象者の分析時に使用されているため、他の「助言」研究の結果との比較時にも「ポライトネス理論」を使用した研究は役立つと考えられる。

2.3 調査の対象者（対象言語）別「助言」研究

次に、日本語母語話者と比較した調査の対象者別の「助言」研究を紹介する。中崎（1998）は日本語母語話者とオーストラリア人日本語学習者を比較した研究である。管見の限り、これがもっとも古い「助言」の対照研究である。英語母語話者を対象とした研究には、ほかに、日米のラジオの人生相談番組の録音を分析対象とした阿部（2001）等がある。中国人日本語学習者を対象とした研究には、許（2006）がある。管見の限り、これが初の中国人日本語学習者を対象とした「助言」研究である。許（2006）は日本語母語話者と中国人日本語学習者のペアで、初対面同士と友人同士の接触場面の会話データの収集を行っていた。中国人日本語学習者を対象とした研究にはほかに、辻本（2008）がある。日本語母語話者同士、中国語母語話者同士のペア会話を調査した研究には元（2012）がある。日本語母語話者同士、タイ語母語話者同士ロールプレイをさせた研究には、デンスパー（2012）がある。そして、タイ人日本語学習者を対象とした研究には、松本（2017）がある。

以上のことから、これまでの「助言」研究の対象者は、日本語母語話者のほか、英語母語話者（英語話者日本語学習者）、中国語母語話者（中国人日本語学習者）、タイ語母語話者（タイ人日本語学習者）の3か国のみである。そのほかの国籍の学習者、

言語は管見の限り見当たらない。日本学生支援機構（2023）の「2022年度（令和4年度）外国人留学生在籍状況調査結果」によると、国地域別の在日留学生数上位5か国は、1位中国、2位ベトナム、3位ネパール、4位韓国、5位インドネシアの順である。このうち、過去の「助言」研究で対象者がいるのは中国語母語話者のみである。留学生数が多いということは、日本語母語話者との接触場面も多いということである。今後は、より調査の対象言語を増やし、調査をすることが望まれる。

3. まとめと今後の課題

本章では、これまでの「助言」研究を概観した上で、今後の課題をまとめる。本研究では、「助言」研究において、自然談話の収集が困難であることを指摘した。より自然談話に近い収集方法は何か。これまでの「助言」研究方法で最多であるロールプレイが妥当か。今後、検討が必要である。分析の枠組みは、熊取谷・村上（1992）の伝達方略の類型と Brown & Levinson（1987）の「ポライトネス理論」が2大主流であった。調査の対象者（対象言語）は、これまでのところ、英語母語話者、中国語母語話者、タイ語母語話者のみであるが、今後、対象者を広げる必要がある。

引用文献

- 阿部圭子（2001）「「助言」のストラテジーの日米比較」『共立国際文化』18, 59-69
- 岡田安代・谷野雅子（1998）「「助言」のポライトネス・ストラテジー—大学バドミントン部におけるアドバイスの分析—」『愛知教育大学研究報告（教育科学）』47, 169-174
- 鹿嶋恵（2000）「「助言」における表現選択と意図の伝達—相互作用過程とコンテキストからみた談話分析—」『三重大学日本語文学』11, 94-106
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵（1998）『敬語表現』大修館書店
- 熊取谷哲夫・村上恵（1992）「表現類型に見る日本語の「助言」の伝達方略」『表現研究』55, 28-35
- 許夏玲（2006）「話し言葉における助言表現の使用実態—日本人母語話者と中国人学習者の接触場面から—」『多摩留学生教育研究論集』5, 41-46
- 元春英（2012）「「助言」の談話構造に関する日中対照研究：日本人大学(院)生と中国人留学生のデータをもとに」『日中言語対照研究論集』14, 93-104

- 黄郁蕾 (2013) 「テレビドラマにおける「助言」のストラテジーと選択頻度に関する日中対照研究」『ことばの科学』 26, 59-78
- 島弘子 (1993) 「助言の表現「～たらどうですか」「～すれば？」を巡って－ポライトネスの観点から－」『金沢大学留学生教育センター紀要』 2, 13-23
- 清水崇文 (2009) 『中間言語語用論概論』 スリーエーネットワーク
- 高橋千代枝 (2016) 「研究指導場面に現れる助言の談話構造－助言の基本的構造に着目して－」『言語と文化』 10, 35-487
- 辻本桜子 (2008) 「中国人日本語学習者の「助言」表明に関する考察－日本語母語話者との比較－」立命館大学大学院言語教育情報研究科, 未刊行修士学位論文
- デンスパー・スワッターナー (2012) 「「助言」の会話の日・タイ対照研究：問題となる事柄の深刻度の低い場面に着目して」『日本語・日本文化研究』 22, 213-226
- 中崎温子 (1998) 「日本語を媒体とする異文化間コミュニケーションの一考察：アドバイス行動を分析して」『多言語多文化研究』 4(1), 74-82
- 中崎温子 (2007) 「ポライトネス理論からみるアドバイス行動－円滑な異文化コミュニケーションのための一考」『愛知大学文学論叢』 136, 294-271
- 能田陽子 (1996) 「テレビの相談番組の談話構造」『国文目白』 35, 212-220
- 松本陽子 (2017) 「タイ人日本語学習者の「助言」場面での表現選択：日本語母語話者との比較から見えるもの」『海外日本語教育研究』 (5), 1-17
- 水谷修・早田美智子(1990) 「助言の構造」『言語理論と日本語教育の相互活性化予稿集』 13-15
- 森本理恵 (2005) 「「アドバイス行為」にみるポライトネス－学生の進路相談場面において－」大阪大学大学院言語文化研究科, 未刊行修士学位論文
- Brown, P. & Levinson, S. (1987) *Politeness: Some universals in language usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Hinkel, E. (1994). "Appropriateness of advice as L2 solidarity strategy", *RELC Journal*, 25(2), 71-93.

スポーツ用語と一般用語とのすれ違いについて

清水泰生（同志社大学）

1. はじめに

専門用語、専門言語を研究することは一般用語・言語を研究することとは違うことが多い。専門知識が必要な場合が多いと思われる。専門用語の一つにスポーツ用語・言語があげられる。スポーツ用語、言語の研究が一般用語・言語研究とどう違うのかについて具体的に考えてみたい。

2. スポーツ言語を扱う上での注意しなければならない点

スポーツはバイアスが強い。たとえば、スポーツ競技協会の事情、メディアの事情、さまざまである。バイアスをどう処理をするのかでスポーツ用語・言語の分析が決まると言えよう。

陸上競技の場内アナウンスを例に挙げると場内アナウンスは、日本陸連発行の『アナウンサーのしおり』がある。場内アナウンスの決まりが決め細かく記されている。知っていないと陸上競技の場内アナウンスの言葉の分析ができない。その一例をあげると、正式記録がでるまでは断定の表現ができない。明らかに世界記録が出て、正式記録が出るまでは「世界記録が出たようです」とか「電光掲示板を注目しましょう」の表現などが使われる¹。100m 風力、レーンの走路妨害有無、写真判定が来ないと記録は断定(公式記録に) できないから断定の言い方ができないからである。

そして、通常のコーパスがきかないことがある。例をあげると、スタートの号令（大正時代）の通時的なデーターは、一般の新聞、雑誌のデーターベースでの採取だけでは困難である。データーを採取するには、陸上競技の独自の資料にもあたらなければならない²。陸上競技の知識がないとその資料にありつくことができないと言え

¹ 清水(2019)参照

² 山本(1974)、山本(1979)の中にあるのが資料となりえるであろう。

る。

それから、先行研究の例に陸上競技の知識の重要性をあげてみたい。ランニングのHP「ランネット」というHPに中にある「大会レポ」（大会参加したランナーがその大会についてコメント、評価を書き込める掲示板）の内容を言説分析している先行研究がある³。この研究は、言語研究者で少しだけランニングをしている人が考察したものである。この研究は、ファンランナーから100キロマラソン走ったランナーまでの掲示板に書き込んだもの（データー）を一緒にして考察している。ファンランとウルトラマラソンとは明らかに競技の性格が違う。陸上競技を本格的にやっている者から見ると、競技種目を考えずに一緒に考察するのは研究の妥当性に欠けると感じる。言語研究者は、言語の分析、手法が鋭いようであるが、スポーツ学そのものを知らないので研究の妥当性や研究の方向性がずれるおそれがある⁴。この研究以外にマルチモーダルの手法で実況中継、指導言語を分析している研究もあるが、考察者自身がスポーツ科学、スポーツをやっているだろうか。スポーツの経験があった方が考察に深みが出るのではないか。これはスポーツの言葉ではなく専門用語全般に言える。例えば、医療の言葉を研究する分野、日本ヘルスコミュニケーション学会があるが、医療に精通していないと研究がなかなか難しいと考えられる。

以上見てみると専門用語、言語を扱うのは、一般言語・用語を扱うのとは違うことが分かる。それを理解して研究を行うことが大切であろう。

3. 一般の人の認識と専門の人の認識とのずれ（すれ違い）について―「アスリートビブス」等を例に

一般の人は「ゼッケン」というがスポーツ界では種目によってそれをしめす語が違うし、同じスポーツ種目でも時代によって語が違う。

一般に使われている「ゼッケン」というのは日本だけの呼び名で、その語源も諸説あり、その中でも有力な説なのは、ドイツ語のデッケン（覆う・おおう）が語源で、競馬や乗馬などで鞍の下に敷いて、ウマを覆っていた数字の書いた毛布からきたも

³ 日野(2018)

⁴ スポーツ言語事典かスポーツ言語辞典を作りたい言語関係者が複数いるが、監修者、編集者がスポーツ、スポーツ学を知らなければスポーツ専門家に執筆等を十分に頼めないのではないと思う。

のである⁵。

陸上競技は1994年3月までは「ゼッケン」であったが、用語を国際的にするために「ナンバーカード」に語が改められた。2020年4月から「アスリートビブス」にかわった。

なお、卓球、柔道は「ゼッケン」である。これらの競技は布に数を表記しない（名前や所属を記す）ので「ナンバー(数)」ではなく「ゼッケン」のままである⁶。

また、デモなどつける布も「ゼッケン」と言っている。一般人の場合、陸上競技規定を見ていない(知っていない)ので、いろいろなスポーツ等使われている「ゼッケン」を使っていると思われる。また、陸上競技の審判の役員も比較的年を取った人が多いので、そういう人たちが昔使われていた「ゼッケン」をつい使うことがあろう。また、新聞も「ゼッケン」の記述が目立つ。特に市民参加型マラソン大会について述べる社会面では「ゼッケン」が目立つ。

(1) コロナ下の開催に感謝 本紙記者も完走

「えっ、こんなにも？」と言いたくなるほど大会は様変わりしていた。奈良マラソンは4回目の出場。愛着は強いが、今回はさまざまな新型コロナウイルス感染対策を整えた「ウイズコロナ」の大会になっていた。

まず、密を避けるため前日の受け付けやイベントがなくなり、ゼッケンや記念Tシャツは事前郵送。プログラムにチェックシートがあり、当日朝の体調などを記入して提出した。引き換えにもらったリストバンドがないと会場に入れない。「安全のしるし」なのだ。 毎日 2021年12月14日朝刊

(2) 今回、主催者の東京マラソン財団は数々の感染対策を導入した。例年と最も異なるのが、ランナー全員へのPCR検査義務付けだ。ランナーには事前に検査キットを配布し、ゼッケンなどの事前配布の際に検体を回収。検査結果をメールで通知し、陰性だった場合のみ出走できる。当日、コースに入る際には体温や陰性証明の提示も求めた。産経 2022年3月7日朝刊

一方、競技性が高いスポーツ面の場合、「アスリートビブス」「ナンバード」を使う。

(3) ◇Tokyo 2020+

⁵ 清水(2006b)参照

⁶ 清水(2011)参照

陸上・日本選手権兼東京五輪代表選考会第3日（26日・大阪ヤンマースタジアム長居＝読売新聞社など後援）男子3000メートル障害は三浦龍司（順大）が自身の日本記録を更新する8分15秒99で初優勝。2位の山口浩勢（こうせい）（愛三工業）、3位の青木涼真（りょうま）（ホンダ）と共に代表に内定した。

（中略）

今季2度の日本新記録をはじめ、出場した試合で軒並み快走を続ける秘訣（ひけつ）は「大会で緊張するのは当たり前なので、直前までレースのことは考えない」。会場でユニホームにナンバーカードをつける瞬間まで一切本番を意識しないというこだわりのルーチンで、精神面の疲弊を避けて好調を維持する。そんな手法を、19歳にして会得しているのだから驚きだ。 読売 2021年06月27日朝刊

（4）日本陸連は15日、2000年シドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さん（48）が、五輪のレース時に着用したアスリートビブス（ナンバーカード）を世界陸連（WA）に寄贈したと発表した。 読売 2020年12月16日 夕刊

話を戻すと「アスリートビブス」の腹につける「アスリートビブス」にローマ字等の表記をするようになったのは、2009年ごろ、世界選手権ベルリン大会、世界クラスの大会からである。一方、2011年ごろまでは、地方のレースは数字表記が多かった。なお、当時の日本陸上競技の競技規定もお腹の「アスリートビブス」のローマ字、文字表記を認めている。

そして、次第に市民ランナーが参加できるマラソン大会でも、お金を払えば、名前の表記のアスリートビブスにできるオプションやベルリンマラソンのように名前とナンバーの併用のものが増えてきた。ただ、名称は、日本陸上競技連盟が競技規定を改訂する前の2020年3月までは「ナンバーカード」のままであった。

さて、2020年4月に陸上競技規定が改訂されたが、2023年9月から2024年3月開催の日本陸連公認市民参加型マラソン大会の要項⁷で「アスリートビブス」の表記は北九州マラソン、防府読売マラソン、福岡マラソンの要項等で、青島太平洋マラソン、あいの土山マラソン、さが桜マラソンの大会要項は「アスリートビブス（ナンバーカード）」の表記、指宿菜の花マラソンの大会の要項は、「アスリートビブス（ゼッケン）」の表記であった。なお、「ナンバーカード」の表記は加古川マラソンの大会

⁷ 2023年8月15日までにHP掲示(公表)されたものである。

の要項だけであった。

なお、2023 年度の陸上競技の公認大会は「アスリートビブス」である。

(5)◀2023 年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会 ▶

アスリートビブスは、申込書に記入したナンバー（スタートリストまたはプログラムに記載されたもの）で、各自で用意する

こと。尚、アスリートビブスがない場合、番号布を販売（200 円）するので、各自が油性インクでナンバーを記入し作成すること⁸。

プログラムのスタートリストは、数を書いているので「ナンバー」である。それから、「アスリートビブスがない場合、アスリートビブスを販売」と言ってしまうと誤解を招くので「アスリートビブスがない場合、番号布を販売」と言って分かりやすくしている。

4. おわりに

本発表では、専門用語・言語を研究することは一般用語・言語を研究とは違うことを指揮した。言語の知識だけでなく、専門知識が必要な場合が多い。言語学、日本語学の研究は、専門分野の知識や言語を取り巻く背景的なものをさほど必要としない。言語研究者は、専門用語・言語の研究も一般用語・言語の研究と同じように考えがちであり、そのようにしてしまう危険性がある。それは注意しなければならないであろう。

参考文献

- ・清水泰生(2006a)「「ゼッケン」「ナンバーカード」等の使用をめぐって」『国際シンポジウム 比較語彙研究 X』語彙研究会
- ・清水泰生（2006b）「スポーツことば今むかし」『日本語学』12月号（明治書院）
- ・清水泰生（2015）「東京マラソンと日本メディア報道を中心にー」『国際研究論叢』28・2
- ・清水泰生（2011）「スポーツ用語の変遷 - 陸上競技を中心に - 」『埼玉大学国語教育論叢』

⁸ <https://www.oaaa.jp/competition/detail/118/> より

第 14 号

- ・清水泰生(2016)「スポーツとことわざ・ことわざ類について」『スポーツ言語学研究』創刊号
- ・清水泰生(2019)「スポーツ言語学は日本語、日本語教育を救えるか」『日本語教育連絡会議論文集 Vol32』
- ・野沢巖(1983)「ゼッケンの語源について(1)」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』32・日野純子(2018)「市民ランナーのロコミ投稿行動―大会 100 選へのロコミの分析から―」『スポーツ言語学研究第3巻』
- ・山本邦夫(1974)『近代陸上競技史』道和書院
- ・山本邦夫(1979)『日本陸上競技史』道和書院
(検索)
- ・日本陸上競技連盟 HP <https://www.jaaf.or.jp>
- ・日本陸上競技連盟 アナウンサーのしおり
(2021 年改訂) https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202107/19_160037.pdf
- ・あいの土山マラソン 2023 要項 (HP)
https://www.ac-koka.jp/marathon/2023/23_outline.html
- ・青島太平洋マラソン 2023 要項 (HP) <https://www.aotai.gr.jp/about/index.html>
- ・指宿菜の花マラソン 2024 要項 (HP) <https://ibusuki-nanohana.com/essentials/>
- ・加古川マラソン 2023 要項 (HP) <https://kakogawa-marathon.jp/outline/>
- ・北九州マラソン 2024 要項 (HP) <https://kitakyushu-marathon.jp/about>
- ・神戸マラソン 2023 要項 (HP) <https://kobe-marathon.net/2023/race/essentials/>
- ・さが桜マラソン 2024 要項 (HP) <https://sagasakura-marathon.jp/outline/>
- ・福岡マラソン 2023 要項 (HP) <https://www.f-marathon.jp/runner/>
- ・防府読売マラソン 2023 要項 (HP) / <https://hofu-yomiuri.jp/outline/>
- ・朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/>
- ・毎索(毎日新聞) <https://mainichi.jp/contents/edu/maisaku/>
- ・ヨミダス歴史館(読売新聞) <https://database.yomiuri.co.jp/about/rekishikan/>
- ・産経新聞データベース <https://denshi.sankei.co.jp/external/htu.html>

福岡方言に関する意識調査

橋本恵子（福岡工業大学短期大学部）

1. はじめに

福岡出身の芸能人やお笑いタレント等の活躍により、近年、全国的にも福岡方言が注目されている。好感度の高い方言として、京都と福岡の方言が挙げられることも多い。先行研究（田中 2016）では、近畿、九州の方言意識（生育地方言が「好き」）が他の地域と比較して高いことが指摘されている。

マスメディアや SNS 等の影響で、共通語化が進み、若年層における方言使用率が下がっているとの指摘がある一方で、テレビドラマで方言が使用されたり、小学校で「方言と共通語」についての授業が実践されたりすることで、地域に根差した方言に対する理解促進が図られている状況も見受けられる。

本発表では、福岡市の短期大学生を対象に実施した「福岡方言に関する意識調査」の分析結果について考察した。

2. 福岡方言について

2.1 福岡弁と博多弁

元々、福岡方言は、福岡弁と博多弁に区別されていた。福岡弁は福岡部（福岡城の城下町）の武家の方言であり、博多弁は博多部の商人の方言であったが、現在では、福岡弁は博多弁に吸収され、福岡方言とは、主に博多弁を指すようになっている。ただし、福岡方言といっても、福岡市等の筑前方言、福岡県東部の豊前方言、福岡県南部の筑後方言の 3 地域で、それぞれの方言には微かな違いが認められる。

2.2 福岡県内で使用される主な方言

福岡市（筑前方言）では、語尾に「～よ」の意味で、「～ばい」「～たい」を使用するが、旧豊前では、「～ちゃ」を使用する。また、「とても」を意味する方言も、地域により、「でたん」「ばり」等、異なっている。学生に限らず、福岡方言であることに

気づかず、共通語だと思って公的場面で方言を使用しているケースも見受けられる（「会議があっている」「からう」「なおす」等）。

3. 調査内容及び方法

福岡方言に関する若者の意識を明らかにするため、次のようなアンケート調査を実施した。質問項目は次の通りである。

- ① 福岡方言は好きですか、嫌いですか。
- ② 福岡方言を誇りに思っていますか。
- ③ 共通語に対して、福岡方言に劣等感を持ったことがありますか。
- ④ 生育地域方言以外の方言を使うことがありますか。
- ⑤ の質問で「ある」と答えた人は次の質問に答えて下さい。

生育地域方言以外の方言を使うことがある人は、どの地域の方言を使いますか
（複数回答可）。

- ⑥ ④の質問で「ある」と答えた人は次の質問に答えて下さい。

生育地域方言以外の方言は、どのような場面で、どのような理由で使いますか
（自由記述）。

- ⑦ 他の地域の人が福岡方言を使っているのを聞いてどのように感じますか。

- ⑧ 福岡方言について、印象等、感じることを、思うことを自由に記入して下さい
（自由記述）。

なお、⑧の福岡方言に関する印象を自由記述した項目の分析は、計量テキスト分析やテキストマイニングのためのフリーソフトウェアである KH Coder を用いて行った。計量テキスト分析とは、アンケート自由記述やインタビュー記録のようなテキスト型ないし文章型のデータを計量的に分析する方法である。この方法は社会科学の分野で歴史がある内容分析（content analysis）の考え方にもとづいている（樋口 2019 : 18）。

調査実施日、調査対象者等は次の通りである。

調査方法：Web調査

実施日：2023年1月11日（水）

場 所：福岡工業大学短期大学部

科目名：日本語表現法（一般教養科目、1年生選択科目）

対象者：福岡工業大学短期大学部情報メディア学科、日本人学生1年生
56名（男子41名、女子15名）

4. 集計結果

4.1 集計結果と考察

集計結果は、図1～図6の通りである。64.3%の学生が「福岡方言が好き」、28.6%が「誇りを持っている」、58.9%が「標準語に対して福岡方言に劣等感を持ったことがない」と回答しており、方言コンプレックスを余り感じていないことが読み取れる。生育地域方言以外の方言を使うことがある学生は26.8%で、使うことがない学生28.8%と殆ど差がないのに対して、「わからない」と回答した学生が44.6%と多い。これは、自分が普段使用している言葉が、方言なのかどうかについての意識が薄いことが理由であると推察される。また、生育地域方言以外の方言を使うことがある学生の内、78.9%が関西弁（してまう、わからへん、いけへん等）を使用し、他の選択肢（東北弁：めんこい等、高知弁：いかんぜよ等）を選択した学生はいなかった。

「その他」を選んだ学生は21.1%で、具体的には「鹿児島弁、北海道弁、岐阜弁、博多弁」を使用するとの回答であった。

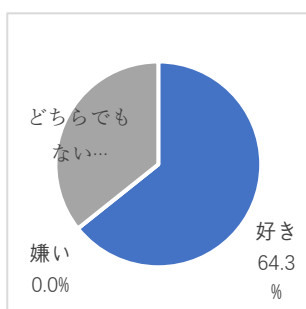
「どのような場面で他の地域の方言を使用するか」という設問に対する回答は表1の通りである。主に、友達との会話で、ツッコミを入れる時（相手がぼけた時の返しとしてのツッコミも含む）に使用するとの回答が目立った。また、会話の相手が話す方言につられて、自分もその方言を使用するとの回答も挙がっている。

<表1> どのような場面で他の地域の方言を使用するか

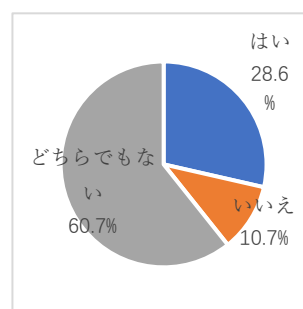
回答（自由記述）	性別
日常生活。	女
家族、親戚。	男
つつこむときや尋ねるとき。	男
相手がボケたときに使う。	男
友達と話しているとき。	男

博多弁と同じような使い方をしている。例えば関西弁の「してまう」であれば、何かをしてしまうときに使う。	女
好きな人に影響されて。	男
自然と出る。	男
その地域出身の人と話していると、方言がうつるため。	男
日常的に。人からうつったから。	女
その方言の人と話しているとき。	男
友人との会話。	女
友達にツッコミなどをするとときに「なんでやねん」と言う等。	男

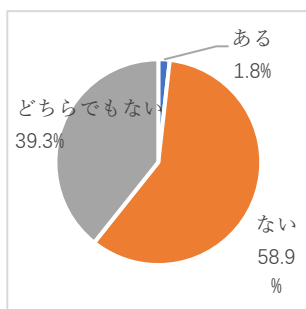
さらに、他の地域の人が福岡方言を使うのを聞いて、「好ましくない」と感じる学生は1.8%と少数で、23.2%の学生が「好ましい」と感じ、75.0%の学生は、「どちらでもない」と回答しており、違和感を持っていないことが確認できた。



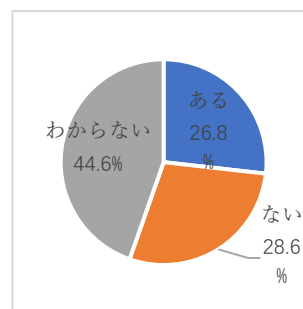
＜図 1＞ 福岡方言は好きか



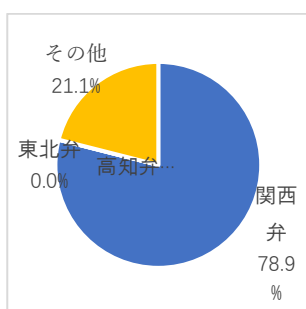
＜図 2＞ 福岡方言に誇りを持っているか



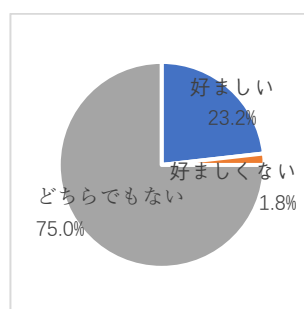
＜図 3＞ 標準語に対して、福岡方言に劣等感を持ったことがあるか



＜図 4＞ 生育地域方言以外の方言を使うことがあるか



＜図 5＞ どの地域の方言を使うか



＜図 6＞ 他の地域の人が福岡方言を使っているのを聞いてどう感じるか

4.2 自由記述欄の計量テキスト分析

4.2.1 頻出語

福岡方言に対する印象に関する頻出語は表 2 の通りであった。紙幅の関係から、出現数 4 以上のものを示した。

＜表 2＞ どのような場面で他の地域の方言を使用するか

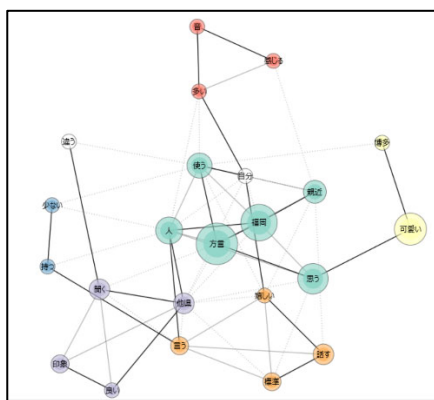
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
方言	17	使う	6
福岡	13	親近	5
可愛い	10	他県	4
思う	9	聞く	4
人	7	話す	4

4.2.2 共起ネットワークと対応分析

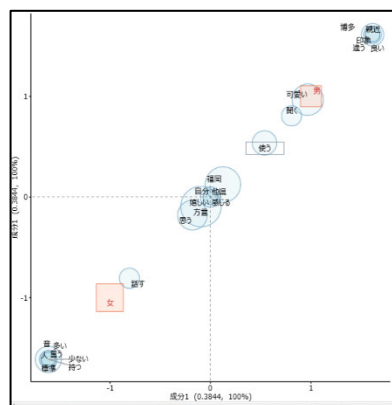
図 7 は抽出語の共起ネットワークである。共起ネットワークは、よく一緒に使用されていた語が線で結ばれるもので、内容分析の分野で古くから活用されている手法である。共起の強さは Jaccard 係数¹で測られている。まずは、予断を交えずデータの全体像を探るため、抽出語全体の共起ネットワークを確認した。その結果、①福岡方言に対する親近感・可愛らしさ、②他県の人から聞く福岡方言に対する印象の良さ・嬉しさ、③音の響き等について言及されていることが確認できた。

¹ Jaccard 係数は、語と語の関連性（共起性）の強さを表す指標である。1 に近ければ近いほど関連性が強く、0 に近ければ近いほど関連性が弱くなる。

図 8 は、性別毎の抽出語の対応分析²結果である。男子学生は、「可愛い」「親近」「印象」等の語を挙げていた。「博多弁を使っている女性は可愛い」「印象が良い」「他県からも印象が良いと聞く」「福岡方言を話す相手に親近感が湧く」のように使用されていた。女子学生は、「話す」「音」「人」等の語を挙げていた。「標準語を話す友達と話している時は可愛いと言われ嬉しかった思い出がある」「“か” “と” “ばい” の音が多いように感じる」「地元民以外の人に方言強いねと言われることに疑問を持っている」「福岡の方言ではなく標準語だと思っていたものも意外と福岡の方言で他県の人に通じないことがあって驚いた」のように使用されていた。



<図 7>抽出語の共起ネットワーク



<図 8>性別毎の対応分析

4. おわりに

本発表では、福岡市の短期大学生を対象に実施した「福岡方言に関する意識調査」の分析結果について考察した。福岡方言に対する好印象、親近感、可愛らしさ等が挙げられており、方言コンプレックスを感じていないことが分かった。

今後の課題として、福岡のネオ方言（新方言）に関するアンケート調査の分析を試みる予定である。

² 対応分析では、原点 (0, 0) に平均的なものが集まる。そのため、原点から見てどの方向に布置されているか、また、原点付近よりも端の方に、特徴語が布置されることに注目して分析する。

参考文献

- 九州大学文学部言語学研究室（1983）「福岡市若年層のことば 都市化と方言使用」『九大言語学研究室報告 別冊』
- 陣内正敬（1985）「方言意識と方言使用の世代差」『文學研究』九州大学文学部
- 陣内正敬（1998）『日本語の現在—揺れる言葉の正体を探る』アルク
- 中村萬里（2005）『即訳!ふくおか方言集』西日本新聞社
- 真田信治・陣内正敬・井上史雄・日高貢一郎・大野眞男（2007）『方言の機能』岩波書店
- 近藤紗耶（2010）「若年層の方言使用と方言意識—愛知県豊明市の中学生を対象として—」『東京女子大学言語文化研究』東京女子大学言語文化研究会
- 真田信治編（2011）『方言学』朝倉書店
- 田中ゆかり・林直樹・前田忠彦・相澤正夫（2016）「1 万人調査からみた最新の方言・共通語意—「2015 年全国方言意識 Web 調査」の報告—」『国立国語研究所論集』
- 樋口耕一（2019）「計量テキスト分析における対応分析の活用—同時布置の仕組みと読み取り方を中心に—」『コンピュータ&エデュケーション VOL.47』
- 樋口耕一（2020）『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して【第2 版】KH Coder オフィシャルブック』ナカニシヤ出版

日本語自然会話におけるターンの共同構築に関する一考察

胡蘇紅（中国社会科学院語言研究所）

1. はじめに

会話は複数の会話参加者が共同で協調しながら作り上げていくものである。日本語の日常会話には、(1)のように、複数の会話参加者が1つのターンを共同構築することがよく見られる。さらに、(2)のように、共同構築を行う際に会話参加者の発話がオーバーラップすることも見られる。本研究では、前者を「典型的共同構築」、後者を「オーバーラップ型共同構築」と呼ぶ。

(1) 01 JFB027: ふーん, で, X ちゃんは?

02 JM028: で, X さんは, あの:::

→03 JFB027: (.)医学部. (BTSJ¹, data 220)

(2) 01 JFB026: @@映像と音声で伝えるほうが[わかりやすい].

→02 JM027: [わかりやすい]. (BTSJ, data 217)

これまで、Ono and Yoshida (1996)、Hayashi and Mori (1998)、Hayashi (2003, 2005, 2014)、林 (2017)、Szatrowski (2007, 2018) ではターンの共同構築のパターン、ターンの共同構築を通じて遂行される社会的行為、英語との相違点に関して考察がなされてきた。しかし、典型的共同構築とオーバーラップ型共同構築にはどのような相違点があるのか考察されていない。

そこで、本研究では、『BTSJ による日本語話し言葉コーパス（トランスクリプト・音声）2021 年 3 月版』（以下『BTSJ』）の録音データ（12 時間）を分析し、ターンの共同構築の機会を提供する文法構造上の要素、ターンの共同構築を通じて遂行される社会的行為という 2 つの側面から、典型的共同構築とオーバーラップ型共同構築

¹ 『BTSJ による日本語話し言葉コーパス（トランスクリプト・音声）2021 年 3 月版』（以下『BTSJ』）には、446 会話、総時間 112.5 時間の会話が収録されている。本研究で用いたのは音声付きの日本語母語話者間の 12 時間の会話である。

築の相違点を明らかにすることを目的にする。

2. ターンの共同構築の機会を提供する文法構造上の要素

林 (2017) は「従属節＋主節」といった統語構造と「対比」などの定型表現がターンの共同構築の機会を提供すると論じている。本研究では、ターンの共同構築の機会を提供する文法構造上の要素を表 2 にまとめる。

＜表 1＞ 文法構造上の要素

	典型的	オーバーラップ型	合計
NP は/が VP	26	26	52
Cl ₁ +Conj.+ Cl ₂	7	17	24
OV	3	11	14
NP の NP	3	2	5
Adj.な NP	0	1	1
NP+NP+NP	0	3	3
NP と/あと NP	1	2	3
その他 ²	2	3	5
計	42	65	107

表 1 に示すように、「NP は/が VP」という文法構造においては、ターンの共同構築の産出率が最も高い。興味深いのは、主語を表す「が」の後ろに共同構築が産出される場合は、予測の正確率が高い。一方、話題を表す「は」の後ろに共同構築が産出される場合は、予測が失敗しやすい。例えば、(3)では、JF099 は 01 行目で「だから、JFB026 名」が論文を出さないのは」を産出した後、短い沈黙が起こっている。そして、JF099 が 02 行目でターンを引き続き産出している際に、JFB026 は 03 行目で「うん、致命傷なの」を産出し、共同構築している。しかし、03 行目の発話は、02 行目の JF099 の発話の軌道である「先生も当たり前だと思ってるけど」とはまったく異なる意見になり、予測が失敗している。その理由としては、自然会話においては、話題は主語に比べ発話機能の指定の範囲が広く、不確実性が高いからだと考えられる。

² その他は「対比」構造、「引用句」構造、「終助詞」、「助動詞」、「副詞」の共同構築を指す。

(3) 01 JF099: だから,「JFB026 名」が論文を出さないのは(.)

→02 [先生も当たり前だと思ってるけど.

→03 JFB026: [@うん, 致命傷なの@ (BTSJ, data 214)

3. ターンの共同構築を通じて遂行される社会的行為

林 (2017) は、ターンの共同構築を通じて遂行される社会的行為には「理解を示す」、「同意・共感を示す」、「独自に知識を持っていることを示す」、「共同で説明する」という 4 種類があると論じている。本研究では、林 (2017) の主張を踏まえながら、自然会話においては、「話し手の産出困難を解決する」、「話し手の可能な質問が終わる前に回答する」、「評価を行う」という 3 つの社会的行為が遂行されることを提案する。また、表 2 に示すように、典型的な共同構築は「話し手の産出困難を解決する」という社会的行為を最も頻繁に実行する。一方、オーバーラップ型共同構築は「理解を示す」という社会的行為を最も頻繁に実行すると本研究は提案する。

<表 2> 社会的行為

	典型的	オーバーラップ型
理解を示す	14	51
産出困難を解決する	25	3
回答する	3	5
評価を行う	0	6
計	42	65

(i) 「理解を示す」

(4)では、JFB025 は自分の就職活動の進捗状況について話している。この発話の前には、JFB025 は面接の前に OB と連絡を取り、会社訪問したほうがいいが、あまり部活と関係ないので、連絡が取れないという内容の会話がある。そして、引き続き、JFB025 は 01 行で「いくらなんか後輩って言ってもね、何にも関係ないもんね」と語っている。JFB025 が「何にも」を産出した後、JF098 は 02 行で同じように「関係ないもんね」と語り、自分についてのことではないが、JFB025 が語っていることについて理解したことを示している。

(4) 01 JFB025: いくらなんか後輩って言ってもね,何にも[関係ないもんね.

→02 JF098:

[関係ないもんね.

(BTSJ, data 210)

(ii) 「産出困難を解決する」

(5)では、JFB025 と JM026 は美容整形にはどのようなものがあるかについて話している。JFB025 は 03 行目ではじめて「脂肪」(長音の肪)を産出した際に、完全な単語が産出できず、産出困難が起こっている。そして、JFB025 がもう一度「脂肪」を産出した後、JM026 は 04 行目で「吸引」の産出を行うことによって、JFB025 の発話途中の産出困難を解決している。

(5) 01 JFB025: うん,豊胸とかもあるよ.

02 JM026: 豊胸ある[し:::

03 JFB025: [胸、おっきくしたりー,あと,脂肪::脂肪[吸引]?

→04 JM026:

[吸引]?

05 JFB025: え,あれはどうねんろう,あ,どうねんろうね? (BTSJ, data 213)

(iii) 回答する

(6)では、JM034 と JMB010 は一人暮らしについて話している。JM034 は 05 行目で「(深夜の 12 時とか過ぎると) ご飯とか残ってないの」という質問をし、JMB010 は JM034 の質問の完全産出の後に回答することではなく、JM034 が「残って」を産出した直後に「ないし」と答えている。このような共同構築の産出理由は自分の経験についてのことであるため、質問の完全産出前に回答できるからである。

(6) 01 JMB010: そう,あ,それはそれもそうなんだけど,俺も::でもね,うち帰んの

02 が,筋トレとかして,ちょっと遊んだりして,帰るともう,家に着く

03 のが深夜の 12 時とか過ぎるの:ね,そしたらもうみんな寝てんじゃ

04 ん.

05 JM034: @ご飯とか残って[ないの?]

→06 JMB010:

[ないし],ないし.(BTSJ, data 243)

(iv) 評価を行う

(7)では、JF109 と JMB013 は 1 人暮らしと実家暮らしのどちらがいいかについて話している。JF109 が 04 行目で「リスクが」を産出した直後に、JMB013 は 05 行目で「でかい」と評価し、自分のスタンスを表明している。さらに、JMB013 の 05 行目の「でかい」は、06 行目で JF109 が産出した発話内容とオーバーラップしている。

(7)01 JF109: もし、1 人暮らしするか::実家暮らしするか選べて今この段階で言われたら、

02 今まあ一応勉強して大変だっていうのもあるから::まあそれ、でかいけど::そ

03 れ以外にも、まあ自分をきたえる訓練にはなるかもしれないけど::そうならな

04 かったときのリスクが::::

05 JMB013: [でかい

→06 JF109: [大きすぎる気がして、私はね. (BTSJ, data 257)

4. おわりに

本研究では、典型的共同構築とオーバーラップ型共同構築の機会を提供する文法構造上の要素にはほぼ違いがないが、遂行される社会的行為に大きな違いがあることを明らかにした。今後は、より多くのデータを用いて、視線やジェスチャーなどの文法構造上以外の要素がどのようにターンの共同構築の機会を提供するか解明していくことが期待される。

引用文献

宇佐美まゆみ監修 (2021) 『BTSJ 日本語自然会話コーパス (トランスクリプト・音声) 2021 年 3 月版』、国立国語研究所、機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」

林誠 (2017) 「会話におけるターンの共同構築」『日本語学』第 36 巻第 4 号:128-139.

Hayashi, Makoto (2003). *Joint Utterance Construction in Japanese Conversation*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.

Hayashi, Makoto (2005). Joint turn construction through language and the body: Notes on

- embodiment in coordinated participation in situated activities. *Semiotica* 156: 21-53.
- Hayashi, Makoto (2014). Activity, participation, and joint turn construction: A conversation analytic exploration of 'grammar-in-action'. In Kaori, Kabata & Tsuyoshi Ono, eds., *Usage-based Approaches to Japanese Grammar*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins. Pp. 223-258.
- Hayashi, Makoto & Junko Mori (1998). Co-construction in Japanese revisited: We do 'finish each other's sentences'. In Noriko, Akatsuta, Hajime Hoji, Shoichi Iwasaki, & S. Strauss, eds., *Japanese/Korean Linguistics 7*. Stanford: CSLI Publications. Pp. 77-93.
- Ono, Tsuyoshi & Eri Yoshida (1996). A study of co-construction in Japanese: We don't 'finish each other's sentences'. In N. Akatsuta, S. Iwasaki, & S. Strauss, eds., *Japanese/Korean Linguistics 5*. Stanford: CSLI Publications. Pp. 115-129.
- Szatrowski, Polly (2007). Subjectivity, perspective and footing in Japanese co-construction. In Nancy, Hedberg & Ron Zacharski, eds., *Topics on the Grammar-Pragmatics Interface: Essays in Honor of Dr. Jeanette K. Gundel*. Amsterdam: Benjamins. Pp. 313-339.
- Szatrowski, Polly (2018). Discourse/conversation analysis. In Yoko Hasegawa, ed., *The Cambridge Handbook of Japanese Linguistics*. Cambridge: Cambridge University Press. Pp. 649-677.

「ばかり」の記述的研究

－「限定」用法と「程度」用法を中心に－

陳泳姍（名古屋大学）

1. はじめに

「ばかり」は、「限定」の意味と「程度」の意味を表すことができる。

- (1) 父は兄ばかりほめる。 「限定」
- (2) 手に関する慣用句驚くばかりに発達している。 「程度」

この 2 つの用法は上の例のように、異なる文構造で異なる意味を表す場合もあれば、次の例のように、同じ文構造で違う意味を表す場合もある。

- (3) きつい言葉だが、かっこいいばかりの仕事はないのである。
(松原惇子『いい女は頑張らない』) 「限定」
- (4) すさまじいばかりの迫力に満いた競り合いが行われる。
(須藤 功『祭礼行事』) 「程度」

以上の例から分かるように、「ばかり」の「限定」用法と「程度」用法は独立した個々の意味ではあるが、意味と構文には類似点があるとも言えよう。本研究では、意味・機能の考察と構文の記述を行う上で、「ばかり」が表すこうした「程度」の意味と「限定」の意味を記述し、両者の関連性と相違点を明らかにすることを目的とする。

2. 「限定」用法と「程度」用法を弁別する基準

沼田（2009）は、「限定」の意味を表す「ばかり」をとりたて詞とし、「程度」の意味を表す「ばかり」を形式副詞とする。さらに、沼田（2009：27）は、「形式副詞ととりたて詞は、基本的に任意性の有無によって弁別できる」と述べている。

(5) 「任意性」：文構成に必須の要素であるか否か

- a. 割引券を常連客に だけ／ ϕ 渡した。
- b. 割引券を常連客が欲しがる だけ／* ϕ 渡した。

(沼田2009：27)

しかし、以下の例では、「限定」を表すばかり文と「程度」を表すばかり文が同じ構文に用いられ、単に任意性の有無だけでは、「ばかり」がとりたて詞であるか、形式副詞であるかを判断できないと考えられる。

(6) きつい言葉だが、かつこいいばかりの仕事はないのである。(例3再掲)

(松原惇子『いい女は頑張らない』)

(7) すさまじいばかりの迫力に満いた競り合いが行われる。(例4再掲)

(須藤 功『祭礼行事』)

本研究では、沼田(2009)が述べた「任意性」に、意味の考察を加え、「限定」の意味であるか、「程度」の意味であるかを判断する。

3. 「限定」の意味を表す「ばかり」

略

4. 「程度」の意味を表すばかり

第4節では、「程度」の意味を表す「ばかり」を分析し、「程度」の「ばかり」の意味・機能と構文的特徴を記述する。

本研究では、「んばかりに」と原因・理由節として機能する「ばかりに」のような、特殊な構文パターンを研究対象としない。

程度の意味を表す「ばかり」の構文については、以下の2つを取り出した。

状態の描写：バカリニ

A. 形容詞／形容動詞／副詞 バカリニ 動詞

B. 動詞 バカリニ 動詞/名詞/形容詞

性質の高精度：N ノ ハ 形容詞 バカリ ダ

A. N ハ 形容詞 バカリ ダ。

B. 形容詞 バカリ ノ/ナ N

以下、順に説明していく。

状態の描写：バカリニ

この構文に用いられる「ばかり」が表すのは、「ばかり」に後続する状態の様子を表している。

A. 形容詞／形容動詞／副詞 バカリニ 動詞

(8) 前方に神々しいばかりにそびえる、三角形の岩山「屋根岩」が姿を現した。

(吉田悦子『日本犬・血統を守るたたかい』)

(9) その金が回り回って貧しき民衆の間をわずかばかりに潤していく

(真保裕一『週刊ポスト』)

さらに、(10')のように「ばかり」がない場合、「神々しい」という形容詞を段階性のない一つのまとまりとして認識し、「神々しさ」の強弱の段階性がないことを表す。一方、「ばかり」がある場合では、「神々しいさ」に強弱をつけると同時に、「神々しさ」がかなり強い程度であることを表すことができる。

(10') 前方に神々しくそびえる三角形の岩山「屋根岩」が姿を現した。

B. 動詞 バカリニ 動詞/名詞/形容詞

(10) それを聞かされた姜女は、悲しみに沈んで気も狂うばかりに大声をあげて泣き叫び、城壁に身をたたきつけていた。(李家正文『女たちの中国』)

(11) 板屋根を舐めるばかりに雲の低い、村路を通りこすと、バーヤ・ホテルの二階に通って、コッフィーを命じて湖を眺めた。

(辻村伊助『スウィス日記』)

性質の高精度：N ノ ハ 形容詞 バカリ ダ

この構文パターンでは、「ばかり」が表す意味はNの強さの程度である。

A. N ハ 形容詞／感情動詞 バカリ ダ。

この構文では、「ばかり」の前接語は制限されている。主に、感情感覚形容詞と感情動詞に限られている。また、主語であるNは「Nの～さ」に言い換えることができる。

- (12) 空海は不思議を演ずる僧として後世に印象づけられているが、たしかにこのあたりの摩訶不思議さは、いかがわしいばかりである。

(司馬 遼太郎『空海の風景』)

- (13) この時代の角福戦争という見方もあり、その根深さは驚くばかりだ。

(中澤 雄大/岸井 成格『サンデー毎日』)

B. 形容詞／動詞 バカリ ノ/ナ N

Nは「Nの～さ」に言い換えることができる。

- (14) なよなよ、うじうじと、おとなしい一方の印象が薄れて、よくしゃべり、よく笑い、まぶしいばかりな盛りの美を発揮し出した。

(杉本 苑子『夜叉神堂の男』)

- (15) そしてなにより辺り一面に溢れるすさまじいばかりの闘気！

(早坂 律子『超魔炎獄変』)

「程度」の意味を表す「ばかり」だけではなく、「限定」の意味と解釈される「ばかり」もこの構文を用いることができる。同じ構文で、それぞれの意味に解釈される時の条件については5節で述べる。

5. 同じ構文に用いられる「限定」と「程度」

「ばかり」が「限定」の意味を表す時も、「程度」の意味を表す時も次の構文パターンに用いられることができる。この節では、それぞれの意味に解釈される時の条件について説明する。

パターン1：形容詞／動詞 バカリ ノ/ナ N

パターン2：形容詞／動詞 バカリデ、…

パターン1：形容詞／動詞 バカリ ノ N

BCCWJ で、「形容詞バカリノ名詞」で検索した結果のうち、翻訳作品を除き、計 81 例を対象として分析した。そのうち、「程度」の意味を表す「ばかり」が 67 例であり、「限定」の意味を表す「ばかり」が 14 例である。以下、「程度」と「限定」についてそれぞれ述べる。

「程度」

前接形容詞：

眩い (27)¹、凄まじい (18)、神々しい (4)、狂おしい (3)、心憎い (2)、情けない (2)、恐ろしい、目に痛い、物狂おしい、厳しい、憎らしい、まがまがしい、物凄、けたたましい、太々しい、眩しい、めざましい

修飾される名詞：

・「もともと特徴・性質のある名詞」

輝き (4)、たばこの魔力、出世、迫力、喧騒、権利欲、進歩、座席の争奪戦…

・「修飾詞＋名詞」

華美な部屋、緑青の色、春の虹、透明な発声、若い男女、詳しい解説…

・「形容詞さ」

いとしさ、貧寒さ、美しさ、幅広さ、お美しさ…

・「普通名詞」

演出 (2)、世界、楕形打った兜、風景、諸道具、明倫の形相、高尾の部屋

(16) そうした彼らの発する**狂おしいばかり**の**熱気**が町全体にみなぎっていた。

(白川 道『海は潤いていた』)

(17) **目を覆うばかり**の**すさまじい場面**の連続で、おぞましい映画である、

(国会会議録)

「限定」

前接形容詞：

¹ かつこの中の数字は出現する回数である。

忙しい (2)、生臭い、カッコいい、美しい、若い、でかい、良い、あとげない、苦しい、騒々しい、つらい、いやらしい、名高い

修飾される名詞：

日常 (2)、人、仕事、造形、玉髪、クソ野郎め、評価、女子学生、1 年間、ライブ、場合、身体、話

(18) きつい言葉だが、カッコいいばかりの仕事はないのである。

(松原 惇子『いい女は頑張らない』)

(19) もちろんベトナム戦争、ロッキード事件など国際的な活躍はあまりにも有名で、長く新聞記者の端くれとして、畏敬するばかりの先達でした。

(尾崎 真理子/徳岡 孝夫『Voice』)

まとめると、「形容詞／動詞ばかり」に修飾される名詞の性質・特徴が確定の場合、「ばかり」が「程度」の意味を表す。一方、修飾される名詞の性質・特徴が不確定の場合、「ばかり」が「限定」の意味を表す。

「形容詞／動詞 バカリ ノ N」

N の性質・特徴が確定の時 → 程度

N の性質・特徴が不確定の時 → 限定

パターン2：形容詞／動詞 バカリデ、…

「ばかり」が「程度」と解釈されるとき、「ばかり」の後文脈にある文はただ、「形容詞／動詞ばかり」が表す程度を具体的に説明するだけであり、「ばかり」の前後は同一事態である。一方、「限定」と解釈されるとき、後文脈の文は「ばかり」に前接する形容詞または動詞と範列関係にある対比される他の事態である。

「程度」

(20) IT 業界の変化の速度は凄まじいばかりで、次から次へと新しい技術が登場しています。（『情報処理技術者』になる本）

「限定」

(21) どんなウナギかと沖縄の友人にきいてみたけれども、ニヤニヤ笑っているば

かりで、だれも答えなかった。（沖縄名作の舞台）

まとめると、以下ようになります。

「形容詞／動詞 バカリ デ、…」

後文脈が前接語である「形容詞／動詞」の程度の具体的表現（同一事態）

→ 程度

後文脈が前接語である「形容詞／動詞」と範列関係にある対比される他の事態

→ 限定

6. おわりに

今回は単に、「程度」の意味を表す「ばかり」の文に目立つ構文パターンを取り出して分析した。「限定」の意味を表す「ばかり」と「程度」の意味を表す「ばかり」が同じ文構造に用いられる際に、それぞれの意味に解釈される条件のような横の関係についての比べを行った。しかし、「限定」と「程度」の連続性のような縦の関係についての記述がまだ足りない。

引用文献

日本語記述文法研究会（2009）『現代日本語文法 5 とりたて：主題』くろしお出版

沼田善子（1995）「とりたて詞「も」のフォーカスとスコープ」吉岡隆志・野田尚史・沼田善子（編）『日本語の主題と取り立て』pp.175-207, くろしお出版

沼田善子（2009）『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房

茂木俊伸(2002)「「ばかり」文の解釈をめぐって」『日本語文法』2・1,pp171-189.

中国教科書における複合動詞「～だす」の出現状況

—中国教科書を対象に—

靳夢瑩（九州大学大学院生）

1. はじめに

「泣き叫ぶ、飛び出す」のような複合動詞は学習者にとって習得しにくい項目の1つである。教科書に与えられる動詞のほとんどは単純動詞であり、それらの動詞を組み合わせた複合動詞については、学習の機会があまりない（森田 1978）。また、複合動詞についての導入は一定の基準が存在せず、教科書での扱いも出版社によって異なるため、多くの教師は自身の経験に頼って教授している。

学習者の学習レベルに応じて複合動詞を導入することは複合動詞の習得にとって重要である。現時点で使用されている教科書を調査し、複合動詞がどのように扱われているかを明らかにすることは現実的な課題である。

本発表は日本語学習者数が最も多い中国人学習者に使用されている教科書を対象に、出現頻度が最も高い「動詞連用形＋だす」という形の複合動詞を中心に、フレーム意味論の観点からレベル別の出現実態を明らかにする。次に、各レベルの前項動詞と後項動詞が喚起されるフレームを考察し、「動詞連用形＋だす」の指導法について提案する。

2. 先行研究

2.1 後項動詞「だす」の意味分類

姫野（1999）は、後項動詞である「だす」の意味的役割を中心に、移動・顕在化・開始の3つの意味的役割を担っていると主張している。また、移動の意味的役割を担う「だす」と共起する前項動詞の意味特徴によって外部・前面・表面への移動、表だった場への出現に分けられ、顕在化の意味的役割を担う「だす」と共起する前項動詞の意味特徴は顕現・創出・発見等に細かく分けられる。

姫野は後項動詞の意味用法を中心に複合動詞を分類することで、母語話者の語感

に頼らず日本語学習者でも客観的に後項動詞の意味を解釈することができるようになった。しかし、複数の意味用法を持つ「だす」について学習者にどの語をどのレベルにおいて習得させるかはまだ大きな課題である。

2.2 フレーム意味論

フレーム意味論は、人間の経験と背景知識をフレームという概念で捉え、語彙（構文）が喚起する意味フレームとそれゆえに可能になる意味概念化の有り様を明確にすることを目指すものである（藤井・内田 2023:5）。フレーム意味論・意味フレームに基づき構築されたオンライン電子化語彙体系辞書はフレームネットと呼ばれている。多義性を持つ語についてフレームで正確に記述することができる。例えば、**cook** は用法によって、熱を用いて料理を表す **Apply_heat** フレームと、単に料理を作ることを表す **Cooking_creation** フレームで記述することができる。

3. 研究目的

本発表では、中国教科書に現れた「動詞連用形＋だす」についてフレーム意味論を用い、「だす」の用法によって喚起する各フレームのレベル別出現傾向及びそれと共に起する前項動詞が喚起するフレームのレベル別出現傾向を分析し、「動詞連用形＋だす」に関する指導法を提案する。

4. 研究方法及び研究データ

中国で広く使用されている日本語教科書を集め、『中国教科書コーパス（教科書コーパス）』を作成した。また、教科書に提示された情報を中心に、レベル分けを行った。表1は教科書コーパスのレベル別語数情報である。

<表1> 中国教科書コーパスの語数情報（単位：語）

	初級	中級	上級	計
全語数	134,205	229,582	202,810	566,597

また、spaCy を用い、教科書コーパスの形態素解析とタグ付けを行った上で、複

合動詞を抽出した。その後、抽出した複合動詞を集め、レベル別の複合動詞リストを作成した。次に、「動詞連用形+だす」という形の複合動詞を抽出し、「だす」の各用法が喚起するフレーム及び共起する前項動詞が喚起するフレームを判断し、対応分析で出現傾向を明らかにする。

さらに、姫野（1999）に基づき、後項動詞「だす」の用法を分類し、喚起するフレームを判断する。意味 1 は「物体・物質の外部、前面、表面への移動を表す」用法である。この意味として理解される時、事象の主体、位置と主体が見出される可能性のある領域などは **Locative_relation** フレームのコアフレーム要素と対応するため、**Locative_relation** フレームだと判断する。

意味 2 は「顕在化を表す」用法である。隠されていた対象が外部や表面に現れることによって人の目に触れること（姫野 1999）あるいはなかったものが新しく作り出されることを表す。文の中に現れた内容は **Creating** フレームのコアフレーム要素に対応するため、**Creating** フレームを喚起すると考えられる。

意味 3 は「事態の開始を表す」用法である。新たな行動を行うというアスペクト的意味を表し、動作・作用の「開始」を表す（姫野 1999）。**Process_start** フレームのコアフレーム要素に対応するため、**Process_start** フレームだと判断する。

5. 中国教科書における「だす」の各フレームの出現傾向

後項動詞「だす」の用法によって喚起するフレームのレベル別の集計結果は表 2 である。全体的には、レベルが上がるにつれて出現頻度が顕著に高くなる。初級において、各フレームが喚起する回数が少なく、**Process_start** フレームは 1 回でも喚起されなかった。また、各レベルにおいて「だす」が **Locative_relation** フレームと **Creating** フレームを喚起する回数が多く、**Process_start** フレームを喚起する比率は各レベルにおいて少ないという結果から、**Locative_relation** フレームと **Creating** フレームが喚起される「だす」の用法はどのレベルでも重視されている用法であると考えられる。

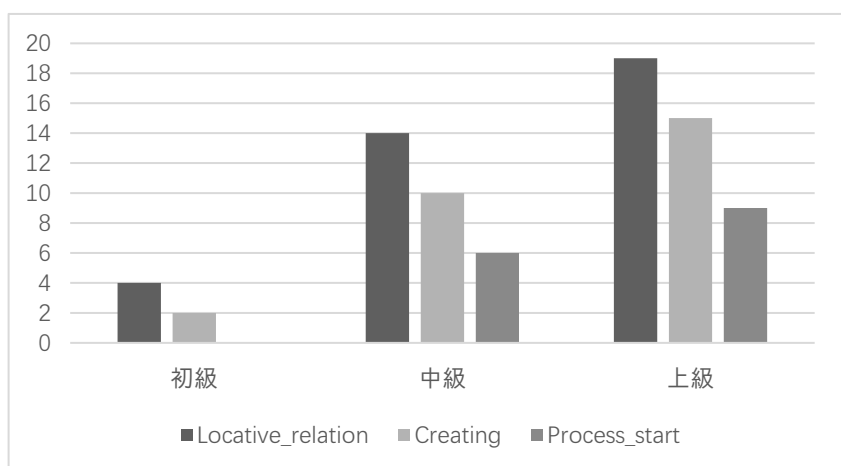
<表 2> 「だす」の用法によって喚起するフレームのレベル別集計表

	初級	中級	上級
Locative_relation	7	65	77

Creating	7	47	81
Process_start	0	10	17
合計	14	122	175

6. 中国教科書における「だす」の用法と前項フレームの結合傾向

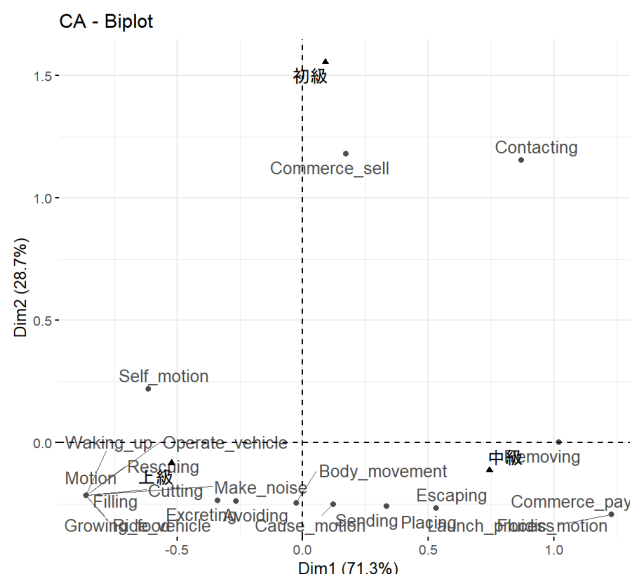
「だす」の用法によって喚起するフレームと結合する前項動詞が喚起するフレーム（以下：前項フレーム）の異なり語数を集計した結果は図 1 に示す。まず、「だす」が喚起するフレームには、レベルが上がるにつれて結合する前項フレームの種類が多くなる傾向が見られる。また、各レベルにおいて **Locative_relation** フレームと共起する前項フレームの種類が最も多く、**Process_start** フレームと共起する前項フレームの種類が最も少ないことが分かった。



＜図1＞ 「だす」が喚起するフレームと前項フレームの結合状況

以上、「だす」の各用法と共起する前項フレームの全体的な傾向を考察した。各フレームと共起する前項フレームの特徴及び前項フレームと後項フレームの結合傾向を明らかにするために、対応分析を用い、分析する。

6.1 Locative_relation フレームと共起する前項フレームの出現傾向



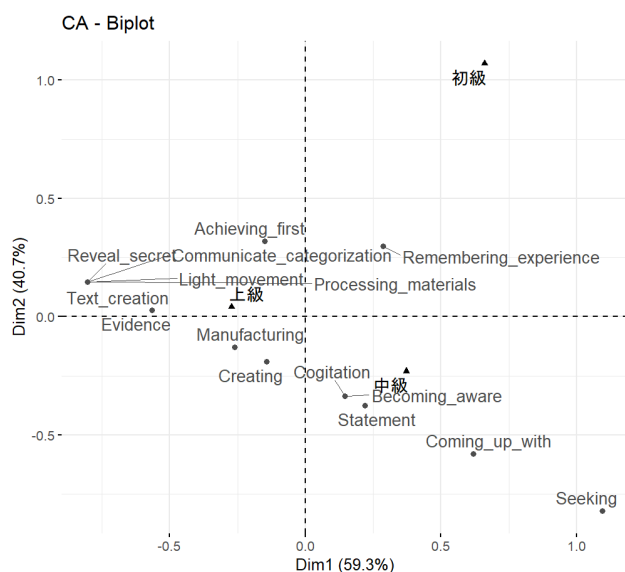
<図 2> Locative_relation フレームと前項フレームのレベル別結合状況

図 2 は中国教科書において「だす」が喚起する Locative_relation フレームと前項フレームの共起状況によって対応分析した結果である。

まず、初級、中級、上級はそれぞれ異なる象限に位置するため、結合傾向が異なることが分かった。初級タグは Commerce_sell フレームと Contacting フレームに近接している。また、Locative_relation フレームは移動を表す用法によって喚起されるため、前項動詞に喚起されたフレームも移動を表す意味が含まれているものが多い。例えば、Self_motion フレーム、Removing フレーム、Cause_motion フレーム、Body_movement フレーム等が挙げられる。

6.2 Creating フレームと共起する前項フレームの出現傾向

図 3 は中国教科書において「だす」が喚起する Creating フレームと前項フレームの共起状況によって対応分析した結果である。



<図 3> Creating フレームと前項フレームのレベル別結合状況

まず、初級、中級、上級はそれぞれ異なる象限に位置することから、共起する前項フレームの間に共通点が少ないことが分かった。また、初級に近接するタグがなく、中級と上級に近接するタグが多いことから、「だす」の顕出化を表す用法は中級から重要視される傾向が読み取れる。

また、Cogitation フレーム、Come_up_with フレーム、Seeking フレームは中級タグの周りに分布されている。これらのフレームは前項動詞の「考える、打つ、掘る」によって喚起される。上級タグは Text_creation フレーム、Reveal_secret フレーム、Processing_materials フレーム、Light_movement フレームと共起することが分かった。

6.3 Process_start フレームと共起する前項フレームの出現傾向

Process_start フレームが喚起される用法が中級と上級しか現れなく、共起する前項フレームの出現頻度も Locative_relation フレームと Creating フレームより低い
ため、以下にはフレームを列挙しながら考察していく。

まず、中級には Self_motion フレーム、Motion フレーム、Ingestion フレーム、Emotion_directed フレーム、Commerce_buy フレームと共起し、「走り出す、動き出す、食べ出す、怒り出す、買い出す」などの出現頻度が高い。その一方、上級にお

いて Process_start フレームは Worry フレーム、Self_motion フレーム、Perception_experience フレーム、Motion_directional フレーム、Make_noise フレームなどと共起する傾向が高く、「ぐずり出す、走り出す、聞こえ出す、下がり出す、動き出す、泣き出す、笑い出す」などと共起する傾向が強いことから、前項フレームの共起傾向が捉えにくく、体系性が見られないことが分かった。

7. おわりに

本研究はフレーム意味論の観点から、中国教科書における「動詞連用形＋だす」の出現状況を明らかにした。以上の結果を踏まえ、「動詞連用形＋だす」の指導案は以下に提案する。

「だす」の用法と共起する前項フレームの結合状況から見れば、「移動」を表す用法と結合する前項フレームが最も多く、前項動詞との結合条件が重要視すべきである。「呼び出す、売り出す」などの複合動詞は初級において出現する傾向が強く、「飛び出す、取り出す、差し出す、送り出す」の出現回数は中級から多くなり、早めに習得すべき語であることが分かった。「顕出化」を表す用法について、中級では「考え出す、打ち出す、掘り出す」などの複合動詞は習得させるべきである。上級において「書き出す、曝け出す、紡ぎ出す、照らし出す」などの導入が相応しいと考えられる。さらに、「だす」の開始用法と共起する前項フレームの体系性が見られなかったことから、慣用表現の提示が重要であると考えられる。

引用文献

姫野昌子（1999）『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房

藤井聖子・内田諭（2023）『フレーム意味論とフレームネット』研究社

森田良行（1978）「日本語の複合動詞について」『講座日本語教育』14、69-8

多文化共生における地域日本語教育の課題

群馬県の地域日本語教育の取り組みから

大橋真由美（東京福祉大学）

1. はじめに

1989 年の出入国管理及び難民認定法の改正以降、群馬県の外国人住民数は増加し始め、2022（令和 4）年末時点で 65,326 人と過去最多である。外国人住民数は群馬県総人口の約 3.4%を占め、東京都(4.0%)、神奈川県(3.7%)、に次いで全国 3 番目に高い。このように群馬県は国籍、民族など異なる人々が多く、多文化社会であり、群馬県の取り組みを明らかにすることで、日本社会の多文化共生の一助になるだろう。本発表では、群馬県の多文化共生の取り組みを概観し、群馬県の地域日本語教育の取り組みから地域日本語教育の課題を明らかにしていく。

2. 群馬県の多文化共生の取り組み

2.1 群馬県の多文化共生の取り組み

群馬県は 2007 年「群馬県多文化共生推進指針」（2012 年、2018 年改正）を策定し、総合的な多文化共生施策を進めた。2020 年に群馬モデルとして「多文化共生・共創『群馬モデル』」策定した。これは、総務省が定義した「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」（総務省 2006）に「多様性を生かしつつ、文化及び経済において新たな価値を創造し、又は地域に活力をもたらす社会」、「多文化共創」という新たな考えを加えたものである。そして、2021 年「多文化共生・共創社会」実現に向け、「群馬県多文化共生・共創推進条例」制定し、取り組みを進めている。

2.2 「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」

「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」は「多文化共生・共創社会」の実現に向

け、策定された。基本方針は以下の3つである（群馬県 2022）。

基本方針 1.【共生】安心して暮らし続けられる環境の整備

基本方針 2.【共創】新たな価値を創造する環境の整備

基本方針 3. 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現

このうち、日本語教育について挙げられている目標、施策の方向について取り上げる。基本方針、目標、施策の方向は以下のとおりである。

基本方針 1.【共生】安心して暮らし続けられる環境の整備

目標 2. 日本教育の推進、教育機会の確保

施策の方向(1) 日本語学習環境の充実

(2) 外国人児童生徒等への学習支援

「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」は、多様な文化を持つ県民が地域でともに暮らしていくためには円滑なコミュニケーションが必要であり、その課題として、日本語学習意欲のある外国人県民に、十分な日本語学習の機会が提供できていないことを挙げ、日本語を学びたい外国人県民が、必要とするレベルの日本語を習得できるように、県全域での日本語学習の機会創出と質の向上を図るという施策を打ち出している。その具体的な取組みには、日本語教育ボランティア¹養成講座、外国人の日本語教育ボランティア養成講座、日本語教育ボランティアスキルアップ研修がある。日本語教育ボランティア養成講座は、日本語教育に興味関心があり、地域日本語教室で活動する意欲のある者を対象としている。また、外国人の日本語教育ボランティア養成講座は、外国人住民に対して、日本語に関する助言を行うほか、社会制度等に関する相談対応を担う外国人を対象としている。これは、地域の日本語教育を支えるための人材養成に向けて実施しており、今後も地域を支える日本語教室に大きな期待をもっているといえる。また、群馬県の特筆すべき点として、外国人の日本語教育ボランティア養成である。群馬県の目指す多文化共生・共創社会の実現に向けた動きといえるだろう。

¹ 本稿の日本語教育ボランティアは、日本語ボランティア、日本語学習支援ボランティアと言われるものであるが、「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」に合わせ統一した。

3. 群馬県の地域日本語教育の取組み

3.1 群馬県の日本語教室の開設状況

群馬県内にある日本語教室の現状を公益財団法人群馬県観光物産国際協会のホームページに公開されていた「群馬県内の日本語教室」をもとに表 1、図 1 を作成した。日本語教室の開設状況は、表 1 をみると、地方公共団体数 35 に対し、日本語教室を開設している地方公共団体数は 15 と半数以下である。また、居住地域に日本語教室がない場合、他地域の日本語教室に参加できないところが約 4 割、オンライン教室であっても他地域からの参加ができないという。日本語教室の開設地域は、図 1 をみると、県中部、県東部地域は日本語教室が開設されているものの、県北部地域は日本語教室が開設されておらず、日本語教室の空白地域となっている。

以上の結果をから、群馬県全域で日本語教育の機会を創出には、各日本語教室の他地域からの参加者の受け入れ、オンライン教室の開設、空白地域への日本語教室開設に向けた支援が挙げられる。

<表 1> 群馬県の日本語教室の開設状況

地方公共 団体数	日本語教室のある 地方公共団体数	日本語教室の数	市町村外の 参加可否	オンライ ン 教室
35	15	21 (前橋市：2) (高崎市：4) (館林市：3)	可能 10 不可 7 要相談 4	2 市町村外 からの参 加不可

る。

対面での実施会場は、日本語教室の空白地域ではなく、すでに日本語教室が開設されている地域である。また、講座の実施については、2020 年度は対面だったが、2021 年度は対面とオンラインの併用、2022 年度以降は対面とオンラインの併用、全日程オンラインで実施された。これは 2019 年末からの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面とオンラインの併用実施となったと考えられる。

<表 2> 日本語ボランティア養成講座の概要

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度予定
講座名	日本語教育ボランティア養成講座		日本語学習支援ボランティア養成講座	
実施会場	前橋市 桐生市	渋川市 富岡市 玉村町	藤岡市 沼田市 オンライン	安中市 桐生市 オンライン
実施方法	対面	対面：3 回 (初回、模擬授業、ディスカッション) オンライン：3 回		
実施回数	2 時間×6 回			
講座説明	地域の日本語教室等での日本語支援活動に関心がある方が、日本語教育の初歩の初歩を学ぶための講座です。	地域の日本語教室等で日本語支援をすることに興味のある方を対象に、日本語教育の初歩の初歩を学ぶための講座	地域の日本語教室等で学習支援に興味のある方を対象とした、「日本語」を通じて外国人県民と地域をつなぐボランティアを養成するための講座です。	

3.2.2 日本語教育ボランティア養成講座内容と課題

表 3 をみると、全体に共通している内容は、地域日本語教育、ボランティアの心得、学習者に合った支援、指導方法、模擬授業、今後のボランティア活動に向けたディスカッションである。また、2021 年度から対面とオンラインの併用実施のため、オンライン指導方法が含まれている。また、2021 年度のみ、日本語教室の役割、日本語学習支援の方法を取り入れているが、これは実施会場となった渋川市、富岡市、玉村町の日本語教室での実施形式がマンツーマンや少人数レッスンで、学習者の要望やレベルに合わせるといった方法で実施しているため、日本語教室の現状に合わ

せた講座になっていると考えられる。日本語教育ボランティア養成講座は各地域の状況に合わせて実施されることから、当然のことといえる。しかし、表 2 の講座説明には日本語支援、学習支援とあるものの、表 3 にある講座内容には日本語教授法、指導法などがある。日本語教育ボランティアの役割は「日本語能力がまだ十分でない外国人参加者のパートナーとして、相手が伝えようとする意図を的確にくみ取り、受け容れ、同時に自分の思いや考えを相手にとって「分かりやすい日本語」で伝えること」である」という（日本語教育学会 2014）。つまり、教えることではなく、外国人参加者と対話を通して交流を図ることである。そのためには「やさしい日本語」を取り入れることが必要だろう。

<表 3> 日本語教育ボランティア養成講座内容

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度予定
第 1 回	地域日本語教育とボランティアの心得	地域日本語教育とは（日本語教室の特色と役割）オンライン指導方法	地域日本語教育って何？ 地域日本語教育とボランティアの心得	
第 2 回	日本語基礎知識「日本語」について、テキスト・試験について	日本語学習支援ボランティアの役割	日本語の基礎とオンライン指導	
第 3 回	日本語指導法 日本語教授法、文法用語、技能別、科目別の指導方法	日本語学習支援ボランティアの活動に役立つ基礎知識	日本語の教え方 文法用語、技能別、科目別の指導方法	
第 4 回	様々な学習者に合わせた指導法 漢字圏、非漢字圏、生活者、ビジネスマン、児童など	学習者に合った日本語学習支援の方法	学習者に合わせた指導ニーズに合わせた指導に向けて、 注意点、ポイントを学ぶ	
第 5 回	模擬授業	模擬授業	模擬授業をやってみよう	
第 6 回	ディスカッション（今後の活動のために）	対面授業とオンライン授業の違い・注意点	ディスカッション 今後のボランティア活動で役に立つこと等を話し合う	

4. おわりに

本発表では、群馬県の多文化共生の取組みを概観し、日本語教室の開設状況、日本語教育ボランティア養成講座の実施状況を調べた。その結果、群馬県全域で日本語教育の機会を創出には、各日本語教室の他地域からの参加者の受け入れ、オンライン教室の開設、空白地域への日本語教室開設に向けた支援が課題といえる。また、日本語教育ボランティア養成講座の内容に「やさしい日本語」を取り入れ、わかりやすい日本語で伝える練習も必要であると考え。今回は群馬県のホームページで公開されている内容をもとにまとめたが、今後は日本語教室へ調査を行い、地域の日本語教育の在り方を考えていきたい。

引用文献

群馬県 <<https://www.pref.gunma.jp/site/tabunka/184907.html>> (2023 年 7 月 31 日)

群馬県 <<https://www.pref.gunma.jp/site/tabunka/600874.html>> (2023 年 7 月 20 日)

群馬県 (2022) <<https://www.pref.gunma.jp/site/tabunka/600874.html>> (2023 年 7 月 20 日)

群馬県 (2022) 「群馬県多文化共生・共創推進基本計画」

<<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/11694.pdf>> (2023 年 7 月 10 日)

公団財団法人群馬県観光物産国際協会 <https://www.g-kokusai.jp/_files/ugd/a6c2c6_bb89d8c951224e5cb398a01ba6bbec73.pdf> (2023 年 7 月 10 日)

出入国在留管理庁 (2022) <<https://www.moj.go.jp/isa/content/001381744.pdf>> (2023 年 7 月 31 日)

日本語教育学会 (2014) 『地域日本語ボランティア講座開催のためのガイドブック』 社団法人日本語教育学会 <<https://tabunka-nihongo.jimdofree.com/%E6%95%99%E6%9D%90-%E9%96%A2%E9%80%A3%E6%95%99%E6%9D%90/>> (2023 年 7 月 10 日)

参考文献

日本語教育学会 (2008) 『外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発（「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業）』 社団法人日本語教育学会 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/seikatsusha/h19_kenkyu_kaihatsu/nihongo_kyoikugakkai/pdf/hokoku.pdf> (2023 年 7 月 15 日)

1930～1940 年代における内モンゴル人の日本留学

ナヒヤ
娜荷芽（内蒙古大学）

1. はじめに

1930～1940 年代の内モンゴル高等教育政策を端的に示すのは、留学事業である。「満洲国」政府は、モンゴル人側の興安学院の大学昇格の要望を却下し、日本留学を通じてモンゴル人に対する高等教育を実施する原則を貫いた。政府はその理由について、モンゴル人に対する学校教育は、初等教育及び中等教育の整備充実に重点を置くためであると説明した。

基本的に大学教育を日本で受けさせるというのは、漢人や朝鮮人に対する教育の場合でも同様であった。それは、「日本が「満洲」に乗り出して以来の伝統となってい」て、日本文化との接触を図るなどの目的以外に、国民に対する大学教育を契機とする民族意識の高まりが危惧されていたことも考えられる。

モンゴル人留学事業所管機関は、興安総署（モンゴル人側の行政機関。1932 年 8 月-34 年 11 月）、蒙政部（1934 年 12 月-37 年 7 月）、興安局民生部教育司（1937 年 7 月-45 年 8 月）と何度も変更になったため、一貫性を持っていなかったが、既存のモンゴル文化・教育政策の枠内で留学事業が展開された。さらに、政策の施行主体は地方公署や中央政府であったが、それ以外に、財団法人蒙民厚生会の独自の留学事業もあった。当時、モンゴル人の官僚たちは、内モンゴルの近代化についてどのような考えを持っていたのか、そしてどのように留学生政策を考えていたのか。本稿はその一端を考察するものである。

2. 留学事業の展開

モンゴル人は近代化と知識を求めて、20 世紀の初め頃から日本へ留学生を派遣し始めた。中華民国時代、一時活動が疎かになりつつあったが、1933 年、興安総署による日本留学事業が始まった。それは、モンゴルの旗（基本行政単位）における初等

教育機関の開設、中等教育機構の再編、そして就学奨励制度や学費免除制度などがそれぞれ発足する中で始まった事業であり、その後のモンゴル人留学生政策の基盤作りに重要な役割を果たした。

元来、「満洲国」留学生派遣は政府文教部による事業であるが、モンゴル人留学生に関する諸業務に関しては、興安総署（1934年以降、蒙政部）が自主権を持っていた。1933年7月、陶克陶（トグトフ/Toytaqu, 1909-?）ら3人が「満洲国」において初めてのモンゴル人官費留学生として日本の玉川学園、東京高等師範学校（現筑波大学）、広島高等師範学校（現広島大学）へ赴き、教育、法経、美術などを専攻した。

1934年ごろ、「満洲国」政府はモンゴル人に対する高等教育、特に専門高等教育は日本留学などを通して実施する方針を固め、「将来は国費留学生が年一年と増加の傾向にある」との認識を示した。これを受けて、興安総署は国費留学生の増加を図った。その後、興安総署の後継機関である蒙政部により、留学生派遣計画が実施に移された。

興安局時代、モンゴル人留学生の派遣事業は「満洲国」留学生事務の一環として拡大された。1941年頃、「満洲国」の官費、私費日本留学生の総数は1,255名で、その内、モンゴル人留学生96名のほか、国立北京蒙蔵学校留学生も23名いた。モンゴル人留学生96名の内、大学5名、高等師範6名、高等専門学校13名、師範学校20名、中学校8名、高等女学校1名、その他、宗教関連の者が40数名であった。宗教関連の40数名は、財団法人蒙民厚生会（1939年、本部王爺廟）、財団法人蒙民裕生会（1939年、本部新京）の資金援助により派遣された青年僧侶留学生である。

3. 蒙民厚生会留学生派遣事業

政府派遣留学事業とは別に、財団法人蒙民厚生会は、1940年代から民生部と協議しながら独自の留学事業を行なった。1938-39年に、モンゴル世襲王公の「土地奉上」の代価として「満洲国」政府からの資金提供を受け、対モンゴル人教育、医療、福祉など厚生事業の窓口として財団法人蒙民厚生会、財団法人蒙民裕生会が設立された。その資金投入により、モンゴル人に対する教育事業が大きく推進された。

蒙民厚生会は、本部を王爺廟に置き、理事長をシュミンガー（1885-1947、興安南省長）が兼任し、マニバダラ（1897-1946）が常務理事を務めていた。同会は総務部と事業部に分かれて、モンゴル人を対象に文化教育事業、産業経済、保健衛生に関わ

る事業を援助した。

蒙民厚生会の看板事業の一つは、育成学院（全称王爺廟蒙民厚生会私立国民高等学校育成学院）の運営であった。育成学院は1940年に、蒙民厚生会康德7年度文教事業の一環として設立された4年制の中等教育機関である。同学院は、募集対象を国民優級学校（小学校6年生）卒業者で、貧困の家庭出身者や経済的理由による中学校の中退者に限定した。

同学院は、1944年までの約4年間に3期の卒業生を送り出した。卒業生の進路を見ると、大学進学のほかには、日本留学を選択した者もいた。その他は、学校や各地の公署に就職している。そして、中華人民共和国の成立（1949年）後、育成学院の卒業生や出身者の中で、中国人民解放軍の幹部のポストについた者が十数名いたほか、内モンゴル自治区政府の上級幹部、盟（内モンゴル自治区の行政単位、盟の下に市、旗、県等を設置する）及び地方の上級幹部になった者が五十数名、そのほか、大学、研究所、雑誌社などで教授、研究者、編集者になった者が十数名いた。その数は、興安学院とほぼ同じであり、結果から見れば、「満洲国」時代に教育を受けた彼らは数十年にわたって内モンゴル自治区の社会全般に貢献してきたのである。

1940年から、蒙民厚生会はず、国内外のモンゴル人学生を対象に、学習奨励金制度を実施して、貧困学生後援連合会を立ち上げた。さらに、マニバダラの提案で、学習奨励金制度の実施範囲を興安4省まで拡大し、国内大学生に月40円、国外留学生に月60円の補助金を支給していた。そして、1941年3月に王爺廟にて開かれた「1941年度蒙民厚生会第1回審議会」において「1941年度蒙民厚生会文教事業実施要綱」が制定され、留学生派遣事業に関する内容が審議された。それにつづき、1942年11月に「蒙民厚生会職員大会」が開かれ、1943年度蒙民厚生会事業要綱などが審議された。18項目からなる同会1943年度事業要綱には、留学生事業の拡大、充実を図るなどの内容が盛り込まれた。

1942年末ごろになると、戦時下体制は、蒙民厚生会による文教事業・社会事業のすべてにおいて制約を加えるようになった。

4. ハーフオンガーの構想

ハーフオンガー（滕統文/哈豊阿/Qapongy'a, 1908-70）は、「満洲国」時代のモンゴル人高官であり、内モンゴルの東部に大きな影響力を持っていた。彼は、1929-30

年の東北蒙旗師範学校在学中、*jegün qoyitu-yin mongyul qosiyuud-un baysi-yin suryayuli-yin darumal* (『東北蒙旗師範学校専刊』) をモンゴル語と漢語で 2 期編集した。1931 年ごろ故郷に戻ったハーフォンガーは、内モンゴル人民革命党に入党 (1932 年) し、「フフ・トグ (青旗)」*köke tuy* (1932 年) という詩を書いた。その後、「青旗」は歌の形でモンゴル人の間で広く歌われたという。歌「青旗」と、1940 年代に新京で発行された同名の新聞『フフ・トグ (青旗)』*Köke tuy* の名称の由来との関係は不明であるが、ハーフォンガーは、青い旗がモンゴル民族運動と深い関わりを持つことについて、新聞『フフ・トグ』に論説を寄せたことがある。

「満洲国」時代、ハーフォンガーは駐日本大使館秘書を務めていたため、留学生教育に深い関心を持っていた。彼が副会長を務めた蒙古留日同郷会 (1934 年にモンゴル人留学生によって設立された在日留学生団体) は、次の 5 種類の出版物を出版していたことが現在知られている。それは、*Eke orun* (『祖国』1929 年 9 月-?), *Mangq-a-yin qongq-a* (『漠声』1935 年 4 月 13 日-?), *Sin-e mongyul* (『新蒙古』1941-44 年) と *ümaratu-yin salki* (『朔風』1928-41 年) 及び *Nippun-dur бүкүйи mongyulcud-un qural-un nöküd-ün albam* (『蒙古留日同郷会名簿』1940 年) である。

一方、「満洲国」時代、モンゴル人の官僚たちは、内モンゴルの近代化について、どのような考えを持っていたのか、そしてどのように留学生政策を考えていたのだろうか。ハーフォンガーの論説「蒙古留学生之使命」(原文は中国語。1942 年 9 月) は、それを解明する重要な手がかりになると考えられる。1932 年、前述の通りハーフォンガーは内モンゴル人民革命党に入党した。内モンゴル人民革命党の究極の目的がモンゴルの独立・自治であるとすれば、1930-40 年代におけるハーフォンガーの思想は、かなり複雑なものがあつたはずである。

彼は「蒙古留学生之使命」において、モンゴル人の留学事業は、まずモンゴル民族問題を解決するための事業であるべきだ、と指摘した。そして、モンゴル民族問題とは何かについて述べた。彼はまず、モンゴルの社会状況についての分析を行ない、モンゴル人が直面している 3 つの問題 (「民族的当前問題」) を取り上げた。第 1 は基礎産業の育成と発展を強化する問題、第 2 は保健衛生施設の設置に関する問題、第 3 は基礎教育及び文化施設の確立の問題である。以上の分析結果から、彼は医療及び理科の人材の育成に重点を置き、農業牧業と言語学の比重を修正する今後の留学教育の方針を明示した。彼はさらに、「満洲国」におけるモンゴル人留学生の全体数が少ないことを指摘し、今後はその人数を増やすよう要望した。

5. おわりに

1930–40 年代の内モンゴルにおける教育は、内モンゴルの学校教育のみで完結したわけではなく、日本留学と合わせて、一つの教育プログラムを構築した。「満洲国」期のモンゴル人留学事業は、1933 年から興安総署により始まり、蒙政部に受け継がれ、興安局時代に拡大されて 1942 年ごろにピークを迎え、その後のモンゴル人留学生政策の基盤作りに重要な役割を果たした。

一方、蒙民厚生会による留学事業は、1940 年代から始まり、終戦まで続いた。同会は師範教育や技術面における人材の養成に重点を置き、留学生に対して経済的な援助、一時帰国時の世話や帰国後の就職斡旋も行なっていた。

また、モンゴル人の官僚たちは民族問題の解決や近代化に向けて、留学教育を通じた農牧業、医療の専門知識を持つ人材及び教員の育成を求め、分野別に日本に留学生を派遣する計画を持っていた。それは、獣医畜産学などを重んじる蒙政部時代の留学生派遣方針と共通点を持つものでもあった。

引用文献

娜荷芽 (2012) 「『満洲国』におけるモンゴル人中等教育 —— 興安学院を事例に」『日本モンゴル学会紀要』第 42 号, 2012 年 3 月。

娜荷芽 (2018) 『二十世紀三四十年代内蒙古東部地区文教発展史』^{フフホト} 呼和浩特: 内蒙古人民出版社。

娜荷芽 (2013) 「財団法人蒙民厚生会の教育支援事業 —— 育成学院を中心に」, 東北大学北東アジア研究センター『北東アジア研究』第 17 号, 2013 年 3 月。

^{つきのきみず お} 槻木瑞生 (1993) 「解説」, 「満洲国」教育史研究会監修『「満洲・満洲国」教育資料集成』第 13 巻 (留日学生), 「満洲国」教育資料集成Ⅲ期, エムティ出版。

蒙古研究会 (1942) 「満洲帝国家蒙政十年史」『蒙古研究』第 4 巻第 5・6 号, 1942 年 12 月。

Li Narangoa (1998), *Japanische Religionspolitik in der Mongolei 1932–1945: Reformsbestrebungen und Dialog zwischen japanischem und mongolischem Buddhismus*. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.

瀋殿成主編 (1997) 『中国人留学日本百年史 (1896–1996)』瀋陽: 遼寧教育出版社。

育成学院編集委員会編（2007）「前言」，《育成学院》瀋陽：遼寧民族出版社。

Köke tuy（青旗、1941—1944），青旗新聞社。

Ü. Šuɣar-a（1992），*Mongɣul ündüsüten-ü orčın üy-e-ün uran jokiyaɭ-un teüke, öbür mongɣul-un yeke surɣayuli-un keblel-ün qoriy-a*（烏・蘇古拉〔ウ・ショガル〕『蒙古族現代文学史』），第2版，呼和浩特：内蒙古大学出版社。

竹村茂昭（1939）「中間報告に代へて——興安各省実態調査」『蒙古研究』第1卷，1939年5月。

以下省略

中国語を母語とする学習者における名詞句の省略について

天津外国語大学日本語学院 劉澤軍

1. 名詞句とは→研究対象の確定

名詞句の規定 (NP)

名詞のみならず、名詞を中心とする連語など、「連体修飾語＋名詞(準体助詞を含み)」という形を有している。

(劉 2012)

名詞句の範疇

広義型名詞句：名詞（主に固有名詞、普通名詞、形式名詞）、代名詞（主に人称代名詞、指示代名詞、再帰代名詞）、他の名詞類（数詞など）。

狭義型名詞句：名詞を中心とする連語、名詞句。

(劉 2017)

2. 省略の原則とは→省略の判定

三上の省略の総則

わかっていることは何でも省いてよい。

省略しても**文意を不明にしない範囲の省略**を指していることは言うまでもない。

(いずれも三上 1970:162)

久野の省略の根本原則

省略されるべき要素は、言語的、或いは非言語的文脈から、**復元可能** (recoverable) でなければならない。

(久野 1978 : 8)

3. 学習者の作文における名詞句の省略とは→研究課題の確認

RQ1：文成分のうち、省略された名詞句は文のどの部分なのか。

RQ2：名詞句のうち、省略されたものにはどのような種類があるのか。

RQ3：名詞句の省略のうち、どのパターンが圧倒的に多く使われているのか。

4. 学習者の作文データの概要

コレジャ（日本国立国語研究所の石黒圭教授をリーダーとする研究グループにより構築された多国学習者作文データの略称）の一部（2020年4月天津外国語大学の第一回データ 209名、一年生後期）

母語話者の確認作業が必要（検討・計画中）

作文の関連テーマ：プレゼント（207本）、私のふるさと（2本）

表1 作文データの概要（209名）

項 目	合 計	平均値
文字数	60782 字	290.82 字
文の数	2155 文	10.31 文
省略の使用回数	907 回	4.34 回

約 **2.38 文** (2155 文/907 回) ごとに省略が一回

一文の省略回数は約 **0.42 回** (907 回/2155 文)

●多いか少ないかについての判断には母語話者のデータが必要。

5. 文の成分の分布（RQ1）

名詞句（助詞と共に）がなりそうな文の成分

主語、述語（名詞述語文）、目的語、補語、連体修飾語、連用修飾語など

1) 主語としての名詞句の省略

- (1) (φ愛ちゃんは) 絶対あたしを忘れなくってくださいと言って、教室に歩んで行きました。

(CCC006A-01-20210403)

2) 述語としての名詞句の省略

- (2) その本は「嵐が丘」で、私の母がくれました (φものです)。

(CCC001A-01-20210403)

3) 目的語としての名詞句の省略

(3) (φ私は)今日まで(φそのパズルを)部屋の一番目立つところに置いてきました。

(CCC010A-01-20210406)

4) 補語としての名詞句の省略

(4) (φその写真集で)私の成長を記録したので、(φ私は)とても意味があると思いました。

(CCC013A-01-20210406)

5) 連体修飾語としての名詞句の省略

(5) (φ英語の)意味が青春は短い、時間は大切にします。

(CCC009A-01-20210406)

6) 連用修飾語としての名詞句の省略

該当例なし

表 2 作文データにおける名詞句省略の成分

項 目	合 計	割合
主語	830	91.51%
述語（名詞述語文）	6	0.66%
目的語	8	0.88%
連体修飾語	28	3.09%
連用修飾語	0	0.00%
補語	35	3.86%
合計	907	100.00%

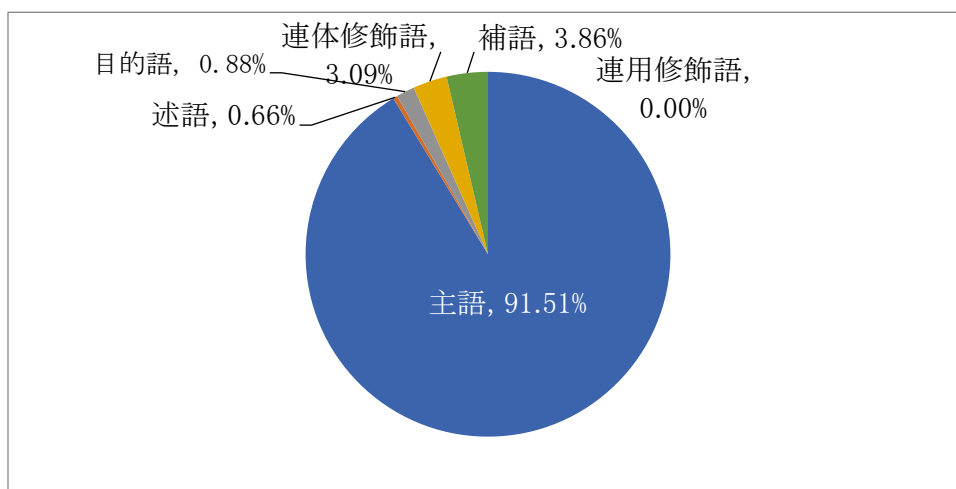


図 1 作文データにおける名詞句省略の成分分布図

- 連用修飾語以外の各種類がカバー
- 主語としての名詞句の省略は圧倒的

6. 名詞句の種類分布 (RQ2)

名詞句の種類（広義型名詞句→名詞、代名詞などと狭義型名詞句→名詞句）

1) 固有名詞からなる名詞句の省略

- (6) （φ愛ちゃんは）絶対あたしを忘れなくてくださいと言って、教室に歩んで行きました。

(CCC006A-01-20210403)

2) 普通名詞からなる名詞句の省略

(7) 大学入試に先立って、(φ 高校の) 卒業式が行われた。

(CCC006A-01-20210403)

3) 形式名詞からなる名詞句の省略

(8) 三ヶ月前に、私 (φ のところに) は速達郵便が届きました。

(CCC067A-01-20210403)

4) 指示代名詞からなる名詞句の省略

(9) その日、(φ それは) 私が一番嬉しかったプレゼントでした。

(CCC045A-01-20210403)

5) 人称代名詞からなる名詞句の省略

(10) 暇な時、(φ 私は) いつもお気に入りのマウンテンバイクに乗って、友達と伴に
うんどうをする。

(CCC042A-01-20210403)

6) 再帰代名詞からなる名詞句の省略

該当例なし

7) 数詞からなる名詞句の省略

該当例なし

8) 名詞句からなる名詞句の省略

(11) (φ おいしい食べ物で) 悩みを忘れます。

(CCC030A-01-20210403)

表 3 作文データの省略における名詞句の種類

項 目	合 計	割合
固有名詞	35	3.86%
普通名詞	35	3.86%
形式名詞	8	0.88%
指示代名詞	23	2.54%
人称代名詞	681	75.08%
再帰代名詞	0	0%
数詞	0	0%
名詞句	125	13.78%
合計	907	100

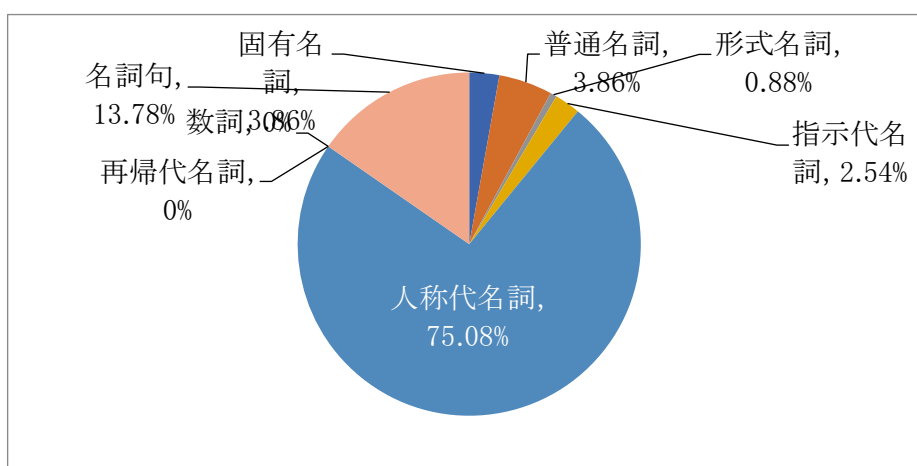


図 2 作文データの省略における名詞句の種類の分布図

- 数詞と再帰代名詞以外の各種類がカバー
- 人称代名詞からなる名詞句の省略は圧倒的で、名詞句はその次。

7. 名詞句の省略の傾向 (RQ3)

RQ1 の結果：主語としての名詞句の省略は圧倒的

RQ2 の結果：人称代名詞からなる名詞句の省略は圧倒的

RQ3 の仮説：人称代名詞が主語として省略された名詞句は圧倒的

表 3 主語として省略された名詞句に関する各名詞の分布

項 目	合 計	割合
固有名詞	27	3.25%
普通名詞	22	2.65%
形式名詞	0	0.00%
指示代名詞	19	2.29%
人称代名詞	679	81.81%
再帰代名詞	0	0.00%
数詞	0	0.00%
名詞句	83	10.00%
合計	830	100

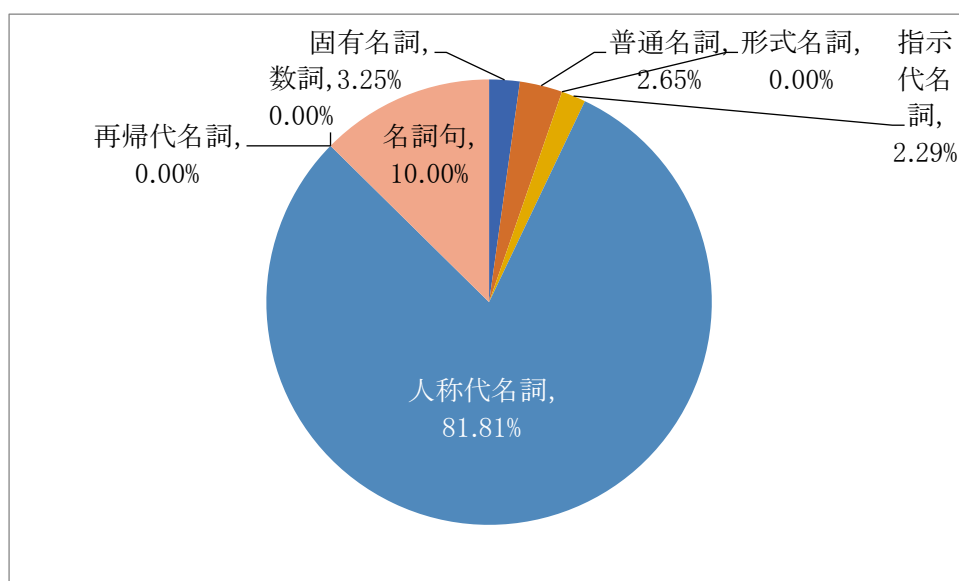


図 3 作文データの省略における名詞句の種類の分布図

- 数詞と再帰代名詞以外の各種類がカバー
- 人称代名詞が主語として省略された名詞句は圧倒的で、名詞句はその次

8. 結論

名詞句の省略に関して

- 学習者の使用が多様化
- 主語としての名詞句の省略と人称代名詞からなる名詞句の省略は圧倒的
- 人称代名詞が主語として省略された名詞句は圧倒的

さらなる検討が必要(今後の課題として)

- 一人称代名詞が主語として省略された名詞句は圧倒的??

参考文献

久野 暲、1978、『談話の文法』、大修館書店

三上 章、1970、『文法小論集』、くろしお出版

劉 澤軍、2012、『日本語における主題の省略についての研究—中国人日本語学習者を中心に』、
南開大学出版社

劉 澤軍、2017、『主題日訳和話語体系構築』、上海交通大学出版社

『万葉集』の女流歌人についての一考察

—大伴家持をめぐる女性—

朴占玉（新羅大学）

1. はじめに

『万葉集』の編者については、平治年間、藤原清輔がその著『袋草紙』の中で、大伴家持が孝謙天皇の頃編集したと述べていた。また、仙覚が大伴家持と橘諸兄の二人が編集したと述べている。近世になると、契沖は巻一七から巻二〇までを考証して家持私撰説を主張した。その後、本居宣長も『万葉集全部巻之考』の中で、大伴家持の二度の撰を主張していた。なお昭和33年物故された武田祐吉氏は『上代国文の研究』の中で、用字法の上から、『万葉集』は家持の編集ではないことを述べて『万葉集』が家持だけによって撰ばれたのではなく、家持以後の誰かによって編集されたことを主張した。上述のように大伴家持という歌人は『万葉集』にとっては非常に重要な役割を果たした人物であり、『万葉集』に長歌46・短歌425・旋頭歌1・連歌1で総数473首とほかに書簡文三編と七言詩一首を残した最も多くの歌を残した歌人である。家持は幼く母と父である大伴旅人を失い、叔母大伴坂上郎女に養育された。ということから家持の人生において最も影響を与えた女性は大伴坂上郎女であり大伴坂上郎女は自分の最愛の娘さえ家持に嫁がせ家持の叔母である同時に姑にもなった。幼い頃からの母性愛の欠乏であったためか、家持は大伴坂上郎女の娘大伴坂上大嬢と結婚前にも交際してた女性もいたし、結婚後にもいろんな不倫相手がいたので大伴坂上大嬢はいろいろと苦労をしたのであろう。それにしても、最後まで大伴家持を愛し支えてくれた妻であった。『万葉集』の中で家持に歌を贈り又歌を交わした女流歌人はおおむね18人である。そのうち一方的に家持に歌を贈った女性が半分以上であり、歌数が一番多いのは笠女郎で29首も贈ったが、家持からの返答の歌は僅か2首しかない。『万葉集』で家持の作歌時期は、内舎人時代・越中国守時代・帰京以後の三期に分ける。家持と上述の女流歌人との歌は大体第一期の内舎人時代に集中されている。また家持が妻である大伴坂上大嬢への歌が45首でどの女生と交わした歌よりも圧倒的に多い。

『万葉集』に大伴家持と関りがある女性たちの歌は巻 3、4、8 に多く集中され、また巻 17、19、20 にもある。このような歌は天平 4 年頃から天平 18 年まで家持が越中守となって越中に赴くまでである。小野寺¹（2011）は天平勝宝 7 年 2 月、兵部少輔であった家持が防人部領使に命じて提出させた防人歌 166 首のうち 82 首を「拙劣」という理由で載せなかったことから家持をとりまく女性たちの歌を採録するにあたって家持は「拙劣」の歌は「取り載せず」の姿勢で取り組んだはずであると述べた。家持と関りがある女性つまり歌を交わしあった状況をまとめるとおよそ次の三つに分けられる。それは周知のように①互いに歌を交わしあった女性の歌、②女性から一方的に家持への歌、③家持から一方的に女性への歌と分けられる。①に属する女性は大伴坂上郎女、大伴坂上大嬢、笠女郎、紀女郎、巫部麻蘇娘子、童女、日置長枝娘子、藤原郎女の 8 人である。②に属する女性は

栗田女娘子、大神女郎、置始連長谷、蒲生娘子、河内百枝娘子、中臣女郎、平群氏女郎、山口女王であり、③に属する女性は娘子²と安倍女郎である。

家持の嫡妻となったと考えられる坂上大嬢は別として、他の夫人を挙げる。彼の恋愛の相手として王族では伝不明の山口女王があり、次で数人の女郎がある。女郎は郎女とも書きイラツメと訓んでいるが、これは婚姻をした女、或は婚姻をしたことのある女を云うのである。紀・笠・中臣・平群・安倍・大神の六氏、この中で紀女郎だけは元暦本・類聚抄等古写本の注に「鹿人ノ大夫之女、名曰ニ小鹿安貴ノ王之妻也」とあるからやや明瞭だが、他はどういう人であったか不明である。次に娘子が七人、息子は未婚の婦人だが、所謂未通女であったか否かは保証の限ではない。遊行婦にも娘子と称するものがある。その娘子は、日置・河内・栗田・大宅・安都・丹波・巫部の諸氏である。外に単に童女とある者がある。これは未髪を取り上げない小娘の謂である。³

本発表では①と②に属する一部の女性を取り上げ古代の女性の自分の感情についての忍びながら熱烈に一人の男性を愛し、「待つ」その特徴を探ってみたい。

¹ 小野寺静子（2011）「大伴家持への歌—笠郎女型の歌—」p138 から

² 同一人物かどうか、あるいは家持と歌を交わした女性のなかでの誰であるかについては不詳である。本稿での対象は女性歌人が詠んだ歌であるためここでは説明を省略する。

³ 尾山篤二郎（1956）『大伴家持の研究』平凡社 p174 から

2. 大伴家持

大伴家持は元正天皇の養老二年（718 年）に生まれ、平安朝の初期桓武天皇の延暦四年（785 年）8 月 28 日（陽暦 10 月 5 日）で、年は 68 歳で世を去った。大伴家持の曾祖父大伴長徳は大化改新で中大兄皇子の側近であつたらしく大化 5 年（649 年）には大紫位・右大臣に任じられたのである。祖父は飛鳥時代から奈良時代にかけての武臣で壬申の乱で功績を立て大納言となった公卿・歌人『万葉集』に歌 3 首が収載されている大伴安麻呂である。父大伴旅人は奈良時代の文武とも優れた歌人であり、大納言従二位である。大伴旅人の漢詩や歌は『懷風藻』と『万葉集』に収録されている。このように『万葉集』の時代背景上、重要な出来事、すなわち大化改新や壬申の乱で輝かしい勲を立てた祖先のおかげで裕福な家庭に生まれた大伴家持は家庭環境に恵まれていただろう。当時、大伴旅人の 53 歳の時できた長子として母の元で育てられたのではなく、実母ではないが旅人の正妻である大伴郎女に子がいなかったため大伴家で育てられた。それは大伴家の唯一の後継者になったわけであろう。しかしながら、家持の幼い頃大伴郎女が崩じ、14 歳になった時は父の旅人も世を去ったので、叔母である大伴坂上郎女が大伴家の家刀自として家持の面倒を見たのである。このように実母のもとで育てられなかったし、早く両親を亡くした家持は繊細な性格の持ち主になっただろう。また、見た目も誰に負けずの美男子であつたわけである。それに、家持の周りには父をはじめとして中国詩の影響を深く受けた山上憶良や『万葉集』の才姫である叔母大伴坂上郎女がいたので、家持もその影響を深く受けただろう。『万葉集』には彼の 14 歳頃から 42 歳ごろまでの歌が残されている。大伴家持の歌が『万葉集』に現れ始めたのは巻三の大伴坂上大嬢への歌である。その名が最初に登場したのは同じ巻 3 の 3・395～397 の笠女郎贈大伴宿祢家持歌三首である。上記のどおり輝かしい家柄に美男子の顔つきに『万葉集』の代表歌人で編纂者であろうと推定されるほどの才能の持ち主であつたからこそ女性の羨望の相手になったわけであろう。古今東西を通じて才能がある男性の周りに女性が多いことは不変の真理である。武家に生まれ、専門的な歌人でもなかったのに『万葉集』に残した歌の成果をみたら家持は一筋な頑張りやであつたことはあきらかである。

3. 大伴家持を巡る女性

家持と贈答した女性は姑の大伴坂上郎女と嫡妻大伴坂上大嬢は別として、現時点までの研究で恋愛関係としての扱われていた女性は笠女郎、山口女王、大神女郎、中臣女郎、河内百枝娘子、巫部麻蘇娘子、栗田女娘子、紀女郎、日置長枝娘子、その他娘子、童女などである。以上は『万葉集』の巻4と巻8とに見える家持の贈答した女性であって、巻4のほうに大部分見え、巻8に至ってはじめて贈答の見える女性は日置長枝娘子と安部女郎のみである。それも日置長枝娘子とは女性の方から一首歌を贈って、それに家持の答えた歌が一首あるに過ぎない。安部女郎へは家持の贈った歌が一首あるのみで安部女郎の和えた歌はない。巻4と巻8の両方に贈答の見えるのは坂上大嬢、笠女郎、紀女郎、山口女王、大神女郎、巫部麻蘇娘子である。娘子とあるのは両方にある。此の両巻にあるのは恋愛関係も相当に長くつづいたと見るべきであろう。もっとも山口女王は巻四に家持に贈られた歌が五首あり、巻八に同じく家持に贈られた歌が一首あるが家持からは和えていない。大神女郎も巻4、巻8ともに女郎から家持に贈った歌が一首ずつあり、どれも家持は和えていないから家持に対する女性からの思慕であったに過ぎないかも知れないが、女性からの愛は熱烈であったに相違ない。古代の女の歌はほとんど相聞の歌で締められ、その典型は「待つ女」の姿である。熱烈の愛の表出であり、また現時点でいわれる男女の恋よりも広く深い感情の表出について当時の女性達の一夫多妻の制度のもとで「待つ」しかない心を彼女らの歌で述べてみたい。

3.1 大伴坂上郎女

『万葉集』では大伴坂上郎女に関する記録は次のとおりである。大伴坂上郎女（3・379 題詞など）、大伴郎女（4・522 題詞など）、坂上郎女（4・528 左注など）、郎女（4・528 左注）、大伴宿禰坂呂（4・528 左注）、母は石川郎女（4・667 左注）である。異母兄に大伴旅人・田主・宿奈麻呂、同母弟に稲公（4・586 左注）がいる。大伴家持の叔母、後には家持の姑となる。（8・1619 題詞）藤原麻呂との贈答歌（4・522～528）の左注によれば、はじめ穂積皇子に嫁ぎ寵を受けたが、皇子の没後、藤原麻呂と交際があり、藤原麻呂の娉を受ける。集中の他の記載から異母兄大伴宿奈麻呂に再嫁し（4・759 左注）、坂上大嬢と坂上二嬢を産んだ。宿奈麻呂との婚姻関係が藤原麻呂との交渉より前であったのか後であったのかは意見が分かれるが、最近

あとのことであるという傾向を見せている。神亀五年（728）のはじめごろ、宿奈麻呂に先立たれ、天平三年（731）には兄の旅人とも死別した。大伴旅人が没後から大伴坂上郎女は大伴家の家刀自として大伴氏を支える人として自覚し、大伴一族の結束を強めることに心砕き自分の娘である大伴坂上大嬢と大伴家持を結ばせようと努力した。

父旅人が大宰府の長官として九州に任命されたとき、家持は十代で父をはじめ遣唐使であった山上憶良などの歌人と接し、無意識的に歌人としての基礎を築いたのであろう。父の逝去後、家持は叔母の大伴坂上郎女に育てられ、15、16歳の頃から歌を詠み始めた。天平5年（733）の「初月歌」が家持の最初の作品である。

月立ちてただ三日月の眉根搔き日長く恋ひし君に逢へるかも（6・993）（坂上郎女）
振り放けて三日月見れば一目見し人の眉引き思ほゆるかも（6・994）（家持）

集中上記のように大伴坂上郎女の歌のあとに大伴家持の歌が排列され、月で思慕の気持ちを現す表現形式は中国の詩の中ではよく見える。青年になるまで家持の面倒を見ていたはずの坂上郎女にとっては家持は自分の子と同じ存在であろう。また、何度の婚姻生活⁴のあと、大伴家に戻り⁵、最後に大伴宿奈麻呂の妻になって大伴坂上大嬢と大伴坂上二嬢を生んだ。説によって大伴家に戻ったあとの坂上郎女の生活が幸せだったという内容とそれと反対の説があって恋についての渴望が歌に表され、虚構の歌が多く詠まれたという説もある。中国でも月に関する歌はおおむね恋しい人の顔を思い出す時の気持ちを描いた歌がおおい。6・993と994の歌は月を素材とした叔母と甥の贈答歌で坂上郎女が家持をずっと待っていた気持ちを詠み、それに家持も同じく叔母の眉を思われてならないという表現で叔母と甥の関係であっても叔母を母の替わりと思っている家持の心が見られる歌である。

⁴ 大伴坂上郎女が最初に嫁したのは晩年に入った穂積皇子であり、寵愛を蒙る。元明天皇の和銅八年七月、穂積皇子の薨去後藤原不比等の四男である藤原麻呂に嫁する。集中に穂積皇子との歌は見えないが、藤原麻呂との歌は巻4に載せてある。最後に嫁したのは兄の大伴宿奈麻呂で二女を生んだ。また大伴家の家刀自として大伴家のすべてに責任をもつ。上代の婚姻生活は妻問婚であるため、今の一夫一妻制とはかなりの差をもっている。これについてはまた他の章で詳細に書こうと思う。

⁵ 大伴旅人にも嫁した説もある。

4. おわりに

本発表では、『万葉集』で家持をめぐる女性を対象に当時の「待つ」しかなかった女性の立場を述べようと試みた。これらの女性の歌は同時代のほかの歌とは一句一句が類同のものが結構あったことが明らかになった。言い換えれば『万葉集』に収録された大伴家持を巡る女性らの歌は歌人一人一人に比べてその数が多いほうではないが、その歌の質の面においては結構他の歌人に遜色しない。

引用文献

- 尾山篤二郎（1925）『萬葉集物語』 紅玉堂書店
- 尾山篤二郎（1956）『大伴家持の研究』 平凡社
- 大久間喜一郎・森淳司・針原孝之編（1982）『万葉集歌人事典』 雄山閣
- 稲岡耕二編（1994）『万葉集事典』 学燈社
- 稲岡耕二編（1979）『万葉集必携』 学燈社
- 森淳司編（1988）『万葉集研究入門ハンドブック』 雄山閣
- 森淳司・林田正男（1997）『万葉集相聞の世界—恋ひて死ぬとも』 雄山閣 小野寛・櫻井満（1996）『上代文学研究事典』 おうふう
- 西郷信綱（1996）『日本古代文学史』 岩波書店
- 吉澤義則（1933）「大伴家持」『万葉集講座 第一巻 作者研究篇』 春陽堂 pp403～432
- 久松潜一（1933）「大伴家持一家持の周囲と家持的なもの」『万葉集講座 第一巻 作者研究篇』 春陽堂 pp433～447
- 최광준(2012)「오토모야카모치 (大伴家持와 여성들 -가사노이라츠메 (笠郎女) 를 중심으로」 日語日文学 第 55 輯 pp355－373
- 小野寺静子（2011）「大伴家持への歌—笠女郎型の歌—」 北海学園大学人文論集（50） pp138（1）－117（22）

志賀直哉「三つの処女作」についての考察

安勇花・金埜（延辺大学）

1. はじめに

志賀直哉は明治から昭和にかけて活躍した白樺派を代表する小説家のひとりである。「小説の神様」と称せられ、多くの日本人作家に影響を与えた。周知のように、『菜の花と小娘』（最初の執筆明治 37.5.5、大正 9.1『金の船』発表）と『或る朝』（最初の執筆明治 41.1.14、大正 7.3『中央文学』発表）と『網走まで』（最初の執筆明治 41.8.14、明治 43.4『白樺』発表）は志賀直哉のいうところの三つの処女作である。

本稿では、先行研究を踏まえ、志賀直哉の「三つの処女作」の成立過程を考察することにより、志賀が作家としての原点を探ることとする。

2. 『菜の花と小娘』の成立過程

『菜の花と小娘』は 1920 年（大正 9 年）童話雑誌『金の船』に発表された作品である。『或る朝』の前に書かれたものは、ほとんど日の目を見なかった失敗作であるが、後年発表されたのは、志賀直哉の処女作の一つとされる『菜の花と小娘』のみである。本作はまさに童話のような作品である。一人の少女が耳を澄ますと一輪の菜の花が声をかけていることに気が付く。菜の花は仲間の沢山いる場所に植えかえてほしいと少女に懇願し、少女はその願いを聞き入れて自分の村の菜畑まで連れて行ってあげる。あらすじだけ書いてもまさに童話のような話であり、子供に聞かせてあげても良いと思うぐらいの作品である。

3. 『或る朝』の成立過程

『或る朝』は作者志賀直哉が 26 歳のとき、祖父の三回忌の法事があった朝、祖母との喧嘩を『非小説、祖母』と題して、1908 年（明治 41 年）1 月 14 日に書いた作品であり、1918 年（大正 7 年）3 月 1 日『中央文学』第 3 巻第 3 号に掲載されたの

である。

4. 『網走まで』の成立過程

『或る朝』のあとに執筆されたのは『網走まで』である。この作品は1910年(明治43年)4月発行の『白樺』創刊号に発表された志賀直哉の最初の小説である。残暑が厳しい8月の或る午後、宇都宮の友のところへ行くため上野駅で東北線列車に乗った「自分」が、二人の子供連れの女の人を見て、憐憫の情を催しながら、彼女との間に起こる些細な出来事を語った短編である。

5. おわりに

『或る朝』執筆前の志賀直哉の創作営為は、西洋文学から受けた大きな影響で、作者自身の主体抜きでの、他者が描かれる客観小説に重点を置いたのであった。西洋の小説を手本として数多くの試作が行われているが、書かれたものは『菜の花と小娘』を除いてほとんど形をなしていないし、日の目を見なかった失敗作であった。このように西洋小説へアプローチする努力は挫折してしまうのである。一方で、「非小説」と名付けられ、私的な家庭生活での自己をそのまま描く『或る朝』は、「案外楽に出来上り、初めて小説がかけたといふやうな気がした」と、意外に成功したのである。その後、西洋文学の影響から脱して、自ら新しい文学的な道を切り開いていく必要性を感じた。従って、『或る朝』の以後、作者自身という主体抜きでの、他者を客観的に描こうとする試みは志賀文学において次第に消えてゆき、その代わり、作者志賀直哉の想像力を基礎にしたフィクションの傾向が顕著なものになっていく。『白樺』創刊号に発表された『網走まで』を皮切りに、志賀直哉は自らの新しい文学の道を開いたのである。

参考文献

- [1] 志賀直哉.現代文学大系 21 志賀直哉集[M].東京：筑摩書房.1963.12.
- [2] 志賀直哉.日本の文学 22 志賀直哉（二）[M].東京：中央公論社.1971.4

- [3] 高田瑞穂.「精兵衛と瓢箪・網走まで」解説[M].新潮文庫 1974.6.
- [4] 桜井勝美.志賀直哉の原像[M].宝文館.1976.12
- [5] 富澤成實.志賀直哉『菜の花と小娘』とアンデルセン[J].明治大学教養論集 504 (67)-(85), 2015-01-30
- [6] 杉井和子.志賀直哉論:『菜の花と小娘』から『或る朝』をめぐって[J].茨城大学人文学部紀要. 人文学科論集 30 1-22, 1997-03
- [7] 遠藤祐.「或る朝」からの出発: 処女作の問題[J].フェリス女学院大学紀要 12 1-28, 1977-03
- [8] 寺本喜徳.「或る朝」の構造をめぐって: 志賀直哉の方法(二)[J].島根女子短期大学紀要 26 A1-A10, 1988-03-30
- [9] 深澤範一.主観と客観のあいだ: 志賀直哉初期作品の成立～「網走まで」「剃刀」[J].横浜国大言語研究 13 12-21, 1995-03-15
- [10] 町田栄.志賀直哉『網走まで』教材化の根幹: 第一草稿から「白樺」初出稿への変容(<特集>教材研究のあり方)[J].日本文学 26 (7), 46-54, 1977
- [11] 刘建仁.考察志賀直哉的私小说的成立过程[D].湖南大学,2014.
- [12] 吴树文.志賀直哉的文学道路[J].东北师大学报,1986(04):82-88.

『源氏物語』における仏教的思想について

一藤壺、六条御息所、紫上の出家を中心にして一

張夢雅(新羅大)

1. はじめに

仏教は 583 年に中国大陸から朝鮮を経由して日本に伝わり、平安時代になって本格的に栄え、あらゆる階層に普及し、一般的な信仰になったと言われている¹。平安時代後半に誕生した『源氏物語』には、当時の社会現状が如実に反映されている。周知の通り、『源氏物語』は 4 世代にわたる、およそ 70 年間におよぶ時代が描かれ、登場人物だけでも 400 人に上る。作者の紫式部は源氏の華麗なる女性遍歴を中心に宮廷内の男女の恋愛を描き、封建制度下における平安時代の貴族女性の運命を赤裸々に後世の人々に呈してくれた。

ところで、仏教思想は紫式部の作品に多大なる影響を及ぼしている。仏教の因果応報、無常観および出家思想は『源氏物語』に終始一貫し、風景の描写から人物の心理や運命に至るまで徹底的に浸透している。また、「宿世」や「罪」など多くの仏教用語が用いられ、物語の構造面でも仏教物語や経典が下敷きになり、濃厚な仏教的雰囲気が醸し出されている。このような仏教的思想が同作品中の登場人物の出家意識によって集中的に反映されている考えられている。

本稿では、まず平安時代の仏教の伝播と『源氏物語』の創作時期の平安貴族の仏教信仰状況を概観し、続いて作品に登場するヒロインの中で出家にかかわる 3 人の女性（藤壺、六条御息所、紫上）について詳細に分析すると同時に、マクロの視点からこれらの女性の運命について考察することによって平安時代における女性の悲惨な運命を解き明かす。

¹ 橋場(2019)『日本史』西東社 p.14

2. 先行研究及び本稿の視点

前述したように、『源氏物語』は千年以上前に創作され、登場人物にしても描かれている時間の長さにしても比類のない作品であるだけに、関連研究も無数にあるが、本稿では仏教思想と救済問題をめぐるいくつかの先行研究を取り上げて分析した上で、本論の立場を明示したい。

まず三角（1996）では『源氏物語』における仏教的要素を作品理解の観点から考察し、同作品における天台浄土の思想の具現化したものについていくつかのポイントに分けて論じ、それを踏まえて平安時代の仏教思想の伝播について分析している。次に、重松（1967）では物語の登場人物が表現する仏教的観念、人々が仏に願う目的、仏に向かう行為、物語における登場人物によってが反映される無常、宿命、罪の仏教的観念について述べている。一方、斎藤（1988）では『源氏物語』の死者のイメージと浄土思想の関係、歴史上の皇族と僧院との関係、『往生要集』と『源氏物語』との関係について分析を行っている。岩瀬（1972）でも『往生要集』と『源氏物語』との関係に着目し、仏教思想の骨格を形成しているのは一般に信じられている浄土信仰ではなく、『法華経』であると主張している。それに対して、『源氏物語』におけるヒロインの救済問題について藤本（2015）では紫上と藤壺は厚い信仰心と源氏の心底からの冥福を祈ることによって極楽往生して救われたと述べている。

このように、先行研究では『源氏物語』における仏教的要素についていろいろな視点から考察し、紫上、藤壺、六条御息所という三人のヒロインに関しては紫上と藤壺が救われ、六条御息所だけは悪霊になったとされているが、この三人のヒロインはいずれも救済されてはいないというのが筆者の考えである。それを立証するために、本稿では主として物語における仏教の具体的な現れである「出家」に着目して同作品における仏教の影響について論じることにした。言い換えれば、三人のヒロインが出家によって救われるかどうかということについて出家前後の心境を通してその実体を見極めるのが本稿の狙いである。

3. 仏教の影響

3.1 平安時代の仏教の伝播

仏教は、当初宗教としてではなく、統治の道具として日本に輸入され、奈良時代ま

ではそれほど普及されていなかったと言われている。その後、汚濁の現世を嫌うように説法が行われ、信者たちが一心に仏を唱え、阿弥如来の御陰を求め、死後極楽浄土に行くという考えが定着してから次第に盛んになり、一般大衆の信仰になったのである。そこで、厭離穢土、欣求浄土という思想が各階層の貴族と一般民衆に受け入れられ、人々の思考を左右する主導的な力となりはじめた。その後、平安時代になって藤原氏をはじめとする上層貴族がこの時代の政治舞台の中心を占め、間もなく摂関政治が確立したため、国家の政権は完全に藤原一族の手に握られていた。紫式部も仏の信者の一人で、仏教の様々な思想は紫式部の思想の奥深くまでに根付いた。『源氏物語』では仏教の教義を直接論じてはいないものの、作品の中で表現されている主旨と人物の役作り、ストーリーの配置、風習の描写などから随所に仏教的思想を読み取ることができる。

3.2 紫式部の仏教思想

仏教では、何事につけても因果応報があり、善を行う者は必ず良い報いを受け、悪を行う者は必ず悪の報いを受けることとなっている。このような因果応報の説法は、人々の現世境遇の原因を前世に被け、現世の運命を改善する希望を後世に移し、人々に精神的な慰めを与える。『源氏物語』にはこのような因果応報の思想が肯定的に捉えられている。

ところで、阿弥陀信仰は阿弥陀如来を礼拝することで極楽往生できると説き、他力本願を根本とす仏教の弥陀浄土信仰は紫式部にとって人生理想の最高目標であり、仏教を信仰する最後の目的であり、生死の苦痛から逸脱する最終の帰結でもあった。紫式部は『源氏物語』で仏国浄土の妙を大いに宣伝しつつ世の中は悪行と苦痛に満ちていると大いに嘆いているが、このような対比を通じて弥陀浄土の無限の喜びを際立たせている。『源氏物語』では尊い皇室貴族であれ、落ちぶれた中等貴族であれ、普通の市井小民であれ、その階層を問わず共通点があるが、それはすなわち弥陀浄土の存在を敬虔に信じて、早くも西方の極楽世界に往生することである。

このように、仏教思想は『源氏物語』という作品の主旨の形成に決定的な役割を果たし、物語のストーリーの配置、人物イメージの形成に直接影響を与えている。因果応報という観念は作者の思想に奥深く根を下ろし、弥陀浄土の信仰と相まって、常に作者の創作を左右していたと見られる。

4. 『源氏物語』におけるヒロインの出家

4.1 藤壺の出家—栄華の後ろ盾

藤壺は桐壺帝の前の先帝の娘で、源氏の母親である桐壺更衣が亡くなった後、桐壺帝は懐かしさに耐えられず、更衣に似た藤壺を宮に迎え入れた。桐壺帝は源氏を溺愛し、源氏と藤壺を親しくさせた。源氏は12歳で冠礼を行って成人になったため、その後は自由に藤壺に会うことができず、心の中で藤壺に対する感情も次第に母親のような愛着から異性への愛慕に変わっていき、最終的に藤壺と密通して子供まで作ることになる。桐壺帝が退位した後、朱雀帝が即位し、源氏と藤壺が密通して産んだ子供を皇太子に立てた。「葵」巻で、桐壺帝が譲位した後、皇太子の後見人がいないことを心配して源氏に皇太子の後見人を命じた。しかし、桐壺帝が亡くなった後、時局が激変し、藤壺皇后と源氏は政治的に不利な立場に立たされたが、源氏は依然として機会を見ては藤壺に絡みついたので藤壺は仕方なく、最終的には出家の道を選ぶことになる。藤壺の出家は、感情の悩みから逸脱すると同時に自分と親類の地位を守り、富貴の頂点に上り詰める手段となったため、どちらかという合理的な選択であると言えよう。しかし、彼女自身がどれだけ仏教に敬虔な心を持っているかに関して、物語ではほとんど触れていない。藤壺は源氏と密通したことが世間には知られていないが、神様の目線から逃れられず、その罪業は隠せなかったのである。仏は藤壺を浄土に導けなかったため、彼女の魂は漠然とした幽冥界に入るしかなかった。したがって、藤壺の出家は真の救いを意味したものと思われる。

4.2 六条御息所の出家—現世の生存空間の喪失

高いプライドの持ち主だった六条御息所にとって、生前は源氏の薄情な愛のために貴族社会での居場所を失い、死後も後ろ指を指されること自体、大いに自尊心を傷付けられることであった。源氏は生前の六条御息所をまともに敬わず、その死後、彼女に対する罪の意識を感じながらも自分がどれだけ彼女を傷付けたかを実感せずにいたのである。六条御息所は生前に尼になり、死後は悪霊になってしばしばその姿を現していたが、源氏の薄情な愛のため周りから嘲笑され、自分の居場所を失った悔恨と苦悩こそが死ぬまで安らかに眠れなかった本当の理由である言えよう。

4.3 紫上の出家の意志

紫上は孤児の身元と子供がいないという設定で、源氏の愛が彼女の生存の全ての意味となり、愛を見破って仏門に帰ろうとする時、何の絆もなかった。彼女の心は仏門に向かったが、出家を求めるのはずっと許されなかった。貴族女性の理想人物として、彼女は源氏の手配に従うしかなく、無理に自分の意志に従って行動することはできない。紫上はすでに紅塵を見破ったが、身体は貴族社会の法則に縛られ、心の世界で自由に飛ぶしかない。心身一体という出家理想は紫上が永遠に実現できないものである。

5. まとめ

本稿は、『源氏物語』に表現された仏教思想について、作品中の出家の問題を中心に考察したものである。『源氏物語』には、多様で複雑な出家の仕方が描かれている。藤壺が尼になった直接の理由は、仏教徒になりたいという敬虔な気持ちからというよりも、源氏の嫌がらせから逃れるため、そして間接的には皇子との立場を保つためであった。したがって、尼になった後も世俗の生活に関わりながら、源氏の栄達のために重要な役割を果たしたのである。六条御息所が出家した直接的な理由は、源氏の愛に絶望したことであり、本来は薄情の苦しみから社会的評価を失い、貴族社会で生き残れないため出家したのである。同時に、彼女が尼になったタイミングは、死の間際であった。藤壺は姦淫の罪のため、六条御息所は現世の執着のため、ともに死後冥界に入り、生まれ変わることを許されなかった。紫上は、源氏の愛に縛られることもなく、源氏の栄達に追求することもない。源氏の愛を信じられなくなった時、彼女は現世に執着することはなくなった。尼になりたいという願いは最も純粋なものであるが、源氏の愛と欲望に絡め取られる中で、貴族の女性像の代表として、男性の支配を突破して出家したいという願いを実現することができなかったのである。女性にとって、仏教的な救済は手の届かないものであり、自分の中の純粋な場所が、自分の精神的な救済を実現するための助けとなるのかもしれない。

女性の救済も問題の最前線に上げられている。社会的に劣位にあり、男性に依存して生きている俗世の女性の社会的窮状が明らかにされているのである。仏教の救い、特に女性の救いに対する作者の懐疑心、絶望感すら感じさせる。女性の地位が低下し、最終的に男性の権力に従属する時代になったとき、政治、経済、文化において男性は女性が仰ぎ見るしかない優位の立場にあり、女性の悲劇的運命はすでに決まっ

ていた。さらに、男性権力によって女性に課せられた一連の教条的なルールは、女性の体に重くのしかかり、肉体的にも精神的にも自分を伸ばす自由を奪っていた。しかし、女性の運命が悲劇的と思われた時代にも、尼になることを選んだ女性たちは、男性の権力社会に自分なりに反抗していた。古い時代では、日本、中国、そして西洋でも女性の地位は比較的低いものだった。自由と平等の推進により、各国のフェミニズム運動が活発化した。人類の文明の発達、女性の覚醒を促し、男性と同じ経済的、政治的、文化的地位を与えることを要求するようになった。現代社会における女性の地位は、確かにかなり向上している。もちろん、女性の地位向上革命は今も燎原の火のように続いている。

収集された資料に限られているため、本稿では『源氏物語』とその前後の同類作品と比較できなかった。比較できれば、『源氏物語』の仏教思想の文学史における意義はさらに明らかになることができる。これは今後の研究の課題となる。

参考文献

- 橋場日月(2019)『日本史』西東社
- 斎藤暁子(1988)『源氏物語の仏教と人間』桜楓社
- 重松信弘(1967)『源氏物語の仏教思想－仏教思想とその文芸的意義の研究』平楽寺書店
- 岩瀬法雲(1972)『源氏物語と仏教思想』笠間書院
- 高木宗監(1980)『源氏物語における仏教故事の研究』桜楓社
- 高木宗監(1991)『源氏物語と仏教』桜楓社
- 丸山清子(1985)『源氏物語の仏教』創文社
- 三角洋一(1996)『源氏物語と天台浄土教』若草書房
- 柳井 滋他編(1993)『源氏物語一～四、新日本古典文学大系』岩波書店
- 吉田 則夫(2007) 「心情形容詞の歴史的研究 ―「ねたし」について―」(岡山大学教育学部研究集録、136 (1), 1-9)
- 石珊珊 (2011)『源氏物語』の女性像 哈尔滨理工大学
- 赵慧佳 (2018)论《源氏物语》中的女性形象 哈尔滨理工大学
- 汤传扬 (2016)论《源氏物语》中主要女性形象 广西职业技术学院学报 p.51-54
- 刘 迪 (2016)论《源氏物语》中众多女性人物的出家缘由 语文知识 p.46-48
- 王 彬 (2016)简析《源氏物语》中的女性人生悲剧 重庆科技学院学报 p. 74

揺らぐ明石の君の心

『源氏物語』中国語訳の比較分析を通して

庄婕淳（惠州学院）

1. はじめに

ジュディス・バトラー（1999）は、ジェンダーが社会によって構築された一種のパフォーマンスであると指摘している。それを踏まえ、穆雷（2008）は文学創作の翻訳が訳者の二重のパフォーマンスであると指摘し、訳者は作者を演じるとともに、作者が作り出した人物を演じており、時によっては自分の性とは異なるジェンダー演じなければならないとも指摘している。訳者がいかにジェンダーの境界線を乗り越え、ジェンダーの他者を演じるのは、大きな挑戦だと思われる。

『源氏物語』の中国語訳の先行研究は「誤訳」或いは「不足」の指摘に集中し、ジェンダーの視点から訳者の翻訳実践について考察する論考はほとんどない。そこで、本発表は、『源氏物語』の中国語訳を取り上げ、訳者の主体性に注目し、訳者がいかにジェンダーを演じたのかについて比較分析したいと考えている。

『源氏物語』の中国語訳は数十種類あるが、研究対象として取り上げるのは豊子愷、林文月及び葉渭渠・唐月梅の手による 2014 年の最新訳である。丁莉（2006）が指摘しているように、女性の内面を本格的に語るのは、女性による『源氏物語』の大きな特徴である。それを踏まえ、本発表は、源氏の求愛をめぐる明石の君の心中思惟に注目し、明石の君の心中思惟の中国語訳を日本語に訳し戻し、それぞれの訳を比較することで、訳者がどのような翻訳実践を通してジェンダーを演出し、訳者のジェンダー認識がいかに訳文に影響を及ぼしたのかについて解明したいと考えている。

なお、『源氏物語』の原文および現代語訳の引用は小学館新編古典文学全集『源氏物語』による。林文月訳（以下、「林訳」とす）は『源氏物語』訳林出版社 2011 年版による。豊子愷訳（以下、「豊訳」とす）は『源氏物語』人民出版社 1980 年版による。葉渭渠・唐月梅訳（以下、「葉・唐訳」とす）は『源氏物語』作家出版社 2014 年版による。

2. 交錯する父と娘の思い

実際、明石の君が最初に自分の本音を語り出すのは、「明石」の前の巻である「須磨」の巻である。すでに「若紫」の巻で、国司の求婚を断り、「この人ひとりにこそあれ、思ふさまことなり。もし我に後れて、その心ざし遂げず、この思ひおきつる宿世違はば、海に入りね」（①—204 頁）と遺言するほど、もし娘が高い身分の人との結婚が叶えないのであれば、海に身を投げ捨てようと残酷なまで、父明石入道の思いが語られている。しかしながら、源氏が須磨に流されたのを娘の運命の転機とみる父明石入道と違い、明石の君は自分の運命について、以下のように考えている。

（引用略）

このように、父の思いと重なっている部分もあれば、明石の君は自分の身分をも十分に自覚しており、決して父のような高い望みはしない。この章段について、三つの訳はほぼ同様に訳出しているが、問題になるのは、後に続く一文である。

▲地の文①

父君、ところせく思ひかしづきて、年に二たび住吉に詣でさせけり。神の御しるしをぞ、人知れず頼み思ひける（②—212 頁）。

現代語訳:父君は仰々しくたいせつにかしづいて、年に二度住吉へ参詣させるのだった。神のご靈験を内心頼みにしていたのである。

以下は三つの中国語訳を掲げる。

（引用略）

それぞれの訳を比較しているわかるように、問題となるのは、住吉明神に祈る主体に対する理解である。新編全集と林訳はそれを明石入道とするに対して、豊訳と葉・唐訳はそれを明石の君とする。それは訳者がいかに明石の君の心情を汲み取っているのに関係していると考えている。

「明石」の巻を紐解くと、明石の君が自分の身分に対する自覚は一貫していると思われる。以下の例からわかるように、「身の程」が一つのキーワードとして繰り返され、明石の君は自分と源氏との身分の懸隔を自覚しており、両親、とくに父親の望みを知りながらも、それがまったくつりあわぬ縁談だと思っている。そのため、わざわざ住吉明神に願うほどのことはしないだろう。

▲明石の君の心中思惟（引用略）

また、実際、物語の後を読み続けると、容易に願い事をしたのは明石入道であることがわかる。明石女御が無事に皇子を出産したのを聞き、明石の入道はうれしく思い、山に入ることを決意し、都に最後の消息をおくる。そのなか、「わが君を頼むことに思ひきこえばはべしかばなむ、心ひとつに多くの願を立てはべし。その返申し、たひからに、思ひのごと時に逢ひたまふ、若君、国の母となりたまひて、願ひ満ちたまはむ世に、住吉の御社をはじめ、はたし申したまへ。（現代語訳：あなたを頼みとして期待申しあげておりましたので、心ひそかに多くの願を立てました。そのお礼参りを無事にめでたく果たされるよう望みどおりの運勢にめぐりあわれたのです。若君が国の母とおなりになって、願いの満たされましたあかつきには、住吉の御社をはじめ、願ほどきをしてさしあげてくだされ）（④—114 頁）」と明記している。

このように、翻訳に際して、全文を読み合わせることも重要なことだとは思われるが、いかに作中人物の心の声に耳を傾けて、理解するのも重要な作業だと考えている。

3. 恋をめぐる心の葛藤

前述したように、明石の君は源氏との身分の懸隔を自覚して拒みつつある。一方、美男子である源氏の求愛に対して、若い女性として、乱れ心を抱くのも当然であろう。次は明石の君の心情に沿いつつ、中国語訳を比較分析したいと考えている。

以下は前掲した心中思惟の中国語訳を掲げる。

（引用略）

源氏から求愛の文をいただき、明石の君は身の程を知りつつも、感動して涙が溢れている。父に勧められ、ようやくのことで返事を書き出したが、その書きぶりは「墨つき濃く薄く紛らはして」と記されている。これについて、林訳は「濃淡があり、風情がある筆跡を書き出して」と訳しているのに対して、豊訳は「墨の色は濃かったり薄かったりで、わざとらしい」と、葉・唐訳は「墨付きは濃かったり薄かったりで風情があり、誤魔化そうとしているようだ」と訳している。林訳は明石の君の筆跡を肯定的に捉え、これは後に続く源氏の「手のさま書きたるさまなど、やむごとなき人にいたう劣るまじう上衆めきたり」（②—250 頁）（現代語訳：筆跡や言葉遣いなど、都

の高貴な女人に比べてそうひけをとるまいと思われるぐらい貴なる女といった感じである)とする評価と照応するものであり、「書き紛らす」を「わざとらしい」や「誤魔化そうとしている」とするような捉え方は、原文の文脈とは合致しないだろう。面白いことに、豊訳と葉・唐訳はともに源氏が明石の君の文に対する肯定的な評価をそのまま訳出しているが、何故か「故意做作」「应付」のようなマイナスな表現が混在している。あるいは訳者の無意識のジェンダーバイアスによるものだろう。

さらに、全集の注釈は、「源氏の真意を測りかねて悩んでいる意の返歌にふさわしく、その筆跡も濃淡の変化をつけて自らの心情の不安と動揺を暗示した」とある。つまり、墨の色は明石の君の恋に乱れる心の表れとして読み取れる。この読みを踏まえれば、「深淺有致」と訳した林訳にも、なお改善する余地があると考えている。

次は心中思惟⑤の中国語訳を掲げる。明石の君は源氏と文のやり取りをしながら、決して源氏に近づこうとしないと決心している。

(引用略)

原文にある「結婚」を意味する「語らふ」について、林訳と豊訳は同じく「委身」「身を委ねる」と訳しており、葉・唐訳は「结成露水姻缘」「軽びやかな契りを結ぶ」と原文に比較的に近い訳をしている。それに続いては明石の君が源氏と関係を結ぶと仮想しているところであるが、林訳がそれを省略したのに対して、豊訳は「苟合」、葉・唐訳は「苟且」、日本語では「私通」「野合」の意味であり、モラルの面からかなり批判的な言葉を使っている。それは平安時代の婚姻慣習に対する認識の不足によるものだといえる。また、「ただこの浦におはせんほど、かかる御文ばかりを聞こえかはさむこそおろかならね」の一文について、林訳は「そこで、源氏の君がしばらくこの浜辺に住んでいる間、お互いお手紙でやり取りをしてもよく、これで自分も満足するものである」とそのまま訳しているに対して、豊訳は「私が望むところは、彼がこの浦で仮住まいしている間、お手紙のやり取りをして、それもまた風流韻事といえる」と、中国語の四字熟語である「風流韻事」を付け加えている。「風流韻事」というのは男女のロマンス、色事、情事を意味する表現である。この文に続くお互い手紙のやり取りをし、朝夕の様子を知るという明石の君が心中思惟で打ち明けている期待から見ると、この訳は原文の文脈とは合致しないものである。葉・唐訳のほうは、なぜか「互换文书，已是难得的深沉的情趣交流了」「文書をお互い交換しており、それもありがたい深い情趣の交流である」と訳している。「文书」は日本語で公文書の意味で、平安時代の「ふみ」とはかけ離れているものであり、「难得的深沉的情趣交

流」「ありがたい深い情趣の交流」というのも中国語の表現としてやや不自然である。

4. おわりに

穆雷（2008）が指摘しているように、訳者は男性と女性との両方の視点を持ち合わせなければならない。それを実現させるには、言語と文化を理解する能力、他者を理解する能力およびジェンダー関連理論の指導が必要であるとも指摘している。

本発表は、『源氏物語』中国語訳の比較分析を通して、それぞれの訳者がいかに明石の君の心の揺らぎを訳出し、そのジェンダーを演出したのかについて考察した。その結果、林文月訳は前後の文脈を把握した上、できる限り明石の君になりすまし、彼女の心の声をそのまま語らせようとしている。それと比較して、豊子愷訳と葉渭渠・唐月梅訳も概ね明石の君の心中思惟を訳出しているが、前後の文脈に対する把握の不足やジェンダー意識の欠如によるものか、明石の君のジェンダーから逸脱しているところが見られる。

今回は明石の君の心中思惟を中心に考察したが、今後は訳者の翻訳観と合わせて、さらに論考を深めていきたいと考えている。

引用文献

- ジュディス・バトラー（1999）『ジェンダートラブル—フェミニズムとアイデンティティの攪乱—』竹村和子訳、青土舎
- 穆雷（2008）『翻訳研究におけるジェンダーの視点』武漢大学出版社
- 丁莉（2006）『伊勢物語とその周縁—ジェンダーの視点から—』風間書房

アニメ作品における曹操像の研究

－「横山三国志」の受容を視点に

張智超 于心（成都東軟学院）

1. 序論

本研究は現役の中国人大学生視聴者を対象に、量的研究の手法を用い、吉川『三国志』を原作としたアニメの「横山光輝 三国志」¹(以下、「横山三国志」と略す)における曹操像の受容を調査し、最も代表的なキャラクターを洗い出しいく。なお、アニメにおける曹操をめぐる再創作を小説である吉川英治『三国志』の曹操(以下、吉川『三国志』と略す)と比較しながら、両者の共通点・相違点を考察し、曹操像を明らかにする。

2. 曹操像の受容

中国人大学生のアニメ視聴者を対象に、「横山三国志」における曹操の受容について、アンケート調査を実施した。本調査は、2023年6月から7月中旬にかけて、中国四川省にある二つの大学の学部生に対して、計300枚のアンケート用紙を配布し、289通の有効回答を得た。また、アンケート調査の(1)～(3)は5段階択式質問であり、(筆者による和訳)質問と結果は表1にまとめられている。

＜表1＞ 「横山三国志」における曹操像の受容

質問(1)「横山三国志」における曹操像と、すでに頭にある曹操像とはどれほど相違するか。				
かなり異なる	異なる	やや異なる	あまり異ならない	異ならない
36%	26%	20%	13%	5%
質問(2)「横山三国志」を鑑賞し、曹操に対する印象はどれほど変わったか。				

¹ 漫画家の横山光輝によって創作されたマンガの『三国志』を原作にしたアニメである。テレビ東京と大日本印刷の共同製作で、1991年から1992年までテレビ東京系列局で放送された。また、中国版は2000年代より中国中央テレビで放送され、中国で絶大な人気を博した。なお、2023年7月13日まで、中国で最大の動画共有サイトであるビリビリ動画で、合計200万の視聴回数を超えている。

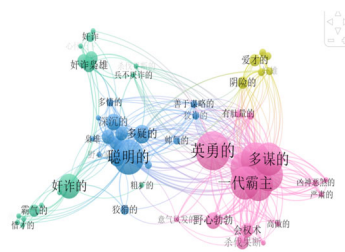
かなり変わった	変わった	やや変わった	あまり変わらなかった	変わらなかった
15%	28%	32%	18%	7%
質問(3)「横山三国志」における曹操像を納得するか				
かなり納得する	納得する	やや納得する	あまり納得しない	納得しない
40%	35%	15%	10%	0%

調査項目(1)～(3)のデータから見ると、「横山三国志」の曹操像は中国人大学生の持つ既存の曹操像とはかなり異なることがわかった。日本製作の「横山三国志」における曹操は中国人大学生の持つ曹操像とは大きく異なり、中国人大学生視聴者に、ある種のカルチャーショックを与えたとも言えるであろう。

一方、調査項目の(4)と(5)は記入式の質問項目であり、「横山三国志」における曹操イメージと、すでに持っている曹操イメージについて、それぞれ 3 つの語で回答してもらった。分析には、VOSviewer を使用し、ディスクリプタマッピングを行った。また、頻度 5 回(またはそれ以上)をデータ抽出の条件にし、「横山三国志」の曹操像に 65 つ、頭にある固有的な曹操像に 57 つのディスクリプタを手に入れ、その上、それらの関係性を図式した。



<図 1> 「横山三国志」における曹操イメージ



<図 2> 既存の曹操イメージ

要するに、『三国志演義』は中国人大学生に馴染み深く、「奸雄」の曹操像を忠実に反映した。ところが、「横山三国志」における、かっこよく、色白く、傲慢的な曹操像は中国人大学生の視聴者にとってかなり新鮮的、珍しいキャラクターであろう。さらに、こうした曹操像というと、原作の吉川『三国志』にある「白面郎」というキャラクターを思わせるを得ない。

3. 「横山三国志」における白面郎

3.1 「白面郎」の出所

「白面郎」という言葉は杜甫子美の「馬上誰家白面郎、臨階下馬坐人牀」（『少年遊』）という詩に初めて登場した。これは、貴族の子弟を題材にしたものであり、富貴の家の御曹司が馬を降り、人の長椅子に無礼にどかっと座ったという場面を描写したものである。

また、「白面郎」は中国の唐代末期の女流詩人である魚玄機の生涯を描いている悲劇作品である『魚玄機』という森鷗外の小説にも登場した。小説には「それに、鐘馗の渾名のある于思睥目の温は、二人の白面郎に侮られるのを見て…」という描写があり、脇役である宰相の公子の令狐と、彼の貴公子仲間の斐誠という、若い美しいが傲慢で生意気で、経験も知性もない二人に「白面郎」という表現を用いて、その二人を揶揄している。

『少年遊』の中の自分勝手な御曹司であれ、『魚玄機』の令狐と斐誠であれ、いずれも吉川『三国志』、およびそれを原作とした「横山三国志」における、名門の子息で、若くて色白で、我が強く振る舞うというキャラクターを持つ曹操と同工異曲だと考える。

3.2 小説とアニメにける「白面郎」の共通点

考察には、「横山三国志・第二話」における曹操の初登場のシーンを例に挙げよう。それは、また曹操と劉備という両雄の初対面のシーンでもある。

場面	両雄間の会話
劉備は馬を降りた曹操にお礼をしたが、曹操会釈さえもせずに	曹操：私は曹操孟徳。勅命により、この度騎兵五千を下がいて、黄巾討伐に出陣したのだ。いや、見事な火攻めの計だ。逃走中の敵軍と出会い、追撃中であつた。 劉備：恐れ入ります。 曹操：だが、これも縁であろう。貴公の活躍はわしに出陣の機会を与えたのだからな。ハハハハハ。
関羽と張飛は曹操の言ったことを聞き、ややびっくりして不機嫌で	関羽と張飛：ムンン。 曹操：玄德殿、両軍の勝ち鬨をあげようではないか。 劉備：では、曹操殿に音頭をとっていただきましょう。 曹操：それは違う。今日の勝利はすべて貴公の計略によるもの。

硬い表情で	
劉備は少し表情を緩めて	劉備：では、ご一緒に。
曹操は少し目を張って	曹操：ふん。よかろう。

(「横山三国志」第二話 15'35"～16'45")

(一)外見上の共通点

アニメの曹操は吉川『三国志』における曹操と同様に、肌が白く、顔に清潔感があり、鼻筋が通っており、細長い唇をしており、まさに容姿端麗の貴公子である。

(二)内面上の共通点

劉備は礼儀正しく、きちんとした敬語を使い、慎んで謙虚にやり取りをしているのに対して、曹操は初対面の礼を疎かに、ため口で話し合い、劉備と同じ青年将校であっても、やや居丈高そうな態度で、劉備軍の動きに評価をつけ、会話の主導権を握って侃々諤々とあれこれを言っている。この会話からすると、確かに曹操の強気で、自分勝手なキャラクターは明らかである。

3.3 小説とアニメにおける「白面郎」の相違点

しかし一方、小説の描写と異なり、アニメ独自の創作も見られる。

場面	両雄間の会話
二人は別れようとして、曹操は馬に乗り、劉・関・張三人に対して、しっかりした目とトーンで	曹操：玄德殿、黄巾は私と貴公が全滅させるだろう。だが、天下太平の世にはならん。
劉・関・張の三人は曹操を仰向いて、曹操の言葉に惹かれて	劉備：はああ。 曹操：乱はさらに大乱を呼ぶ。だが、多く星の中の一つがやがて国中をその光の中に包むだろう。
曹操の言ったことに深く惹き込まれた劉備は、曹操のほうにじっと見て、何かについて思いふけているようになった。そのような劉備を見た曹操は	曹操：ははははは。勅命に従っての戦いが残っている。これで失礼するんな。
曹操は馬の手綱を引き、劉備に背中	曹操：玄德殿、武勇を祈っている。

を向けて、声をあげて	
曹操はさらに声をあげて	曹操：また会うこともあろう！
すると、曹操は自軍に鷹揚に戻り、兵をまとめて本営に引き揚げた	関羽：官軍の中じゃ、できた男よ。 ナレーター：玄德の目は曹操の姿から離れなかった。大きな度量を持つ曹操に、宿命的な威圧感すら覚えるのだった。

（「横山三国志」第二話 17'01"～18'00"）

（一）外見上の相違点

最初から最後まで、しっかりした目つき、逞しい姿、それに意気が満ち溢れて戦場に臨むといったのは、紛れもなく「魚玄機」における人を愚弄する貴族のとんでもない息子や、吉川『三国志』におけるにおける不良を集めて村娘を誘拐する「恐い児」とは違うキャラクターなのではないか。

（二）内面上の相違点

まず、「黄巾は私と貴公が全滅させるだろう」というセリフを通して、全国的な大乱を起こして氣勢の凄まじい黄巾軍に対して、怯まず恐れずに、自信満々かつ意気揚々の曹操のキャラクターが描き上げられている。

また、短時間の初対面のやり取りだけによって、曹操が相手である劉備を見極められ、彼は才能があり、今後のライバルにもなるだろうと思えるのは、まさに「人を知る者」の曹操である。それに、予想のライバルである劉備と別れる際における、曹操の奥深い目つき、そして「また会うこともあろう！」という意味深い別れ言葉は、強烈なライバル意識を持つ一方で、英雄は英雄を惜しむという男前で度量が大きい曹操のキャラクターがよりありありと画像に躍如してきた。

4. 中国人大学生の受容からみる三国文化をめぐる交流

アンケート結果をもとに、「横山三国志」における曹操像、そして日本の三国アニメの受容方について、より多くの視聴者の語りを引き出すことを目的に、8人のアンケート協力者に対してさらにサブリサーチとするインタビュー調査を行った。主な質問は「日中両国のアニメにおける曹操のどちらが好きか」「日本の三国アニメをどう思うか」「（日中両国の）三国アニメを鑑賞し、これからどんなことをしたいか」といったものである。紙面上の都合により、本稿は、その中の代表的な意見をまとめて挙げる。

協力者の Y さんは、中国のテレビシリーズに登場する「年老いた」曹操よりも、アニメの人間的で鳳凰のような目をした「白面郎」曹操の方が魅力的だと感じ、なぜこれほど違うのかことに気になって歴史の本を読み直したいと答えてもらった。また、「新しい曹操像は、持っているイメージとはかなり違うので、むしろ感心した」という意見は多くあり、「横山の曹操像の方が好きだ」という意見も少なくなかった。これらの回答はいずれも、「横山三国志」における曹操の人物創作は間違いなく成功したと示していると考えられる。一方、半数にのぼった回答者は「興味本位で漫画『三国志』や吉川『三国志』を読みたい」と答え、「中国で三国志の物語をもう一度読みたい」と答えた人も数多かった。

これによって、中国の現役大学生にとっての異文化体験である「横山三国志」鑑賞は、日中の文化交流の架け橋となり、日本から中国への三国文化の逆伝播の好例にもなるのではないかと。

5. おわりに

本稿はアンケート調査を実施することを通して、中国人大学生視聴者にとって、「横山三国志」の曹操像は「白面郎」というキャラクターを有することを明らかにした。その上、アニメにおける「白面郎」の曹操の外見と内面をめぐり、小説などにおける「白面郎」を比較し、考察を行った。さらに、サブリサーチのインタビュー調査により、中国人大学生の「横山三国志」と曹操の受容から、日本の三国アニメの中国への逆伝播の意義も確認できた。

しかし、今回の調査対象は中国人大学生に限られているため、受容の結果は若い世代の傾向しか示せなかった。調査対象の年齢層をさらに広げ、各世代の受容を比較し、世代間の受容の特徴を明らかにすることを今後の課題とする。

引用文献

森鷗外(1995)「魚玄機」ちくま文庫,筑摩書房。

張智超、于心(2023)「吉川英治『三国志』と『毛宗崗批評本三国演義』に関する比較研究・曹操の人物像を主眼に」『東アジア日本語教育・日本文化研究』26,13-24 頁。

日本戦国歴史小説の研究

曹操と織田信長について

邢璐（新羅大学）

1. はじめに

1.1 一衣帯水の中日韓

古代から現代に至るまで、地縁と言うことは、国家の歴史と発展に深い影響を与えた。

中国、日本と韓国は、一衣帯水の近隣である。

日本戦国日本時代、日本は国内には戦乱が頻発し、英雄は輩出したが、それと同時に、日本は国外にも侵略戦争を起こした——壬辰倭乱(文禄・慶長の役)。

日本の天下統一を果たした天下人・豊臣秀吉は大明帝国の征服を目指し、配下の西国の諸大名を糾合して遠征軍を立ち上げた。秀吉は明の冊封国である朝鮮に服属を強要したが拒まれたため、この遠征軍をまず朝鮮に差し向けた。そして、明は戦鬪が遼東半島まで及ばぬよう日本軍を阻むために出兵を決断した。こうして、宗主国明国—冊封国朝鮮—入寇者日本、三国より朝鮮半島を舞台として戦われたこの国際戦争は、16世紀における世界最大規模の戦争であった。

戦争の影響はどうであろうか？

明国の方は、明には急速な弱体化ひいては亡国の原因となる深刻な財政難を残した。また、17世紀前半の女真(後の清国)の強大化を抑えきれないほどの重要な原因となったと考えられている。

日本の方は、豊臣家に武断派と文治派に分かれた家臣団の内紛をもたらした。豊臣政権の基盤を危うくする結果となった。

朝鮮の方は、朝鮮半島では被差別階級、困窮した農民、盗賊による反乱、蜂起が起き、朝鮮社会の矛盾も噴出した。壬辰倭乱(文禄・慶長の役)は現在の韓国における反日感情の原点とされる。

以上で、三者三様に被害を蒙ったと言う結果は招かれた。

日本戦国時代から数百年を超え、近代の日韓合併と侵華戦争に至り、そして現代中

日韓三国の政治、経済と文化などは強く繋がっている状態に至る。中日韓三国の関係は、どんな時代でも「一衣帯水」と言う塀を飛び出せないのであろう。もう一方、壬辰倭乱は中日韓の間にある「侵略」と「戦争」と言うキーワードの原点とも謂えるのであろう。

1.2 歴史小説の研究の意義

歴史書とは、歴史を記述した書物のことである。歴史書を記述する人は、目的意識を持った、そして多くの場合は職業的な歴史家である。執筆の目的は歴史そのものへの興味、過去を後世に伝えるため、独自の史観を表現するためなどさまざまである。為政者の支配の正統性を主張するなど、政治的動機による場合も多い。

歴史書を記述する歴史家は既存の史料を収集・比較・批判し、ある基準によって取捨選択即ち史料批判を行う。この作業がなされない場合は歴史書とは言えず単なる記述に留まる。また、歴史家の想像はできる限り排除される。想像が勝つ場合は歴史文学となる。例えば中国代表的な歴史小説『三国志演義』。

歴史小説は、主要な登場人物が歴史上実在した人物で、主要な部分はほぼ史実の通りに進められる。著者がその主人公の生き方や思想に感動したことによって物語を創り、主人公の行動あるいは言動に、著者が訴えたいモチーフが込められており、歴史を題材とした評論的な趣が強いである。

歴史小説は、著作における時代の人文生活の描写と再現できるだけではなく、著者が昔の事を評論するのにかこつけて現実を批判することより、著者が生きる時代と社会の精神を反映できるキャリアーとも謂える。

それ故に本研究は、司馬遼太郎の日本戦国歴史小説を中心に、文学的な視点から、日本戦国歴史小説に関する知識を全面的に、システムの的に考察する上に、日本戦国時代の日本人および近現代の日本人の国家観、歴史観、戦争観と英雄観など様々な思潮と観念を明らかにする。同時に日本戦国をめぐり、中日韓における史料、小説と研究論文を広範に読んだ上で研究を進める。ひいては「全面的な、システムの日本戦国歴史小説の研究」レベルの研究になるように目指す。

「僅かな兆しから物事の発展の方向を判断できる」。また、本研究は現代中日韓の文化、政治、経済などの交流に多少の貢献ができれば幸いだと思う。

今回は、本研究の一部「中国と日本を改変した歴史人物——『三国志演義』と『国盗り物語』(くにとりものがたり)における曹操と織田信長」の様々な異同点について

て、文学的な視点から論じる。

2. 羅貫中と司馬遼太郎

2.1 羅貫中と『三国志演義』

『三国志演義』は、中国の明代に書かれた長編白話小説である。後漢末と蜀・魏・呉による三国時代を舞台とする時代小説・通俗歴史小説で、四大奇書の一つに数えられる。

考証により、著者は羅貫中である可能性が一番高いである。羅貫中は、中国の元末・明初の作家、号は湖海散人である。

現存する最古の版本は明の嘉靖元年（「嘉靖本」。1522 年）のものである。現在、定本とされているのは清の康熙年間に刊行された毛綸・毛宗崗父子によって校訂・加筆を行って纏められた「毛本」であり、邦訳（日本語に訳す）や出典も多くがこの版に拠っている。毛宗崗は三絶（三人の傑出した人物）が登場すると述べ、智絶（知者のきわみ）の諸葛亮、義絶（義人のきわみ）の関羽、奸絶（悪人のきわみ）の曹操の三名の傑物を挙げる。『三国志演義』の登場人物の褒貶については、元明の民俗文化や朱子学の影響を強く受けており、したがって、歴史的評価を正確に反映するとは限らない。

2.2 司馬遼太郎と代表作

司馬遼太郎は、日本の小説家、ノンフィクション作家、評論家。位階は従三位。本名：福田定一（ふくだ ていいち）。筆名の由来は「司馬遷に遼（はるか）に及ばざる日本の者（故に太郎）」から来ている。

大阪府大阪市生まれ。産経新聞社記者として在職中に、『梟の城』で直木賞を受賞。歴史小説に新風を送る。代表作に『竜馬がゆく』『燃えよ剣』『坂の上の雲』と戦国三部作の『国盗り物語』『新史 太閤記』『関ヶ原』などがある。『街道をゆく』をはじめとする多数の随筆・紀行文などでも活発な文明批評を行った。

司馬遼太郎は新しい視点と斬新な描写で彼自身の歴史観を作って日本社会に広く影響を与えた国民的作家であると言われており、死後においても司馬の影響力は大きい。

3. 曹操と織田信長

3.1 乱世

中国は古来より、「時勢造英雄」(時代の趨勢は英雄を造る)と「乱世出英雄」(乱世には英雄が出る)という諺が唱えられる。

後漢末期三国時期と日本戦国時期は、乱世と謂える。皇帝/天皇は権力を失い、「適当な位置」に居る精神領袖とされるだけであり、何の行政管理にも手を触れられない。軍閥領袖/幕府将軍は実権を握る者であり、皇帝/天皇から賞を受けるなら子孫にも自然に世襲される。

『三国志演義』と『国盗り物語』はこんな時代を背景に、英雄輩出、群雄割拠の場面が生き生きと描かれている。その中には、曹操と織田信長も出る。

曹操は、中国後漢末期の政治家・兵法家・詩人であり、後漢の丞相・魏王で、三国時代の魏国の基礎を作った。後世では魏の武帝、魏武とも呼ばれる。

織田信長は、日本の戦国時代から安土桃山時代にかけての武将・大名である。室町幕府将軍から「天下」を委任されるという形より、畿内を中心に独自の中央政權——「織田政權」を確立して天下人となった戦国時代を代表的な人物である。

3.2 英雄なのか？

辞書により、英雄またはヒーローとは、知恵・才能が優れ、気力・武力にも秀で、大事業を成し遂げた人である。ヒーローの多くは、普通の人を超える力・知識・技術を持ち、それらを用いて一般社会にとって有益とされる行為、いわゆる救世主としての行為を行う。多くの物語では、これを阻止しようとする悪役・敵役が共演することになる。また、突出した能力を持っていない場合でも、何らかの形で英雄的行為をすることがある。

『三国志演義』の中には、「煮酒論英雄」(酒を煮ながら英雄を論じる)の名場面を通して、著者羅貫中が持つ英雄観は現れる。

「夫英雄者、胸怀大志，腹有良謀，有包藏宇宙之机，吞吐天地之志者也」(英雄になる者は、偉大な志を持ち、精妙な計策を含み、宇宙ほどの度量を有し、天地を食ら志を立てる者だ)

「今天下英雄，唯使君与操耳。」(現在天下の英雄は、君と私だけだ)

曹操は劉備にそう言った。

以上の叙述より、曹操と織田信長は真正の英雄であろう。

曹操の方は、董卓が漢霊帝死後の政治的混乱に乗じて政治の実権を握り、少帝を廃して献帝を擁立し、一時は朝廷を牛耳った時期には、曹操は刃を隠して董卓を暗殺しようとした。遂げなかったが、報国の望みは疑いのないであろう。漢献帝を自らの本拠である許昌に迎え入れ、漢室政権の存続を保ち、中原地区を統一し、さらに軍を引いて南下して全国を統一、乱世を終結しようとした曹操は、真正の英雄と謂える。

織田信長の方は、奇抜な発想で既成概念にとらわれない斬新な政略・戦術を次々と編み出し、尾張を統一して美濃をも併呑し、京に旗を立て畿内を制圧し、戦国時代の終焉に筋道をつけた。当時としては極めて珍しい無神論者であり神仏や霊魂など目に見えぬものは一切信じない。反面、合理的に洗練された西洋文明には強い関心を抱き、特に鉄砲の効能を見出して大量に手に入れ、その火力で他の大名を圧倒した。こんな才能、武略と先進的理念を有する織田信長は真正の英雄であろう。

3.3 奸雄なのか？

辞書により、奸雄（かんゆう）とは、悪賢い英雄と言われる。近い意味を持つ梟雄（きょうゆう）は、残忍で強い英雄。「梟」は「猛々しい」「悪くて強い」の意である。

曹操の方は、董卓に対する暗殺は失敗し、逃亡途中に自分を迎えた故人呂伯奢一族を疑い、勝手に家族全員を殺し、最後に誤判だと気付いたも、「宁教我负天下人，休教天下人负我」（むしろ世人を背いても、世人に背かれたくない）と言った。それ以降の生涯には、民間人虐殺や捕虜虐殺、廷臣の大量粛清、「挟天子以令诸侯」（天子を脅迫し諸侯を命ずる）で漢献帝を傀儡化し漢王朝を専横したなどによって治世の能臣、乱世の奸雄とも呼ばれる。

織田信長の方は、実利に徹した性格から人間を機能としてしか見ず、自らの家臣であっても用済みと判断すれば平気で知行を取り上げて放り出すなど、人間をさながら道具のようにしか扱わない。性格は極めて残虐で、定めた法を破ることを秋毫にも許さず、領地の統治は厳格を極め、家臣や領民達の誰もがその存在を畏怖した。軍規に関しても一糸の乱れすら許容せずに違反者は厳罰に処し、一号の号令は万雷となって兵達の頭上に落ち、戦慄恐懼をもって統制した。家臣統制のあまりの苛烈さから明治光秀の謀反を招き、本能寺の変において自害する。

前節に、この二人は真正の英雄だと論じたが、こう見ては、確かにその歴史形象も文学形象も複雑である。曹操と織田信長には、英雄も奸雄も、同じ人の一体両面であ

ろう。

3.4 覇道の運命

曹操と織田信長は、同じ点は数え切れないが、この二人の運命、結局は違う。

曹操にとって一生の転換点——赤壁の戦いに、八十万人超えの軍隊を引いても、孫劉連合軍にまけた。逃亡途中に、諸葛孔明の計策より潜伏した蜀軍に次々と追い打ちをかけられ、ついに華容道で昔恩をあげた関羽にあった。この時の曹操は、漢室の丞相の尊厳までも捨て、関羽に容赦を乞った。義を一番に重視する関羽は、出陣前に書いた軍令状を無視し、曹操を見逃した。これも諸葛孔明の計策かもしれないが、曹操が生き残ったこそ、赤壁の戦い以降、天下三分の局勢はようやく形成する。「大丈夫能屈能伸」（男一匹は曲げることもできるし、伸ばすこともできる、〈比喻〉どのような環境にも順応できる、）の諺が今までも唱えられている。『三国志演義』に「拥刘反曹」（劉備を擁護し、曹操を反対する）と言う傾向は終始一貫であるが、私にとっては曹操が英雄でもある、奸雄でもある。

織田信長にとって、ひいては日本にとって、時代の転換点——本能寺の変に、織田信長は家臣統制のあまりの苛烈さから明智光秀の謀反を招き、「敵は本能寺にあり」という号令とともに光秀の軍勢は京へ雪崩込み、たちまち本能寺を包囲した。光秀の謀叛を知った信長は、到底これを撥ね退ける術のないことを頓悟するや、是も非も無く己の死を受け入れ、寺に火を放って自刃する。さながら中世秩序を破壊するために生まれてきたような男の遺骸は、豪火に包まれて姿を消した。

もしあの時、織田信長は曹操のように一時的に膝を曲げ、生き残ったなら、今まで日本の歴史は変わった可能性があるかもしれない。私みたいな読者の想像が引き出されることこそ、英雄物語の魅力、歴史小説の魅力であろう。

4. おわりに

羅貫中は、儒家思想の社会に生まれる、儒家思想に深い影響を受けたのは当然である。司馬遼太郎は、漢学を好み、『史記』も愛読し、加える自身の学業背景、儒家思想にも多少の影響を受けたのであろう。したがって、この2人の作品に現れる英雄観に同じ点たくさん出るのも自然であろう。

以上、中国と日本両国は、古来から海を隔てて眺めるのであっても、『三国志演義』

と『国盗り物語』の生まれる時代も相当長いであっても、作品の中から 2 人の著者の相似点も見つけられるのであろう。文学の比較研究は、世界的、時代を超えるかもしれない。

引用文献

崔瑗 (2018) 『「关原之战」与「三国演义」英雄观之比较研究』 遼寧大学修士論文

高義吉(2012) 『司馬遼太郎の歴史小説研究』 东北師範大学博士論文

賀佳(2011) 『司馬遼太郎と日本戦国題材歴史小説を論じる』 陝西師範大学修士論文

日中両国の仏教説話における恋の鬼の比較研究

「愛」と「憎しみ」を中心に

于心、張智超(成都東軟学院)

1. はじめに

日中両国とも、北伝仏教¹の影響を受け、漢訳した仏教經典による布教伝道を行っていた。そのため、日中仏教の鬼にまつわる認識、印象、文化、芸術、文学などにおいて高い共通性を持っている。

仏教説話における鬼は、主に人々の内なる恐怖や欲望を利用し、戒律を破った場合に負う悪業を警告する役割を担い、仏教信仰の守護者であると同時に、仏法を尊ばない者を懲らしめる存在として、無慈悲で残酷なものである。しかし、両国の仏教説話には、無情な鬼とは異なり、恋に落ちる鬼というイメージもある。この「恋の鬼」のイメージは、両国の文化的テロワールが仏教固有的の鬼のイメージを受容して生まれるものであり、両国に内在する感受性をより深く映し出すものである。

したがって、本稿は『今昔物語集』の二十卷第七話「染殿后為天宮²被燒乱語」と中国の「夜叉の異類婚姻譚」を取り上げ、仏教における「愛」と「憎しみ」の表現を中心にし、説話に登場する天狗³と夜叉のイメージを比較し、その相違点を明らかにしようとする。さらに、説話に登場する鬼のイメージから現れた「愛」と「憎しみ」という異なる表現を掘り下げることで、文化風土による、仏教文化への異なる理解と受容の様相を明らかにしていく。

¹ インドから西域地方を経て、中国、韓国、日本などの北方に伝わった仏教を北伝仏教という。

² 『今昔物語集』では、「天狗」を「天宮」に表記されることがある。

³ その巻二十に登場する天狗について、森正人（1986）では、「天狗は反仏法的存在には違いないが、仏法の体系の外にあるものではない。周縁の存在であり異端である」と説明されている

2. 「染殿后為天宮被焼乱語」と「夜叉の異類婚姻譚」について

2.1 「染殿后為天宮被焼乱語」

平安時代の院政期に成立した『今昔物語集』の巻二十には、「天狗」の説話だけが収録されている。二十巻第七話「染殿后為天宮被焼乱語」は次のような説話である。

文徳天皇の女御(太政大臣藤原良房の娘)は生まれつきとても美しい。いつもモノノケに悩まされ、このモノノケを祓いために金剛山の聖人をお願いした。モノノケを祓った聖人が後の美しい容貌を見て欲心を起こし、后を犯しようとした際に侍医に取り押さえられた。京城から追い出された聖人は、山に帰ると、聖の道を捨て、餓死した。そして、漆を塗ったような黒い肌を持つ鬼に変身した。鬼になった聖人が後の寝殿に現れ、呪術で后を惑わして交わした。説話の最后、このすべてに天皇はなす術もなく、結局、ため息をついて立ち去った。

要するに、僧侶として愛欲は絶対禁止すべきもので、愛欲に支配され、痴情のために鬼に化身したのはこの説話の本質であると考えられる。

2.2 夜叉の異類婚姻譚について

中国の説話における夜叉のイメージは従来の人喰う夜叉とは異なる。特に、夜叉の異類婚姻譚では、惨めに満ちたイメージを見せている。中国の夜叉にまつわる説話は、『太平広記』と『夷堅志』に多く収録されている。代表的な夜叉の異類婚姻譚の主要要素は次の通りである。

〈表 1〉 夜叉の異類婚姻譚

出所	あらすじ
『太平広記』「杜万」	杜万の妻が蘇生した後、夜叉に捕らえられ、その夜叉との間に二人の息子をもうけた。杜万が妻を見つけ、連れ去ろうとしたとき、夜叉は長男を抱いて岸に駆け寄り、遠くで船を呼びかけ、何の反応もないのを見て激怒し、悲鳴をしながら子供を八つ裂きにして飛び去る。
『太平広記』「朱峴女」	朱家の娘が夜叉に連れ去られ、塔に監禁された。娘は、夜叉が牛肉を食べない者を恐れていることを知り、二度と牛肉を食べないように天に祈った。それ以来、夜叉は二度と彼女に近づくことができず、ただ悲しんで去ることしかできなかった。
『夷堅志』「島上婦人」	僧が仏陀の三宝を求めて船で旅をしていたが、嵐に巻き込まれて孤島に漂着し、島の夜叉女と暮らして3人の息子をもうけた。ある日、僧は通りかかった商人の船を見て、夜叉女を捨てて逃げ出した。夜叉女は怒りのあまり商人の前で3人の息子を殺した。

要するに、夜叉は人間と恋に落ちて誘拐し、同棲して子供をもうけたが、人間は夜叉も子供も見捨てて逃げ去り、説話の最後、夜叉は悲しみを胸に一人残される。人間に恋をする夜叉は、結局には見捨てられる運命から逃げられない。

3. 「愛」と「憎しみ」

仏教における「愛」は十二因縁の一つである。『雑阿含経』巻12の十二縁起5)の箇所には「…受縁愛、愛縁取…」とある。「受」とは、目、耳、鼻、舌、身、意、六処という人の六つの感官を通じて世間万物を感受することである。そして、その感受によって欲求が生じる。「愛」はその欲求である。「愛」から起こる執着は「取」である。そして、極めての「愛」の結果、妄執に取り憑かれ、極めての憎しみを生む。その故、『楞嚴經指掌疏』巻4では「以憎愛相對有愛必有憎故」とある。本稿は、金剛山の聖人と夜叉の説話における「愛」と「憎しみ」の表現とその相違点を探っていく。

3.1 叶わぬ「愛」から「憎しみ」に

『四十二章經疏鈔』巻4:「由於欲境。起諸違順。境背愛心而生憎嫉。造種種業。是故復生地獄餓鬼」とあり、満たされない欲望、満たされない愛のせいで、心に憎しみや妬みが生じ、あらゆる悪業が生み出され、その結果、鬼として転生するという意味である。愛という悪業は、聖人(修行者)であっても、避けられないものである。修行者であった聖人は修業を棄て、愛欲が生じ、鬼道に堕ちたかについて、説話においてこう描かれている。

此の端正美麗の姿を見て、聖人、忽に心迷ひ肝碎て、深く後に愛欲の心を発しつ。然れども、為べき方無き事なれば、思ひ煩て有るに、胸に火を焼くが如にして、片時も思ひ過ぐべくも思えざりければ、遂に、心澆て狂て、人間を量て、御帳の内に入て、後の臥され給へる御腰に抱付ぬ。后、驚き迷て、汗水に成て、恐ぢ給ふと云へども、後の力に辞び得難し。

『新日本古典文学大系 今昔物語集・四』(巻20 第7)

聖人が几帳の隙間から単衣だけ着た后を垣間見える際、聖人は後の美しい容貌と

甘美な身振りで引きつけられ、后を汚しようとする。愛と欲望のドキドキするような、抑えきれない欲心を、「思ひ煩」、「胸に火を焼く」、「片時も思ひ過ぐべくも思えざり」、「心澆て狂て」で直感的な表現されている。愛欲の業を犯した聖人が山に帰っても後に未練を持ち、「本の願の如く、鬼と成らむ」と誓って飢え死にした。そして、聖人は「身裸にして、頭は禿也。長け八尺許にして、肌の黒き事漆を塗れるが如し」というような鬼になった。

さらに、後世において、『宝物集』（巻2）では「紺青鬼ト云御物ノケニトリコメラレタ」、『平家物語』（第2本8）では「紺青鬼ト云御物ノケニ被取籠テ世中ノ人ニモサカナクイワレサセ給事侍ケリ」とある。仏教における紺青鬼は瞋恚、悪意、憎しみの化身だと見られている。所詮は、聖人は染殿の後の美しさを目の当たりにすると恋に溺れ、かなわない恋に執心しておく、この恋の妄執から憎みになり、醜い鬼と化すとされる。

したがって、それは美から愛へ、愛から憎しみへ、憎しみから醜さへの変容の過程だと考えられる。

一方、このような恋、醜さ、鬼の繋がり、古来より日本人の感性に存在しているのではないか。

『万葉集』の恋の歌にあるように、かなわない恋愛を詠う和歌で、「シコ(醜)」の代わりに「鬼」の字で表記されることが多い。例えば、舍人皇子が舍人娘子を思うとき贈った歌、「ますらわをや 片恋せむと 嘆けども 醜のますらを なほ恋ひにけり（万葉集・117）」の原文で、「醜のますらを」は「鬼乃益ト雄」と書かれており、愛人に片思いなどに悩む自分は見苦しい男だと自嘲している。

『現代語対照 万葉集（上）』では、「本集のシコの用字例には「鬼」の字が五例もあり、『鬼』は一方でモノとも訓まれているので、シコは、異郷・霊界から出現するモノ（精霊）と同義に考えられたようである。それが醜く、けがらわしく、うとましいさまをいうようになり、さらに自嘲的な表現にもなったのであろう」と注釈を付けている。また、「モノ」と訓む「鬼」は、大野晋(2012)は「怨霊という意味のモノは、この世に恨みを抱いたまま死んだ人の霊を指す言葉である」と解釈し、モノノケはモノ(怨霊)ノ(助詞)ケ(兆候)という構成で、モノ(怨霊)の働きによる症状であると説明される。

いずれにしても、恋の中の執念、欲望、嫉妬などのしつこい感情が鬼のような醜いものだという印象は、後世に流れていくだろう。そして、怒りと悲しみを抱え、愛欲

と嫉妬を抑えられない妄執は醜い鬼になる。

3.2 手放せない「愛」から「憎しみ」に

愛と欲望の芽生え、また、憎しみと執着を主題に描く日本の説話に対して、中国の夜叉の異類婚姻譚は夜叉と恋人が別れるときの劇的な葛藤をめぐって描写している。中国における夜叉の異類婚姻譚では、夜叉が恋人に見棄てられた怒りのあまり息子を殺すというエピソードに変わっている。「杜万」や「島上婦人」では、説話の終盤、子供を抱いて愛する人を追いかける夜叉の顔は、恨み、怒り、悲しみに満ちている場面に、

夜叉寻抱大儿至岸。望船嗥叫。以儿相示。船行既远，乃擘其儿作数十片，方去。

『太平広記』「杜万」

其夜叉忽自郡中来，至浮屠下，望某而语曰。何为有异志而弃我乎？使我终不得近子矣。从此别去。

『太平広記』「朱峴女」

时妇人继来，度不可及。呼其人骂之，极口悲啼，扑地气几绝。奔走号呼恋恋，度不可归，即归取三子，对此人裂杀之。

『夷堅志』「島上婦人」

と書かれている。夜叉が悲しげにすすり泣きながら子供を抱いて追いかけている姿を見ても、それでも平気で逃げ出した恋人のように、夜叉は人間よりも感情的な傾向があり、時には鬼よりも人間の方が薄情であると考えられる。夜叉は見捨てられたことへの怒り、恨みを憎しみに変え、逃げた恋人の前で怒りにまかせて息子を殺した。要するに、愛から憎しみへの転換の限界点は、自分の肉親を殺すというエピソードに示されている。

古来より、中国人の意識では、鬼の感情は豊かだという点では人間と同じである。また、中国では「牡丹花下死，做鬼也风流⁴」や「鬼神为情痴，葬车相见期⁵」など名

⁴ 「牡丹の花（また、美人と詠されることも多い）の下で死に、鬼となるのも風流だ」という意味、出所は珠簾繡(元時代)の『酔西施』である。

⁵ 李孫宸(1576・1634)の詩、「鬼神も愛欲のためにおろかなり、喪車の出会うことを期する」の意味である。

句があり、鬼は多情多感なイメージをもっている。鬼と恋といえば、中国人の感性にはロマンチックな印象があり、好色の方は「色鬼」あるいは「風流鬼」、また女性は情郎を「死鬼」と呼んでいる。人間と鬼の恋物語は、早くも『搜神記』の中に存在し、広く流布される。徐華竜(1991)は、中国の伝統的な死生観と直接関係があると論じている。仏教の地獄の概念が導入される以前、中国の伝統的な文化では、死とは肉体の死を指し、魂は泰山に戻って地下の世界で生活が続けると信じられていたため、現実の世界では実現できない多くの願いが、鬼神の世界に託して実現される。そして、中国の鬼の説話は鬼と人間の感情の葛藤、紛争、恨み、愛着、友情などを重点的に表現した。

このような伝統的な意識の影響で、無慈悲な仏教の鬼神も人間の感情の匂いで彩られ、恋人たちへの「愛」は、捨てられたときの悲痛な叫びとして夜叉の絶望で表現され、そして極端な「憎しみ」は、血のしがらみを超えて息子を殺す夜叉の憤怒として表現される。しかし、たとえ手放したくなくとも、たとえ大声で泣き叫んでも、たとえ恋人の前で我が子を殺しても、人間に恋をする夜叉は、結局には見捨てられる運命から逃げられなかった。

4. まとめ

仏教説話における「恋の鬼」は人間の強烈な感情を具現化したものとみなすことができるが、両国の文化風土によって異なるかたちで現れている。中国の説話では、鬼の方は人間よりも感情的でしつこいことがある。これは、「人間も鬼も違いはない」という伝統的な感覚の拡張が、人間以上に感情や欲望が豊かな仏教の鬼にも及んでいるのかもしれない。その結果、夜叉の恋も過激になり、人間に恋をすれば作法を無視して直接掠め取り、恋が憎しみに変われば、世の中の倫理を無視して怒りをぶちまけるために息子を殺す。中国の人間より感情的であるの鬼とは対照的に、日本の説話に登場する鬼は人間の極端な情感から化したものである。おそらくこの認識は、『万葉集』の時代から存在しているのであろう。極端な愛の表現は、抑制されるべきなのである。極端な愛は、人の心を蝕む醜い鬼へと人を変えてしまう。同じ宗教に対する理解は伝統文化によっても異なる。また、それは両国の文学の異なる表現に反映されている。文学に反映される異文化の交流と融和もまた、文学研究の魅力であり意義である。どのような形で表現されるにせよ、仏教説話に登場する「恋の鬼」は、気の毒

で哀れな存在であるだろう。

引用文献

大野晋(2012)『古典基礎語の世界』角川ソフィア文庫 pp.232

小峯和明(1976)「今昔物語集における説話受容の方法」『国文学研究』59号 44-54頁

森正人(1985)「天狗と仏法—今昔物語集の統一的把握を目指して」『愛知県大学文学部論集』34号 1-13頁

森正人(1986)『今昔物語集の生成』岩波書店 218頁

森正人(校注)(2001)『新日本古典文学大系 今昔物語集』第四冊 岩波書店 32頁

蔡苾(2016)「『本生経』中の夜叉婚恋故事对中土小説的影響」『文学研究』2号 58-65頁

李昉 編(1961)『太平広記』卷四八一 中華書局 3961-3962, 2820頁

洪迈 撰(1981)『夷堅志』中華書局 787頁

悟醒 訳(1996)『本生経』『漢訳南伝大蔵経』台湾元亨妙林出版社 91頁

徐華竜(1991)『中国鬼文化』上海文芸出版社 11頁

検索サイト

大正蔵検索 高楠順次郎 渡辺海旭(1924)『大正新修大蔵経』大正新修大蔵経

<https://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/ddb-sat2.php>(検索日：2023-08-12)

日中同形異義語「綺麗」に関する研究

蘇文鑫（安徽農業大学）

1. はじめに

本来、文字を持たない言語であった日本語は漢字の伝来により、進展が大いに成り遂げたことが『日本語の歴史 2 文字とのめぐりあい』『漢字伝来』などの先学から分かる。その進展によって、表意文字の漢字、表音文字のひらがなとカタカナという 3 種類の文字形態で構成させるようになり、世界でも稀有な言語であるとも言われている。中でも「漢字」は中国語と共通しているため、中国語を母語とする日本語学者にとっては有利な点であると思われている。しかし、字形が同様であっても、必ずしも意味までが完全に同様とは限らない。本発表は「綺麗」に注目し、中国の禅宗文献から来た「衣の美」としての「綺麗」は日本語と中国語におけるの意味変遷がどのようなものかを究明しようとする。

2. 「同形語」の定義

本研究では、同形語の定義は日本語教育研究資料（文化庁）（1978）『中国語と対応する漢語』を参照にしたものである。

日中同形語の分類方法について、日本文化庁（1978）は以下の四種類に分類した。

S 語：日本語と中国両言語で意味がほぼ同じ（same）だと考えられるもの。

O 語：両言語で意味の一部は重なっているが（overlapping）、一部は異なっているもの。

D 語：両言語で意味が全く異なる（different）もの。

N 語：日本語にしか存在しない（nothing）もの。

3. 日本語における「綺麗」

3.1 江戸時代までの「綺麗」

先行研究によれば、「綺麗」の初出は中世の『正法眼蔵』であり、衣が美しいとい

う意味として認められる。室町時代までには、「豪華」な美、建物の「美しさ」の意味が看取されるようになったことが分かる。佐藤亨(1972)は、室町時代の「きれい」が従来の如く「美しさ」以外、「清潔・純粹」の意味を持つようになったと述べた。江戸時代になると、室町時代の「きれい」が、「きよし」「きよら」「いさぎよし」等にとって代わる傾向が見られ、この傾向はさらに強まっていくと指摘した。

江戸時代になると、秋葉直樹(1969)は前期では「清潔」の意味を受け継ぎ、人の容姿に用いられる例も稀に見えるが、遊女や役者のような者を介することによって、後期では、人の顔かたち使用されるようになったと指摘した。また、その後「人間の容姿の美しさ」だけではなく、「人間の内部の純潔さ」「自然物の清らかさ」「建物衣裳、刀等の美しさ」のように、多様な意味が看取された。

「綺麗」の先学の多くは江戸時代までの調査に留まっていて、近現代の「綺麗」についての調査が必要となる。

3.2 近現代の「綺麗」

3.2.1 調査範囲の選定

近代語の研究においては、『太陽コーパス—雑誌「太陽」日本語データベース—』(国語研究所、2005)が利用されることが多い(以下『太陽コーパス』とする)ため、まずは『太陽コーパス』における「綺麗」を調査してみた。用例総数は222であり、NDC 800台、NDC 600台やNDC900台など様々なジャンルから看取された。中でも、文学関係作品が分類されるNDC900台には147例も見られて、用例数が圧倒的に多い。また、「小説・物語」「評論集」「詩歌劇曲」「日記書簡紀行」のNDC900台において、「小説・物語」の用例数がもっとも多いことから、「綺麗」は文学作品の「小説・物語」に多く用いられることが分かる。

『太陽コーパス』は明治後期から大正初期の、わずかに5ヶ年分を取り扱っているのみで、しかも作家1名当たり、2~3作品を収録しているに過ぎない。そこで本研究では、1888年(明治21)から1916年(大正5)にわたって、作家13名の作品が収録されている『新潮文庫 明治の文豪』【CD-ROM版】(以下『明治の文豪』とする)を利用することにした。

上田敏と石川啄木の作品は詩歌集で、小泉八雲は日本語の非母語話者であるため除外され、13名収録される『明治の文豪』の作家は残り10名である。蘇文鑫(2017)において、この10名の作家の作品について詳細な調査を行った。その結果、夏目漱

石作品における「綺麗」の使用頻度も使用率も他作家よりも高いことが分かる¹。中でも、作品『虞美人草』がもっとも高い。そのため、本稿では『虞美人草』における「綺麗」の考察をサンプルとして取り上げたり。

3.2.2 考察

形容詞である「綺麗」を調査するには、どのような語に対して、どのような意味として用いられるかを調べなければならない。なお、漱石の作品には「綺麗」「奇麗」という表記の不統一が見られることもあるが、本稿ではすべて「綺麗」として扱う。

調査した結果、『虞美人草』における「綺麗」の用例は総 43 例である。そのうち、「名詞に対する用いられる場合（修飾する場合と述語である場合）」は 29 例、「動詞に対する用いられる場合」は 14 例である。

名詞の用例には「女性」「文字の色」「木目」「靴」「風景」などのような実体のあるものもあれば、「決心」のような実体のないものもある。意味としては、「女性の容姿の美しさ」「整っているさま」「物の華やかな美」「出来事が見事であるさま」「汚れのないさま」「残余のないさま」の意味であるなどである。

動詞には、「する」「片付ける」「引き上げる」「絶つ」のような人の動作、「吹く」のような自然界が起こる動作、「なる」「並んでいる」「見える」のような状態を表す用例が看取された。動詞に対して用いられる場合の「綺麗」は「物の華やかな美」「整っているさま」「出来事が見事であるさま」「残余のないさま」の意味である。

以上のように、『明治の文豪』に収録されているほかの作家の作品についても、同様な方法で考察を行った。結果は本稿で挙げられるサンプルと一致している。

4. 中国語における「綺麗」

中国語の「綺麗」を考察するには、中華民国時代を境に、「中華民国までの「綺麗」と「現代の「綺麗」」に分ける。それぞれ『漢籍電子文献資料庫』（中央研究院・歴史言語研究所、1986）、『北京大学中国言語学研究中心 CCL データベース』（詹衛東、郭銳、譚貽栄、2003）を利用し考察を行いたい。

¹ 本稿における使用頻度とは、「綺麗」が用いられる作品数と当該作家の作品総数との比率を指す。「使用作品率」とは「綺麗」の用例数と当該作家の作品総単語数との比率を指す。

4.1 中華民国までの「綺麗」

『漢籍電子文献資料庫』で検索してみると、『後漢書』『晋書』『旧唐書』などの文献から「綺麗」の用例を看取された。詳細は次ページの<表 1>に示す。

<表 1>に示しているように、五代十国の『洛陽伽藍記』から「綺麗」の用例はもっぱら紀行文に看取されていた。しかも仏教に関係するお寺の紀行文であったことが分かる。

用例を挙げ、中華民国までの「綺麗」の意味を見てみよう。

用例 義宣至鎮、勤自課厲、政事修理。白皙、美鬚眉、長七尺五寸、腰帶十圍、多畜嬪媵、後房千餘、尼媼數百、男女三十人。崇飾綺麗、費用殷廣。

(『宋書 卷六十八・列伝第二十八・武二王』)

この用例は、宋の武帝・劉裕の第六子であり、宰相でもある劉義宣のことを描写している。「崇飾綺麗」とは邸が煌びやかに装飾され、甚だ豪華であることを言う。

<表 1> 中華民国までの「綺麗」用例詳細表

年代	文献名	用例数	年代	文献名	用例数
南北朝	後漢書	1	清	雲棲紀事	1
	宋書	1		寶華山志	1
	南齊書	1		上方山志	1
唐	晋書	3		少林寺志	1
	南史	3		法淨寺志	1
	北史	2		蓮居庵志	1
	隋書	1		雲棲志	1
五代十国	旧唐書	2	民国	無錫南禪寺志	1
	洛陽伽藍記	5		福慧雙修庵小記	1
元	金史	1		西溪秋雪庵志	1
明	杭州上天竺講寺志	1		雲棲	1
合計		18	合計		8

南北朝の文献から看取された「綺麗」は、すべて邸や宮廷の建物を対象とし、「華やかな美」の意味として用いられた。しかし、唐の『晋書』から「文章」や「衣服」を対象とする用例が看取されるようになった。例えば、『晋書・卷四十七・列伝第十七』では西晋の文学家である傅咸の紹介に、「好屬文論、雖綺麗不足」と載せてある。傅咸は好んで文章を書くが、文采が足りていないことを述べてる。

『晋書』から「文章の華やかな風格」意味としての用例が見られることは、中国魏晉の「華」の文学スタイルに繋がると考えられる。

唐を過ぎ五代十国になると、『洛陽伽藍記』から「お寺」や「亭」を対象とする用例が見られるようになった。また、「お寺」や「亭」の「華やかな美」の用例は民国にも至った。『無錫南禪寺志』から初めて風景を対象とする用例が看取された。中華民国までの「綺麗」について考察した結果は、衣飾や邸、宮廷などの建物の「華やかな美」から、「文章の華やかな風格」の意味まで看取されたことが分かる。また、民国の時代になると風景の美という意味も見られるようになった。

4.2 現代の「綺麗」

『北京大学中国言語学研究中心 CCL データベース』を利用し、「綺麗」の用例を抽出したところ、全 309 例のうち風景の用例は 95% も占めている。それは、衣飾の「華やかな美」は 0 例。邸、宮廷などの「華やかな美」は 0 例。寺や亭の「華やかな美」は 2 例。「文章の華やかな風格」は 12 例。「風景の美」は 292 例。また、4.1 の調査結果になかった「世界」「想像」「絵」の用例はそれぞれ 1 例ずつ看取された。

以上の「綺麗」の用例から分かるように、現代になると主に風景の美として扱われるようになった。特に邸、宮廷や衣飾などの「華やかな美」が看取されなかったことは、現代では古代宮廷のような建物、衣飾が見える機会は僅少であることが原因になる。

5. おわりに

本稿の考察を通じて、以下のことが分かるようになった。

日本語における「綺麗」は鎌倉時代から「衣服の華やかな美」の意味として初めて看取され、江戸時代になると、「清潔」のような意味もあり、遊女や役者のような者を介して人の容姿にも用いられるようになったことが分かった。そして、明治時代になっては「人間の容姿の美」「清潔」という意味のほか、「整っているさま」「出来事が見事であるさま」「残余のないさま」の意味としても用いられていた。

一方、今は「風景の美」として定着している中国語の「綺麗」は、古くも南北朝の時代から邸や宮廷の「華やかな美」の意味が看取された。唐になると「衣服の華やかな美」「文章の華やかな風格」という意味も見られた。五代十国の時代から中華民国

までの紀行文には「お寺」や「亭」の「華やかな美」の意味としての用例も出た。

以上のことから分かるように、建物、衣飾、風景など物の美しさという意味においては、日本語の「綺麗」と中国語の「綺麗」は重なっている。「綺麗」は「同形語の定義」の中の、日中同形語 O 語と見なせるわけである。

また、考察を進めている中には、日本語の「綺麗」は「衣服の美しさ」から多くの新たな意味に増加したことに対して、中国語の「綺麗」は意味項目が限られていることに興味を持った。中国語の「綺麗」は日本語と異なって動詞に用いられないことが原因だと推測するが、これは今後の課題にした。

引用文献

蘇文鑫 (2017) 「明治時代における「ウツクシイ」「キレイ (ダ)」の数量的考察」『現代社会文化研究』64、169-182 頁。

釜谷武志 (2021) 「漢魏晋の文学に見られる華と夷」(樺山紘一『岩波講座世界歴史』05 岩波書店)、207-225 頁。

ZHAN, Weidong, GUO, Rui, CHEN, Yirong, 2003, *The CCL Corpus of Chinese Texts: 700 million Chinese Characters, the 11th Century B.C. - present*, Available online at the website of Center for Chinese Linguistics(abbreviated as CCL) of Peking University, http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus

中国都市部女性の出産意識と子どもの価値の関わりについて

畢舜堯（奈良女子大学）

1. はじめに

中国における少子化は深刻の度を増している。中国国家統計局が公表した『中華人民共和国 2022 年国民経済と社会発展統計公報』によると、2022 年の出生数はわずか 956 万人で、2021 年より 106 万人も減少し、1949 年の中華人民共和国建国以来もっとも低い数値となった。少子化の原因として、適齢期女性人口の減少が指摘される一方で、女性の出産意識の低下も重要な要因であると考えられる。中国社会科学院が発表した「社会藍皮書：2022 年中国社会形勢分析と予測」（社会青書）によると、中国の合計特殊出生率が 2010 年の 1.5 から 2022 年には 1.1 までに大幅に低下している。また、18 歳から 49 歳の女性の理想の子ども数は 1.96 人から 2.0 人の間で安定している一方で、理想的な子どもの数と実際に出産した子どもの数との間に大きなギャップが存在している。その背景には、長期にわたって実施された「一人っ子政策」の影響がことと、既婚女性の出産意識の変化、および親にとっての子どもの価値の変化が関連しているとも考えられる。

本報告では、中国 2 地域での調査に基づいて、既婚女性の出産意識を、理想的な子どもの数、性別選好及び子どもの価値との関わりなどから考察する。

2. 先行研究の総括と本研究の課題

2.1 先行研究の概要

2.1.1 子どもの数に関する意識とその影響要因

中国では 1979 年以降「一人っ子政策」が実施されてきたが、この政策は 2016 年には全面二人子政策へ、2021 年から三人子政策へと大きく転換してきた。こうした政策転換にもかかわらず、中国の合計特殊出生率は低下し続けている。こうした背景もあって、近年、女性の出産意識及び出産行動の規定要因に関する研究が多く行われている。とくに「一人っ子政策」は農村部より都市部において厳しく実施されてきた

ため¹、先行研究では政策の影響を強く受けている都市部女性に注目を集めている。

子どもの数を抑制する要因については、経済的要因、とくに育児コスト高騰の影響（鄭真真，2009、韓雷，2016、靳永爱ら，2016）、母親のキャリアへの障害（蔣莱，2012、張晓玲，2016、常紅岩，2016）、「一人っ子政策」がもたらした意識の変化（龚德華，2009、趙翔蓉ら，2016）などがあると指摘されている。

2.1.2 子どもの性別選好意識とその影響要因

中国では「男児選好」の伝統があり、出生性別比が女兒より男児の方が高いというアンバランス問題が長期にわたって存在していた。2014年に全国の性別比は115.9対1であり、国連が定めた102～107という標準値よりも高い（中国統計局，2015）。

人々の意識の変化などの影響で、中国における男児選好意識は徐々に薄れてきている。特に、3人まで産める現在において、なお出生率が低下している背景には男児にこだわらないという性別選好意識の変化が関連している可能性がある。例えば、第1子が女兒である場合、第2児を産む可能性が高いとの調査結果がある（靳永爱ら，2016）。その影響要因について①伝統的な観念（「家を受け継ぐ」）意識の影響、②「経済的収益が多いから」と指摘されている（李思成，2017）。これと対照的に「一人目の子どもが男の子だから」2人目は女兒を選好するとする調査結果（李思成，2017）もあり、性別選好意識が薄れていることを示している。

2.1.3 子どもの価値

子どもの価値に関して、「家系を継ぐ」意識、「老後の介護」意識を持つ人ほどは、男児選好意識が強く、出産子ども数にも影響を与えることが指摘されている（玄龙男，1995）。子どもの「経済的価値」意識は出産子ども数と子ども性別選好に影響を与えることが明らかにされた。また、親の二人目の子どもの選好意識は女性自身の子ども意識に影響を与えうる（靳永爱ら，2018）。そのほかに、中国都市部における高学歴女性は他と比べて「親子体験をしたい」、「夫婦の絆を深めるため」と考える傾向がある。また、高学歴女性は二人目の子どもを産む理由として、「きょうだいがいると子どもの成長に有利である」という考え方の影響が挙げられている（周艳丽，2011）。

¹ 農村部における出産政策は一人目が女の子の場合、二人目が産めるという緩めな「一人っ子政策」が実施された。

2.2 先行研究の問題点と本研究の目的

上述のように、中国における出産意識に関する研究において、子ども数や子どもの性別に関する研究が数多く蓄積されている。しかし、女性の出産意識とその要因を尋ねる際、対象者の属性要因との関わりを解明することが多く、子どもの価値との関わりをテーマとした研究がまだ少ない。

本報告では、中国都市部での既婚女性を対象としたアンケート調査に基づいて、「子どもの価値」と女性の出産意識や出産行動との関連を明らかにすることを目的とする。

3. 調査研究

3.1 研究方法

本稿は、中国のオンライン調査会社「問巻星」を通じて 2023 年 2 月に実施した調査に基づいている。対象者は、中国遼寧省（314 件）と福建省（311 件）の 18～49 歳の未婚・既婚女性 625 件であり、本稿ではこのうち既婚女性票 316 件（遼寧省 158 件、福建省 158 件）を用いる。調査では、対象者の年齢、学歴、戸籍、職業、きょうだい数など、出産現状と理想的な子どもの数、また子どもを産む・産まない理由と「子どもの価値」などについて回答を求めた。

3.2 調査対象者の属性

調査対象者の属性は表 1 に示したとおりである

＜表 1＞ 分析対象者の基本属性（N＝316）

年齢	20・24 才	12	3.8%	学歴	中学校教育	4	1.3%
	25・29 才	70	22.3%		高校教育	24	7.6%
	30・34 才	134	42.7%		大学教育	274	86.7%
	35・39 才	57	18.1%		それ以上	14	4.4%
	40・44 才	21	6.7%	きょうだい数	0 人	117	37.0%
	45・49 才	20	6.3%		1 人	128	40.5%
戸籍	都市	217	68.7%		2 人	52	16.5%
	農村	99	31.3%		3 人以上	19	6.0%
職業	管理職	117	37.0%	初婚年齢	18・19 才	3	0.9%
	一般事務職員	112	35.4%		20・24 才	96	31.1%

専門技術職	43	13.5%		25-29 才	172	55.9%
商業・サービス業労働者	15	4.7%		30-34 才	34	11.0%
	13	4.1%		35-39 才	2	0.6%
フリー	7	2.2%				
肉体労働	3	0.9%				
私営企業主	2	0.6%		0 人	39	12.3%
学生	1	0.3%		1 人	208	65.8%
無職	1	0.3%		2 人	67	21.2%
そのほか	2	0.6%	子ども数	3 人	1	0.3%
わからない						

4. 結果と考察

「子どもの価値」に関する項目 14 項目について主因子法・Promax 回転による因子分析を行い、4 因子を抽出した。回転後の因子パターンと因子間相関は表 2 に示したとおりである。

第一因子は情緒的価値意識が向かう内容の項目が高い負荷量を示したため、子どもの「情緒的価値」と解釈できる。第二因子は 3 項目で構成され、「経済的価値」と解釈される。そして第三因子は「社会的価値」と解釈され、第四因子は「自我成長価値」と解釈される。

<表 2> 「子どもの価値」尺度の因子分析結果

	I	II	III	IV
①子どもは血の繋がった特別な存在	.792	-.043	-.095	-.042
②好きな人と子どもを持ちたい	.599	.049	-.094	.148
③子どもがいと生活が楽しく豊になる	.505	-.042	.095	.204
④子どもは将来の社会の支えとなる	.428	-.009	.280	-.005
⑤結婚して子どもを持つことは自然なこと	.424	.331	.059	-.060
⑥子どもは老後の支えになる	.141	.704	-.123	-.016
⑦子どもを多めに持つと将来の経済力になる	-.272	.641	.015	.183
⑧家計の継続することができる	.082	.595	.148	-.058
⑨子どもを持つことで周囲から認められる	-.149	.042	.701	.185
⑩夫や親など周囲が望む	.004	-.074	.673	-.111
⑪人間として社会的な責任である	.119	.182	.499	-.092
⑫子育てを通じて自分の友人が増える	-.057	.205	-.101	.621
⑬子どもとともに成長することができる	.259	-.137	.005	.590
⑭子育てを通じて自分の視野が広がる	.220	-.022	.018	.566

因子間相関	I	II	III	IV
I	—	.283	.437	.554
II		—	.665	.386
III			—	.547
IV				—

次に、属性要因の水準によって、各因子得点の平均値に有意差があるかどうかを確認した。

まず、属性要因との関わりについて、4つの因子のいずれについても因子得点の平均値には学歴による有意差がみられなかった。しかし戸籍については、農村戸籍の女性は都市戸籍の女性に比べて、子どもの「経済的価値」と「社会的価値」を重視する傾向が見られた。この結果は先行研究と一致する。いわゆる、農村戸籍女性の意識の中で「家系を継ぐ」や「老後の介護」の伝統意識はいまだに残っていると言える。

現在持つ子ども数については、有意差が見られなかったが、追加で持つ予定の子ども数が0人である女性は1人以上の女性に比べて「経済的価値」と「社会的価値」を重視する傾向が見られた。これは先行研究の知見と矛盾する結果であるが、子どもを持つことが社会的責任や経済的価値があると意識する人は、子育ての辛さを感じたため、子どもの出産に慎重になっている可能性があると考えられる。

ところが、理想の子ども数が1人のグループは2人のグループよりもすべての因子において、因子得点の平均値が有意に高かった。この背景については検討する必要がある。さらに、子どもの性別選好意識に関して、「一人しか産まない場合、男児がほしい」と回答したグループは「経済的価値」と「社会的価値」を重視する傾向が見られた。

そのほかに、子どもを一人しか産まず、かつ男児を欲しくない者は他に比べて子どもの「経済的価値」と「社会的価値」を重視する傾向があったのに対して、「子どもを一人しか産まず、かつ女児がほしい者は他のグループとの有意差がなかった。「経済的価値」と「社会的価値」意識が強い人は育児負担や苦勞を考量し、男児選好意識にこだわらなくなる推測できるだろう。

5. 結論と展望

本調査から、中国既婚女性の出産意識にはいまだに伝統的な子どもの価値観が一

定の影響を及ぼしていることが明らかにした。しかしながら、子どもを経済的な価値あるいは社会的な価値とみなすだけでなく、女性は子どもの情緒的な価値をますます重視するようになっている。

考察の結果から見ると、男児選好意識は「家系を継ぐ」など、子どもの経済的・社会的価値意識と逆な関係を持っていることがうかがえた。男児選好意識が薄くなっている現在においても、男児選好が維持されるメカニズムと女兒を選好する別のメカニズムの双方が存在する可能性がある。今後の研究では、性別選好意識の多元化に着目する必要があるだろう。

引用文献

- 李建新・駱為祥（2009）「出産意志の世代差分析—江蘇省事例」『中国農業大学学報（社会科学版）』26（3）：21-30
- 李培林・陈光金・王春光・李炜・邹宇春・朱迪（2022）『社会蓝皮书：2022年中国社会形势分析与预测（社会蓝皮书：2022年中国社会形势分析与预测）』
- 李思成・陶寄・何鸾英・何雨莲・陈怡依・张强（2017）「全面二孩_政策下成都市育龄妇女二孩生育意愿及影响因素研究」『现代预防医学』20:3706-3709
- 胡星（2022）「辖制与突破：新手妈妈的母职体验探究」修士論文
- 靳永爱・宋健・陈卫（2016）「全面二孩政策背景下中国城市女性的生育偏好与生育计划」『人口研究』40（6）：22-37
- 靳永爱・赵梦晗・宋健（2018）「父母如何影响女性的二孩生育计划—来自中国城市的证据」『人口研究』5:17-29
- 魏如鑫・吴宏洛（2022）「职业女性生育母职惩罚的困境与破解—兼论三孩生育政策的推动」『太原学院学报(社会科学版)』23（6）：10-18
- 宋健・陈芳（2010）「城市青年生育意愿与行为的背离及其影响因素—来自4个城市的调查」『中国人口科学』5:103-112
- 王俊祥（1990）「孩子的价值及对孩子数量、素质和性别的选择」『中国人口科学』2:60-62
- 王琪・崔云曦・林子力・杨帆・张咪（2017）「二孩生育影响因素分析」『魅力中国』19:34-36
- 玄龙男（1995）「延吉市朝、汉民族生育意识的调查」『延边大学学报（社会科学版）』4:104-106
- 赵翔蓉・孙肖雨・李银宝・王双・王贺・燕易菲（2016）「全面二孩政策对河北省城市80后生育意愿的影响研究」『青春岁月』12:476-477

- 周俊山・尹银・王树新・潘琴（2008）「拉萨市已婚育龄妇女的孩子价值观念分析--兼论妇女地位和生育文化对孩子价值的影响」『人口与发展』6:39-46
- 周艳丽（2011）「论影响城市知识女性生育意愿的社会因素」『安阳师范学院学报』3:141-143
- 郑真真（2009）「低生育水平下的生育成本收益研究—来自江苏省的调查」,『中国人口科学』2:93-102, 112
- 中国統計局（2016）「中华人民共和国 2015 年国民经济和社会发展统计公报（中華人民共和国 2015 年国民経済と社会発展統計公報）」（URL: https://www.gov.cn/xinwen/2016-02/29/content_5047274.htm 最終閲覧日:2023 年 8 月 13 日）
- 中国統計局（2023）「中华人民共和国 2022 年国民经济和社会发展统计公报（中華人民共和国 2022 年国民経済と社会発展統計公報）」（URL: http://www.stats.gov.cn/sj/zxfb/202302/t20230228_1919011.html 最終閲覧日:2023 年 8 月 9 日）

『朝日新聞』の事例からみる日本家族の介護意識の変遷

1980年～2019年のデータベースを中心に

李 東輝・饒 勝男（大連外国語大学）

1. はじめに

日本では、高齢化の進展と平均寿命の延長に伴い、後期高齢者の人口が増えている。また、1947～1949年までに生まれた「団塊世代」が75歳以上の後期高齢者となる2025年を機に、介護ニーズが更に拡大することが予測される。日本では介護制度が整備されているにも関わらず、家庭介護が介護の主なモデルで、家族が主な介護者である現実是不変である。従って、高齢者の老後生活を保障するために、家庭介護者の介護意識を明らかにする必要があると考えられる。

2. 先行研究の概要と本研究の位置づけ

2.1 先行研究の概要

2.1.1 家族介護意識に関する研究

日本における家族介護意識に関する研究が数多く蓄積されている。介護意識について、先行研究では社会介護への期待が高まっていることを指摘した（下山昭夫ら，2000、森口靖子ら，2000、木子莉瑛ら，2001）。また、介護負担感が重いことと、要介護者を介護する意識が前向きで積極的な態度であることを述べている（国武和子ら，2001）。そのほかに、介護意識は「脱制度化」¹というような変化があることを指摘した（井口高志，2010）。

介護者との関係について、配偶者の介護意識が高く、息子と嫁の伝統的な介護意識が強い（佐伯和子ら，1997）。また、嫁への介護期待が強かったが、娘への介護期待が高まっている（中西泰子，2007、渡辺千枝子，2008）。介護に対する充実感については、嫁が一番低く、娘よりも特に低い（森英里奈ら，2016）。一定期間の介護継続

¹ 家制度的な規範の強さから離脱すること。

後に、介護者が夫の場合、介護継続への不安感が高まり、介護者が娘の場合、介護への充足感と高齢者への親近感が高まったが、介護者が息子の場合、介護開始時と一定期間の介護継続後で変化がみられなかった（北本さゆりら，2020）。

介護者の介護意識をみると、女性は施設介護や社会的介護を希望する人が多く、男性は伝統的な男性規範によって配偶者を自分で介護したく、家族を頼るなどのような介護意識が顕著である（宮上多加子，2001、大和礼子，2008、水島洋平，2010、石橋郁子ら，2011）。

2.1.2 介護意識に影響を与える要因に関する研究

介護意識に影響を与える要因について、下記の2点にまとめられる。

①介護に関する成長観・満足感とコミュニケーション態度認知などの影響がある。まず、介護の過程で成長感や満足感などの肯定評価が介護継続意志に積極的影響を与える（山本則子ら，2002、梶原弘平，2007、北村美波ら，2008、有川まどか，2016）。また、介護者・高齢者のコミュニケーション態度と介護意識との関連について、ポジティブなコミュニケーション態度認知(介護肯定感)と介護意識は正の関係にあり、ネガティブコミュニケーション態度認知(介護負担感)と介護意識は負の関係にある（満田友美ら，2007）。

②社会サポートの有無の影響がある。ソーシャルサポートが介護者の介護継続意欲と正の関連性がある（櫻井成美，1999、澤田梢ら，2005、宮坂啓子ら，2014）。介護保険制度が、家族に施設志向を持たせることと、「できる限り自分たちの手で家族を介護すべきである」といった家族規範に変化を起こしつつある（高木修ら，2002）。また、特別養護老人ホームにおける入所者の家族意識について、施設への満足度が高く、看取りに不安はなく、自宅での看取りの希望は少ない傾向がある（小車淑子ら，2007）。介護保険制度の導入により「家族介護」と「社会介護」が共存するようになった（安勝熙，2012）。

2.2 先行研究の問題点と本研究の目的

先行研究を概観してみると、介護意識に関する研究成果が多く蓄積されたが、家族介護者の介護意識の変化とそれに及ぼす影響要因を取り上げた研究はまだ稀である。時代の変化と共に、家族介護者の介護意識がどのように変わるのか。変化があるとなれば、その変化に影響を与える要因は何があるのか。これらを明らかにする必要性が

ある。

2.3 研究方法

本研究は先行研究の現状を把握した上で、『朝日新聞』データベースの 1980 年～2019 年までの全分野欄で「介護意識」、「家族介護」および「家族介護者」などのキーワード検索を行い、そのデータベースに掲載された関連的事例の中で介護意識に関する情報が備えている 34 事例を抽出した。家族介護者を対象にして、女性介護意識、家庭介護意識および介護優先意識という三つの方面から家族介護者の介護意識を分析した。その上で、日本の白書などに載っているデータを参照しながら、通時的な視点から、1980 年から 2019 年までの日本における家族の介護意識の変化、特徴及びその深層の影響要因を明らかにする。

3. 事例からみる家族の介護意識の変遷

3.1 分析対象者の属性

表 3-1 分析対象者の基本属性(N=34)

性別	男性	9 人	26.0%
	女性	25 人	74.0%
介護開始の平均年齢	52.0 歳		
上位三位の続柄	娘	15 人	44.0%
	息子の嫁	9 人	26.0%
	夫	5 人	15.0%
上位三位の介護時間	5 年～10 年未満	13 人	38.0%
	1 年～5 年未満	11 人	32.0%
	1 年未満	3 人	9.0%
社会支援の有無	ある	17 人	50.0%
	ない	15 人	44.0%
	不詳	2 人	8.0%
職業の有無	ある	11 人	32.0%
	ない	16 人	47.0%
	不詳	7 人	21.0%

3.2 年代別からみる家族の介護意識

3.2.1 1980 年～1989 年：根強く存在している女性介護及び介護優先

『朝日新聞』データベースから抽出した 34 事例の中で、1980 年代の介護者は 5 名、全部女性である。続柄からみると、「嫁」が 60.0%と最も高く、「娘」が 40.0%を占めている。介護期間はほとんど「1 年～5 年未満」で、40.0%にとどまっている。この年代には介護サービスの利用はまだない。

女性介護特に嫁介護意識が根強く存在し、しかも介護は恩返しあるいは義務であるという介護意識が依然として強く存在しており、家族介護者は積極的に介護活動を行い、介護優先と考えることが明らかになった。

3.2.2 1990 年～1999 年：女性介護意識の義務性の揺らぎ

抽出した 34 事例の中で、1990～1999 年までの介護者は 11 名、そのうち、女性介護者は 91.0%と最も高く、男性介護者は 9.0%となっている。続柄別からみると、「娘」の割合が 64.0%で一番多く、次は 18.0%の「息子の嫁」で、「妻」と「息子」の割合が 1 割に満たない。介護期間は「1 年～10 年未満」に集中している。この年代には社会介護サービスの利用率は 27.0%となっている。

この年代には外部介護サービスの利用率が高くなってきたが、利用しない家族の割合が依然として高いことも明らかである。また、介護は嫁の義務であるという伝統に賛成する意識が薄れており、介護は当たり前のことであるという介護意識が動揺する傾向がうかがえた。そのほかに、介護期間の長さ、介護の疲れかつ苦しさのため、介護不満さらに介護放棄などの強烈なネガティブ感情が高くなる。これも女性による介護の義務意識に衝撃をもたらした。

3.2.3 2000 年～2009 年：家族の手による介護意識の低下

抽出した 34 事例の中で、この年代の事例は 8 事例である。そのうち、女性と男性の割合はどちらも 50.0%を占めている。要介護者との関係について、最も高いのは 50.0%との「夫」、次は「娘」と「息子の嫁」、どちらも 25.0%となっている。介護期間においては、「5 年～10 年未満」の割合が一番高く、50.0%を占めている。社会介護サービスの利用率は 75.0%に達した。

この時期には、男性介護者の増加は一つ顕著な特徴である。『基礎調査』によると、2000 年代には日本の要介護者と同居している主な介護者は配偶者の割合が 25.0%

前後に達した。また、家庭介護者の介護開始の年齢は一層上がり、介護期間も長くなる傾向がある。そのほかに、外部サービスを利用しながら家庭で介護する介護モデルを選択する者が多くなっている。つまり、家庭介護者の外部介護サービスを利用する意欲が高く、家族の手による介護の志向が弱くなっている傾向がうかがえた。

3.2.4 2010 年～2019 年：介護優先から自己優先へ

この時期の事例は 10 ケースである。そのうち、女性介護者は 60.0%、男性は 40.0% となっている。要介護者との関係について、最も多いのは「娘」(40.0%)、次は「息子」(30.0%)、第三番目は「息子の嫁」(20.0%) である。介護期間について、「5 年～10 年未満」に集中しているが、10 年以上の事例が多くなった。社会介護サービスの利用状況においては、不詳を除き、すべての介護者は社会介護サービスを利用し、8 割にとどまっている。

事例の中で、介護優先より自己優先という介護意識が強くなる傾向がみられる。

つまり、家庭介護は主に血縁関係がある実子による介護である。昔の嫁による介護より、気心の知れた肉親に介護を頼みたいという介護意識が強くなる傾向が明らかになった。また、家族の介護意識について、社会介護サービスの利用意欲が依然として高く、介護優先より自己優先という介護意識が顕著にみえる。

4. 家族介護意識に及ぼす影響要因

事例分析から分かるように、1980 年代から 2019 年まで、家族介護意識が大きく変化してきた。その影響要因として、下記の 4 点が挙げられる。

第一に、女性の地位の向上と、女性の社会進出の増加の影響である。

第二に、家族規模の変化により家族介護負担の重さの影響

第三に、介護保健制度導入などの日本福祉制度整備の影響

第四に、個人意識の変化の影響

5. おわりに

本発表は『朝日新聞』のデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」を用いて行った。事例分析により、日本における 1980 年代～2019 年までの家族介護意識の変遷とその影

響要因を明らかにした。しかし、分析に用いた事例が少ないため、得られた結論は偏っている可能性があると考えられる。今後、アンケート調査により得られたデータに基づいて分析する必要がある。

引用文献

- 安勝照（2012）「高齢者介護意識に関する一考察」社会学論考,12:31-35
- 有川まどか・原口芳博（2016）「介護がもたらす意識変容について:経験への意味の付与に着目した自己成長感」福岡女学院大学大学院紀要,13:1-7
- 井口高志（2010）「支援・ケアの社会学と家族研究:ケアの「社会化」をめぐる研究を中心に」家族社会学研究,22(2):165-176
- 石橋郁子・井上理絵・松居紀九子・西井啓子（2011）「男性有職者の家族介護に関する意識調査」富山短期大学紀要,46:85-98.
- 小車淑子・松山郁夫（2007）「特別養護老人ホームにおける入所者の看取りに関する家族の意識」九州生活福祉支援研究会研究論文集[C],九州:九州生活福祉支援研究会
- 木子莉瑛・木原信市・梅木彰子・澤村美穂・下永田いづみ（2001）「中高年における家族の介護意識調査」熊本大学教育実践研究,(18):29-35
- 北本さゆり・黒田研二（2020）「高齢の女性を介護する介護者の心理状態とその経時的変化:息子・娘・夫の比較」人間健康学研究,(13):69-81
- 国武和子・古川秀敏・野口房子（2001）「高齢在宅療養者を介護する介護者の意識」県立長崎シーボルト大学看護栄養学部紀要:7-19
- 北村美波・西崎未和（2008）「在宅介護を継続している家族介護者が介護継続意欲を持つ要因」Bulletin of Kawasaki City College of Nursing,13(1):1-10
- 満田友美・児玉憲一（2007）「介護者・高齢者間のコミュニケーション態度と介護意識の関連」広島大学大学院心理臨床教育研究センター紀要,(6):67-74
- 宮上多加子（2001）「高齢者介護に対する認識:〈男女共同参画社会に関する県民意識調査〉結果からの分析」高知女子大学紀要,社会福祉学部編 50:63-72
- 宮坂啓子・藤田君支・田淵康子（2014）「認知症高齢者を介護する家族の介護肯定感に関する研究」老年看護学,18(2):58-66
- 森英里奈・上杉裕子（2016）「在宅における家族介護者の現状と課題」日本保健医療行動科学会

雑誌, 31(1):57-63

中西泰子 (2007)「若者の老親扶養志向にみるジェンダー:「娘」の意識に注目して」家族社会学 研究,19(2):45-57

梶原弘平・横山正博 (2007)「認知症高齢者を介護する家族の介護継続意向の要因に関する研究」日本認知症ケア学会誌,6(1):38-46

大和礼子 (2012)「介護する意識とされる意識:男女差が大きいのはどちらの意識か」関西大学社会学部紀要, 39(3):103-121

下山昭夫 (2000)「高齢者の扶養と介護の社会化」ミネルヴァ書房

佐伯和子・崎原盛造 (1999)「老親を介護する子どもの介護関係についての意識:沖縄の一農村において」札幌医科大学保健医療学部紀要, (2):9-16

櫻井成美 (1999)「介護肯定感がもつ負担軽減効果」心理学研究,70(3):203-210.

澤田梢・島津明人・鈴木伸一 (2005)「高齢者の在宅介護者における負担感と肯定的評価・ソーシャルサポートとの関連」広島大学大学院心理臨床教育研究センター紀要,4:110-117.

高木修・田中泉 (2004)「高齢者在宅介護における援助授受の実態と介護意識の解明:在宅介護に及ぼす家族形態の影響について」関西大学社会学部紀要,35(2):91-146

渡辺千枝子 (2008)「認知症高齢者を介護する嫁の介護意識の変容」日本看護研究学会雑誌, 31(4):75-85

山本則子・石垣和子・国吉緑・河原宣子・長谷川喜代美・林邦彦・杉下知子 (2002)「高齢者の家族における介護の肯定的認識と生活の質(QOL),生きがい感および介護継続意思との関連:続柄別の検討」【日本公衛誌,49(7):660-671

厚生労働省『国民生活基礎調査』<https://www.mhlw.go.jp/www1/toukei/ksk/htm/ksk051.html>

清末民国期における河南留学生研究

一名簿を中心に－

金 斑実（商丘師範学院）

1. はじめに

日本と中国とは海を隔てているが、政治的にも経済的にも切り離せない隣国であり、歴史的に大きな関わり合いがあった。日中関係史のなかで留学生交流分野は異文化交流、または国際交流の一部として早い時期から検討がなされてきた。先駆的な研究としては実藤恵秀著『中国人日本留学生史』を取り上げられる。また、大里浩秋・孫安石編『中国人日本留学史研究の現段階』は中国人留学史研究の動向をまとめたものであり、徐志民著『近代日本の中国留日学生政策史』は、日本が中国人留学生を受け入れるためにどのような政策を行ったかをマクロ的国際情勢と日中関係の中で、ミクロ的分析を行ったものである。近年の中国人留学史研究はその分析の範囲をより広げ、各分野に在籍した留学生を取り上げてきたが、河南出身の留学生研究については未だに不十分なところが多くある。そこで本稿では、河南籍に重点を置き、日本留学、河南の教育改革、河南籍留学生、帰国後の活躍などを網羅的に言及したい。

2. 日本留学

19 世紀末から 20 世紀初頭に至る一時期、他国の目には羨ましいほどの教育文化面での日中蜜月の時代があった。中国人による本格的且つ組織的な日本学習は日清戦争以降に始まったものである。日清戦争の結果、老大国たる清帝国は新興の日本という「東夷の小国」に打ち破れ、挙国上下驚愕し、以後「強敵を以て師と為す」という発想の元に、日本から欧米の科学的知識を輸入する手段として日本語を学ぶようになったのである。それまで日本の留学生や留学僧が中国にわたり、中国の文化や政治制度を学び、中国からも日本にやってくる交流使節があったが、それは日本を夷華の上下関係に位置付け、「中華帝国」の恩恵や威力を示すためのものであった。1896 年中国は日本に向けて第一陣の留学生十三名を送った。そしてこれ以後、日本に留学

するものが絶えず続き、しかも年々増加した。20世紀初頭には年に1万人を超える中国人留学生が来日し、「日本留学極盛時代」を現出した。初期の日本留学者は殆ど各省派遣の官費留学生で、唐宝鏐、金邦平、曹汝霖、陸宗輿、胡宗瀛、蔡鏐などがいる。彼等は何れも帰国後は勿論、在日期间中からはなばなしい活動を行い、中国社会文化の発展に貢献した。

3. 河南籍留学生

河南巡撫錫良は省内各府、州、県に学制に沿って学堂を設置するよう命令を発した。これによって河南の教育は新しい段階に入り、各レベル各種類の新式学堂は素早く発展できた。また、李時燦は河南優級学堂の総弁を兼任し、続けての教育改革を主張し、また『学務管見十六条』を制定し、新学を教授し、理科・博物・算術・外国語・格致などの科目の増設を提唱した。彼は、「師範学堂は各堂の始まりであり、最も重要である」と師範学堂の改革を特別に重視していた。1905年から1908年まで河南に各レベルの師範学校を116か所、その中で師範学堂2か所、初級師範学堂11か所、師範講習所103か所が設立された。彼はまた日本、米国と英国の学者を招き、直接外国語で理科などを教授させると同時に教材も外国原本を使わせ、外国語習得を促進させた。河南大学堂に氏家謙曹（当時理学士、後早稲田大学教授）と三宅喜代太（通訳、北京東文学社出身）、河南優級師範学堂に飯河道雄（東京高等師範学校）、華英女子学校に高山アイ、小松崎武司（詳細不明）が記録に残されている。また、多額の予算を投じて留学生を学堂の教師として招くが、その数は教師の人数の三分の一に達した。河南高等学校は後に法政大学出身の比太昌が監督を、中央大学出身の王印川が教務長を担当していた。このように、清末新政時期の教育改革によって河南に於いても各種学堂が設立された。中学堂では一つの外国語を高等学堂では二つに外国語の習得が要求されていた。

4. 河南籍留学生

河南省は最初、青年の留学を勧めなかった。その理由として「中国は留学生が一人多くなれば革命党も一人多くなるから、留学生を外国に送ることはない」と、青年の革命思想の影響を受けることによって地方乃至清朝の統治を脅かすことを恐れた

こと、河南は中原地域で内陸に位置し、外国資本主義の影響が小さく、情報に疎く、気風がよくないことである。しかし、1903 年以降河南省も留学生を派遣し始めた。1904 年「日本に留学生しているものは全省ただ十九人で、大半は他省から派遣し、私費生も朝の星のように少ない」、1905 年日本に留学している官私費生は二十名にも及ばず他省に比べれば差が大きい。1906 年「河南武備学堂の廃止に伴い、その中から 50 名を選んで日本に赴き、振武、成城の二つの学校に入って軍事を学び…」、1907 年公費生 60 人、1908 年 92 人である。1906 年の調査によると、河南省官費留学生の中で、普通科 50 人、速成師範科 18 人、警察科 7 人、農科 1 人であった。殊に、1905 年に河南の進歩的な教育家である李時燦が河南学務公所の議長になり、特に日本留学を積極的に勧めていた。先述の河南武備学堂の学生 50 名が東京に着いたところで、孫文が面会した。この後、中国同盟会の河南出身の曾紹文の紹介で 3 名の留学生が同盟会組織に入り、河南分会を設立した。1907 年に『河南』（月刊、東京に於いて第 9 号まで出版された）という雑誌を刊行し、開封で「大河書社」を設立し、書籍と雑誌の発行を担当した。1909 年、国費留学生が 51 名、1910 年には 47 名に減少し、1916 年、官費私費合わせて日本留学生数は 47 名であった。

留学生が学習した内容は清末新政期の改革と密接な関係があり、社会現実の需要と留学生の先進的な知識を以て国を救おうとする強い気持ちの表れである。

5. 帰国後の活躍

留学生達は帰国後社会の近代化に大きな力を発揮した。河南省の高等教育の発展を推進すると同時に、学校を設立し、教員養成課程を設置し、地方教育の発展に貢献した。政治分野では、彼らは積極的に同盟会に参加し、孫文の指揮の下で革命活動を行い、思想解放と政治革新に貢献した。また、工業の発展に尽力した留学生もあり、河南省の経済発展に貢献した。

5.1 革命に関わった人

張鍾端(1879-1911)、許州（現在は許昌）人で、1905 年に日本に留学し、最初は宏文書院、その後、中央大学で法政を専攻し、後に中国同盟会に加入した。1907 年、日本にいた河南省出身の同志とともに『河南』を創刊し、総責任者として革命を主張した。1911 年、武昌蜂起が勃発し、孫文の指示により開封に戻り、河南省の軍事政

府の総司令官と参謀長に選出され、河南独立を企画したが、失敗で捕まれてしまい、1911年12月24日に犠牲になった。

5.2 政治に関わった人

劉積学（1880-1960）、新蔡出身、1904－1905年武備学堂で学び、1906年に日本へ留学、軍事学校に入学する予定であったが、身体が弱いため、実業学堂で学び、後に東京法政大学で政治科を学んだ。その後、河南同盟支部書記、支部長を代行し、『河南』雑誌編集長などを歴任し、辛亥革命で活躍した。後に国民党の元老院議員、立法委員、河南省元老院院長などを歴任し、1949年3月に信陽で反乱を起こした。1949年9月の新中國共産党委員会会議と建国式典に招かれ、華中・華南軍事政治委員会委員、河南省人民政府委員、全人代代表大會協議委員会副主席、中國共産党委員会省委員会副主席などを歴任した。1960年11月12日に病で逝去した。

5.3 教育に関わった人

王拱璧（1886-1976）は、孝武堂生まれ、原名は璋である。1913年、早稲田大学教育課科に留学し、1918年に帰国した。故郷に戻り、有能な若者を招き、故郷の孝武堂を「自治村」に変えた。教育から始め、自衛団を組織し、青年自治会を設立した。1920年7月9日、彼は村の崇石小学校を青年公立学校に変え、村民集会を開き、孝武堂を「青年村」に変え、「村事務所」と「調停所」を設置した。数年にわたる努力の末、学校は徐々に成長・拡大し、生徒総数は700人を超えた。留学生であった王拱璧氏が創設した一連の教育プログラムが、この地域で多くの有用な人材を育成し、他地域の教育建設に模範を示したことは明らかである。

5.4 実業に関わった人

杜巖（1875-1938）、1904年に漢林院に選出され、1905年に法政大学に留学した。1908年帰国後、漢林院の編集委員に任命され、河南省に向かって協議局への準備を進めた。1909年に河南省協議局議長に選出され、その後、河南省民政局長、河南省総督府書記、河南省第二代衆議院議員などを歴任した。また、「河南欧米留学予備学校」設立にも積極的に協力し、多くの留学生を海外に送り出した。イギリス人の鉞業権侵略に対抗するために1906年冬、日本に滞在した河南省留学生の代表として、上海の河南省留学生代表や世界各国の有志とともに、開封で鉞山権を回収する会議を

開き、「鉍業研究会」を設立した。鉍業権争奪戦の末、杜巖と金發輝は「中州会社」を組織した。間もなく、「中州」と他二社を「中原公司」に合併してイギリス人の「福公司」に対抗することになり、杜巖が董事長に選出された。1911年、杜巖は先手を打って資金を調達し、宏豫源鉄鋼会社を設立した。また、『光豫鉄会社』を設立して様々な鉄鉍石鉍山を占領した。『宏豫鉄公司』は当時河南省最大の製鉄企業であったが、軍閥の影響でその年の9月14日、会社は閉鎖された。『宏豫鉄公司』は生産を停止したため、杜巖は大打撃を受け、以後故郷に戻り、政務を拒否して教育や郷土史編纂に従事した。杜燕は博愛県教育委員会委員長、第一小学校理事長、博愛県県誌館館長などを歴任した。「廬溝橋事件」が勃発し、杜巖は病気で家族と一緒に汝南、漢口、重慶へと移転し、最後に、国の衰退を痛み、心配し、極端な悲しみの末、重慶で1938年秋に63歳で逝去された。

6. おわりに

河南省は中原地域に位置し、封建制度下で自然災害が頻発し、経済発展も遅れているため、留学規模も他の省には及ばなかった。しかし、清朝末期から日本など諸外国へ次々と留学生を送り出し、一定規模の留学群体を形成してきた。河南省の日本への留学生は、初期には軍事、法政、教員養成を中心に学習し、後期には文科系に限らず、留学専攻も多様化していった。彼らは帰国後河南省の高等教育の発展を推進すると同時に、学校を設立し、教員養成課程を設置し、地方教育の発展に貢献した。政治分野では、彼らは積極的に同盟会に参加し、孫文の指揮の下で革命活動を行い、思想解放と政治革新に貢献した。また、工業の発展に尽力した留学生もあり、河南省の経済発展に貢献した。

このように、留学生群体は近代の社会とともに成長し、学んだ先進的な科学と文化知識を生かして社会に貢献し、時代の変化に合わせて様々な面で社会の発展と進歩を促進したのである。

引用文献

実藤恵秀（1962）『中国人日本留学生史』東洋文庫

大里浩秋・孫安石（2002）『中国人日本留学史研究の現段階』御茶の水書房

徐志民（2020）『近代日本の中国留日学生政策史』中国社会科学出版社
河南地方史誌编纂委员会、河南省档案馆（1990）《河南新誌》（上）中州古籍出版社
任修高（1985）『荊陽県科技誌』荊陽県科技誌編者小組

台湾阿里山ツォウ族の珈琲栽培の歴史と課題

菅 陽子(総合研究大学院大学大学院生)

1. 本報告の目的

台湾の人口は 2023 年 1 月現在約 2357 万人である。その割合は本省人(約 86%)、外省人約 12%、そして原住民¹は約 2%であると公表されている。

台湾政府に公的に認められている原住民部族は 16 ある。その中の 1 つ、ツォウ族は、主には嘉義県阿里山中の達邦社、特富野社に居住しているが、南投県、高雄県にも分布は広がっている。ツォウ族の人々は、他の原住民と違い、日本統治時代においても、日本政府との間で比較的平和的な交流が保たれていた²。その理由は、第一に、日本人が初めて阿里山に到着した際、彼らはツォウ族の部落の許可を得てから入山していたこと、第二に、ツォウ族の人々は日本人を洪水伝説の後にツォウ族と分かれた兄弟である瑪雅族(Maya)と見なしていたため³、と言われている。阿里山をはじめ山中で暮らす原住民は「高地原住民」と称され、平地で暮らす原住民は「平埔族」と称されている。ツォウ族は高地原住民である。

ツォウ族は阿里山中において、狩猟、採集、農業を営み、閉鎖された自給自足の共同体社会を形成していた。日本統治政府(台湾総督府)は、台湾各地に交易所を設置し、各地に派遣された警察官がその管理運営に当たった。警察官は管轄する村落の原住民に薪、薬草、織物等を集めて、交易所に持ってくるようにと周知し、交易所において日本から台湾に持ち込まれた鍋釜、玩具などと交換した。このことにより、ツォウ族の中に物々交換経済が持ち込まれた。また、商品作物生産(養蚕、米作)が奨励、指

¹ 台湾では「原住民」と用語が定着しており、現地での呼称を尊重するため、本文では「原住民」という表記を採用する。なお台湾国語においては「先住民」は既に滅んだ民族と意味になる。

² ツォウ族の高英傑氏の話によれば、小さな意見の衝突はあっても、他の原住民で起こった抗日運動のようなことはなかったという。

³ 台湾の原住民の間では、日本人を「Ripon」と呼ぶのが通常であるが、ツォウ族は現在でも日本人を「Maya、マーヤ」と呼ぶ。巴蘇亞・博伊哲努(浦忠成)(1993)によれば、当時の日本人が意図的にその伝説を作ったという可能性がないわけではない。

導された。

1910 年代(大正時代)になると、商品作物として珈琲栽培が推奨され、台湾産の珈琲が大正天皇に献上品として生産されるようになった。日本の統治が終わった後、外国産の安価な珈琲が市場に出回り、台湾産の珈琲の生産は減少していったが、台湾大地震後、台湾政府の奨励により珈琲の生産が復活した。阿里山ツォウ族の間でも珈琲栽培が再開された。阿里山ツォウ族の生産する珈琲は阿里山珈琲、無農薬自然農法珈琲として評価されているが、生産量が少なく手間をかけているため高価であるという課題がある。筆者は、阿里山珈琲を日本でプロモーションするため、金融工学を用いた実証実験を始めた。本報告はその概要を紹介することを目的としている。

2. ツォウ族の珈琲農園

ツォウ族の主要な農地は阿里山中にある。阿里山は 2,000 メートル級の山々の山脈であり、急峻な土地が多い。ツォウ族はこうした山中に長い時間と労力をかけて、必要な農地を開墾してきた。ツォウ族の珈琲農家である陳清龍氏は 3,000 本以上のアラビカ種の珈琲木を栽培している農家であるが、その珈琲園は急峻な山中にある。陳氏の珈琲畑は、土砂の流出を防ぐための石垣で囲われている。大きな岩が積み重ねられた石垣により作られた農地が達邦社、特富野社の周辺に多く見ることができる。

こうした農地の開墾は、単独の農家では不可能なことであり、共同作業が必要とされる。ツォウ族における農地の開墾は共同で行われてきた。重機を使うことが可能な現代では、単独の農家で農地を開墾でき、そうした珈琲農家(浦家)もあるが、歴史的には、共同体が農地開墾に大きな力を発揮した。

3. 台湾珈琲の歴史と課題

台湾に珈琲栽培が伝来したのは、オランダ統治時代(1624-1662 年)と言われているが、その証拠資料はない。確かな説とされているのは、1884 年にイギリス商人がマニラからアラビカ珈琲を輸入したのを初めとするものである。日本統治時代の 1902 年には、台湾南端の恒春に設立された熱帯植物殖育場において、珈琲の試験栽培が始められた。またその頃、日本の小笠原からの珈琲種子も持ち込み栽培された。

台湾珈琲は、1915 年には大正天皇に、1928 年には昭和天皇に国産珈琲として献上

された。1945 年以降、生産量は減ったが、1999 年に台湾で発生した 921 大地震の復興事業として、台湾政府が珈琲の栽培を奨励したことが大きな成長につながった。阿里山においては、自然農法による高品質な珈琲栽培が実践され、持続的な改善と進化により、国際コンテストで賞を獲得できる珈琲栽培ができるようになった。阿里山珈琲は、台湾国内でも高く評価されており、固定客が定期的に購入しているが、高品質の少量生産のため高価で、例えば陳清龍氏の珈琲豆はナチュラル⁴が 2,500 台湾ドル/430 グラムである(2023 年現地買付価格)。日本では阿里山珈琲はあまり知られておらず、高価でもあることから、日本で阿里山珈琲をプロモーションするためには、低い認知度と価格差課題を解決しなければならないと筆者は考えた⁵。

4. 金融工学を用いた課題解決と実証実験

そこで筆者は、阿里山珈琲が直面する課題解決のために、デジタルコイン eumo を阿里山珈琲に適用する実証実験を始めた。デジタルコイン eumo は、ビットコイン等の暗号資産(仮想通貨)とは違う電子マネーの一つである。この実証実験は、株式会社 eumo Ltd.、国際ビジネスアライアンス株式会社 International Business Alliance Ltd. (IBA)、合同会社 eumo-House が参加している。デジタルコイン eumo は、このうちの 2 社(eumo Ltd. IBA Ltd.)の株主に配当金として配分され、彼らは eumo-House(神奈川県藤沢市)において提供されている阿里山珈琲を一杯 50eumo で飲むことができる(eumo 所有者は eumo House で販売されている Eumo Ltd.の株主企業の商品とも交換可能である)。この仕組みにより、eumo を配当金として分配された人々によって新しい市場が形成されていると考えることができる。この市場で販売されている商品価値は、eumo 所有者により決定されており、通常の管理通貨による市場からは隔絶されている。したがって、阿里山珈琲は市場で取引されている他の珈琲と価格競争をしない。このことにより、阿里山珈琲の課題である市場での価格競争を解決することが可能であり、阿里山珈琲を購入する人々は、その品質、自然農法による生産、ツォウ族の共同体による経営等の価格以外の価値を評価することにな

⁴ 果肉が付いたままの珈琲チェリーをそのまま乾燥させ、その後脱殻させたもの。

⁵ 2022 年 2 月に福島県のカフェ店にて自称珈琲通の日本人 6 名(男 4, 女 2)に、阿里山珈琲の試飲、阿里山森林蜂蜜の試食会を実施し、その後、阿里山珈琲、蜂蜜の価格などについてアンケートに回答してもらった。原価で珈琲一杯 1,000 円程度になることについて、納得させるための何らかの工夫が必要というコメントが複数見られた。

る。

デジタルコイン eumo の有効期限は、日本における法律により 3 か月としている。この期限内に使われなかった eumo は失効することになるが、失効した eumo は一定の基準により再配分される。このことについて、eumo を配当として受け取る株主は理解している。その理解は、Pay Forward(恩送り)を基本理念としている。需要と供給による等価交換価格から商品の潜在価値による不等価交換価値の市場が形成され、品質、自然農法、共同体を価値基準とする市場が形成されることを筆者は期待している。

5. 結論

本報告では、台湾阿里山ツォウ族の珈琲生産者が直面している課題を金融工学の手法を援用することにより解決するための実証実験を実施し提示した。そのためにデジタルコイン eumo を使用した阿里山珈琲のプロモーションを実施した。結論として、eumo・House で提供される阿里山珈琲は、既存の市場で決定される等価交換価値ではなく、品質、農法、共同体による生産方式がその価値(共感価値)を形成することの含意を得た。

参考文献/Digital Collection

臺灣總督府民政部蕃務本署(1931)『理蕃概要』大正元年 12 月編纂、国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/3459024> (参照 2023-08-19)

鈴木質(1932)『台湾蕃人風俗誌』理蕃の友發行所、国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/3462712> (参照 2023-08-19)

台湾総督府熱帯産業調査会(1935)『熱帯産業調査会調査書 珈琲』殖産局農務課

三好晴氣(1939)『臺灣ノ特用作物』嘉義市加土印刷所

巴蘇亞・博伊哲努(浦忠成) (1993)『臺灣鄒族的風土神話』臺原出版社

林えいだい(1995)『台湾植民地統治史 山地原住民と霧社事件・高砂義勇隊』梓書院

Paul D. Barclay(2005)「蕃産交易所に於ける「蕃地」の商業化と秩序化」『台湾原住民研究』9、70-109、日本順益台湾原住民研究会

宮岡真央子(2012)「<番租>を介した民族像——台湾原住民族ツォウを事例に——」『国立民族博物

- 館調査報告』104、75-87、国立民族博物館学術情報リポジトリ <http://doi.org/10.15021/0000932> (参照 2023-08-19)
- 陳穎禎・青井哲人(2016)「清末から日本植民地時期までの台湾阿里山地域における蕃産品交易所に関する研究 交換事業者劉闊の活動を中心に」『日本建築学会計画系論文集』81(722) 1059-1067、日本建築学会
- 前野隆司(2013)「幸せのメカニズム 実践・幸福学入門」講談社現代新書
- 榊正壽(2017) Corporate performance and social indicators in Japan: focusing on Return on Equity. *Proceedings of 29th Asian-Pacific Conference on International*
- 新井和宏(2021)「共感コミュニティ通貨「eumo」の取組み」『地域×金融で未来を拓く』34(4) 71-75、金融財政事情研究会
- University of South Carolina. Moving Image Research Collections (1930) “Formosa aborigines—outtakes” Fox Movietone News Story 5-427, <https://digital.tcl.sc.edu/digital/collection/MVTN/id/487/rec/3> (参照 2023-08-19)
- University of South Carolina. Moving Image Research Collections (1930) “Taiwanese roller coaster—outtakes” Fox Movietone News Story 5-701, <https://digital.tcl.sc.edu/digital/collection/MVTN/id/517/rec/6> (参照 2023-08-19)

日本の知的障害者向け「わかりやすい」情報提供

ー4 字以上漢字列の置き換えストラテジーを中心にー

孫蓮花（大連理工大学）

1. はじめに

日本では知的障害者向けの「わかりやすい」情報提供サービスが政府機関、「全国手をつなぐ育成会連合会」などの民間団体によって積極的に推進されており、それに関する研究も盛んに行われている。このような日本の知的障害者向けの言語サービスの普及と経験は、中国にとっても、有意義な参考になれると考えられる。

本研究では、日本の知的障害者向けの「わかりやすい」情報提供の言語表現を調査し、主に4字以上の漢字列について、どのような「わかりやすさ」のための置き換えストラテジーが使われているのかを明らかにする。

2. 先行研究

武藤ら(2010)、羽山(2017)などでは、政府刊行物の知的障害者向けの「わかりやすい」版の言語的特徴を考察し、「1文の長さ」「漢字の量とふりがな」「主語」「文の分割」「名称等の表記の統一」といった面で一般向け版より分かりやすくなっていることを明らかにした。及川ら(2014)などでは、知的障害者向けの新聞『ステージ』の記事と『毎日新聞』の記事を比較分析し、『ステージ』の方が『毎日新聞』よりも漢字や長い漢字列が少なく、サ変名詞や数詞の使用割合が低く、並列の接続詞の使用割合が高いことを指摘している。打浪ら(2016)では、在日外国人向けの「やさしい日本語」によるNHK「NEWSWEB EASY」の記事と『ステージ』の記事を比較分析し、『ステージ』では難解語彙である福祉用語が多用されていることを明らかにした。

諸先行研究の知見は、知的障害者向けの新聞や政府刊行物の「わかりやすい」版の言語的特徴を把握する上で有益なものであるが、漢字列などをどのように置き換えているのかについての考察はまだ十分になされているとは言い難い。

3. 「分かりやすい」版の漢字列の置き換えストラテジー

本研究では、大阪府自治体が提供している『令和3年大阪府障がい者支援計画』¹の「わかりやすい」版と「一般向け」版を調査対象とした。

まず、「わかりやすい」版が、「一般向け」版に比べ、どれぐらい分かりやすくなっているのかを調べ、次に、漢字列の置き換えストラテジーを考察する。

3.1 リーダビリティ・スコアと漢字難易度

本研究では、「わかりやすい」版の難易度を考察するために、「日本語リーダビリティ測定ツール (ver.0.2)」を使って、リーダビリティ・スコアと漢字難易度の角度から、「一般向け」版との比較分析を行った。

「日本語リーダビリティ測定ツール」とは、柴崎秀子チームによって開発された日本語文章の読みやすさを測定するツールであり、文章の学年レベル判定だけでなく、学年レベルによって漢字難易度を判断し、各レベルの漢字の使用数を測定することができる。

表1は「わかりやすい」版と「一般向け」版のリーダビリティ・スコアの算出結果である。表1から見ると、「わかりやすい」版のリーダビリティ・スコアは8.33で、「一般向け」版(12.78)より低いため、「わかりやすい」版のほうが難易度が低く、分かりやすいことが分かった。

表1 「わかりやすい」版と 「一般向け」版のリーダビリティ・スコア

項目	「わかりやすい」版	「一般向け」版
リーダビリティ・スコア	8.33	12.78

表2 漢字の各レベルの測定結果

漢字レベル (学年対応)	「わかりやすい」版	「一般向け」版
L1	20.3%	8.3%
L2	19.8%	18.2%
L3	19.1%	23.5%
L4	17.0%	14.2%
L5	6.1%	13.9%

¹ <https://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/cmsfiles/contents/0000530/530735/wakariyasui0624.pdf>

L 6	9. 0%	10. 6%
L 7	2. 2%	5. 4%
L 8	2. 3%	3. 7%
L 9	1. 7%	1. 3%
L 10	2. 4%	0. 9%

表 2 は、「わかりやすい」版と「一般向け」版の漢字難易度の測定結果である。表 2 をみると、「わかりやすい」版では、L1 と L2 の小学校低学年の漢字使用率が 40.2% で、「一般向け」版より高い (26.5%)。一方、L3～L9 漢字使用率は、「一般向け」版より低く、「わかりやすい」版では難易度が低い漢字を使う傾向がある。

ただし、L10 では、「分かりやすい」版の漢字の使用率が「一般向け」版より高く、詳しく調べた結果、「分かりやすい」版では「阪(大阪)」、「頃(早い頃)」、「叩(叩く)」などが使われており、「一般向け」版では、「捗(進捗)」、「繫(繫がる)」などが使われている。

一方、「わかりやすい」版では、全ての漢字にルビが付けられていることが「一般向け」版と明らかに異なっている。

3.2 4 字以上の漢字列の使用実態

厚生労働省の『わかりやすい情報作成ガイドライン』では、漢字の難易度の他に、「漢字が 4 つ以上連なることばは避ける」とされているため、4 字以上の漢字列使用についての考察を行った。

まず、4 字以上の漢字列を数えた結果、「わかりやすい」版では、4 字以上の漢字列が 24 列で、総計 37 回使用され、最も多く使用された漢字列は 3 回、2 回以上使用された漢字列は 11 列であった。一方、「一般向け」版では、4 字以上の漢字列が 309 列で、総計 445 回使用され、最も多く使用された漢字列は 16 回、5 回以上使用された漢字列は 9 列であった。表 3 は、「一般向け」版と「分かりやすい」版の 4 字以上漢字列の使用頻度上位 10 列をまとめたものである。

表 3 4 字以上漢字列リスト (使用頻度上位 10)

「一般向け」版	頻度	「わかりやすい」版	頻度
地域生活	16	精神科病院	3
関係機関	10	障害者基本法	3

支援体制	10	地域自立支援協議会	2
地域移行	6	児童福祉法	2
精神科病院	5	基本的人権	2
社会参加	5	旧市営交通	2
施設入所者	5	文化活動	2
障害者差別解消法	5	障害者差別解消法	2
障害者基本法	5	障害者権利条約	2
大阪市障がい福祉計画	4	障害者総合支援法	2

3.3 4字以上の漢字列の置き換えストラテジー

「一般向け」版に使われる4字以上の漢字列を、「わかりやすい」版では他の言葉に置き換えており、その置き換えストラテジーについて調査した結果を、表4にまとめた。

表4をみると、5種類の置き換えストラテジーが使われているのが分かる。

表4 置き換え種類の統計表

置き換えストラテジー	比率
(1) 移植	24.3%
(2) 和語使用の説明文	39.2%
(3) 日常生活語彙	27%
(4) 簡単な要約文	4.1%
(5) 一部省略	5.4%
総計	100%

(1) 移植

表5は、「一般向け」版で使われている4字以上の漢字列が、「わかりやすい」版で「移植」、つまりそのまま使われている用例をまとめたものである。

表5 「移植」の例

整備要綱	福祉施設
障害者総合支援法	児童福祉法
障害者基本法	令和3年大阪市障がい者支援計画
障害者差別解消法	大阪市障がい福祉計画
文化活動	大阪市障がい児福祉計画

手話言語条例	基幹相談支援センター
生活支援	地域自立支援協議会
精神科病院	就労移行支援事業者
個人情報	基本的人権

表 5 を見ると、これらの漢字列は全部『障害者基本法』など法案や計画、他の政策で多用されている専門用語であり、法案や政策を説明する際に必要な専門用語であるため、4 字以上の漢字列をそのまま使っていると考えられる。

(2) 和語使用の説明文

例 1

「一般向け」版：生活支援

「わかりやすい」版：生活を手伝う

例 2

「一般向け」版：差別解消

「わかりやすい」版：差別をなくして～

例 1 と例 2 のように、「一般向け」版の「生活支援」や「差別解消」が、「わかりやすい」版では「生活を手伝う」「差別をなくして」のように和語を使って分かりやすく説明した短文に置き換えられている。このように和語使用を増やし、漢字使用を減らすことにより、文章の難易度を下げ、理解しやすくしているのが分かる。

(3) 日常生活語彙

例 3

「一般向け」版：医療機関

「わかりやすい」版：病院

例 4

「一般向け」版：基本理念・基本指針

「わかりやすい」版：考え方

例 3 と例 4 では、「一般向け」版の「医療機関」「基本理念・基本指針」のような公式場面でよく使われている漢字列を、「わかりやすい」版では「病院」や「考え方」

といった日常生活でよく使われる語彙に置き換えることで、言葉を分かりやすくしていると考えられる。

(4) 簡単な要約文

例 5

「一般向け」版：重症心身障がい、重度・重複障がい、高次脳機能障がい、強度行動障がいや発達障がいのある人などの、多様なニーズに対応していくために…

「わかりやすい」版：障がいの状況はそれぞれ違います。それぞれに合った方法で手伝うことができますようにします。

例 5 のように、「一般向け」版では障害者のタイプを表す専門用語が使われているが、「わかりやすい」版ではこれらの障害者のタイプを表す漢字列を短文に要約し、分かりやすく且つ簡単に伝えていると考えられる。

(5) 一部省略

例 6

「一般向け」版：芸術・文化活動（スポーツ活動や芸術・文化活動）

「わかりやすい」版：スポーツ・文化活動

例 6 では、「一般向け」版の「芸術・文化活動（スポーツ活動や芸術・文化活動）」を、「わかりやすい」版では、「スポーツ・文化活動」のように一部を省略して、その意味を伝えている。このように一部省略することによって、読み手の長い文による理解力低下を減らすことができると考えられる。

4. まとめ

本研究では、日本の知的障害者向けの「わかりやすい」情報提供において、4 字以上の漢字列の「わかりやすさ」のために、どのような置き換えストラテジーが使われているのかを考察し、以下のことを明らかにした。

まず、「わかりやすい」版は、「一般向け」版に比べ、読みやすくなっており、難易

度が低い漢字を使う傾向があることが分かった。

次に、「わかりやすい」版は、「一般向け」版に比べ、4字以上の漢字列の使用率が低く、その使用を避けていることが分かった。

最後に、「一般向け」版の4字以上の漢字列については、「わかりやすい」版では、「移植」「和語使用の説明文」「日常生活語彙」「簡単な要約文」「一部省略」といった置き換えストラテジーを使うことによって、文章の難易度を下げ、分かりやすくしていることが明らかになった。

参考文献

羽山慎亮 (2010). 「活字情報バリアフリーにおける漢字の関わり メディア学—文化とコミュニケーション—」 25, 10-34.

及川更紗・大塚裕子・打浪(古賀)文子 (2014). 「知的障がい者を対象とした文章のわかりやすさの解明—季刊誌「ステージ」を対象に—」 電子情報通信学会技術研究報告, 114(189), 1-6.

打浪(古賀)文子 (2014). 「知的障害者への「わかりやすい」情報提供に関する検討—ステージ」の実践と調査を中心に—」 社会言語科学, 17(1), 85-97.

羽山慎亮(2017). 「政府刊行物の「わかりやすい版」の言語的特徴—知的障害者が制度を理解するという観点による考察—」 社会言語科学, 20(1), 146-160.

長崎県外海町の潜伏キリシタンをめぐる考察

滝澤修身（長崎純心大学）

1. はじめに

私は、外海町の潜伏キリシタンとカクレキリシタンの信仰生活および信仰用具の調査を行っている。実際に隠れキリシタンの末裔の方々に聞き取り調査を行い、彼らの信仰生活や信心用具について調査を行っている。今回の発表では、これまでの調査によって得た成果について、若干報告したい。

2. 潜伏キリシタンとカクレキリシタン

フランシスコ・ザビエルは、1549年に鹿児島に上陸し、キリスト教の布教を開始した。彼とその後任者たちの努力の結果、西日本にキリスト教の教えが拡大していった。日本におけるキリスト教の中心地は、長崎であった。急速なキリスト教の拡大に危機感を感じた豊臣秀吉は、1587年に伴天連追放令を發布した。しかし、莫大な利益をもたらす南蛮貿易への興味から、この追放令は、実質的に、それほどの効力を有さず、17世紀初期にはキリシタンの数は、およそ30万人までに拡大した。その存在が幕府勢力の発展の妨げになると感じた徳川家康は、1614年にキリスト教の信仰を完全に禁ずるに至った。1644年には、日本人最後の司祭小西マンショがこの世を去り、日本にキリスト教宣教師は誰一人存在しなくなった。

しかし、長崎周辺の多くのキリシタンらは、仏教徒を装い、秘密裏にキリスト教の教えを守り抜いた。彼らは、「潜伏キリシタン」と呼ばれる。（旧来の研究では彼らは、「隠れキリシタン」と呼ばれることもあった。）その潜伏キリシタンらは、長崎の大浦天主堂での「信徒発見」（1865年）まで、実に250年間の長きに渡り、密かにキリスト教の信仰を守り続けた。こうした状況下、長崎県の外海町は、潜伏キリシタンの里であり続けた。作家である遠藤周作氏は、この里の潜伏キリシタンらを登場人物に据えて、小説『沈黙』を執筆した。

1873年に明治政府によってキリスト教禁令の高札が撤廃されると、長崎に残る多

くの潜伏キリシタンらカトリック教会に復帰し、改めてカトリック信仰を深めた。しかし、中には 250 年間密かに守ってきた信仰からカトリック教会に回帰しない潜伏キリシタンも多くいた。250 年の間に仏教と神道が混合した独特の宗教を信仰し続けた彼らは、「カクレキリシタン」と呼ばれる。外海町には、現在もカクレキリシタンたちが存在する。

2.1 研究の問題点

外海町の潜伏キリシタンやカクレキリシタンの信仰生活や実態は、未だ明らかにされていないことが多い。彼らの信仰用具などは、新たに発見される場合もある。こうした問題をいかに克服していくのが、調査の課題となる。

2.2.1 具体的な問題点

- ―潜伏キリシタンの信仰具の起源を調査する。
- ―カクレキリシタンの信仰生活を明らかにする。

3. 研究例

地元の郷土史家松川隆治氏の潜伏キリシタンやカクレキリシタンの実態調査や大石一久氏のキリシタン墓研究などがあげられる。

4. おわりに

本発表では、これまでの調査した潜伏キリシタンやカクレキリシタンの歴史、信仰生活、信仰用具に焦点を当て、新たに明らかになってきたことを若干報告する。

引用文献

本馬貞夫『世界遺産キリシタンの里―長崎・天草の信仰史を訪ねる』、KUP 社、2021 年。
松川隆治他『天地始まりの聖地 長崎外海の潜伏・かくれキリシタンの世界』、批評者、2018 年。

国際大学として

本学では、欧州、ASEAN、韓国、中国、台湾などからやってきた多くの留学生が学んでいます。2022年には、Asia Summer Programを韓国、マレーシア、フィリピン、インドネシア、中国などの協定校と連携してオンラインで開催し、韓国からも13名の参加がありました。今後もこれまで築いたグローバルネットワークを基に実りある教育成果をあげてまいります。このような活動が評価され、Times Higher Education (THE)「2022年日本ランキング」で54位となりました(国際性 全国790校)。

JIU日本語教育・外国語教育への取組

日本語教員養成課程を国際人文学部に設置

Japanese Studies Programを学部の科目/留学生別科として設置

JIU日本語教員養成課程(副専攻)と大学院人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻日本語教育研究分野を修了した学生たちは、国内の日本語教師はもとより、カナダ、マレーシア、中国、台湾など海外で日本語を教える修了生たちも多くいます。

また、グローバル化により日本国内、千葉県内に多くの外国につながる人々が居住するようになっており、日本語教育が多様化し、そのニーズが高まっています。

城西国際大学(Josai International University)

千葉東金キャンパス

〒283-0002 千葉県東金市求名1

東京紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

問い合わせ先

語学教育センター

TEL: 0475-55-8810

E-mail address: cie@jiu.ac.jp